

DocuPrint 5100 d

ユーザーズガイド



Adobe、Acrobat、Reader、PostScript、Adobe PostScript 3 は、
Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の
米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS、OS X、TrueType、AirPrint は、
Apple Inc. の登録商標です。

FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMA）の商標です。


RSA および BSAFE は、EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

ThinPrint は、ThinPrint GmbH のドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。

HP、HP-GL、HP-GL/2 は、日本ヒューレット・パカード社の登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

ライセンスについては、「ライセンスについて」（P. 22）に記載してあります。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで  と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。
- ⑥ 本製品は、外国為替及び外国貿易法および / または、米国輸出管理規則に定める「輸出規制貨物」に該当します。つきましては、本品を外国へ輸出する場合には、日本国政府の輸出許可および / または、米国政府の再輸出許可を受ける必要があります。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
ContentsBridge、PDF Bridge、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは DocuPrint 5100 d（以降、本機と表記します）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。

DocuPrint 5100 d の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に必ず最初に本書をお読みのうえ、正しくご利用ください。

本書は、お使いのコンピューター的环境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に記載しています。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

本書で使用しているイラストは、オプションの 2 トレイモジュールを装着した場合を例に記載しています。

また、画面例は 2014 年 9 月現在のもので、今後、予告なく変更される場合があります。

富士ゼロックス株式会社

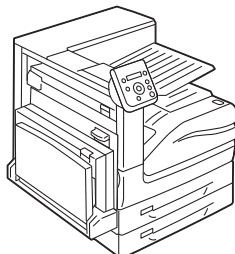
弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題の一つに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロンの全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。

また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。

DocuPrint 5100 d の特長

■ A3 対応、しかもハイスピード、高画質

- ・ A4 で毎分 55 ページの印刷スピード。
(同一原稿、片面連続で印刷時)



- ・ オイルレス定着技術の採用で、書き込みや捺印、付箋も貼りやすい。
- ・ 写真や POP、プレゼンテーションなど、文書の用途や目的に合った画質で印刷。

■ さまざまな紙質やサイズに対応

- ・ 従来、手差しトレイで出力していた厚紙などの特殊紙、定形外用紙も用紙トレイにまとめてセットすることが可能。
- ・ 手差しトレイを使えば、はがきや封筒など、さらに多くの用紙種類に対応。

■ 環境に優しい省エネ仕様

- ・ 充実した節電機能で、プリンターの消費電力を低減。
- ・ EA-ECO トナーを採用し、プリンターの消費電力の低減、CO2 排出の削減に寄与。

■ インストールや設定を簡単に

- ・ 付属のメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) からプリンタードライバーを簡単インストール。
- ・ Web からプリンターの状況を確認、各種設定が可能 (CentreWare Internet Services)。

■ 豊富な印刷機能

- ・ まとめて 1 枚 (N アップ)
複数ページを 1 枚に割り付けて印刷します。
- ・ 両面
用紙の両面に印刷します。
- ・ サンプルプリント*1
1部だけ印刷して内容を確認してから、残りの部数を印刷します。
- ・ スタンプ
「社外秘」などの文字を重ねて印刷します。
- ・ お気に入り
よく使う印刷設定が、プリンタードライバーの [お気に入り] リストに登録されています。印刷するときは、リストから項目を選択するだけで目的に合った設定が一度にできます。
- ・ ダイレクトプリント機能
ContentsBridge Utility を使えば、PDF ファイルや DocuWorks ファイルをドラッグ & ドロップするだけで、印刷できます。



■ 各種セキュリティー機能も搭載

- ・ コンピューターとプリンター間の通信経路の暗号化
ネットワーク上で不正アクセスによる情報漏洩を抑止します。
- ・ 操作パネルのロック
パスワードの入力によって、操作パネルでの操作を制限し、管理者以外のユーザーが勝手に設定を変更できないようにします。
- ・ プリントユーザー制限
本機の認証機能によって、印刷できるユーザーを限定できます。
- ・ 受信制限
LPDまたはPort9100ポートを使用して印刷する場合、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。
- ・ セキュリティープリント/プライベートプリント*1*2
出力データを本体内に一時蓄積し、改めて本体の操作パネルでパスワードを入力したり、IC カードで認証したりすることで出力させます。そのため、他のドキュメントと混ざること、回収し忘れることもなく、機密性の高い出力ができます。
- ・ ハードディスク上の蓄積データを削除して漏洩を抑止*3
ハードディスク内の残存データに対して、外部からの分析を防ぐ「オーバーライト機能」に加え、デバイスの残存情報を一括で削除する「一括消去機能」を搭載しています。

*1 ハードディスク (オプション) を取り付けて、RAM ディスクを有効にする必要があります。

*2 本体内蔵 IC カードリーダー (オプション)、または関連機器の IC カードシステムが必要です。

*3 ハードディスク (オプション) が必要です。

目次

はじめに	3
DocuPrint 5100 d の特長	4
目次	5
マニュアル体系	10
本書の使い方	11
安全にご利用いただくために	12
セキュリティ警告画面について	21
ライセンスについて	22
法律上の注意事項	27
1 プリンター環境の設定	28
1.1 使用できる環境について	28
1.2 ケーブルを接続する	31
1.3 ネットワーク環境を設定する	36
IP アドレス (IPv4) を設定する	36
IP アドレス (IPv6) を設定する	39
1.4 使用するポートを起動する	40
1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する	41
CentreWare Internet Services の概要	41
CentreWare Internet Services を使用する	43
ヘルプの使い方	44
1.6 プリンタードライバをインストールする	45
2 プリンターの基本操作	47
2.1 各部の名称と働き	47
プリンター本体	47
操作パネル	51
ディスプレイの表示について	53
2.2 電源を入れる / 切る	54
主電源を入れる	54
電源を入れる	54
電源を切る	55
主電源を切る	55
2.3 漏電ブレーカーについて	57
2.4 節電モードを設定 / 解除する	58
節電モードを設定する	58
節電モードを解除する	58
節電モードに移行しない場合について	58
2.5 印刷を中止する / 確認する	59
印刷を中止する	59
印刷指示したデータの状態を確認する	60
2.6 オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する	61
プリンター名や IP アドレスを指定してプリンターの情報を取得する	61
自動でプリンターの情報を取得する	63
手動でプリンターの情報を設定する	64
3 印刷する	66
3.1 コンピューターから印刷する	66
3.2 はがき / 封筒に印刷する	68

	手差しトレイではがき / 封筒を印刷する	68
3.3	定形外サイズの内紙に印刷する	72
	定形外サイズの内紙をセットする	72
	定形外サイズを登録する	72
	定形外サイズの内紙に印刷する	74
3.4	さまざまな種類の内紙に印刷する	76
3.5	機密文書を印刷する - セキュリティープリント	79
	セキュリティープリント機能について	79
	セキュリティープリントをする	79
3.6	出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント	83
	サンプルプリント機能について	83
	サンプルプリントをする	83
3.7	指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント	87
	時刻指定プリント機能について	87
	時刻指定プリントを登録する	88
	時刻指定プリントを中止する	89
3.8	プライベートプリント	90
	プライベートプリント機能について	90
	プライベートプリントをするための設定	91
	プライベートプリントをする	91
	印刷データを削除する	91
3.9	オンデマンドプリント	93
	オンデマンドプリントをするための設定	93
	オンデマンドプリントをする	93
3.10	認証プリント	94
	認証プリントについて	94
	認証プリントをするための設定	94
	認証プリントをする	95
3.11	PDF ファイルを直接印刷する	97
	印刷できる PDF ファイル	97
	PDF ファイルを直接印刷する方法	98
3.12	DocuWorks ファイルを直接印刷する	100
	印刷できる DocuWorks ファイル	100
	DocuWorks ファイルを直接印刷する方法	100
3.13	電子メールを使って印刷する - メール受信プリント	102
	メール受信プリントをするための環境設定	102
	メールを受信する	106
	メールを手動で受信して印刷する	109
	メールによる文書送信時のご注意	110
3.14	Google クラウドプリントを使って印刷する	111
	Google クラウドプリントについて	111
	使用環境の設定	111
	プリントする	119
	Google クラウドプリントのトラブル対処	120
	Google クラウドプリントの注意 / 制限	121

4 用紙について 122

4.1	用紙について	122
	使用できる用紙	122
	使用できない用紙	125
	用紙の保管と取り扱い	126
4.2	用紙をセットする	127
	手差しトレイに用紙をセットする	127
	トレイ 1 ~ 4 に用紙をセットする	130
	トレイ 6 に用紙をセットする	133

	トレイの用紙サイズを設定する	136
	トレイの用紙種類を変更する	137
	用紙別の画質処理を設定する	139
	自動トレイ選択について	140
	トレイ 5（手差し）を自動トレイ選択の対象に設定する	141
5	操作パネルでの設定	143
5.1	共通メニューの概要	143
	メニューの構成	143
	設定を変更する	145
5.2	共通メニュー項目の説明	147
	[レポート / リスト]	147
	[メーター確認]	147
	[機械管理者メニュー]	147
	[プリント言語の設定]	212
	[言語切り替え]	218
6	困ったときには	219
6.1	紙づまりの処置	219
	本体の左側面上部カバー [A] での紙づまり	220
	左側面下部カバー [B] での紙づまり	222
	本体の左側面下部カバー [C] での紙づまり	223
	本体の左側面上部カバー [D] での紙づまり	224
	左側面最上部カバー [E] での紙づまり	225
	用紙トレイ 1～2、3～4（2トレイモジュール装着時）での紙づまり	226
	用紙トレイ 3 での紙づまり（タンデムトレイモジュール装着時）	226
	用紙トレイ 4 での紙づまり（タンデムトレイモジュール装着時）	227
	用紙トレイ 5（手差し）での紙づまり	228
	用紙トレイ 6（大容量給紙トレイ 1 段）での紙づまり	228
	フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 での紙づまり	230
	10 ビン出力装置（オプション）での紙づまり	237
6.2	ホチキスの針づまりの処置	240
	平とじホチキスカートリッジの針づまり （フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 装着時）	241
	中とじホチキスカートリッジの針づまり （中とじフィニッシャー C3 装着時）	243
6.3	電源、異常音など、機械本体のトラブル	245
6.4	印刷が正しくできないトラブル	246
6.5	印字品質や画質のトラブル	249
6.6	トレイや用紙送りのトラブル	253
6.7	主なエラーメッセージとエラーコード	254
	主なエラーメッセージ（50 音順）	254
	エラーコード	264
6.8	ネットワーク関連のトラブル	294
	CentreWare Internet Services 使用時のトラブル	294
	メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル	295
	IPv6 接続時のトラブル	296
	IPv6 環境での印刷時のトラブル	297
	その他 IPv6 使用時のトラブル	297
6.9	カスタムモードについて	298
7	日常管理	299
7.1	消耗品を交換する	299
	消耗品の種類と購入について	299

使用済み消耗品の回収	300
トナーカートリッジを交換する	301
ドラムカートリッジを交換する	303
ホチキスカートリッジを交換する	306
パンチ穴のクズを捨てる	309
7.2 レポート / リストを印刷する	311
レポート / リストの種類	311
レポート / リストを印刷する	314
7.3 印刷ページ数を確認する	315
総印刷ページ数を確認する (メーター)	315
コンピューター別に印刷ページ数を確認する ([プリンター集計レポート])	316
機能別に印刷ページ数を確認する ([機能別カウンターレポート])	317
7.4 IP アドレスを変更する	318
7.5 Web ブラウザーでプリンターの状態を確認 / 管理する	321
7.6 電子メールでプリンターの状態を確認する	322
メール通知サービスで通知される情報	322
メール通知サービスを使用するための設定	322
7.7 シリアル番号 (機械番号) を確認する	325
7.8 RAM ディスクを使用するための設定	326
7.9 セキュリティー機能について	328
セキュリティ機能の概要	328
IP アドレスによる受信制限	330
複製管理機能について	331
強制アノテーション機能について	337
監査ログ機能について	340
7.10 暗号化機能を設定する	342
証明書の種類	342
暗号化機能について	342
HTTP の通信を暗号化するための設定	343
IPSec を使用して暗号化するための設定	347
7.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について	351
認証 / 集計管理機能の概要	351
認証 / 集計管理機能を使用するための設定	352
本体内蔵 IC カードリーダーを利用するための設定	357
7.12 ペーパーレジを調整する	361
7.13 清掃について	363
本機外部の清掃	363
7.14 プリンターを移動するときは	364

A 付 録	365
A.1 主な仕様	365
本体	365
フィニッシャー C3 (オプション)	369
中とじフィニッシャー C3 (オプション)	370
10 ビン出力装置付き中とじフィニッシャー C3 (オプション)	372
大容量給紙トレイ (1 段) (オプション)	374
印刷保証領域	375
内蔵フォント	375
A.2 オプション品の紹介	378
A.3 消耗品、定期交換部品の寿命について	380
A.4 製品情報の入手方法	381
最新のプリンタードライバーについて	381
本機のファームウェアのバージョンアップについて	381
A.5 機能拡張キット (ハードディスク) の取り付け	382
取り付け手順	382

A.6	セキュリティ拡張キットの取り付け	385
	取り付け手順	385
A.7	注意 / 制限事項	389
	本体の注意と制限	389
	TCP/IP (lpd) の注意と制限	392
	セカンダリーイーサネット (オプション) 使用時の注意 / 制限	394
	IPv6 接続の注意と制限	395
	設定情報の複製機能についての注意と制限	396
	セキュリティ機能上の注意と制限	399
A.8	用語集	401
	索引	406
	操作パネルメニュー一覧	410
	商品のお問い合わせ先について	

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアル

セットアップガイド	本機の設置手順を説明しています。
知りたい、困ったにこたえる本	プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1冊にまとめました。トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。また、一部のオプションの取り付け手順について説明しています。 このマニュアルで紹介しきれない内容や、もっと詳しい情報が知りたい場合は、ユーザーズガイドを参照してください。
ユーザーズガイド (PDF) (本書)	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、および日常の管理について説明しています。 ・このマニュアルはメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の製品マニュアルの中に収録されています。
マニュアル (HTML 文書)	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバー、およびソフトウェアのインストール方法について説明しています。 ・このマニュアルは、メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内に収録されています。
エミュレーション設定ガイド (PDF)	ART IV、ESC/P、PCL、PC-PR201H、HP-GL [®] 、HP-GL/2 [®] の各エミュレーションについて説明しています。 ・このマニュアルは、メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の製品マニュアルの中に収録されています。
ユーザーズガイド AirPrint 編	AirPrint 機能の操作方法、および使用上の注意事項などを記載しています。 ・このマニュアルは、メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の製品マニュアルの中に収録されています。

オプション品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

設置手順書	別売りのオプション品には、必要に応じて、設置手順書が同梱されています。
PostScript ユーザーズガイド (PDF)	PostScript [®] プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目について説明しています。 ・このマニュアルは、Adobe PostScript 3 キットに同梱されている CD-ROM 内に収録されています。
商品マニュアル (必要に応じて購入してください)	プリンター (プロッター) 制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル (リファレンスマニュアル (ART IV 対応) など) です。

本書の使い方

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、印刷環境の設定、印刷のしかた、使用できる用紙、日常のお手入れ方法などについて記載しています。

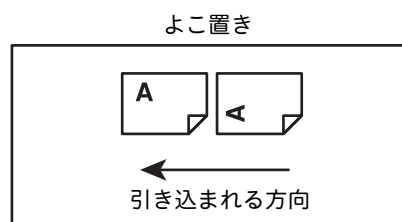
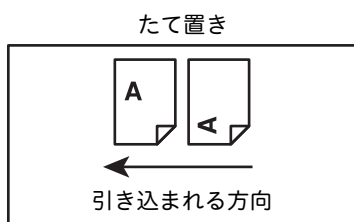
本書の構成

本書は、次のような章で構成されています。各章の概要を説明します。

1 プリンター環境の設定	本機の設置が終わってから、本機を使用できるようにするための設定方法について説明しています。
2 プリンターの基本操作	各部の名称と働きや、基本的な機能（電源の入 / 切、印刷の中止など）の操作方法について説明しています。
3 印刷する	主な印刷方法について説明しています。
4 用紙について	使用できる用紙や用紙のセット方法について説明しています。
5 操作パネルでの設定	操作パネルで設定できる項目とその設定方法について説明しています。
6 困ったときには	トラブル（紙づまり、エラーメッセージなど）が発生したときの対処方法について説明しています。
7 日常管理	消耗品の交換方法やレポート / リストの印刷方法、日常の管理について説明しています。また、機械管理者を対象に、コンピューターから本機の状態を確認したり、設定したりするツールや、本機のセキュリティー機能、認証 / 集計管理機能について説明しています。
A 付録	主な仕様や、オプション品の紹介、消耗品の寿命、製品情報の入手方法について説明しています。

本書の表記

- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。
注記 注意すべき事項を記述しています。必ず、お読みください。
補足 補足事項を記述しています。
参照 参照先を記述しています。
- 本文中では、次の記号を使用しています。
参照「 」: 参照先は、本書内です。
参照『 』: 参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。
[] : コンピューターやプリンターの操作パネルのディスプレイに表示されるメニュー、項目、メッセージを表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。
< > : キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。
> : 操作パネルのメニューや CentreWare Internet Services のメニューの階層を表します。
- 本文中では、用紙の向きを、次のように表しています。
、たて置き: プリンター正面からみて、用紙を縦長にセットした状態です。
、よこ置き: プリンター正面からみて、用紙を横長にセットした状態です。



安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。



警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号はつぎのような意味を表しています



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



静電気
破損注意



注 意



発火注意



破裂注意



感電注意



高温注意



回転物注意



指挟み注意

⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



禁 止



火気禁止



接触禁止



風呂等での
使用禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



指 示



電源プラグ
を抜け



アース線を
接続せよ

電源およびアース接続時の注意

警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため電源コードについている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを 850mm 以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース接続は必ず、「電源プラグを電源につなぐ前に」行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、「電源プラグを電源から切り離してから」行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械には D 種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

注意



機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



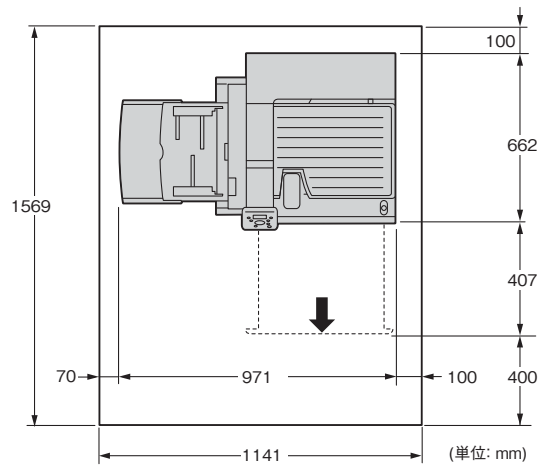
連休などで長期間、機械を使用しないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。



- 1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。
- ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
 - ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
 - ・電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
 - ・電源コードにきれつや擦り傷などがないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



設置時の注意

警告



機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

注意



以下のような場所には機械を設置しないでください。

- ・発熱器具に近い場所
- ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・調理台や加湿器のそばなど



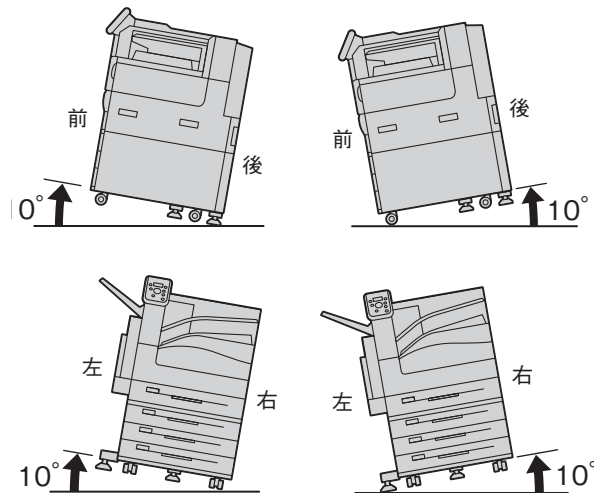
機械は、付属製品を含めた総質量 244 kg に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。



機械を 10 度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。




機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。




機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。


その他


-  本機器の使用環境は次のとおりです。
温度：10～32℃
湿度：15～85%
ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

機械使用上の注意


警告

-  この説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。


-  この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。


-  次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。


- ・機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- ・異常な音やにおいがするとき
- ・電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・機械の内部に水が入ったとき
- ・機械が水をかぶったとき
- ・機械の部品に損傷があったとき


-  機械の隙間や通気口に物を入れしないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。


- ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
 - ・クリップやホチキスの針などの金属類
 - ・重いもの
- 液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

-  電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

-  機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。


-  トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

-  付属のメディア（CD-ROM、DVD等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。


-  レーザーについて
注意：取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被ばくの原因になるおそれがあります。失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。

この機械は、レーザーの国際規格 IEC60825 (Class 1 レーザー機器) に適合しています。このことはレーザー被ばくの危険がないことを意味しています。レーザーは機械内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被ばくすることはありません。

注意

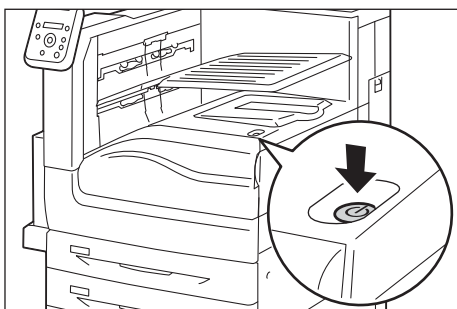
-  機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

-  機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

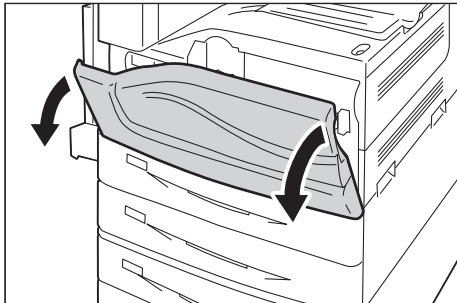
! 機械の本体には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態（**|**）の状態にしておきます。1か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。異常などがある場合は弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店までご連絡ください。なお、漏電ブレーカーの確認手順は以下のとおりです。

1. 電源スイッチを押して、電源を切ります。

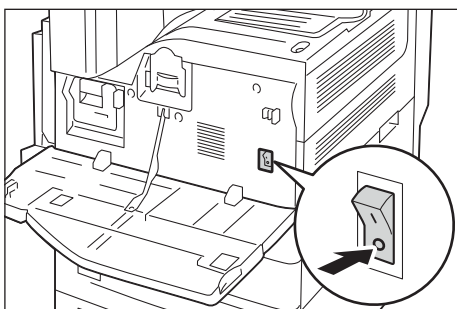


2. ディスプレイの表示が消えていること、〈節電〉ボタンが消灯していることを確認してください。

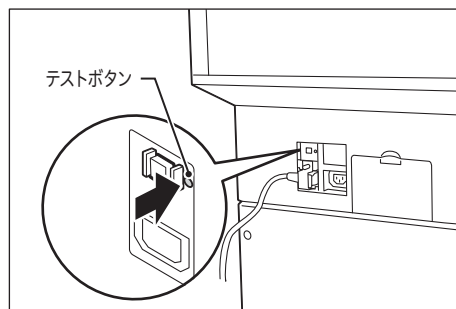
3. フロントカバーを開けます。



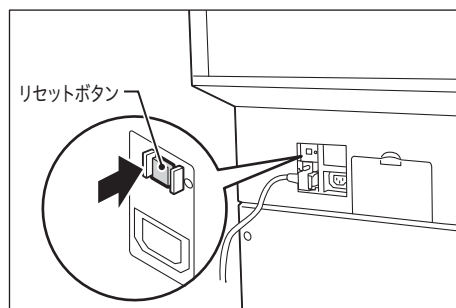
4. 主電源スイッチの〈○〉側を押して、主電源を切ります。操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。



5. ボールペンなどの先のとがったもので、〈テスト〉ボタンを軽く押します。〈リセット〉ボタンが突き出た場合は、ブレーカーが正常に働いています。〈リセット〉ボタンが突き出ない場合は、ブレーカーに異常があります。



6. 〈リセット〉ボタンを押して、〈リセット〉ボタンが押された状態に戻します。



! 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

! フィニッシャーが作動しているとき、用紙排出部には触れないでください。ケガの原因となるおそれがあります。




! 詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

! 換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うよう心がけてください。




! 機械を移動するときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

消耗品取り扱い上の注意

警告

-  消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。
-  こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。
本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。
掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。
大量にこぼれた場合、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
-  トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

注意

-  「ドラムカートリッジ（またはカートリッジ形式でない場合はドラム）やトナーカートリッジ」は幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
-  「ドラムカートリッジ（またはカートリッジ形式でない場合はドラム）やトナーカートリッジ」を交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
-  次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。

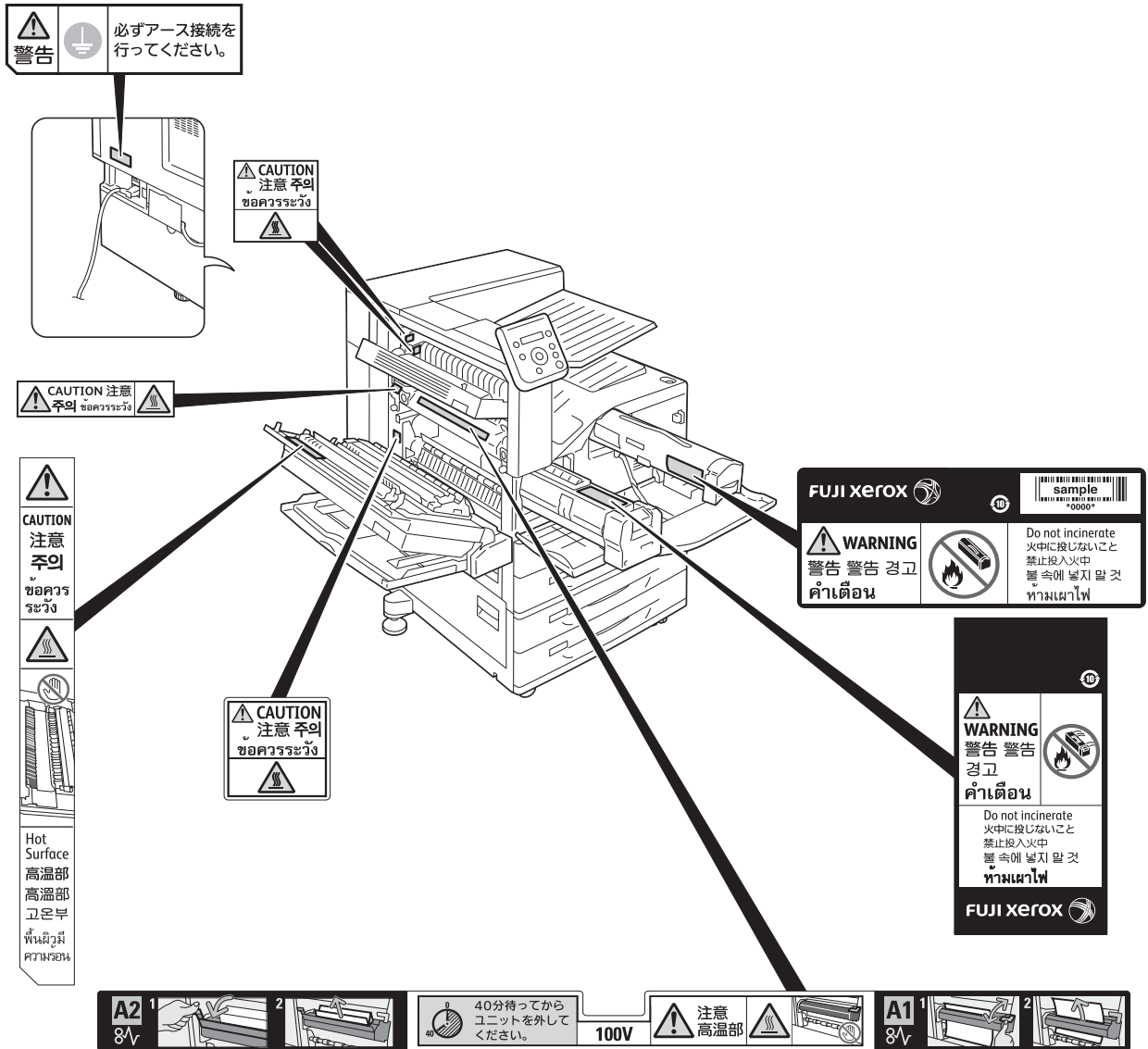
- ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



環境について

- ・ 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマークプリンターの物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております DocuPrint 5100 d を使用し、試験方法 Blue Angel RAL UZ-171:2012 の付録 S-M に基づき試験を実施しました。）
- ・ 回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・ 不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジまたはドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。
- ・ 機器の稼働音が気になる場合は、壁や仕切り等で区切られた場所に設置されることをお勧めします。（表示 A 特性音響パワーレベル LWAd が 63dB を超える場合は音が気になると思われます。本商品の稼働音を数値で確認されたい場合は、弊社までお問い合わせください。）

規制について

本製品は、電波法による総務省高周波利用設備型式指定を受けております。

電波法について



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の設置および使用は許されません。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本装置を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。

・病棟内では、本装置を使用しないでください。

・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本装置を使用しないでください。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライタ部（アンテナ部）から 12cm 以上離れて携行および使用してください。

電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本装置（DocuPrint 5100 d）の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください

電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

電磁波障害対策自主規制について



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

受信障害について



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。

電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波対策自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2 (高調波電流発生限度値) に適合しています。

セキュリティ警告画面について

本機の設定が以下のいずれかを満たす状態で CentreWare Internet Services の機械管理者モードに入ると、セキュリティ警告画面が表示されます。本機をより安全にご利用いただくために、本機を設置したあと、すぐに設定を変更することをお勧めします。

- ・ 機械管理者の UserID とパスワードが初期値
- ・ SNMP プロトコルの設定でコミュニティ名や認証用パスワードが初期値
- ・ グローバル IP アドレスが設定され、かつ [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている

機械管理者の UserID とパスワード、および SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワードの設定を初期値から変更することをお勧めします。これらの値を変更することは、悪意のある第三者による攻撃（設定変更や情報搾取など）を防ぐうえで有効です。

補足

- ・ 機械管理者の UserID とパスワード、SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワードを初期値から変更すると、本機と連携するソフトウェアやユーティリティの動作に影響が出る場合があります。影響を確認の上、変更して下さい。

また、本機にグローバル IP アドレスを設定する場合、受付 IP アドレス制限の設定を行うことにより、本機を外部ネットワークからの不正アクセス（ジョブ履歴の閲覧）から防ぐことが可能です。

さらに、[認証方式の設定] を [本体認証] または [外部認証] に設定することをお勧めします。認証が成功したユーザーのジョブのみをプリントできるように制限することができます。

補足

- ・ 機械管理者の UserID とパスワードの変更、SNMP 認証データの変更、および受付 IP アドレス制限の設定については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・ 認証方式の設定については、「[認証の設定]」(P. 181) を参照してください。詳細は弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談くださいますようお願いいたします。

ライセンスについて

RSA BSAFE について



本機は、EMC コーポレーションの RSA® BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。

Heimdal について

Copyright (c) 2000 Kungliga Tekniska högskolan (Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden). All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

JPEG コードについて

本機のソフトウェアには、the Independent JPEG Group で作成されたコードの一部を利用しています。

Libcurl について

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2006, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

FreeBSD について

本製品には、FreeBSD のコードの一部が搭載されています。

The FreeBSD Copyright

Copyright 1994-2006 The FreeBSD Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE FREEBSD PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FREEBSD PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the FreeBSD Project.

OpenLDAP について

Copyright 1998-2006 The OpenLDAP Foundation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted only as authorized by the OpenLDAP Public License.

A copy of this license is available in the file LICENSE in the top-level directory of the distribution or, alternatively, at <http://www.OpenLDAP.org/license.html>.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

Individual files and/or contributed packages may be copyright by other parties and/or subject to additional restrictions.

This work is derived from the University of Michigan LDAP v3.3 distribution. Information concerning this software is available at <http://www.umich.edu/~dirsvcs/ldap/ldap.html>.

This work also contains materials derived from public sources.

Additional information about OpenLDAP can be obtained at <http://www.openldap.org/>.

Portions Copyright 1998-2006 Kurt D. Zeilenga.
Portions Copyright 1998-2006 Net Boolean Incorporated.
Portions Copyright 2001-2006 IBM Corporation.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted only as authorized by the OpenLDAP Public License.

Portions Copyright 1999-2005 Howard Y.H. Chu.
Portions Copyright 1999-2005 Symas Corporation.
Portions Copyright 1998-2003 Hallvard B. Furuseth.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this notice is preserved.

The names of the copyright holders may not be used to endorse or promote products derived from this software without their specific prior written permission. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

Portions Copyright (c) 1992-1996 Regents of the University of Michigan.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that this notice is preserved and that due credit is given to the University of Michigan at Ann Arbor. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

The OpenLDAP Public License

Version 2.8, 17 August 2003

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices,
2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and
3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document..

The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time.

Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved. Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

DES 暗号 について

This product includes software developed by Eric Young.

(eay@mincom.oz.au)

AES 暗号について

Copyright (c) 2003, Dr Brian Gladman Worcester, UK. All rights reserved. This product uses published AES software provided by Dr Brian Gladman under BSD licensing terms.

TIFF (libtiff) について

LibTIFF Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

ICC Profile (Little cms) について

Little cms Copyright (C) 1998-2004 Marti Maria

XPS (XML Paper Specification) について

This product may incorporate intellectual property owned by Microsoft Corporation. The terms and conditions upon which Microsoft is licensing such intellectual property may be found at <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=52369>.

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ❑ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - ❑ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ❑ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
 - ❑ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - ❑ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - ❑ 役所または公務員の印影、署名、記名。
 - ❑ 私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合 ※ を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - (2) 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - (3) 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

※ 法律に定める例外にあたる場合の例

- ❑ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的として、複製する場合。
- ❑ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- ❑ 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

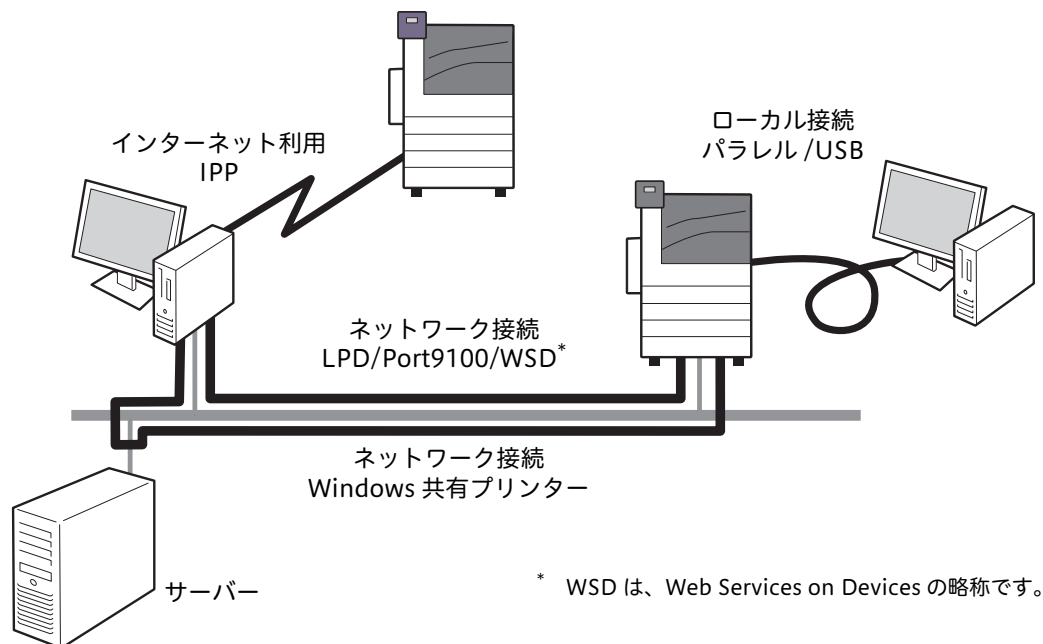
1 プリンター環境の設定

セットアップガイドに従って、プリンター本体の設置が終わったら、続けてプリンター環境を設定します。

1.1 使用できる環境について

本機は、直接コンピューターに接続するとローカルプリンターとして、ネットワークに接続するとネットワークプリンターとして使用できます。

使用するポートは、操作パネルで「起動」に設定してください。



■ ローカルプリンターとして使用する場合

ローカルプリンターとして使用する場合は、次の接続形態があります。

- ・USB 接続 : 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続して使用します。(工場出荷時：[起動])
- ・パラレル接続 : 本機とコンピューターをパラレルケーブルで接続して使用します。パラレルポート (オプション) が必要です。(工場出荷時：[停止])

■ ネットワークプリンターとして使用する場合

ネットワークプリンターとして使用する場合は、次の環境で使用できます。

- ・LPD : TCP/IP プロトコルを使用し、本機と直接通信できる場合に使用します。(工場出荷時：[起動])
- ・Port9100 : ポートとして Port9100 を使用している場合に使用します。(工場出荷時：[起動])
- ・IPP : インターネットを経由して印刷する場合に使用します。(工場出荷時：[停止])
- ・WSD* : Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2008、Windows Server® 2008 R2 から印刷する場合に使用できます。(工場出荷時：[起動])

* WSD は、Web Services on Devices の略称です。

■ コンピューターの OS と使用できる環境

補足

- ・ 対象 OS は予告なく変更されることがあります。弊社ホームページを参照してください。

接続形態	ローカル		ネットワーク					
	パラレル ^{*1}	USB ^{*2}	LPD	IPP	Port 9100	Bonjour	WSD ^{*3}	BM LinkS
ポート名	-	-	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP
プロトコル	-	-	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP
Windows Vista [®]	○	○	○	○	○	-	○	○
Windows [®] 7	○	○	○	○	○	-	○	-
Windows [®] 8	○	○	○	○	○	-	○	-
Windows [®] 8.1	○	○	○	○	○	-	○	-
Windows Server [®] 2003	○	○	○	○	○	-	-	-
Windows Server [®] 2008	○	○	○	○	○	-	○	-
Windows Server [®] 2008 R2	○	○	○	○	○	-	○	-
Windows Server [®] 2012	○	○	○	○	○	-	○	-
Windows Server [®] 2013	○	○	○	○	○	-	○	-
Mac OS X 10.5	-	○	○	-	-	○	-	-
Mac OS X 10.6	-	○	○	-	○	○	-	-
Mac OS X 10.7 Lion	-	○	○	-	○	○	-	-
OS X 10.8 Mountain Lion	-	○	○	-	○	○	-	-
OS X 10.9 Mavericks	-	○	○	-	○	○	-	-

*1 パラレルポート（オプション）が必要です。

*2 接続するコンピューターに USB2.0 ポートが必要です。

*3 WSD は、Web Services on Devices の略称です。

■ コンピューターの OS と使用できるプリンタードライバー

OS	プリンタードライバー	備考
Windows Vista Windows 7 Windows 8 Windows 8.1 Windows Server 2003 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2013	ART EX プリンター ドライバー	メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル） からインストールできます。 詳しくは、メディア（ソフトウェア / 製品マ ニュアル）に同梱されているマニュアル （HTML）を参照してください。
	PostScript プリンタードライバー	Adobe PostScript 3 キット（オプション）が 必要です。 詳しくは、Adobe PostScript 3 キット（オプ ション）に同梱されている CD-ROM 内のマ ニュアルを参照してください。
UNIX	PostScript プリンタードライバー	Adobe PostScript 3 キット（オプション）と UNIX フィルター（エイセル株式会社製）が 必要です。
Mac OS X 10.5-10.6 Mac OS X 10.7 Lion OS X 10.8 Mountain Lion OS X 10.9 Marvericks	PostScript プリンタードライバー	Adobe PostScript 3 キット（オプション）が 必要です。 詳しくは、Adobe PostScript 3 キット（オプ ション）に同梱されている CD-ROM 内のマ ニュアルを参照してください。
	Mac OS X 用 プリンタードライバー	メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル） からインストールできます。 詳しくは、メディア（ソフトウェア / 製品マ ニュアル）に同梱されているマニュアル （HTML）を参照してください。

1.2 ケーブルを接続する

接続形態に合ったインターフェイスケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。

インターフェイスケーブルは、本製品に同梱されていません。別途、購入してください。

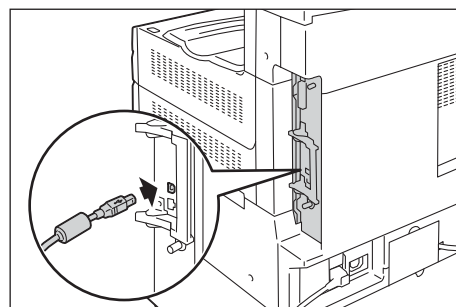
参照

- ・ 接続形態によって、プリンタードライバーのインストール方法が異なります。詳しくは、「1.6 プリンタードライバーをインストールする」(P. 45) および、メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『マニュアル (HTML 文書)』を参照してください。

USB 接続の場合

USB ケーブルの接続手順を説明します。

1. USB ケーブルを本体のインターフェイスコネクタに差し込みます。



2. USB ケーブルの他方のコネクタを、コンピューターに接続します。

補足

- ・ 操作パネルのディスプレイに、[IP アドレス取得不可] というメッセージが表示される場合があります。このメッセージを消すには、[ネットワーク / ポート設定] > [TCP/IP 設定] > [IPv4 設定] > [IP アドレス取得方法] を [手動] にして、IP アドレス (例: 192.0.2.1) を設定するか、または [ネットワーク / ポート設定] で USB 以外の各ポートを [停止] に設定します。

参照

- ・ IP アドレスの設定方法については、「1.3 ネットワーク環境を設定する」(P. 36) を参照してください。
- ・ 各ポートの設定については、「1.4 使用するポートを起動する」(P. 40) を参照してください。

ネットワーク接続の場合

ネットワークケーブルの接続手順を説明します。

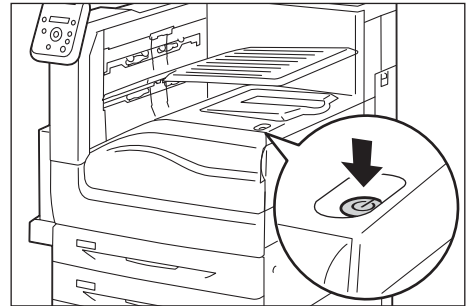
補足

- ・ 1000BASE-T、100BASE-TX、または 10BASE-T に対応したストレートケーブルを用意してください。
- ・ 本機は、IEEE802.3az（データの送受信が行われていないときに、イーサネット機器の電力消費を低減する有線 LAN 準拠規格）に対応しています。この規格で節電効果を得るには、接続する機器同士が IEEE802.3az に対応している必要があります。

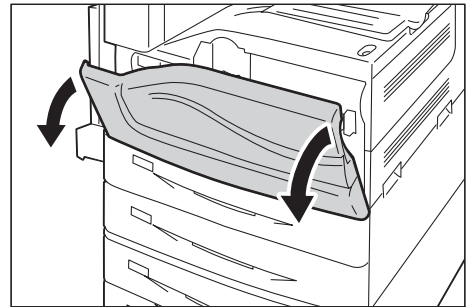
注記

- ・ 1000BASE-T で接続する場合は、カテゴリ（CAT5）やエンハンスドカテゴリ 5（CAT5e）のケーブルを使用する必要があります。信号品質および対ノイズ特性に優れている、エンハンスドカテゴリ 5（CAT5e）以上のケーブルを推奨します。
- ・ 1000BASE-T で接続しても、プリンターの処理速度によっては、1000BASE-T の性能を発揮できない場合があります。

1. 本機の電源スイッチを押して、電源を切ります。



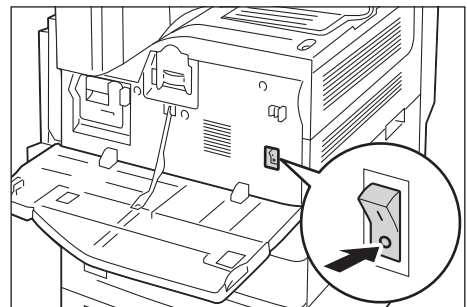
2. フロントカバーを開けます。



3. 主電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

補足

- ・ 操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。

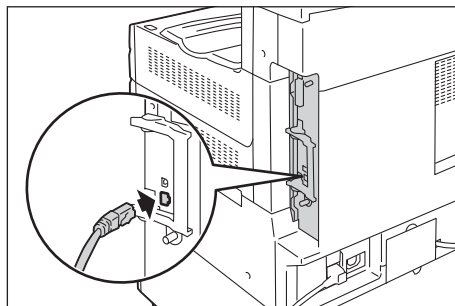


- ネットワークケーブルを本体のインターフェイスコネクタに差し込みます。

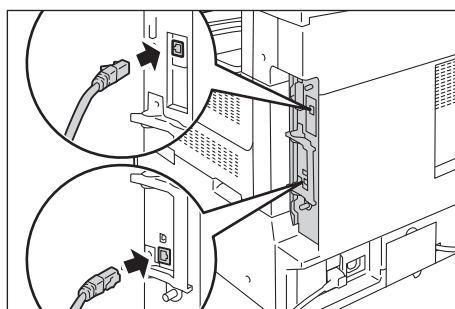
補足

- ・セカンダリーイーサネットキット（オプション）を取り付けている場合、標準のものとあわせて2箇所のインターフェイスコネクタが利用できます。
- ・セカンダリーイーサネットは、1000BASE-Tとして利用できます。

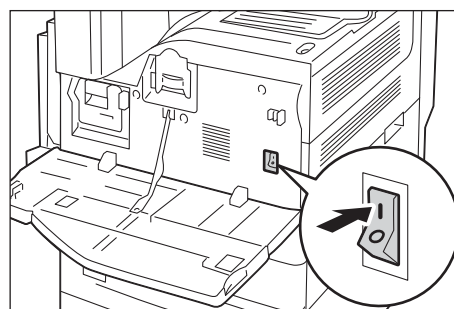
標準構成の場合



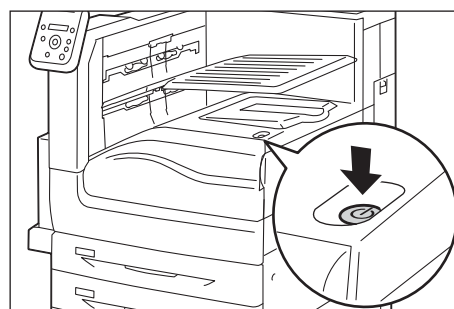
セカンダリーイーサネットキットを取り付けている場合



- ネットワークケーブルの他方のコネクタを、ハブなどのネットワーク機器に接続します。
- 主電源スイッチの〈I〉側を押して、主電源を入れ、フロントカバーを閉じます。



- 本機の電源スイッチを押して、電源を入れます。



パラレル接続の場合

パラレルケーブルの接続手順を説明します。

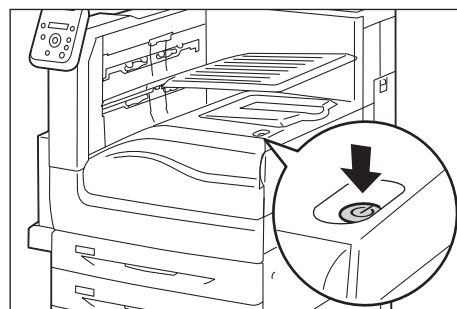
補足

- ・パラレル接続には、弊社オプション製品の平行ポートが必要です。オプション製品については、「A.2 オプション品の紹介」(P. 378)を参照してください。

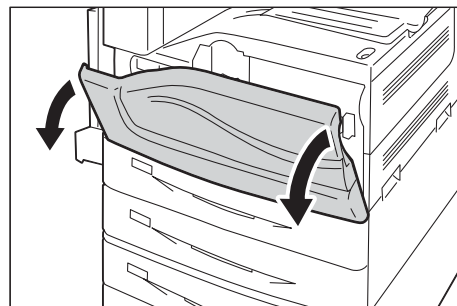
注記

- ・平行ポート (オプション) とセカンダリーイーサネットキット (オプション) を同時に取り付けることはできません。

1. 本機の電源スイッチを押して、電源を切ります。



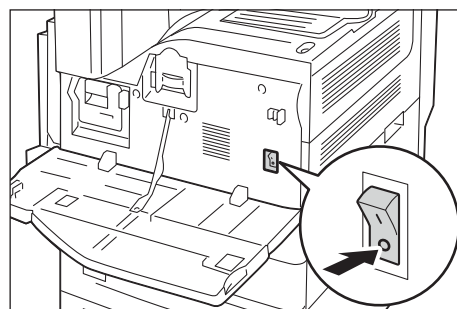
2. フロントカバーを開けます。



3. 主電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

補足

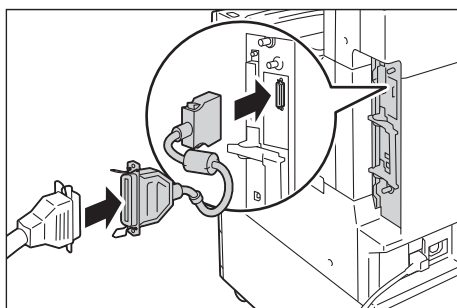
- ・操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。



4. コネクタ変換ケーブルを、本体のインターフェイスコネクタに差し込みます。
5. コネクタ変換ケーブルの他方のコネクタにパラレルケーブルを接続し、両側の金具で固定します。

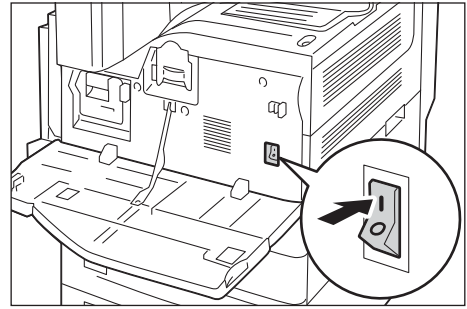
注記

- ・弊社オプション製品ではない平行ケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあります。

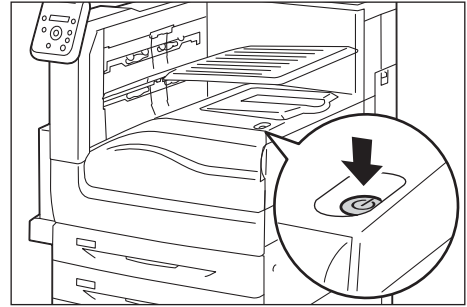


6. パラレルケーブルの他方のコネクタを、コンピューターに接続します。

7. 主電源スイッチの〈I〉側を押して、主電源を入れ、フロントカバーを閉じます。



8. 本機の電源スイッチを押して、電源を入れます。



補足

- ・ 操作パネルのディスプレイに、[IP アドレス取得不可] というメッセージが表示される場合があります。このメッセージを消すには、[ネットワーク / ポート設定] > [TCP/IP 設定] > [IPv4 設定] > [IP アドレス取得方法] を [手動] にして、IP アドレス (例: 192.0.2.1) を設定するか、または [ネットワーク / ポート設定] でパラレル以外の各ポートを [停止] に設定します。

参照

- ・ IP アドレスの設定方法については、「1.3 ネットワーク環境を設定する」(P. 36) を参照してください。
- ・ 各ポートの設定については、「1.4 使用するポートを起動する」(P. 40) を参照してください。

1.3 ネットワーク環境を設定する

TCP/IP プロトコルを使用するための設定を説明します。その他の環境で使用する場合は、メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『マニュアル（HTML 文書）』を参照して、ネットワーク環境を設定してください。

補足

- ・ 本機は、IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 アドレスを使用できます。IPv6 アドレスを使用する場合は、「IP アドレス（IPv6）を設定する」（P. 39）を参照してください。

IP アドレス（IPv4）を設定する

TCP/IP プロトコルを使用するためには、IP アドレスの設定が必要です。

工場出荷時、本機の [IP アドレス取得方法] は [DHCP/AutoIP] に設定されています。そのため、DHCP サーバーがあるネットワーク環境では、本機をネットワークに接続すると、自動的に IP アドレスが設定されます。

[機能設定リスト] を印刷して、IP アドレスがすでに設定されているかどうかを確認してください。

IP アドレスが設定されていない場合は、[IP アドレス取得方法] を [手動] に変更し、IP アドレスを設定する必要があります。

TCP/IP	
IP動作モード	デュアルスタック
IPv4	
IPアドレス取得方法	DHCP/Autonetからアドレスを取得
IPアドレス	* 192. 0. 2. 1
サブネットマスク	* 255. 255. 255. 0
ゲートウェイアドレス	* 192. 168. 1. 254
受付IPアドレス制限	しない
ステータス情報	正常

IP アドレスが設定されていれば OK。

設定されていない、または、変更したい場合は、「■ IP アドレスの設定」の手順に従って、操作してください。

補足

- ・ [機能設定リスト] の印刷方法がわからない場合は、「7.2 レポート / リストを印刷する」（P. 311）を参照してください。
- ・ 本機は、BOOTP サーバーまたは RARP サーバーを使用してアドレス情報を自動的に取得することもできます。この場合は、操作パネルで、[IP アドレス 取得方法] の項目を [BOOTP] または [RARP] に変更してください。
- ・ DHCP で運用する場合は、IP アドレスが変更されていることがあるので、定期的に IP アドレスを確認して使用する必要があります。

ここでは、操作パネルで IP アドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

■ IP アドレスの設定

注記

- ・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、使用する環境によって異なります。設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

補足

- ・ 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

機械管理者メニュー
ネットワーク/ポート設定

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

補足

- ・ 間違っ、違う項目で〈▶〉または〈OK〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンで前の画面に戻ります。
- ・ 最初からやり直したい場合は、〈仕様設定〉ボタンを押します。

ネットワーク/ポート設定
TCP/IP 設定

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

TCP/IP 設定
IP 動作モード

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[IP 動作モード] が表示されます。

TCP/IP 設定
IPv4 設定

6. [IPv4 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

IPv4 設定
IP アドレス取得方法

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

IP アドレス取得方法
• DHCP/AutoIP

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

IP アドレス取得方法
手動

9. [手動] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

IP アドレス取得方法
• 手動

10. 〈OK〉ボタンで決定します。
[000.000.000.000] と表示された場合は、手順 15 に進んでください。右の画面が表示された場合は、手順 12 に進んでください。

↓

11. <◀> または <戻る> ボタンで、[IP アドレス取得方法] に戻ります。

IPv4 設定
IP アドレス取得方法

12. <▼> ボタンで、[IP アドレス] を表示します。

IPv4 設定
IP アドレス

13. <▶> または <OK> ボタンで選択します。
現在の IP アドレスが表示されます。

IP アドレス
•000.000.000.000

14. <▲> <▼> ボタンで最初のフィールドに値
(例：192) を入力し、<▶> ボタンを押します。

IP アドレス
192.000.000.000

補足

- ・ 変更する必要がない場合は、<▶> ボタンを押すと次のフィールドに移動します。
- ・ <▲> <▼> ボタンを押し続けると、値が 10 ずつ変わります。
- ・ 前のフィールドに戻る場合は、<◀> ボタンを押します。

15. 他のフィールドも同様に入力し、最後の 4 つめのフィールドを入力したら、<OK> ボタンで決定します。
(例：192.0.2.1)

IP アドレス
•192.000.002.001

16. 続けて、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを設定する場合は、<戻る> ボタンを押して、手順 18 に進みます。
これで、操作を終了する場合は、手順 25 に進みます。

■ サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定

17. [サブネットマスク] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

IPv4 設定
サブネットマスク

18. <▶> または <OK> ボタンで選択します。
現在のサブネットマスクが表示されます。

サブネットマスク
•000.000.000.000

19. IP アドレスと同様に、サブネットマスクを入力し、<OK> ボタンで決定します。
(例：255.255.255.000)

サブネットマスク
•255.255.255.000

20. <戻る> ボタンで、[サブネットマスク] に戻ります。

IPv4 設定
サブネットマスク

21. <▼> ボタンで、[ゲートウェイアドレス] を表示します。

IPv4 設定
ゲートウェイアドレス

22. <▶> または <OK> ボタンで選択します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

ゲートウェイアドレス
•000.000.000.000

23. IPアドレスと同様にゲートウェイアドレス
を入力し、<OK> ボタンで決定します。
(例：192.168.1.254)

ゲートウェイアドレス
•192.168.001.254

24. これで、すべての設定が終了です。
<仕様設定> ボタンを押して、メニュー画面
を終了します。
自動的に本機が再起動します。

25. [機能設定リスト] を印刷して、設定した内
容を確認します。

IP アドレス (IPv6) を設定する

本機は、IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 アドレスを使用できます。

工場出荷時、本機の [IP 動作モード] は [デュアルスタック] (IPv4/IPv6 を自動的に検知して動作するモード) に設定されています。IPv6 のネットワーク環境で本機をネットワークに接続すると、自動的に IPv6 アドレスが設定されます。

[機能設定リスト] を印刷して、IPv6 アドレスを確認してください。

補足

- 本機に固定の IPv6 アドレスは、CentreWare Internet Services を使用し、手動で設定できます。その場合は、[機能設定リスト] を印刷して自動設定アドレスを確認し、そのアドレスを使って、CentreWare Internet Services にアクセスします。[プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で IPv6 アドレスを設定します。CentreWare Internet Services については、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。また、お使いのネットワーク環境については、ネットワーク管理者にご相談ください。

IPv6	
アドレスの手動設定	しない
自動設定	
リンクローカルアドレス	"fe80::a00:37ff:fe9e:1e1b"
ステートレス自動設定アドレス1	"fd00:0:ac1b:43e6:a00:37ff:fe9e:1e1b/64"
ステートレス自動設定アドレス2	" "
ステートレス自動設定アドレス3	" "
自動設定ゲートウェイアドレス	"fe80::209:e8ff:fe78:d920"
受付IPアドレス制限	しない
ステータス情報	正常

補足

- [機能設定リスト] の印刷方法がわからない場合は、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 311) を参照してください。

1.4 使用するポートを起動する

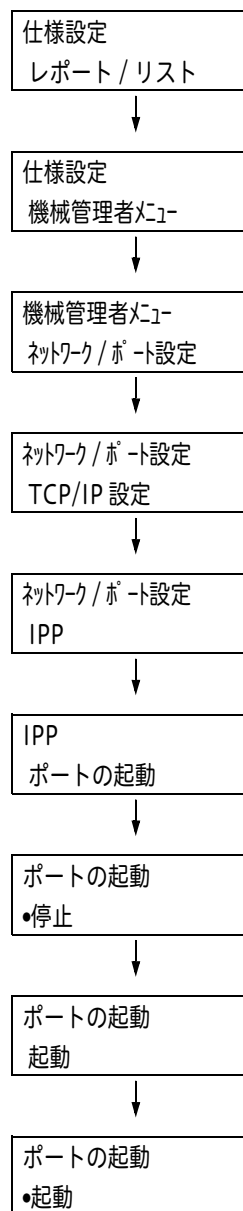
使用するポートは、操作パネルで「起動」に設定しておく必要があります。

なお、「標準セットアップ」で使用される場合は、工場出荷時に、使用するポートが「起動」に設定されているので、ここでの操作は不要です。

使用するポートが「停止」に設定されている場合は、次の手順に従って、設定を変更してください。

ここでは、IPP の例で説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[TCP/IP 設定] が表示されます。
5. 設定するプロトコルが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。(例: IPP)
6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[ポートの起動] が表示されます。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。現在の設定値が表示されます。
8. 〈▼〉ボタンで [起動] を表示します。
9. 〈OK〉ボタンで決定します。
10. これで、設定は終了です。
〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。



1.5 CentreWare Internet Services で プリンターを設定する

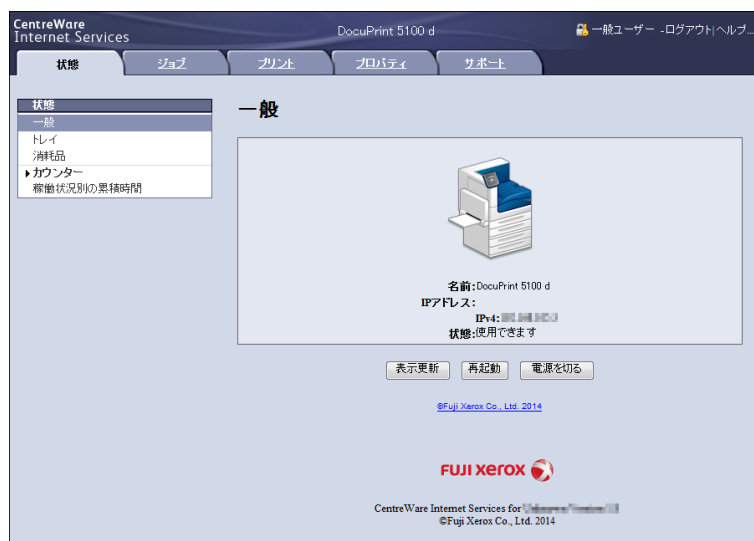
CentreWare Internet Services の概要

CentreWare Internet Services は、TCP/IP 環境が使用できる場合に、Web ブラウザーを使用して、プリンターの状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。

操作パネルで設定する項目のいくつかは、本サービスの [プロパティ] タブでも設定できます。

補足

- ・ パラレルケーブルまたは USB ケーブルで、本機を直接コンピューターと接続している場合は、CentreWare Internet Services は使用できません。



使用できる環境と設定について

■ Web ブラウザー

CentreWare Internet Services を利用するためには、ネットワークプロトコルとして TCP/IP が利用できるコンピューターと Internet Explorer[®] や Safari などの Web ブラウザーが必要です。

■ Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Services を使用する場合、プロキシサーバーを経由しないで直接本機のアドレスを指定することをお勧めします。

補足

- ・ プロキシサーバーを経由して本機のアドレスを指定すると、応答が遅くなったり画面が表示されないことがあります。
- ・ 設定方法については、お使いの Web ブラウザーのマニュアルを参照してください。

また、CentreWare Internet Services を正しく動作させるために、Web ブラウザーで次のように設定する必要があります。

ここでは、Internet Explorer 8.0 を例に説明します。

1. [ツール] メニューから [インターネット オプション] を選択します。

2. [全般] タブにある [閲覧の履歴] の [設定] をクリックします。
3. [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ダイアログボックスの [保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] で、[Web サイトを表示するたびに確認する] または [Internet Explorer を起動するたびに確認する] を選択します。
4. [OK] をクリックします。
5. [インターネット オプション] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

■ プリンター側の設定

CentreWare Internet Services を使用する場合は、本機の IP アドレスが設定されていることと、[インターネットサービス] が [起動] (工場出荷時: [起動]) に設定されている必要があります。[インターネットサービス] を [停止] に設定している場合は、操作パネルで [起動] にしてください。

参照

- ・「 [インターネットサービス] 」 (P. 162)
- ・「1.4 使用するポートを起動する」 (P. 40)

CentreWare Internet Services で設定できる項目

各タブで設定できる主な機能は、次のとおりです。

タブ名	メニュー名	主な機能
状態	一般	本機の名前や IP アドレス、状態が表示されます。
	トレイ	用紙トレイにセットされている用紙の状態や、排出トレイの状態が表示されます。
	消耗品	各種消耗品の残量や状態が表示されます (目安)。実際の交換作業は、操作パネルに表示されるメッセージを見て、行ってください。 参照 ・「6.7 主なエラーメッセージとエラーコード」 (P. 254)
	カウンター	現在までの印刷ページ数が表示されます。
	稼働状況別の累積時間	現在までの稼働時間、待機時間、節電中の時間などの累積が表示されます。
	組み込みプラグイン	本機に登録されているプラグインの一覧が表示されます。
ジョブ	ジョブ一覧	処理中のジョブの一覧が表示されます。
	履歴一覧	処理が終了したジョブの一覧が表示されます。
	エラー履歴	エラー・ログに保存されているエラー情報が表示されます。表示されるエラーコードの意味については、「エラーコード」 (P. 264) を参照してください。
プリント	プリント指示	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機に直接、印刷を指示できます。[プリント] タブは、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
プロパティ	設定メニュー	プリントプロトコルやメール機能について設定する画面へ移動するためのボタンが表示されます。
	本体説明	製品名やシリアル番号が表示されます。また、名前 *1 や設置場所 *1、連絡先 *1、管理者メールアドレス *1、本体メールアドレス *1 などを設定できます。

プロパティ	一般設定	本機全般にわたる設定が表示されます。また、それぞれの項目を設定できます。 ・ 設定項目：本体構成 / ジョブ管理 / 用紙トレイの設定 / 用紙設定 / 節電モード設定 / 保存文書設定 / メモリー設定 / Internet Services 設定 *1 / オンデマンドプリントサービス設定 *1 / 設定情報の複製 *1 / メール通知設定 *1
	ネットワーク設定	各種ポートやプロトコルといったネットワーク関連の設定を確認、変更できます。
	サービス設定	プリントモードや各種エミュレーション、メール *1、EP サービスについて設定できます。
	集計設定 *1	集計管理機能について設定できます。
	セキュリティ *1	セキュリティ関連の設定ができます。 ・ 設定項目：認証管理 / 認証情報の設定 / 権限グループ登録 / 外部認証サーバー設定 / 受付 IP アドレス制限 / 受付ポート / 監査ログ / 証明書の設定 / IP Sec / 証明書管理 / IEEE 802.1x / SSL / TLS 設定 / 複製管理 / 強制アノテーション / ジョブ表示の制限 / プラグイン / カスタムサービス設定 / ハードディスクの上書き消去設定 / セキュリティー警告設定 / 機械管理者情報の設定 *2 / 操作パネル制限 / IC カード設定 *3
サポート	サポート情報へのリンクが表示されます。この設定は変更できます。	

*1 CentreWare Internet Services でしか設定できない項目です。操作パネルでは設定できません。

*2 機械管理者の ID とパスワードを設定できます。

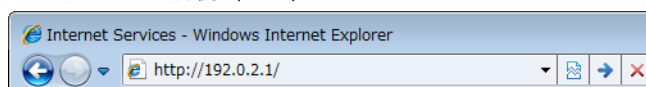
*3 本体内蔵型 IC カードリーダー（オプション）、または USB 接続の IC カードリーダー（関連商品）が取り付けられている場合に表示されます。

CentreWare Internet Services を使用する

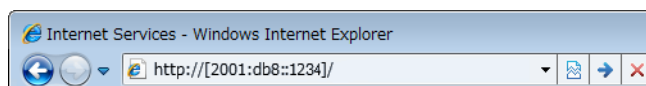
本サービスを使用する手順は、次のとおりです。

1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。

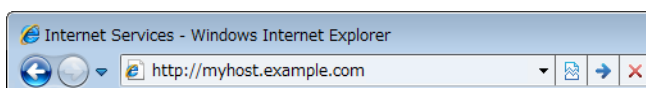
IP アドレスの入力例（IPv4）



IP アドレスの入力例（IPv6）

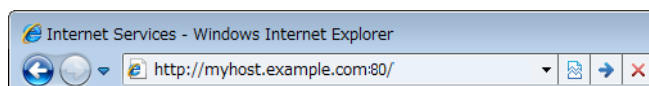


URL の入力例



補足

- ・ ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、[機能設定リスト] で確認できます。
- ・ ポート番号は、[プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [HTTP] で変更できます。



- 本機で認証 / 集計管理機能を使用している場合は、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。機械管理者、または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードを入力してください。ID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。CentreWare Internet Services を起動すると、右上にユーザー情報が表示されます。



- 機械管理者、または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードでログインして、設定や確認をしたあとは、情報漏洩を防ぐためにも [ログアウト] をクリックして、ログアウトしてください。



- 通信を暗号化している場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。
- 認証 / 集計管理機能、および通信の暗号化については、「7.9 セキュリティー機能について」(P. 328)、「7.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P. 351) を参照してください。

ヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。[ヘルプ] をクリックすると、[ヘルプ] ウィンドウが表示されます。



注記

- CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はおお客様の負担になりますのでご了承ください。

1.6 プリンタードライバーをインストールする

コンピューターから印刷するために、メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）から ART EX プリンタードライバーをインストールします。

プリンタードライバーのインストール方法は、コンピューターと本機の接続方法によって異なります。

メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『マニュアル（HTML 文書）』で、手順を確認してから、実行してください。

なお、プリンタードライバーをインストールしたときは、必ず直後にコンピューターを再起動してください。

補足

- Microsoft Windows Server 2003 x64 Editions、Microsoft Windows Vista x64、Microsoft Windows Server 2008 x64 Editions、Microsoft Windows 7 x64、Microsoft Windows Server 2008 R2 ドライバーに関しては、注意・制限事項があります。当社公式サイトダウンロードページで、「重要なお知らせ」を確認してからご使用ください。
- PostScript プリンタードライバーについては、Adobe PostScript 3 キット（オプション）に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

マニュアルを表示するには
[マニュアル / 製品情報] タブ >
[マニュアル (HTML 文書)]

ドライバーをインストールするには

2014年9月現在の画面です。
画面は、予告なく変更される場合があります。

アンインストールについて

■ プリンタードライバーのアンインストール

ART EX プリンタードライバーは、メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内のプリンタードライバーアンインストールツールを使ってアンインストールできます。詳しくは、メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『マニュアル（HTML 文書）』を参照してください。

■ その他のソフトウェアのアンインストール

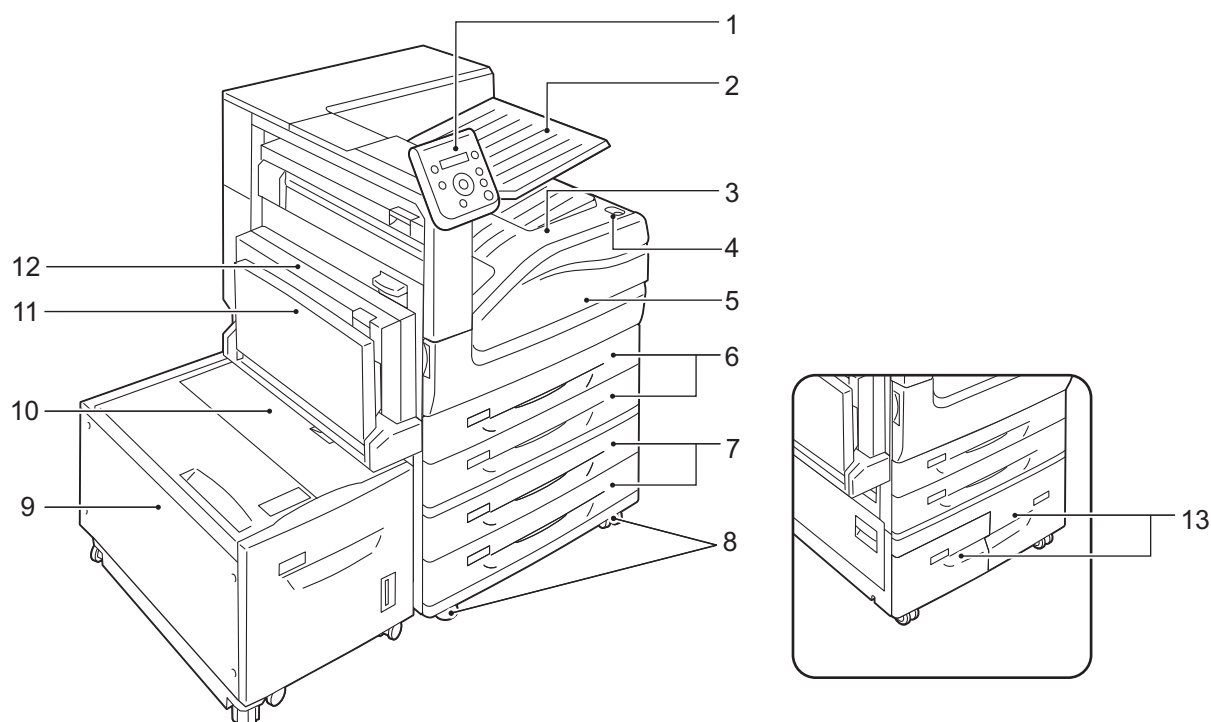
メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）からインストールした、その他のソフトウェアをアンインストールする場合は、各ソフトウェアの Readme ファイルを参照してください。Readme ファイルは、メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『製品情報 (HTML 文書)』から表示できます。

2 プリンターの基本操作

2.1 各部の名称と働き

プリンター本体

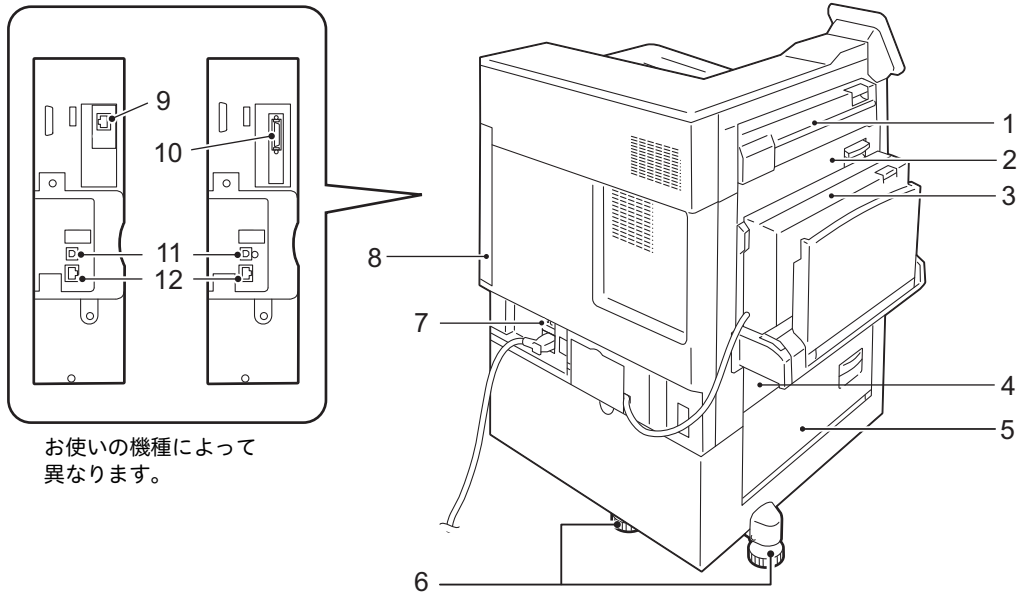
前面



No.	名称	説明
1	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。 参照 ・「操作パネル」(P. 51)
2	インナー排出トレイ (オプション)	センタートレイを2段に分けて用紙を排出できるようになります。
3	センタートレイ	印刷された用紙が、印字面を下にして排出されます。
4	電源スイッチ	本機の電源を入 / 切します。 参照 ・「電源を入れる / 切る」(P. 54)
5	フロントカバー	消耗品を交換するときに開けます。
6	用紙トレイ 1、2	用紙をセットします。
7	用紙トレイ 3、4 (オプション) (2トレイモジュール)	用紙をセットします。
8	キャスター	移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。
9	用紙トレイ 6	用紙をセットします。

No.	名称	説明
10	用紙トレイ 6 上面カバー	紙づまりを処置するときに、用紙トレイ 6 を左に移動してから開けます。
11	用紙トレイ 5 (手差し)	用紙トレイ 1 ~ 4、6 にセットしていない用紙、またはできない用紙 (厚紙などの特殊用紙) をプリントするときに使用します。
12	両面ユニット	自動で用紙の両面にプリントをします。
13	用紙トレイ 3、4 (オプション) (タンデムトレイモジュール)	用紙をセットします。

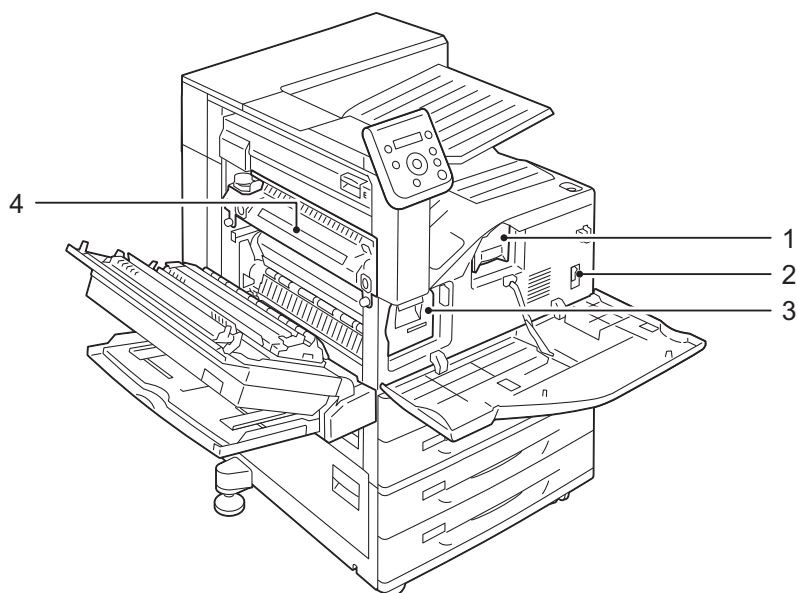
背面



No.	名称	説明
1	左側面最上部カバー (E)	紙づまりを処理するときに開けます。
2	左側面上部カバー (A)	紙づまりを処理するときに開けます。
3	左側面上部カバー (D)	紙づまりを処理するときに開けます。
4	左側面下部カバー (B)	紙づまりを処置するときに開けます。用紙トレイ 6 が装着されている場合は、用紙トレイ 6 を左に移動してから開けます。
5	左側面下部カバー (C)	紙づまりを処置するときに開けます。用紙トレイ 6 が装着されている場合は、用紙トレイ 6 を左に移動してから開けます。
6	アジャスターフット	本機の転倒を防止します。本機の設置後に床に接するまで時計回りに回転させます。
7	リセットボタン	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断します。
8	右奥カバー	インターフェースケーブルを接続するときに開けます。 インターフェースケーブルの接続後は、必ずカバーを取り付けてください。
9	セカンダリーイーサネットコネクタ (オプション)	セカンダリーイーサネットキット (オプション) を装着している場合、1000BASE-T Ethernet インターフェースケーブルを接続します。
10	パラレルインターフェイスコネクタ (オプション)	セントロニクス準拠インターフェースケーブルを接続し、コンピュータと接続します。
11	USB2.0 インターフェイスコネクタ	プリンター用の USB ケーブルを接続します。

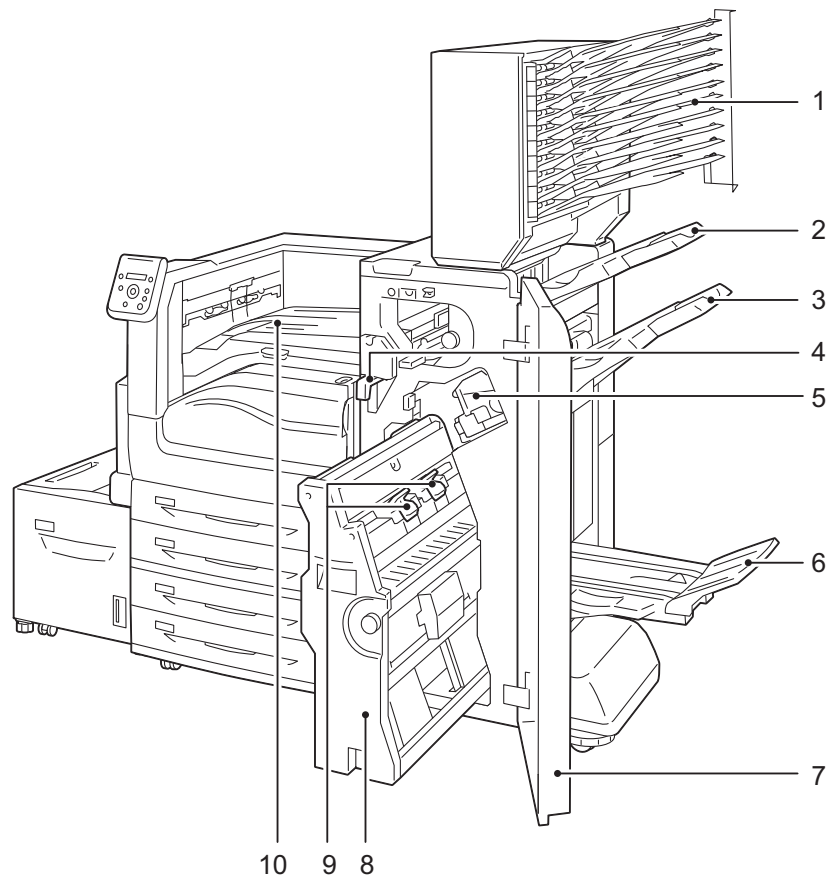
No.	名称	説明
12	10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T コネクター	ネットワークケーブルを接続します。

内部



No.	名称	説明
1	トナーカートリッジ	トナー（画像形成剤）が入っています。
2	主電源スイッチ	本機の主電源を入 / 切します。主電源については、必ず、機械管理者の指示に従ってください。 注記 ・主電源を切る場合は、必ず電源を先に切ってください。 参照 ・「電源を入れる / 切る」(P. 54)
3	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。
4	定着ユニット	トナーを用紙に定着させる部分です。 注記 ・高温時に不用意に触れないように注意してください。

フィニッシャー C3 (オプション)、中とじフィニッシャー C3 (オプション)、10 ビン出力装置 (オプション)

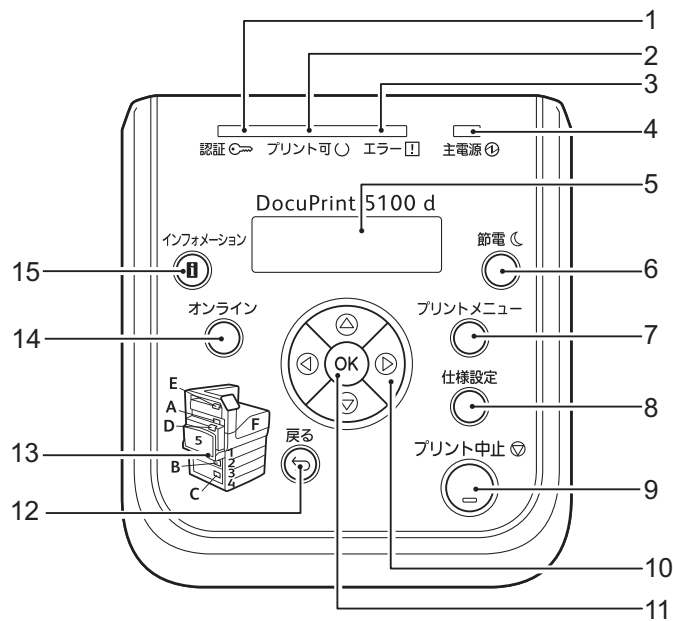


No.	名称	説明
1	10 ビン出力装置	指定したビンへ排出できます。1 ビンには 100 枚 (P 紙) まで収納できます。
2	排出トレイ	用紙が排出されます。
3	フィニッシャートレイ	用紙が排出されます。
4	パンチダストボックス	パンチくずが入ります。パンチくずを捨てるときに取り出します。
5	平とじ用ホチキスカートリッジ	平とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針づまりの処置のときに取り出します。
6	製本トレイ	中とじ製本された冊子が排出されます。
7	フロントカバー	紙づまりの処置、ホチキス針の交換、針づまりの処置、パンチくずを捨てるときに開けます。
8	中とじ用ホチキスカートリッジ	中とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針づまりの処置のときに取り出します。
9	中とじユニット	用紙を二つ折りにしたり、二つ折りしたものにホチキスをとめる装置です。
10	センタートレイ (フィニッシャー接続部上面カバー)	用紙が排出されます。排出トレイやフィニッシャートレイに用紙が排出できないときも、ここに排出されます。紙づまりの処置のときは、上に開けます。センタートレイに排出された用紙は、こまめに取り除くようにしてください。


補足

- ・ フィニッシャーを取り付けるときは、機能拡張キット (オプション) が必要です。

操作パネル




No.	名称	説明
1	〈認証〉ランプ	本体内蔵 IC カードリーダー（オプション）を接続した場合のカード認証時に点灯します。
2	〈プリント可〉ランプ	点灯中は、印刷が可能です。
3	〈エラー〉ランプ	本機に異常があるときに、ランプが点滅、または点灯します。
4	〈主電源〉ランプ	主電源が入っているときに点灯します。 補足 ・ 主電源を切っても、数十秒間〈主電源〉ボタンは点灯したままになります。
5	ディスプレイ	設定項目、本機の状態、メッセージなどが表示されます。 電源を入れると「オマチクダサイ」と表示されます。この表示が「プリントできます」に変わると印刷できます。 カード認証時には、認証したユーザー ID を約 2 秒間表示します。 なお、電源が入っていてもレディー時はディスプレイに何も表示されません。 参照 ・ 「ディスプレイの表示について」(P. 53)
6	〈節電〉ボタン	節電中は、〈節電〉ボタンが点灯します。 節電中にこのボタンを押すと、節電モードが解除されます。 また、レディー時にこのボタンを押すと、節電モードになります。 補足 ・ 節電中に電源を切ると、数十秒間〈節電〉ボタンは点滅します。

No.	名称	説明
7	〈プリントメニュー〉ボタン	<p>セキュリティープリントやサンプルプリントなど、本機やサーバー内に蓄積されている文書を印刷するときに押します。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用するには、機能拡張キット（オプション）を取り付けるか、RAM ディスクを有効にします。 使用環境によって、使用できるプリント機能が異なります。本機で使用できる機能については、「操作パネルメニュー一覧」（P. 410）を参照してください。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 「7.8 RAM ディスクを使用するための設定」（P. 326）
8	〈仕様設定〉ボタン	メニュー画面に移行します。
9	〈プリント中止〉ボタン	プリントを中止します。
10	〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉ボタン	<p>メニュー画面のとき、ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値の間を移行します。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 〈▲〉〈▼〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。
11	〈OK〉ボタン	メニュー画面のとき、メニューの候補値を確定します。レポート / リストを印刷するときにも使用します。
12	〈戻る〉ボタン	メニュー画面のとき、ひとつ前の項目に戻ります。
13	外観図	エラーが発生したときに、メッセージに表示される各部の位置を確認できます。
14	〈オンライン〉ボタン	〈オンライン〉ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、〈プリント可〉ランプが消灯し、印刷処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態（印刷可能な状態）に移行します。
15	〈インフォメーション〉ボタン	ディスプレイに  マークが表示されているときにこのボタンを押すと、そのときの現象について詳細情報が表示されます。

ディスプレイの表示について

本機の状態を表す「プリント画面」と、本機に関する設定をするための「メニュー画面」があります。

補足

- ・ 本機に取り付けられているオプションや、設定の状態によって、表示されるメッセージは異なります。
- ・ ディスプレイに  マークが表示されているときに〈インフォメーション〉ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

プリント画面

本機の状態を表示します。レディー時または印刷中は、プリント画面に次のように表示されます。



メニュー画面

本機に関する設定をする画面です。

メニュー画面は、〈仕様設定〉ボタンを押して表示します。メニュー画面を表示すると、次のように表示されます。



参照

- ・ メニュー画面で設定できる項目：「5 操作パネルでの設定」(P. 143)

2.2 電源を入れる / 切る

主電源を入れる

主電源を入れると、コントローラー部やメモリーに通電され、操作パネルの〈主電源〉ランプが点灯します。本体内部を開けて、オプション品の取り付けや本機の移動、清掃時などを除き、主電源は切らないでください。

注記

- ・主電源を入れた直後に、主電源を切らないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。

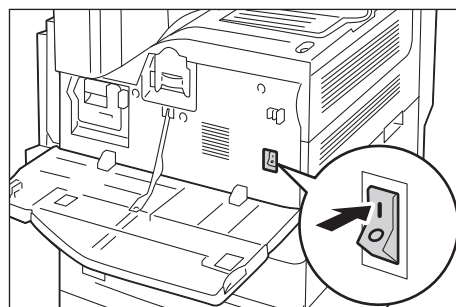
1. フロントカバーを開けます。



2. 主電源スイッチの〈I〉側を押して、主電源を入れます。

補足

- ・操作パネルの〈主電源〉ランプが点灯します。



3. フロントカバーを閉じます。

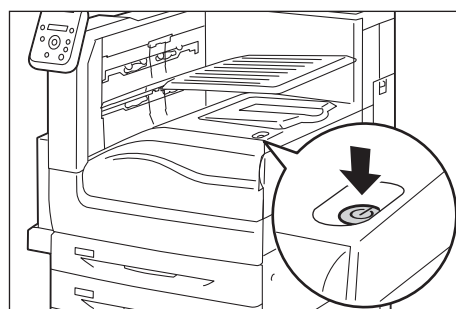
電源を入れる

主電源が入っていることを確認してから、電源スイッチを押してください。

電源スイッチを入れると、15秒ほどでプリントできる状態になります。機械の構成によっては15秒以上かかることがあります。

長時間使用しない場合や、1日の終わりには電源を切ってください。

1. 電源スイッチを押して、電源を入れます。



補足

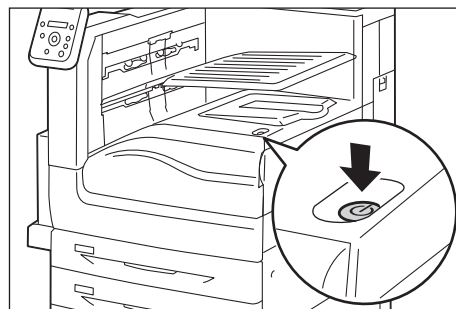
- ・ [オマチクダサイ] が表示されているときは、本機がウォームアップ中です。この間は、印刷できません。
- ・ エラーメッセージが表示された場合には、「主なエラーメッセージ (50 音順)」(P. 254) を参照して対処をしてください。
- ・ 電源が入らない場合は、次のことを確認してください。
 - 電源プラグが入っているか
 - 主電源が入っているか
 - 〈リセット〉ボタンがリセット状態 (ボタンが押し込まれている) になっているか

電源を切る

注記

- ・ 操作パネルのディスプレイに、[オマチクダサイ] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- ・ 印刷中は本機の電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 電源を切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフの処理をしています (〈節電〉ボタン点滅)。再度、電源を入れる場合は、〈節電〉ボタンが完全に消灯してから入れてください。

1. 操作パネルのランプやディスプレイ表示などで、プリンターが処理中でないことを確認します。
2. 電源スイッチを押し、電源を切ります。

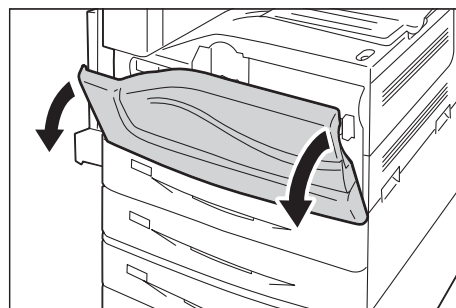


主電源を切る

注記

- ・ ディスプレイに表示がされているとき、〈節電〉ボタンが点滅している間は、主電源を切らないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- ・ 電源プラグを抜くときは、主電源を切ってから抜いてください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。

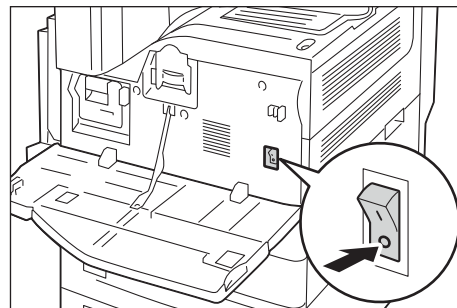
1. 電源が切れていることを確認します。
2. フロントカバーを開けます。



3. 主電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

補足

- ・ 操作パネルの〈主電源〉ランプは、数十秒後に消灯します。



4. フロントカバーを閉じます。

2.3 漏電ブレーカーについて

本機には漏電ブレーカーが付いています。本機に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。1か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電ブレーカーが働かなくなり、感電の原因になるおそれがあります。

異常などがあったときは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

参照

- ・ 漏電ブレーカーの確認手順：「安全にご利用いただくために」(P.12)

2.4 節電モードを設定 / 解除する

本機には、レディー時の電力消費を抑える、節電モードが搭載されています。節電モードには、低電力モード（61W 以下）と、スリープモード（2W 以下）の 2 種類があります。スリープモードは、コントローラーの受信部以外の電源を完全にオフにして、消費電力を最低の値に下げます。ただし、ウォームアップ時間としては、低電力モードよりも長くなります。

低電力モードは、完全には電源を落としますが、定着ユニットの温度をオフ時とレディー状態の中間に制御するなどにより、消費電力とウォームアップ時間のバランスをとったモードです。

節電モードを設定する

工場出荷時は低電力モード / スリープモードの設定がともに [1 分後] になっているため、1 分間印刷データを受信しないと、低電力モードに移行せずに、すぐにスリープモードに移行する設定になっています。

本機では、低電力モード / スリープモードに移行するかどうかを、それぞれ設定できます。また、低電力モード / スリープモードに切り替わるまでの時間を、低電力モード / スリープモードともに 1 ~ 240 分の間で設定できます。

補足

- ・ 低電力モードとスリープモードは、どちらかのモードだけを有効にすることもできます。
- ・ 低電力モードとスリープモードを両方とも無効に設定することはできません。
- ・ 低電力モードとスリープモードの設定を変更する手順：「操作例：スリープモードへの移行時間を変更する」(P.146)

節電モードを解除する

節電モードは、コンピューターからデータを受信すると、自動的に解除されます。本機に本体内蔵 IC カードリーダー（オプション）、または関連機器の IC カードシステムを接続している場合には、低電力モード時に IC カードをタッチすると、低電力モードが解除されます。スリープモードのときには解除されません。

手動で節電モードを解除するには、操作パネルの〈節電〉ボタンを押します。

節電モードに移行しない場合について

次のようなときには、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。

- ・ 操作パネルで何らかの操作をしているとき
- ・ トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうちいずれか 1 つでも交換メッセージが表示されているとき
- ・ 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき
- ・ 紙づまり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき
- ・ 故障などによりエラーが発生しているとき

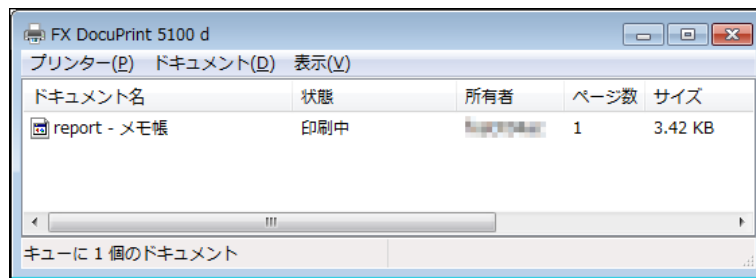
2.5 印刷を中止する / 確認する

印刷を中止する

印刷を中止するには、コンピューターで印刷の指示を取り消す方法とプリンターで印刷の指示を取り消す方法があります。

コンピューターで処理中のデータの印刷を中止する

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 中止するドキュメント名を選択し、削除（〈Delete〉キーを押す）します。



補足

- ・ ウィンドウ内に中止するドキュメントがなかった場合は、プリンターで印刷を中止してください。
- ・ CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、印刷を中止することもできます。操作方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

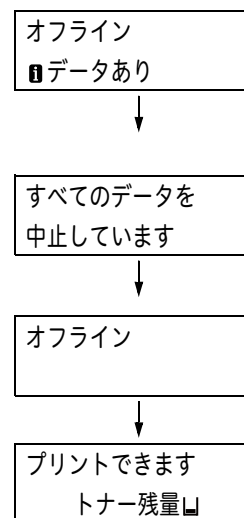
プリンターで印刷中 / 受信中のデータの印刷を中止する

操作パネルの〈プリント中止〉ボタンを押します。ただし、印刷中のページは印刷されます。

プリンターで受信したすべてのデータの印刷を中止する

大量の文書を印刷指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータの印刷を中止してください。

1. 操作パネルで〈オンライン〉ボタンを押します。
ディスプレイに [オフライン] と表示されます。
2. 〈プリント中止〉ボタンを押します。
中止の処理が開始され、完了すると、ディスプレイに [オフライン] と表示されます。
3. 〈オンライン〉ボタンを押します。
プリント画面に戻ります。

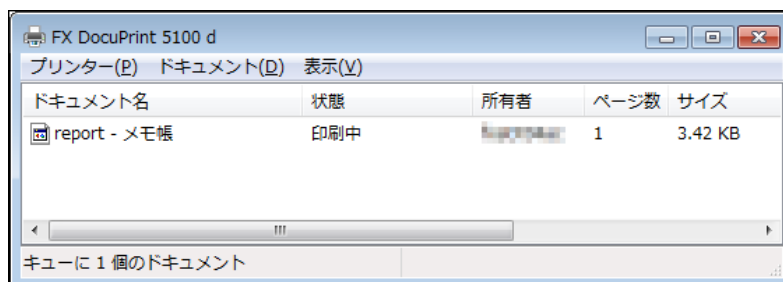


印刷指示したデータの状態を確認する

印刷指示したデータの状態を確認するには、Windows 上で確認する方法と CentreWare Internet Services で確認する方法があります。

Windows での確認方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウから、[状態] を確認します。



CentreWare Internet Services での確認方法

CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、プリンターに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

参照

- ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

2.6 オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する

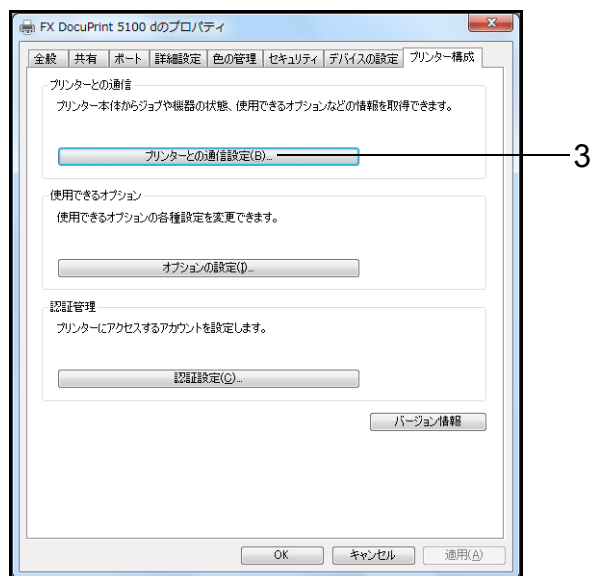
本機をネットワークプリンターとして使用している場合は、SNMP プロトコルを使って、本機のオプション構成やトレイの用紙サイズ、用紙種類などを、プリンタードライバーに読み込むことができます。この設定は、プリンタードライバーの [プリンター構成] タブで行います。ここでは、Windows 7 を例に説明します。プリンタードライバーをインストールしたあとに、オプション品の取り付けや、トレイの用紙設定を変更した場合は、プリンターの情報を手動で取得してください。印刷のたびにプリンターの情報を自動取得するように設定することもできます。

補足

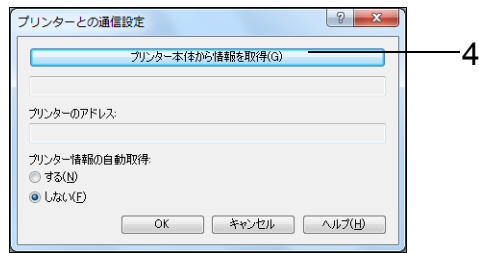
- ・ 本機をパラレルケーブルまたは USB ケーブルで、コンピューターと直接接続している場合、この機能は使用できません。プリンタードライバーの該当項目を手動で設定してください。設定方法は、「手動でプリンターの情報を設定する」(P. 64) を参照してください。この場合は、トレイにセットされている用紙種類や用紙サイズも表示されません。
- ・ この機能を使用する場合は、操作パネルでプリンター側の SNMP ポートを起動（初期値：[起動]）しておく必要があります。

プリンター名や IP アドレスを指定してプリンターの情報を取得する

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択し、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [プリンター構成] タブをクリックします。
3. [プリンターとの通信設定] をクリックします。



4. [プリンター本体から情報を取得] をクリックします。

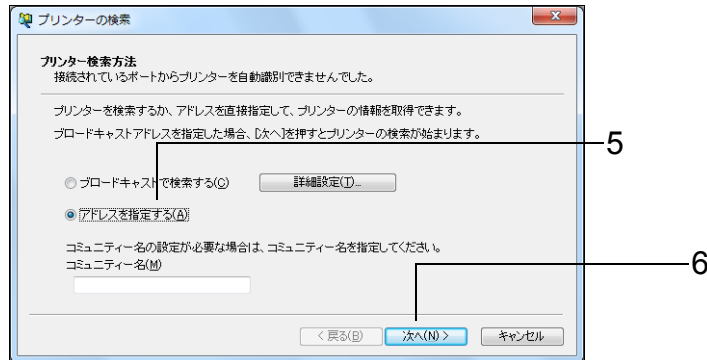


本機の情報が入力された場合は、[取得しました。] というメッセージが表示されます。手順 9 に進みます。

本機の情報が入力されなかった場合は、[プリンターの検索] が表示されます。手順 5 に進みます。

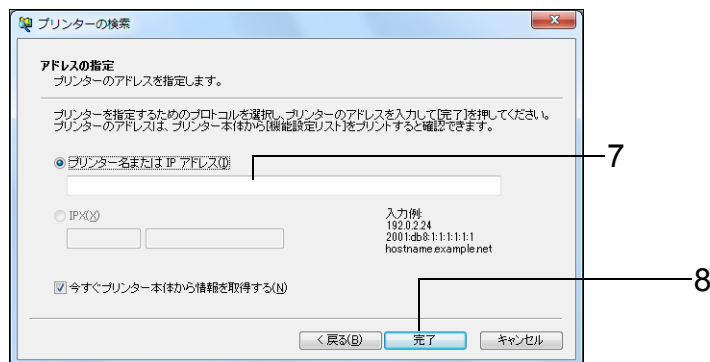
5. [アドレスを指定する] を選択します。

6. [次へ] をクリックします。

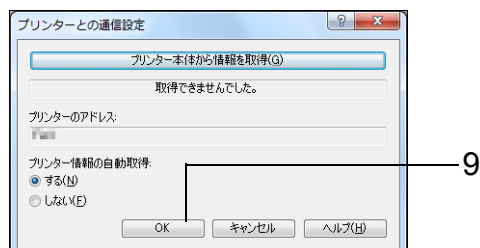


7. [プリンター名または IP アドレス] に、プリンター名または IP アドレスを入力します。

8. [完了] をクリックします。



9. [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

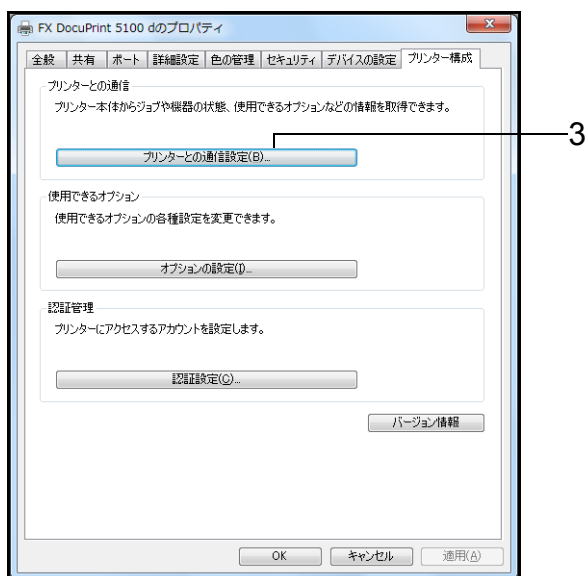


10. [OK] をクリックします。

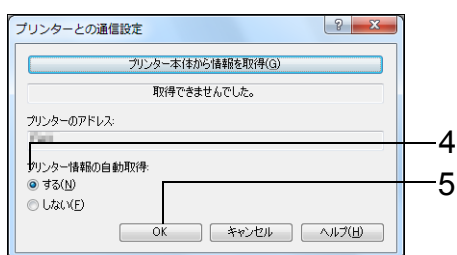
自動でプリンターの情報取得する

印刷時、プリンタードライバーの画面を表示するごとに、プリンターを自動的に取得できます。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OSによっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択し、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [プリンター構成] タブをクリックします。
3. [プリンターとの通信設定] をクリックします。



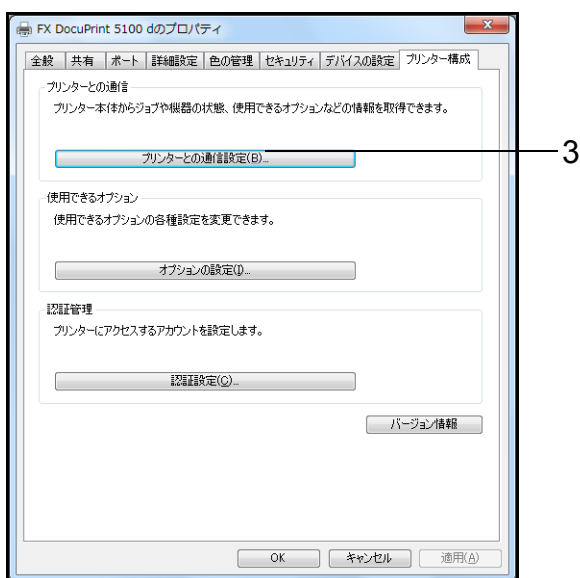
4. [プリンター情報の自動取得] で [する] を選択します。
5. [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。



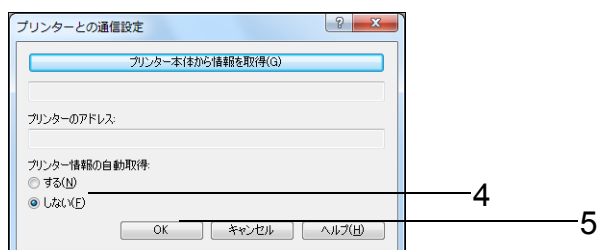
6. [OK] をクリックします。

手動でプリンターの情報を設定する

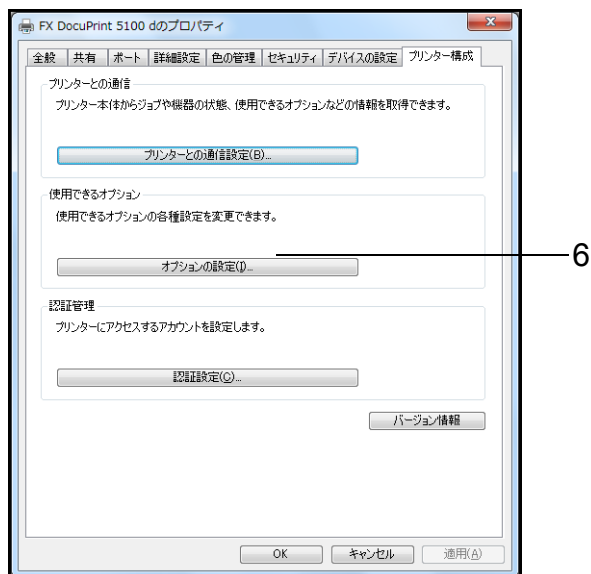
1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OSによっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択し、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [プリンター構成] タブをクリックします。
3. [プリンターとの通信設定] をクリックします。



4. [プリンター情報の自動取得] から [しない] を選択します。
5. [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

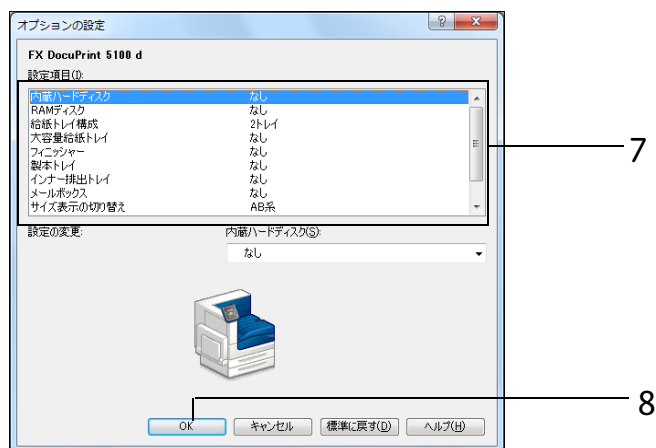


6. [オプションの設定] をクリックします。



7. [設定項目] から任意の項目を設定します。

8. [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。



9. [OK] をクリックします。

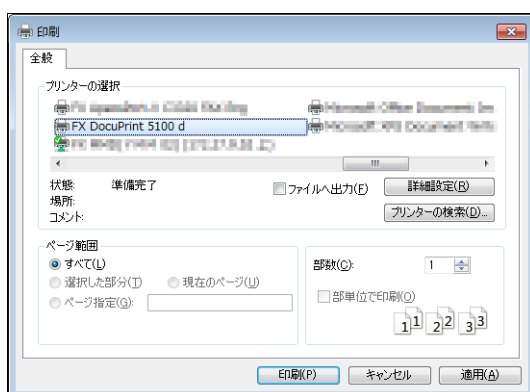
3 印刷する

3.1 コンピューターから印刷する

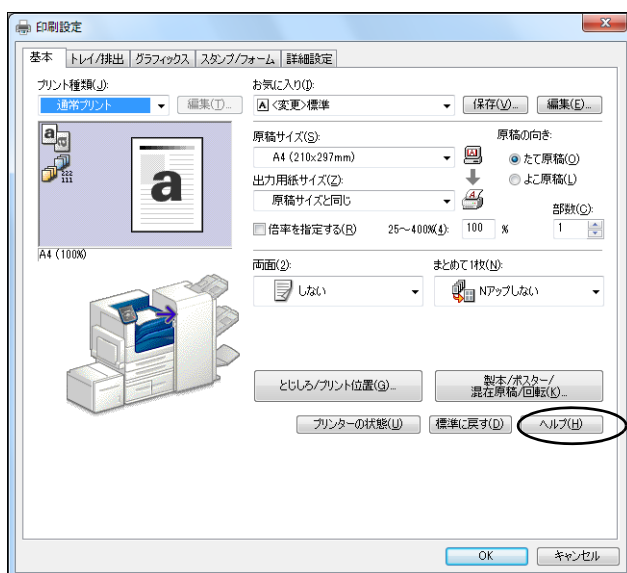
Windows のアプリケーションから印刷するための基本的な流れは、次のとおりです。ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

(ご使用になるコンピューターやアプリケーションによって、手順が異なることがあります。)

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、プロパティダイアログボックスを表示します。この例では、[詳細設定] をクリックすると、プロパティダイアログボックスが表示されます。



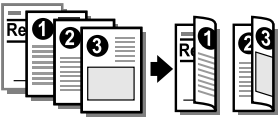
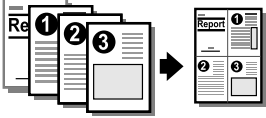
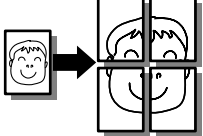

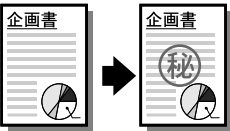
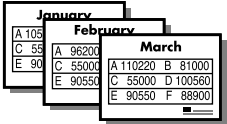
3. 各タブを切り替えて印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。各機能の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。[ヘルプ] をクリックすると、[ヘルプ] ウィンドウが表示されます。



4. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利な印刷機能

各タブで設定できる機能の一部を紹介します。各機能の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能		
基本	<ul style="list-style-type: none"> 両面 用紙の両面に印刷できます。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめて1枚(Nアップ) 1枚の用紙に、複数のページを割り付けて印刷します。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスター ポスターなどを作製するときに使用します。 
	<ul style="list-style-type: none"> 製本 正しいページ順の小冊子になるように、両面印刷とページ配分を組み合わせで印刷します。 	<ul style="list-style-type: none"> お気に入り よく使う印刷設定が登録されています。リストから項目を選択するだけで、複数の設定が一度にできます。設定内容の編集や、あらたに登録することもできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 時刻指定プリント 印刷時刻を指定できます。
	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティープリント あらかじめ、印刷データをプリンターに送っておいて、操作パネルから印刷を指示します。 	<ul style="list-style-type: none"> サンプルプリント 複数部数を印刷する場合、1部だけサンプルを印刷します。印刷結果を確認したあと、残りの部数を操作パネルから印刷します。 	
トレイ / 排出	<ul style="list-style-type: none"> トレイの高度な設定 用紙トレイを [自動] に設定したときに、優先して使用されるトレイや用紙の種類をあらかじめ設定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 表紙付け 表紙だけ、色紙や厚紙を使って印刷できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ホチキス / パンチ フィニッシャー C3 を装着すると、ホチキス留めや用紙に穴をあけることができます。また、中とじフィニッシャー C3 を装着すると、ホチキス留めやパンチ穴に加えて、用紙の二つ折りを、二つ折りにした用紙にホチキスを留めて冊子で排出することもできます。
スタンプ / フォーム	<ul style="list-style-type: none"> スタンプ 印刷データに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせて印刷します。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーム 使用頻度の高い印刷フォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。 	

補足

- 印刷機能は、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) ウィンドウのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを表示して設定することもできます。
ここで設定した内容は、アプリケーションからプロパティダイアログボックスを表示したときの初期値になります。

3.2 はがき / 封筒に印刷する

はがきや封筒に印刷する方法を説明します。

はがきや封筒は、手差しトレイから印刷できます。

補足

- ・ はがきや封筒は、トレイ 1～4、6 (3、4、6 はオプション) からは印刷できません。

手差しトレイではがき / 封筒を印刷する

はがき / 封筒を手差しトレイにセットします。

参照

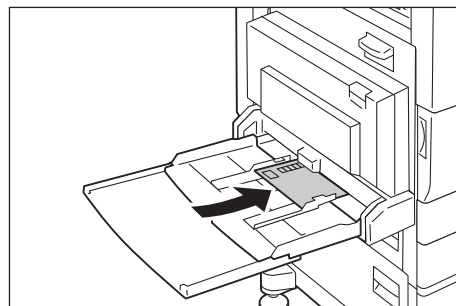
- ・ 手差しトレイに用紙をセットする手順：「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 127)

はがきをセットする

注記

- ・ 多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。

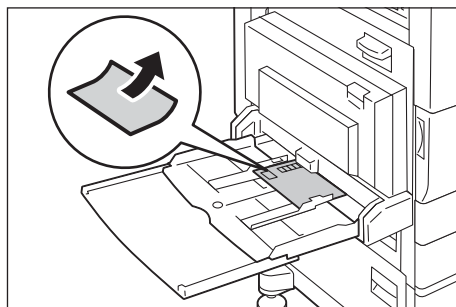
1. 印刷する面 (例：白紙面) を下にして、たて置きにセットします。このとき、郵便番号記入欄をプリンターの後ろ側に向くようにセットします。



注記

- ・ はがきが機械に送られないときは、はがきの先端を右図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、はがきを曲げすぎたり、折り目をつけてしまうと、紙づまりの原因となります。

2. 用紙ガイドを、セットしたはがきのサイズに合わせます。



封筒をセットする

本機で使用できる封筒は、次のとおりです。

- ・ 封筒洋長形 3 号 (120×235mm)
- ・ 封筒 C4 (229×324mm)
- ・ 封筒 C5 (229×162mm)

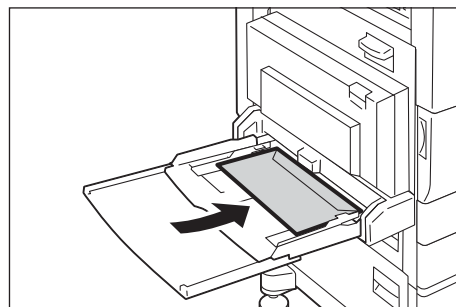
補足

- ・ 洋長形 3 号、C4、C5 以外の封筒を使用する場合は、封筒サイズをプリンタードライバーのユーザー定義サイズに登録してください。詳しくは、「定形外サイズを登録する」(P. 72) を参照してください。
- ・ プリンタードライバーで封筒 C4、または封筒 C5 を指定すると、自動的に次の設定が変更されます。
[手差し用紙種類]：[厚紙 2 (170～216g/m²)]
[用紙トレイ選択]：[トレイ 5 (手差し)]
- ・ ユーザー定義サイズには、フラップ (ふた) が開いている封筒の場合、フラップの部分を含めたサイズを登録してください (Ncolor 封筒の場合、フラップ部として 20mm を含めます)。

注記

- きれいに印刷するためには、次のような封筒は使用しないでください。
 - カールやよじれがある封筒
 - 貼り付いている封筒、破損している封筒
 - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスがある封筒
 - ひもや金属製の留め金が付いている封筒、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
 - 切手が貼ってある封筒
 - フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
 - ふちがギザギザな封筒、隅が折れている封筒
 - 表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒
 - フラップが開いたままの、のり付き封筒

- 印刷する面（例：あて名面）を下にします。封筒のフラップ（ふた）を閉じ、封筒の上部（フラップのある方）を機械側にセットします。



注記

- フラップが開いている封筒（のりなしの封筒）の場合、フラップを開けたまま、封筒の下部（フラップのない方）を機械側にセットします。
- 封筒 C4 の場合、フラップを閉じ、封筒の上部（フラップのある方）を手前側にセットします。

- 用紙ガイドを、セットした封筒のサイズに合わせます。

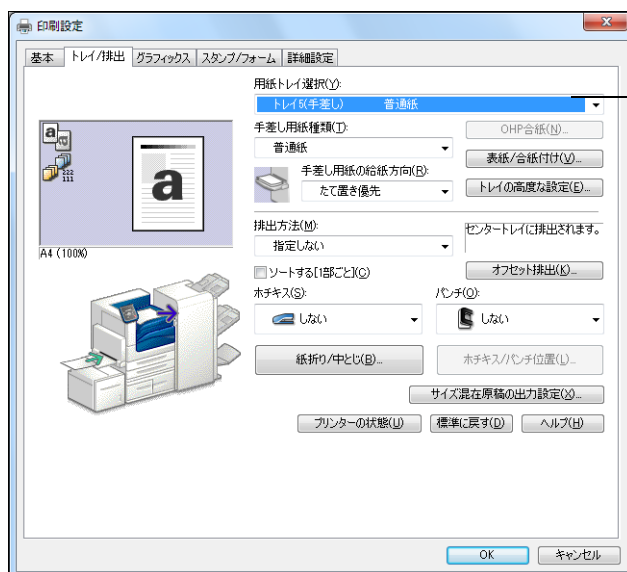
はがき / 封筒に印刷する

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例で説明します。

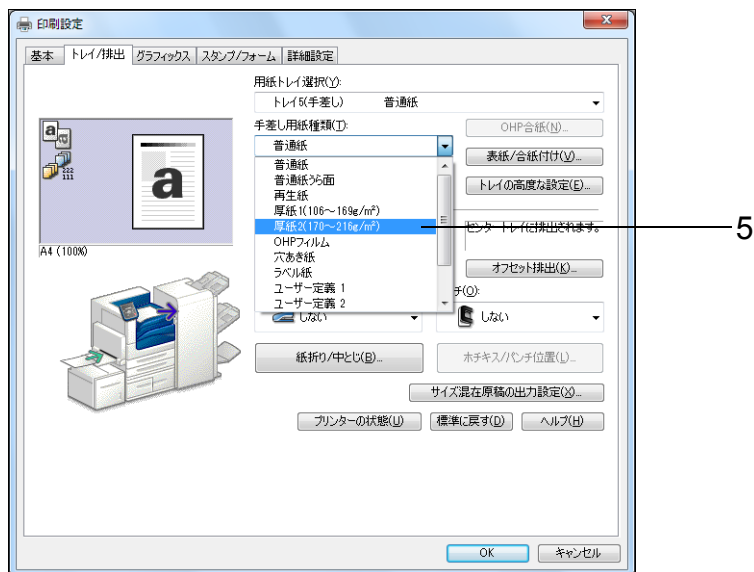
補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

- [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
- [トレイ / 排出] タブをクリックします。
- [用紙トレイ選択] から、[トレイ 5 (手差し)] を選択します。



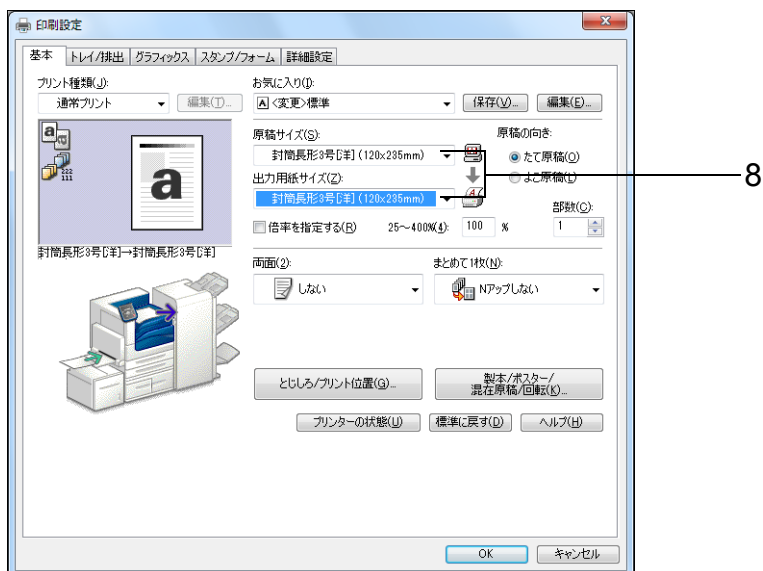
5. [手差し用紙種類] から [厚紙 2 (170 ~ 216g/m²)] を選択します。



補足

- ・一度印刷したはがきや封筒の反対面に印刷する場合は、[厚紙 2 (170 ~ 216g/m²) うら面] を選択してください。

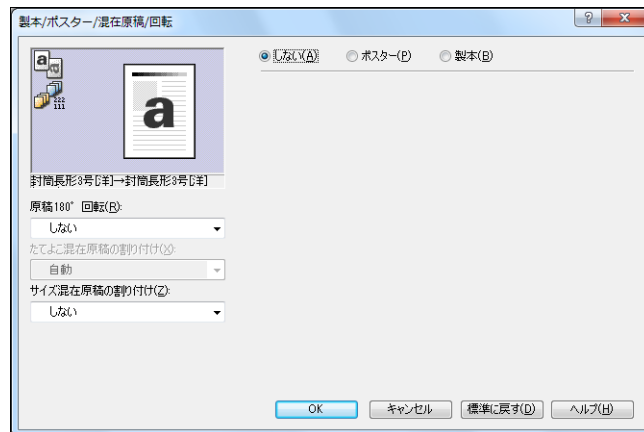
6. [手差し用紙の給紙方向] から任意の給紙方向を選択します。
7. [基本] タブをクリックします。
8. [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を選択します。



補足

- ・はがきの場合は、[はがき (100x148mm)] を選択してください。
- ・封筒洋長形 3 号の場合は、[封筒長形 3 号 [洋] (120x235mm)] を選択してください。
- ・洋長形 3 号、C 4、C 5 以外の封筒の場合は、ユーザー定義サイズとして登録したサイズを選択してください。

9. 封筒の場合は、必要に応じて [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] をクリックして [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] ダイアログボックスを表示します。
[原稿 180° 回転] を設定し、[OK] をクリックします。



補足

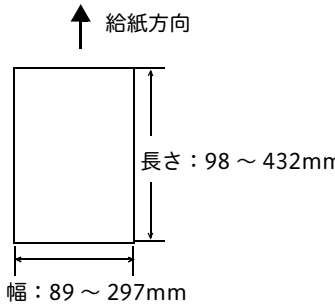
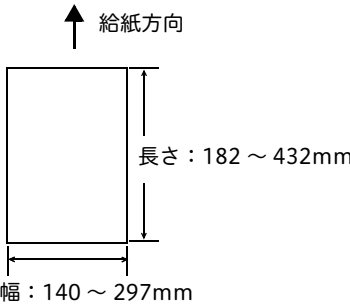
- ・ 封筒をユーザー定義サイズとして登録した場合は、[たてよこ原稿 (封筒など)] を選択してください。

10. [OK] をクリックします。

11. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、印刷を実行します。

3.3 定形外サイズの内紙に印刷する

定形外サイズの内紙に印刷する方法について説明します。
本機で利用できる内紙サイズは、次のとおりです。

手差しトレイ	トレイ 1～2 (標準トレイ) トレイ 3～4 (2トレイモジュール (オプション))
 <p>↑ 給紙方向</p> <p>長さ：98～432mm</p> <p>幅：89～297mm</p>	 <p>↑ 給紙方向</p> <p>長さ：182～432mm</p> <p>幅：140～297mm</p>

定形外サイズの内紙をセットする

定形外サイズの内紙をセットする方法は、定形サイズの内紙をセットする方法と同じです。「4.2 内紙をセットする」(P. 127)を参照してください。

定形外サイズを登録する

印刷をする前に、プリンタードライバーで定形外サイズをユーザー定義サイズとして登録します。ここでは、Windows 7 を例に、説明します。

定形外サイズの内紙をトレイ 1～4 (3～4 はオプション) にセットした場合は、あらかじめ操作パネルでトレイの内紙サイズを設定してください。

操作パネルでの設定については、「トレイの内紙サイズを設定する」(P. 136)を参照してください。

注記

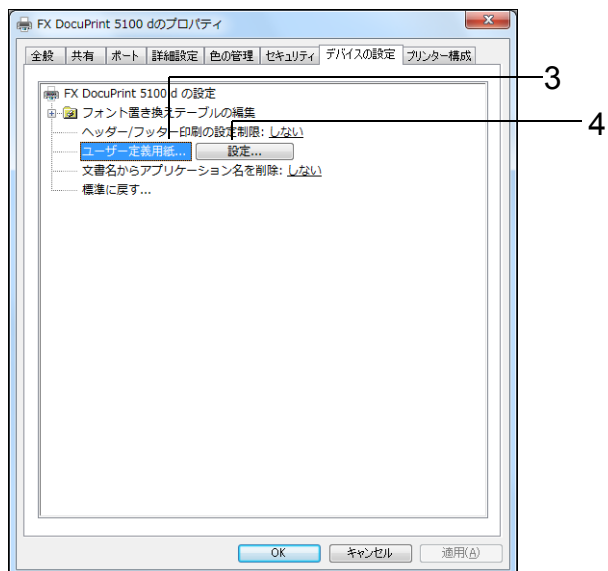
- ・プリンタードライバーおよび操作パネルで内紙サイズを設定するときは、必ず実際に使用する内紙のサイズと同じにしてください。内紙と異なるサイズを設定して印刷すると、機械の故障の原因になることがあります。

補足

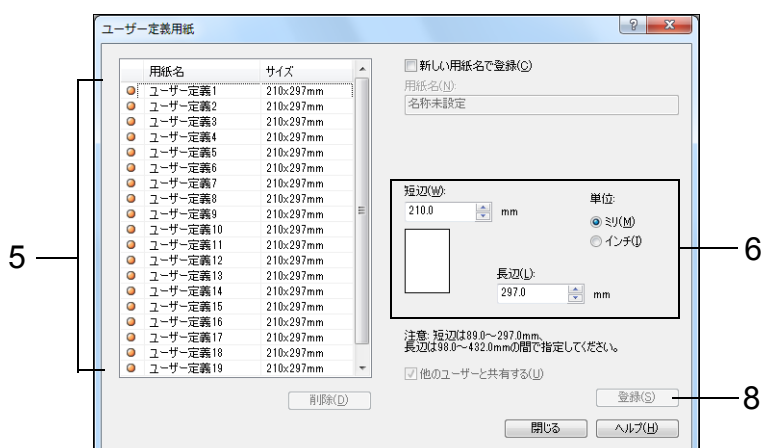
- ・管理者の権利があるユーザーだけが、設定を変更できます。管理者の権利がない場合は、内容の確認だけできます。
- ・[ユーザー定義内紙] ダイアログボックスの設定は、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択し、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [デバイスの設定] タブをクリックします。
3. [ユーザー定義内紙] をクリックします。

4. [設定] をクリックします。



5. 定形外サイズを登録する用紙名を [ユーザー定義 1] ~ [ユーザー定義 20] から選択します。



補足

- ・新しい用紙名で登録する場合は、[新しい用紙名で登録] をチェックし、[用紙名] に入力してください。

6. 短辺と長辺の長さを指定します。
キー入力、または [▲] [▼] で指定します。
短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

7. 必要に応じて、手順 5、6 を繰り返して、用紙サイズを定義します。

8. [登録] をクリックします。

補足

- ・新しい用紙名で登録した場合は、手順 10 に進みます。

9. [はい] をクリックします。
10. [閉じる] をクリックします。
11. [OK] をクリックします。

定形外サイズの内紙に印刷する

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

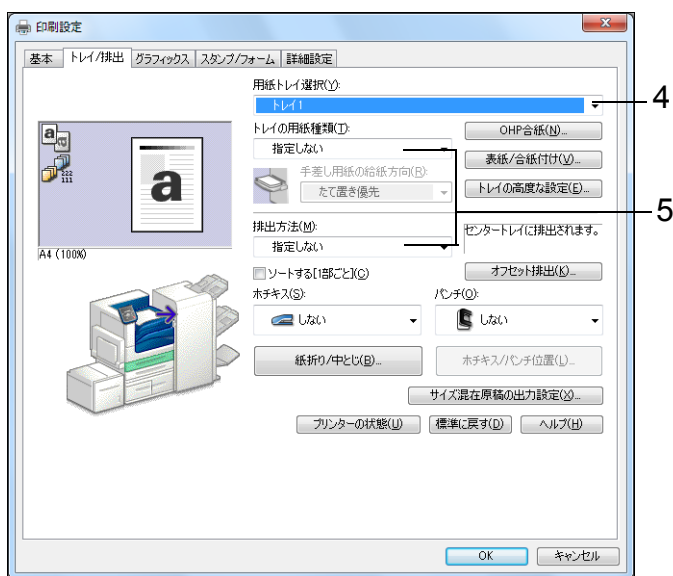
注記

- 正しい用紙サイズを設定しないで印刷すると、機械が故障する場合があります。

補足

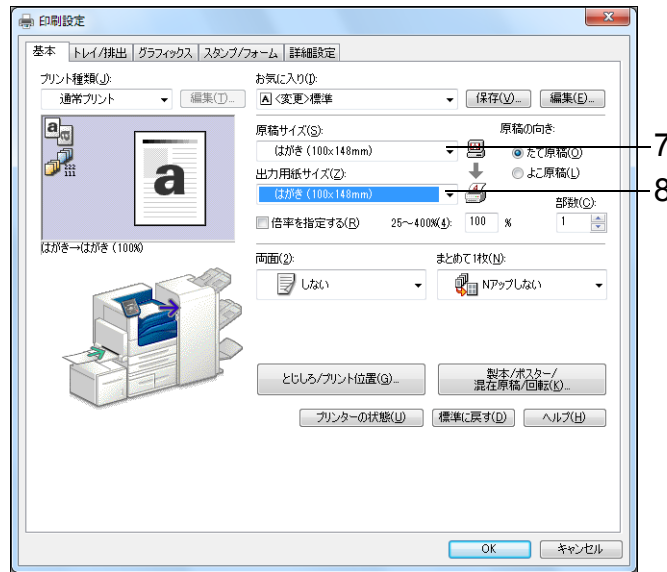
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [用紙トレイ選択] から、定形外サイズの用紙がセットされているトレイを選択します。



5. [用紙トレイ選択] で [トレイ 5 (手差し)] を選択した場合は、[手差し用紙種類] と [手差し用紙の給紙方向] を設定します。
6. [基本] タブをクリックします。

7. [原稿サイズ] から、任意の原稿のサイズを選択します。



8. [出力用紙サイズ] から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選択し、[OK] をクリックします。

9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。

3.4 さまざまな種類の用紙に印刷する

本機のトレイ 1～6 (3、4、6 はオプション) には、普通紙だけでなく、厚紙やラベル紙など、さまざまな種類の用紙をセットできます。

トレイにセットする用紙種類を変更した場合は、操作パネルで [トレイの用紙種類] の設定も変更してください。設定変更後は、プリンタードライバーに設定を読み込んでください。

注記

- ・ プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、トレイにセットされている用紙の種類が一致しない場合、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [用紙種類エラーの処理] で設定した処理が行われます。

参照

- ・ 用紙種類を設定する方法: 「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 136)、「トレイの用紙種類を変更する」(P. 137)
- ・ 設定をプリンタードライバーに読み込む方法: 「2.6 オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する」(P. 61)

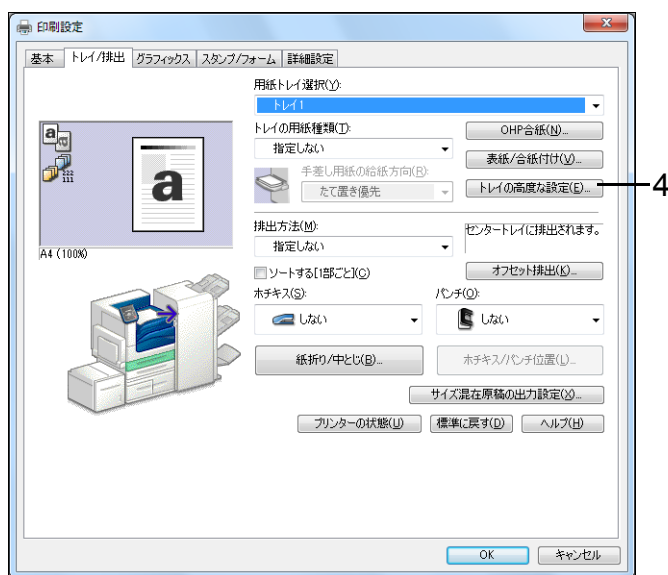
ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

用紙種類を指定して自動で印刷する

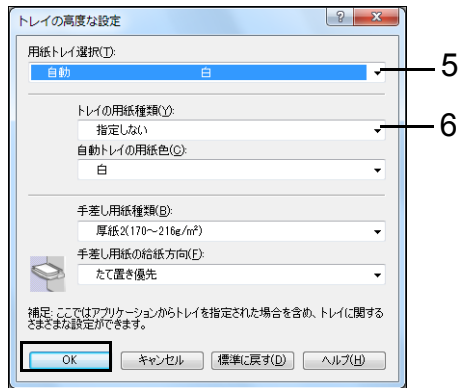
[トレイの用紙種類] の設定とトレイにセットされている用紙種類が正しくあっている場合は、プリンタードライバーでトレイを直接指定しなくても、用紙種類を指定するだけで、適切なトレイを選択して印刷します。

この方法を利用すると、どのトレイにどの用紙がセットされているかを意識しなくても印刷できます。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [トレイの高度な設定] をクリックします。



5. [用紙トレイ選択] から、[自動] を選択します。



6. [トレイの用紙種類] から印刷する用紙の種類を選択し、[OK] をクリックします。
7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。
8. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、印刷を実行します。

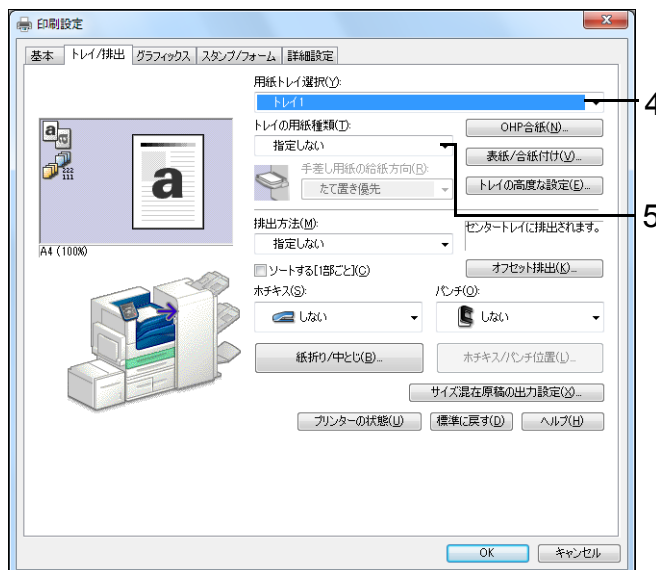
トレイと用紙種類を設定して印刷する

ここでは、トレイ1の[トレイの用紙種類]に[上質紙]が設定され、実際には普通紙がセットされている場合を例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [用紙トレイ選択] から [トレイ1] を選択します。

補足

- ・プリンターの用紙設定を読み込んでいる場合は、トレイ名の横に用紙のサイズ、向き、用紙種類、色が表示されます。



5. [トレイの用紙種類] から [普通紙] を選択します。

補足

・ここで選択した用紙種類は、そのジョブだけに有効です。プリンターに設定されているトレイの用紙種類は変更されません。

6. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

7. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、印刷を実行します。

3.5 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、セキュリティープリント機能を使用できます。

注記

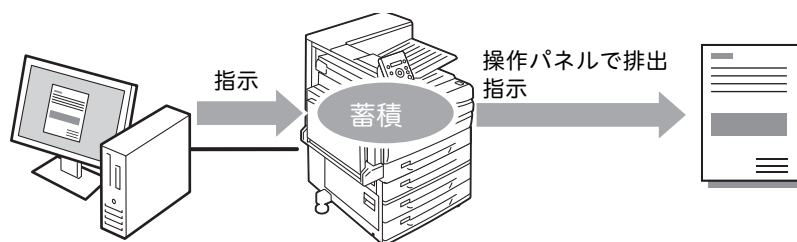
- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「7.8 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 326)

セキュリティープリント機能について

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、印刷データにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけて印刷を指示し、印刷データを本機内に一時的に蓄積させたあと、操作パネルで印刷を開始する機能です。また、セキュリティーをかけずに印刷データをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をプリンターに蓄積しておけば、コンピューターから何度も印刷を指示しなくても、本機側の指示だけで印刷できます。



補足

- ・印刷後セキュリティープリントデータを削除するかどうかは、セキュリティープリントを印刷する手順の中で選択します。「操作パネルでの操作」(P. 81) を参照してください。
- ・操作パネルの「セキュリティープリント操作」が「無効」に設定されている場合は、セキュリティープリントを出力できません。
- ・本機のプロパティダイアログボックスの「プリンター構成」タブ>「オプションの設定」>「オプションの設定」ダイアログボックスで、「暗証番号の最小桁数」を「1」以上に設定している場合は、必ず暗証番号の入力が必要になります。

セキュリティープリントをする

セキュリティープリントをする方法を説明します。

まず、セキュリティープリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。その後、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

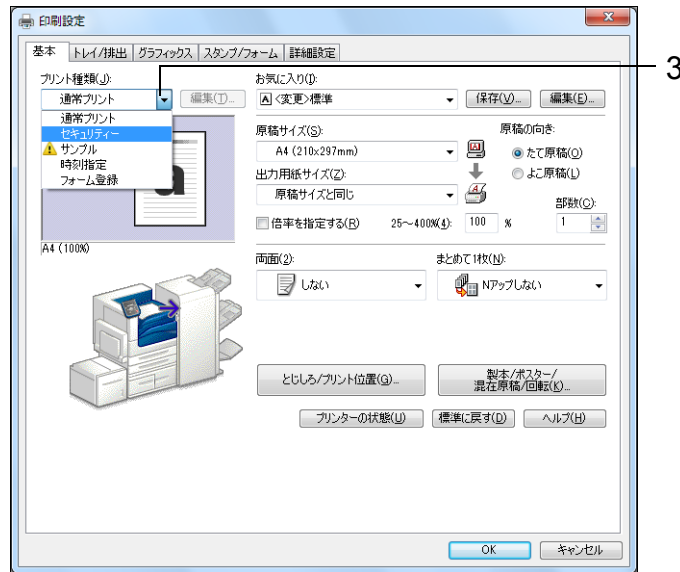
ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

補足

- ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

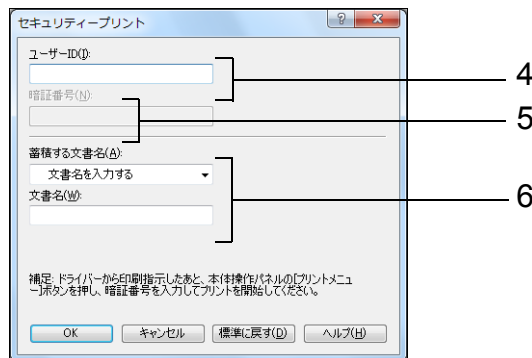
1. 「ファイル」メニューから、「印刷」を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、「詳細設定」をクリックします。

3. [基本] タブの [プリント種類] から、[セキュリティー] を選択します。



[セキュリティープリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



5. 暗証番号を付ける場合は、[暗証番号] に暗証番号を入力します。
半角数字で 12 文字まで入力できます。
6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する]、または [文書名の自動取得] を選択します。
[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。
7. [OK] をクリックします。
8. [基本] タブで [OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。
文書が本機内に蓄積されます。

操作パネルでの操作

セキュリティープリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順を説明します。

補足

- ・ 本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、印刷しないで削除する場合は、次の手順 8 のあと、[削除する] を選択してください。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティープリント



2. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択
1001.12345678



3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ ユーザー ID は、プリンタードライバーの [セキュリティープリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
暗証番号を入力する画面が表示されます。

暗証番号を入れ [OK]
[0]



5. 〈▶〉ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK]
[**7]



補足

- ・ 暗証番号は、プリンタードライバーの [セキュリティープリント] ダイアログボックスで設定した [暗証番号] を入力します。[暗証番号] を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。

6. 〈OK〉ボタンで決定します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report



7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの [セキュリティープリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・ 複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選択することもできます。

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されま
す。

補足

- ・印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押し
て、[削除する]を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタ
ンの順に押します。
- ・印刷後も、データを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボ
タンを押して、[プリント後削除しない]を表示し、手
順9に進んでください。

9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

10. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉ま
たは〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

11. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。

12. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリ
ント画面に戻ります。

1.Report
プリント後削除する



部数
1部



1.Report
[OK] でプリント開始

3.6 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、サンプルプリント機能を使用できます。

注記

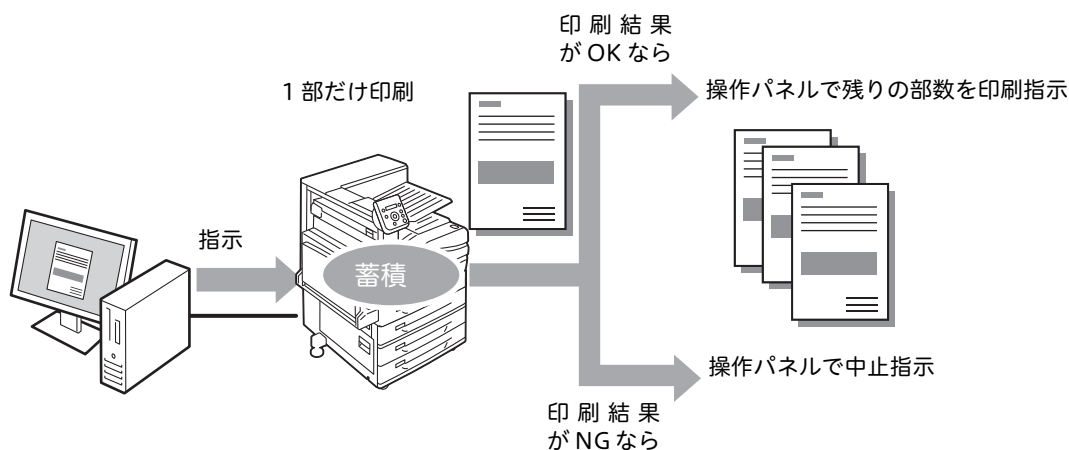
- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「7.8 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 326)

サンプルプリント機能について

サンプルプリントとは、複数部数を印刷する場合に、本機に印刷データを蓄積し、まず1部だけ印刷し、印刷結果を確認してから、残りの部数の印刷開始を操作パネルで指示する機能です。



補足

- ・不要になったサンプルプリントデータは、印刷する場合と同様の手順で削除できます。「操作パネルでの操作」(P. 85)を参照してください。

サンプルプリントをする

サンプルプリントをする方法を説明します。

まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows 7のワードパッドを例に説明します。

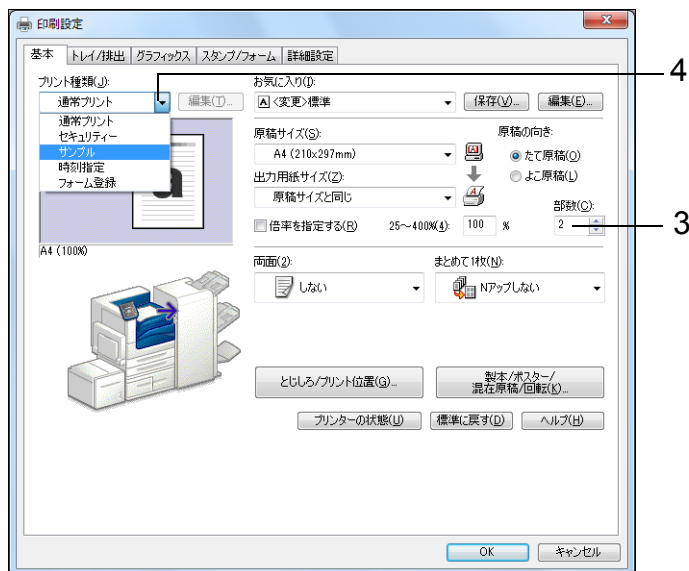
補足

- ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[部数] を 2 部以上に設定します。
4. [プリント種類] から [サンプル] を選択します。

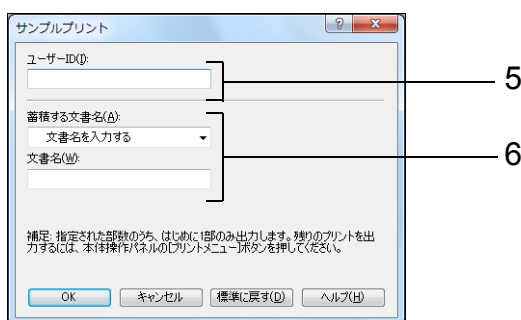
補足

- ・印刷部数を 2 部以上に設定すると、[サンプル] が選択できます。



[サンプルプリント] ダイアログボックスが表示されます。

5. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選択します。
[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。
7. [OK] をクリックします。
8. [基本] タブで [OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。

操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順、および削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
セキリタイプリント



2. [サンプルプリント] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
サンプルプリント



3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択
2001.12345678



4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ユーザー ID は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report



6. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・文書名は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選択することもできます。

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

1.Report
プリントする



補足

- ・印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。

8. 蓄積したデータを印刷する場合は、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数
1部



9. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

補足

- ・ 部数の初期値は、プリンタードライバーであらかじめ設定した部数が表示されます。

10. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。
11. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

3.7 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、時刻指定プリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「7.8 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 326)

時刻指定プリント機能について

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機に印刷データを蓄積しておき、設定した時刻に自動的に印刷する機能です。

蓄積できる印刷データは、100 ジョブまでです。

注記

- ・時刻指定プリントをしている場合は、本機の電源を切らないでください。
ハードディスクを使用し、指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後に自動的に印刷が開始されます。
RAM ディスクを使用している場合には、本機の電源を切ると、蓄積している印刷データは消去され、再び本機の電源が入っても印刷されません。

補足

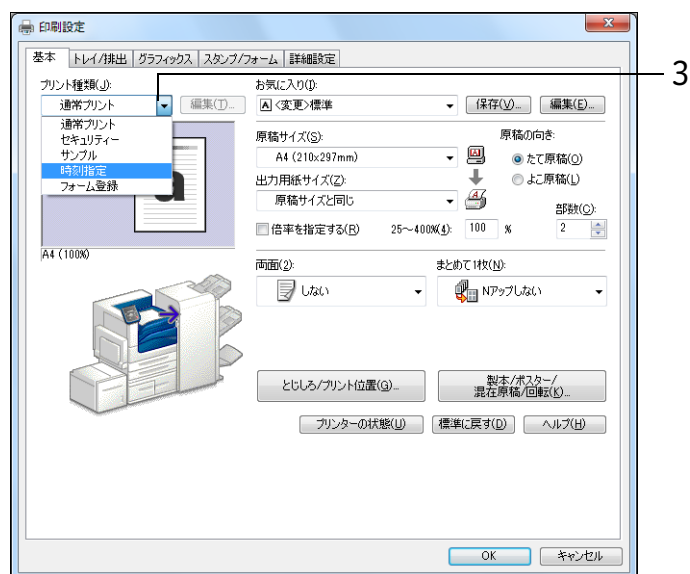
- ・この機能で指定できる時刻は、印刷指示をしたときから 24 時間以内です。

時刻指定プリントを登録する

時刻指定プリントをする方法を説明します。

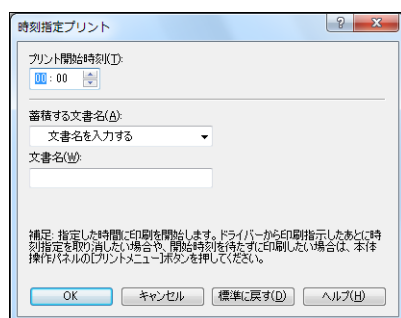
ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[プリント種類] から [時刻指定] を選択します。



[時刻指定プリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. 印刷を開始する時刻を設定します。時刻は、24 時間制です。



5. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選択します。
[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。
6. [OK] をクリックします。
7. [基本] タブで [OK] をクリックします。
8. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。指定した時刻になると、印刷が開始されます。

時刻指定プリントを中止する

時刻指定プリントを中止したい場合や、指定した時刻を無視して印刷したいときは、操作パネルで操作します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
時刻指定プリント

2. [時刻指定プリント]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
時刻指定プリント

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report

4. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの [時刻指定プリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。すぐに印刷するか、印刷しないで削除するかを選択する画面が表示されます。

1.Report
すぐにプリントする

補足

- ・ 蓄積したデータを印刷しないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。

6. すぐに印刷する場合は、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。印刷を開始させる画面が表示されます。

1.Report
[OK] でプリント開始

7. 〈OK〉ボタンを押します。印刷が開始されます。

8. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

3.8 プライベートプリント

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、プライベートプリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「7.8 RAM ディスクを使用するための設定」（P. 326）

プライベートプリント機能について

プライベートプリントとは、本体内蔵 IC カードリーダー（オプション）、または関連機器の IC カードシステムを接続している場合、コンピューターから印刷を指示したデータをプリンター内に一時的に蓄積させたあと、印刷したいときに IC カードで認証することで印刷する機能です。

コンピューターから印刷を指示したデータは、認証用ユーザー ID ごとに保存され、IC カードの認証情報と一致したユーザーの文書が印刷できます。

補足

- ・本機に接続できる IC カードシステムには、本体内蔵 IC カードリーダー（オプション）、および関連機器の IC Card Gate 2 for FeliCa、IC Card Gate 3 などがあります。本機に IC カードシステムを接続する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・IC カードシステムを接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カードシステムを接続する前に、印刷、または削除してください。
- ・複製管理またはペーパーセキュリティを使用したジョブでも、操作パネルの [プリントメニュー] > [強制印字解除プリント] を選択すると、これらの機能を解除して印刷できます。これは、強制印字の一時解除権限を持つユーザーだけができます。
ユーザーへの強制印字の一時解除権限の設定方法については、「権限グループの登録とユーザーとの関連づけ」（P. 353）をご覧ください。また、複製管理、ペーパーセキュリティ機能については、「7.9 セキュリティー機能について」 > 「複製管理機能について」（P. 331）を参照してください。
- ・プライベートプリント機能を設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できなくなります。

プライベートプリントをするための設定

本機側の設定

認証プリントは、操作パネルの [機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] で、次のどれかを設定している場合に表示されます。

- ・ [認証プリントの設定] > [受信制御] を [プライベートプリント保存] に設定。
- ・ [認証方式の設定] を [外部認証]、[認証プリントの設定] > [受信制御] を [プリントの認証に従う]、[認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [認証成功のジョブ] を [プライベートプリント保存] に設定。
- ・ [認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [PJLなしのジョブ] > [User IDがあれば利用] を [プライベートプリント保存] に設定。

参照

- ・ 「認証プリントの設定」 (P. 182)

プリンタードライバーでの設定

プライベートプリントを使用するには、プリンタードライバーのプロパティでユーザーIDの設定が必要です。このユーザー ID が認証情報と一致しないと印刷できません。

各項目に設定する内容や設定方法の詳細は、システム管理者にご相談ください。

プライベートプリントをする

プライベートプリントによって、本機内に蓄積されている印刷データは、IC カードをタッチするだけで印刷できます。

1. 操作パネルに [プリントできます] が表示されている状態で、IC カードを確実にタッチし、認証作業を行ってください。

プリントできます
トナー残量 \downarrow



認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書が印刷されます。

プリントしています

印刷データを削除する

プライベートプリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの 〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
プライベートプリント



2. [プライベートプリント削除] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
プライベートプリント削除



3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
右の画面が表示されます。

ICカードで
認証してください



4. ICカードを確実にタッチして認証作業を行ってください。
認証に成功すると、文書名が表示されます。

削除する文書を選択
1.Report



5. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ 複数文書が格納されている場合は、[全ての文書]を選択することもできます。

6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
削除を開始する画面が表示されます。

1.Report
[OK] で削除開始

7. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷データが削除されます。

8. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

3.9 オンデマンドプリント

本機にハードディスク（オプション）を取り付けて、本体に内蔵 IC カードリーダー（オプション）、または関連機器の IC カードシステムを接続している場合、コンピューターから印刷を指示したデータをいったんプリントサーバーに蓄積したあと、空いているプリンターで IC カード認証をして印刷できます。この機能をオンデマンドプリントといいます。

特定のプリンターが混雑しているときや故障時などに活用できます。

また、IC カードで認証されたユーザーの文書だけがその場で出力できるため、機密情報や個人情報データを他人にみられることがなく、盗聴や紛失・取り忘れによる情報漏洩を抑制します。

補足

- ・ 本機に接続できる IC カードシステムには、本体に内蔵 IC カードリーダー（オプション）、および関連機器の IC Card Gate 3 for FeliCa、IC Card Gate 3 などがあります。本機に IC カードシステムを接続する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・ 認証方式には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・ IC カードシステムを接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カードシステムを接続する前に、印刷、または削除してください。
- ・ 複製管理またはペーパーセキュリティを使用したジョブでも、操作パネルの [プリントメニュー] > [強制印字解除メニュー] を選択すると、これらの機能を解除して印刷できます。これは、強制印字の一時解除権限を持つユーザーだけができます。
ユーザーへの強制印字の一時解除権限の設定方法については、「権限グループの登録とユーザーとの関連づけ」(P. 353) をご覧ください。また、複製管理、ペーパーセキュリティ機能については、「7.9 セキュリティー機能について」 > 「複製管理機能について」(P. 331) を参照してください。

オンデマンドプリントをするための設定

本機側の設定

印刷指示をしたデータを蓄積するためのサーバーを CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブ > [一般設定] > [オンデマンドプリントサービス設定] で設定します。

参照

- ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

プリンタードライバーでの設定

オンデマンドプリントを使用するには、プリンタードライバーのプロパティでユーザー ID の設定が必要です。

このユーザー ID が認証情報と一致しないと印刷できません。

オンデマンドプリントをする

オンデマンドプリントによって、サーバーに蓄積されている印刷データは、IC カードをタッチするだけで印刷できます。

1. 操作パネルに [プリントできます] が表示されている状態で、IC カードを確実にタッチし、認証作業を行ってください。

プリントできます
トナー残量 ↓



認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書が印刷されます。

プリントしています

3.10 認証プリント

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、認証プリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「7.8 RAM ディスクを使用するための設定」（P. 326）

認証プリントについて

認証プリントとは、本機に本体内蔵 IC カードリーダー（オプション）、または関連機器の IC カードシステムを接続している場合に、IC カードによって本機にユーザーを認証させることにより、不正な印刷をさせない機能です。

操作パネルの [機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] > [認証プリントの設定] > [受信制御] が [認証プリントに保存] に設定されている場合、コンピューターから印刷を指示したデータは、蓄積用ユーザー ID ごとにプリンター内に一時的に保存されます。蓄積用ユーザー ID が設定されていないデータは、「No User ID」として保存されます。保存されたデータは、印刷したいときに本機側での操作で印刷できます。

補足

- ・プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ（ContentsBridge、CentreWare Internet Services を使用した印刷、メール受信プリントなど）も保存できるため、ユーザー ID なしのジョブも認証して印刷できます。
- ・本機に接続できる IC カードシステムには、本体内蔵 IC カードリーダー（オプション）、および関連機器の IC Card Gate 3 for FeliCa、IC Card Gate 3 などがあります。本機に IC カードシステムを接続する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。
- ・IC カードシステムを接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カードシステムを接続する前に、印刷、または削除してください。

認証プリントをするための設定

本機側の設定

認証プリントは、操作パネルの [機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] > [認証プリントの設定] で、次のどれかを設定している場合に表示されます。

- ・[受信制御] を [認証プリントに保存] に設定。
- ・[受信制御] を [プリントの認証に従う] に設定し、[ジョブ認証時の処理] > [認証が不正のジョブ] を [認証プリントに保存] に設定。
- ・[受信制御] を [プリントの認証に従う] に設定し、[ジョブ認証時の処理] > [UserID なしのジョブ] を [認証プリントに保存] に設定。

参照

- ・「認証プリントの設定」（P. 182）

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーのプロパティで蓄積用ユーザー ID を設定します。また、自分の文書を自分以外の人に操作させたくない場合は、蓄積用ユーザー ID に加えて、暗証番号も設定しておく必要があります。

認証プリントをする

ここでは、認証プリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティプリント



2. [認証プリント] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
認証プリント



3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。本機にICカードシステムを接続している場合は、右の画面が表示されます。ICカードを確実にタッチして認証作業を行ってください。

ICカードで
認証してください



認証に成功すると、手順 4 の画面が表示されます。手順 4 に進んでください。
IC カードシステムを接続していない場合は、右の画面は表示されません。手順 4 に進んでください。

4. ユーザー ID が表示されます。対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ユーザー ID を選択
7001. 不特定 ID



補足

- ・蓄積用ユーザー ID が設定されていない文書を印刷する場合は、ユーザー ID で [不特定 ID] を選択します。

ユーザー ID を選択
7002.12345678



5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。暗証番号を設定している場合は、右の画面が表示されます。手順 6 に進んでください。暗証番号を設定していない場合は、文書を選択する画面が表示されます。手順 8 に進んでください。

暗証番号を入力 [OK]
[0]

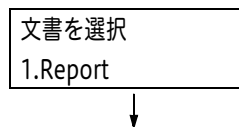


6. 〈▶〉ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入力 [OK]
[**7]



7. 〈OK〉ボタンで決定します。
文書名が表示されます。



8. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ 特定のユーザー ID に複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選択することもできます。

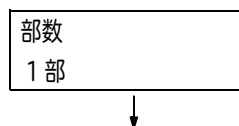
9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されま
す。



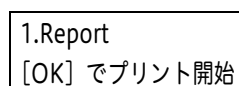
補足

- ・ 印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。
- ・ 印刷後も、データを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、[プリント後削除しない] を表示し、手順 10 に進んでください。

10. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。



11. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉ま
たは〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。



12. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。

13. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリ
ント画面に戻ります。

3.11 PDF ファイルを直接印刷する

本機では、プリンタードライバーを使用しないで、PDF ファイルを直接プリンターに送信して、印刷できます。印刷データが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用して印刷するときよりも簡単で高速に印刷されます。

また、PDF ファイルを直接印刷する場合、本機が標準で搭載している PDF Bridge 機能を使用するモードと PostScript 機能（オプション）を使用するモードを選択できます。操作パネルの [PDF] の [プリント処理モード] で、PDF ファイルの印刷処理モードを設定してください。

補足

- ・ PostScript 機能を使用するには、Adobe PostScript 3 キット（オプション）が必要です。

参照

- ・ 「[PDF]」 (P. 212)

印刷できる PDF ファイル

印刷の対象となるのは、Adobe Acrobat 4～Acrobat XI で作成された PDF ファイルです。ただし、次の機能は使用できません。

- ・ PDF Bridge 機能を使用する場合：PDF1.5 以降で追加された一部機能
- ・ PostScript を使用する場合：PDF1.7 以降で追加された一部機能

また、PDF ダイレクトプリント機能は、Adobe PDF 1.6 に対応しますが、次の点に注意してください。

PostScript を使用する場合

- ・ 透明オブジェクトなどの PDF1.6 の機能に対応していますが、レンダリング処理が複雑になるため、PDF の出力に時間がかかる場合があります。
- ・ Adobe Acrobat 7 (PDF1.6) の「OpenType フォントを埋め込む」指定には対応していません。
- ・ Adobe Acrobat 7 以降で作成された PDF1.6 の機能に対応していますが、PDF1.7 (Adobe Acrobat 8 および 9) の機能には対応していません。
- ・ PostScript のメモリー設定を最大値 (128MB) にしないと、PDF ファイルを正常に印刷できない場合があります。

補足

- ・ PDF ファイルの作成方法によって、プリンターに直接印刷できないことがあります。その場合は、PDF ファイルを開き、プリンタードライバーを使って印刷してください。

PDF ファイルを直接印刷する方法

PDF ファイルを直接印刷するには、いくつかの方法があります。

注記

- ・ USB、パラレルポートを使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

ContentsBridge Utility を使用する

ContentsBridge Utility は、コンピューター上のファイルを直接プリンターに送って印刷するための富士ゼロックス株式会社製ソフトウェアです。

ContentsBridge Utility はメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内に収録されています。使用する場合は、メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内のマニュアルを参照してください。

補足

- ・ ContentsBridge Utility を使用すると、PDF ファイル以外に、DocuWorks ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルを印刷できます。

CentreWare Internet Services から印刷する

CentreWare Internet Services の [プリント] タブから、PDF ファイルを指定して、本機に直接、印刷を指示できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・ 本機能を使用するには、ハードディスク（オプション）が必要です。
- ・ CentreWare Internet Services を使用すると、PDF ファイル以外に、DocuWorks ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルを印刷できます。

メールに添付して印刷する

PDF ファイルをメールに添付して、本機あてにメールを送信し、印刷します。詳しくは、「3.13 電子メールを使って印刷する - メール受信プリント -」(P. 102) を参照してください。

補足

- ・ 本機能を使用するには、ハードディスク（オプション）が必要です。

lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信する

PDF ファイルを直接 lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信します。この場合、次の項目は操作パネルの [PDF] の設定に従って印刷されます。

- | | |
|-------------|---------|
| ・ プリント処理モード | ・ パスワード |
| ・ 部数 | ・ ソート |
| ・ 両面 | ・ レイアウト |
| ・ 印刷モード | ・ 用紙サイズ |

参照

- ・ 「[PDF]」(P. 212)

補足

- ・ [プリント処理モード] は、オプションの Adobe PostScript 3 キットが取り付けられている場合に表示されます。
- ・ [レイアウト] は、[プリント処理モード] で [PS] が選択されている場合は表示されません。
- ・ lpr コマンドを使って印刷する場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの [部数] の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- ・ ここでは、入力する文字を太字で表します。
- ・ 空白 (スペース) は、△で表します。

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力します。

例：プリンターの IP アドレスが 192.0.2.1 で、event.pdf ファイルを印刷する

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ event.pdf
```

〈Enter〉 キー

3.12 DocuWorks ファイルを直接印刷する

本機では、プリンタードライバーを使用しないで、DocuWorks ファイルを直接プリンターに送信して、印刷できます。印刷データが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用して印刷するときよりも簡単に高速に印刷されます。

印刷できる DocuWorks ファイル

印刷できる DocuWorks ファイルは、次のとおりです。

- ・DocuWorks Ver.3 ～ 8 文書（拡張子：.xdw）
- ・DocuWorks Ver.4 ～ 8 バインダー文書（拡張子：.xbd）

補足

- ・自己解凍文書（拡張子：.exe）は印刷できません。
- ・DocuWorks ファイルの作成方法によって、プリンターに直接印刷できないことがあります。その場合は、DocuWorks ファイルを開き、プリンタードライバーを使って印刷してください。

DocuWorks ファイルを直接印刷する方法

DocuWorks ファイルを直接印刷するには、いくつかの方法があります。

注記

- ・USB、パラレルポートを使用して DocuWorks ファイルを直接印刷するときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

ContentsBridge Utility を使用する

ContentsBridge Utility は、コンピューター上のファイルを直接プリンターに送って印刷するための富士ゼロックス株式会社製ソフトウェアです。

ContentsBridge Utility はメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内に収録されています。使用する場合は、メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内のマニュアルを参照してください。

補足

- ・ContentsBridge Utility を使用すると、DocuWorks ファイル以外に、PDF ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルを印刷できます。

CentreWare Internet Services から印刷する

CentreWare Internet Services の [プリント] タブから、DocuWorks ファイルを指定して、本機に直接、印刷を指示できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・本機能を使用するには、ハードディスク（オプション）が必要です。
- ・CentreWare Internet Services を使用すると、DocuWorks ファイル以外に、PDF ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルを印刷できます。

メールに添付して印刷する

DocuWorks ファイルをメールに添付して、本機あてにメールを送信し、印刷します。詳しくは、「3.13 電子メールを使って印刷する - メール受信プリント -」(P. 102) を参照してください。

補足

- ・本機能を使用するには、ハードディスク（オプション）が必要です。

lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信する

DocuWorks ファイルを直接 lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信します。この場合、次の項目は操作パネルの [XDW (DocuWorks)] の設定に従って印刷されます。

- ・ 部数
- ・ ソート
- ・ 両面
- ・ レイアウト
- ・ 印刷モード
- ・ 用紙サイズ
- ・ パスワード

参照

- ・ 「[XDW (DocuWorks)]」 (P. 216)

補足

- ・ lpr コマンドを使って印刷する場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの [部数] の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1部として処理されます。

lpr コマンドを使って DocuWorks ファイルを印刷する場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- ・ ここでは、入力する文字を太字で表します。
- ・ 空白 (スペース) は、△で表します。

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力します。

例：プリンターの IP アドレスが 192.0.2.1 で、Report.xdw ファイルを印刷する

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ Report.xdw
```

〈Enter〉 キー

3.13 電子メールを使って印刷する - メール受信プリント -

本機にハードディスク（オプション）が取り付けられている状態で、ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的に印刷されます。

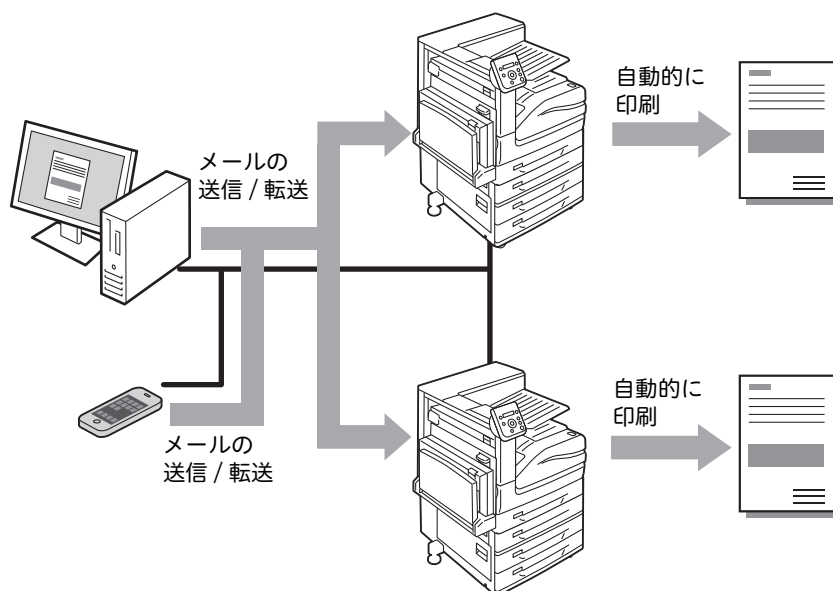
この機能を「メール受信プリント」といいます。

注記

- ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

補足

- 添付できる文書は、TIFF 形式、PDF 形式、JPEG (JFIF) 形式、XML Paper Specification (XPS) 形式、XDW 形式 (DocuWorks 文書)、XBD 形式 (DocuWorks バインダー文書) です。



メール受信プリントをするための環境設定

メール受信プリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー (SMTP サーバーや POP3 サーバーなど) にも設定が必要です。

補足

- メール環境を誤って設定すると、ネットワーク内に多大な迷惑をかける可能性があります。メール環境の設定は、ネットワーク管理者が行ってください。

ネットワーク環境の設定

- メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

メール環境に合わせて、CentreWare Internet Services の [プロパティ] で、次の項目を設定します。

補足

- ・ 設定後は、必ず [新しい設定を適用] をクリックしてから本機の電源を切り、入れ直してください。
- ・ 各項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

* : 初期値

オン : チェックボックスがチェックされている状態

オフ : チェックボックスがチェックされていない状態

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
本体説明	管理者メールアドレス	インターネットサービスの管理者メールアドレスを設定します。	英数字と「@」、「.」、「-」、「_」で、128バイト以内	○	○
	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。ここで設定したメールアドレスが、メールの [From] 欄に表示されます。			
ネットワーク設定 > ポート起動	メール受信	チェックを付けます。	-	○	○
ネットワーク設定 > プロトコル設定 > TCP/IP	ホスト名	本機のホスト名を設定します。ホスト名は、DNSの動的更新で使用されます。	英数字と「-」で、32バイト以内	○	○
	ドメイン名	DNSドメイン名を設定します。	英数字と「.」、「-」、で、255バイト以内	○	-
	DHCPからアドレスを取得 / DHCPv6-liteからアドレスを取得	IPv4用DNSサーバーアドレス / IPv6用DNSサーバーアドレスを自動的に取得する場合は、[有効] にチェックを付けます。	IPv4用： ・ オフ：手動 ・ オン：DHCP* IPv6用： ・ オフ：手動 ・ オン：DHCPv6-lite	○	-
	DNSサーバーアドレス 1～3	IPv4用 / IPv6用のDNSサーバーアドレスを設定します。	IPv4用： xxx.xxx.xxx.xx IPv6用：IPv6-addr形式	○	-
	DNSの動的更新 (IPv4/IPv6)	IPv4用 / IPv6用DNSを動的に更新する場合は [する] に、また上書きする場合は [上書きする] にチェックを付けます。	・ する ・ 上書きする*	○	-

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク 設定 > プロト コル設定 > TCP/IP	ドメイン検索 リストの自動 作成	ドメイン検索リストを自動作 成する場合は、[する]に チェックを付けます。	・ オン：自動 作成する* ・ オフ：自動 作成しない	○	-
	検索ドメイン 名 1～3	検索するドメイン名を指定し ます。	英数字と「.」、 「-」、で、255 バイト以内	○	-
	タイムアウト	ドメインを検索する場合のタ イムアウト時間を設定しま す。	1～60 秒 1 秒*	○	-
	DNS 名前解決 の IPv6 優先	デュアルスタックモード時に IPv6 用 DNS の名前解決を優 先する場合は、[する]に チェックを付けます。	・ オン：優先 する* ・ オフ：優先 しない	○	-
サービス設定 >メール>初期 値>送信者 アドレス>編 集	受信 プロトコル	メールの受信方法を設定しま す。	・ SMTP ・ POP3*	○	-
	受信メール シートの プリント	受信したメールの添付文書と 共に、電子メールのヘッダー と本文を印刷する場合に設定 します。電子メールの受信経 路などを印刷したいときは [ヘッダーすべてと本文をプ リント]に設定します。	・ しない (添付文書 のみ印刷) ・ 本文がな ければプ リントし ない ・ ヘッダー の一部 と本文を プリント * ・ ヘッダー すべて と本文を プリント	○	○
	送達確認 メールの自動 プリント	配達確認のメールを印刷する かどうかを設定します。	・ しない* ・ する ・ 不達時 のみプ リント する	○	○
ネットワーク 設定 > プロ コル設定 > POP3	POP3 サー バー IP アド レス (ホスト 名) とポート 番号	メール受信用の POP3 サー バーの IP アドレス、IPv6- addr 形式、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。 また、POP3 サーバーで使 用しているポート番号を設 定します。	英数字と「.」、 「-」で、128 バイト以内 1～65535	-	○
	POP 受信パ スワードの 暗号化	POP 受信の認証に APOP を 使用する場合は、[APOP 認 証]にチェックを付けます。	・ オフ：使 用しな い* ・ オン：使 用する	-	○
	POP ユー ザー名	POP3 サーバーに接続するた めのユーザー名を設定しま す。1 ユーザーだけ設定で きます。	ASCII 図形文 字 (コード 番号 33～126 の文字) で、 64 バイト以内	-	○

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク設定 > プロトコル設定 > POP3	POP ユーザーパスワード	POP ユーザー名に対するパスワードを設定し、[POP ユーザーパスワードの確認入力]にもう一度パスワードを入力します。	ASCII 印字可能文字 (ASCII 図形文字にスペースを加えたコード番号 32 ~ 126 の文字) で、64 バイト以内	-	-
	POP3 サーバー確認間隔	POP3 サーバーにメールを確認する間隔を設定します。	1 ~ 120 分 10 分*	-	○
ネットワーク設定 > プロトコル設定 > SMTP	SMTP サーバー IP アドレス (ホスト名)	メール受信用の SMTP サーバーの IP アドレス、IPv6-addr 形式、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。 ・ IPv4 の場合、 xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ~ 255 の間の数値です。 ・ IPv6 の場合、 xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx の形式で入力します。xxxx は 16 進数です。 ・ 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。	英数字と「.」、 「-」で、128 バイト以内	○	-
	送信ポート番号 (メール)	SMTP サーバーで使用している送信用のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	○	○
	受信ポート番号	SMTP サーバーで使用している受信用のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	○	-
	SMTP-SSL/TLS 通信	SSL/TLS 通信の接続方法について設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無効 ・ STARTTLS 接続 (利用可能時) ・ STARTTLS 接続 ・ SSL/TLS 接続 	○	-

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク 設定>プロト コル設定> SMTP	本体メールア ドレス	本機のメールアドレスを設定 します。 SMTP 受信の場合、アカウ ント (@ マークの左側) は、任 意の名称を設定できます。ア ドレス部 (@ マークの右側) には、ホスト名とドメイン名 を組み合わせるものを設定し ます。エイリアスは設定でき ません。 ・アカウント名 : mymail ・ホスト名 : myhost ・ドメイン名 : example.com の場合、メールアドレスは、 mymail@myhost.example.com と なります。	メールアドレ スとして登録 可能な文字 で、128 バイ ト以内	○	-
	SMTP 送信の 認証	SMTP 送信時の認証方法を 設定します。	・ 利用しない * ・ POP before SMTP ・ SMTP AUTH	○	-
	SMTP AUTH- ログ イン名	認証が必要な SMTP サー バーの場合、認証用のユー ザー名を設定します。	ASCII 図形文 字 (コード番 号 33 ~ 126 の文字) で、 64 バイト以内	○	-
	SMTP AUTH- パス ワード	SMTP サーバーの認証用パス ワードを設定します。	ASCII 印字可 能文字 (ASCII 図形 文字にスペー スを加えた コード番号 32 ~ 126 の 文字) で、64 バイト以内	○	-

メールを受信する

受信できる添付ファイル

本機が受信できるメールの添付文書は、次のとおりです。

- ・PDF ファイル (Adobe Acrobat 4 ~ Acrobat XI で作成された PDF ファイル。ただし、PDF Bridge を使用する場合は PDF1.5 以降で追加された一部機能が、PostScript を使用する場合は PDF1.7 以降で追加された一部機能が使用できません。)
- ・TIFF ファイル
- ・XML Paper Specification (XPS) ファイル
- ・JPEG (JFIF) ファイル
- ・DocuWorks ファイル

メールを受信する

ここでは、Outlook を例に、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、XML Paper Specification (XPS) 添付文書がある場合は添付します。

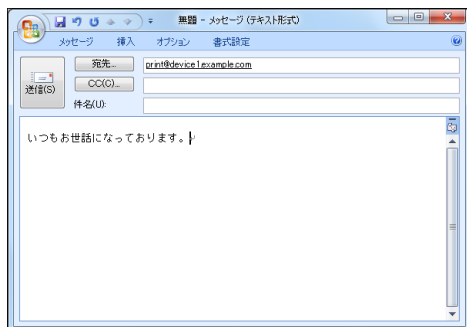
補足

- ・メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分のみ印刷されます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文は印刷されません。
- ・添付ファイルの拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jiff」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外は、正しく印刷されないことがあります。
- ・添付ファイルの拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、印刷されます。
- ・添付ファイルの拡張子は、大文字 / 小文字の区別はされません。
- ・最大 31 文書まで添付できます。
- ・なお、本機で印刷できない形式の文書は、添付文書数にカウントされません。
- ・本機がサポートする Web メールは次のとおりです。
 - ・ Orangesoft xgate
 - ・ beat モバイルメール
 - ・ Yahoo Mail
 - ・ Google Gmail

参照

- ・本機がサポートする Web メールであっても、送信方法によっては正しく印刷されないことがあります。詳しくは、「6.8 ネットワーク関連のトラブル」>「メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル」(P. 295) を参照してください。

2. あて先に本機のメールアドレスを入力します。



3. メールを送信します。

メールを転送する

ここでは、Web メールを例に、コンピューターや携帯電話で受信したメールを本機に転送する方法を説明します。

1. 携帯電話などから Web メールを転送指示します。添付文書がある場合はメール本文に添付します。

補足

- ・メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分のみ印刷されます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文は印刷されません。
- ・添付ファイルの拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jif」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外は、正しく印刷されないことがあります。
- ・添付ファイルの拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、印刷されます。
- ・添付ファイルの拡張子は、大文字 / 小文字の区別はされません。
- ・最大 31 文書まで添付できます。
なお、本機で印刷できない形式の文書は、添付文書数にカウントされません。
- ・本機がサポートする Web メールは次のとおりです。
 - ・ Orangesoft xgate
 - ・ beat モバイルメール
 - ・ Yahoo Mail
 - ・ Google Gmail

参照

- ・本機がサポートする Web メールであっても、転送方法によっては正しく印刷されないことがあります。詳しくは、「6.8 ネットワーク関連のトラブル」>「メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル」(P. 295)を参照してください。

2. 転送先に本機のメールアドレスを入力します。

- ・例：print@device1.example.com

3. メールを転送します。

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときにジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は、次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
両面 / 片面	片面	simp
	両面 (長辺とじ)	dup
	両面 (短辺とじ)	tumble
N-up ^{*1 *2} (まとめて一枚)	1 アップ ^{*3}	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up
用紙サイズ	A3	a3
	B4	b4
	A4	a4
	B5	b5
	レター (8.5 × 11")	letter
	リーガル	legal

*1 添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、操作パネルの [PDF] > [プリント処理モード] を [PS] に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップで印刷されます。

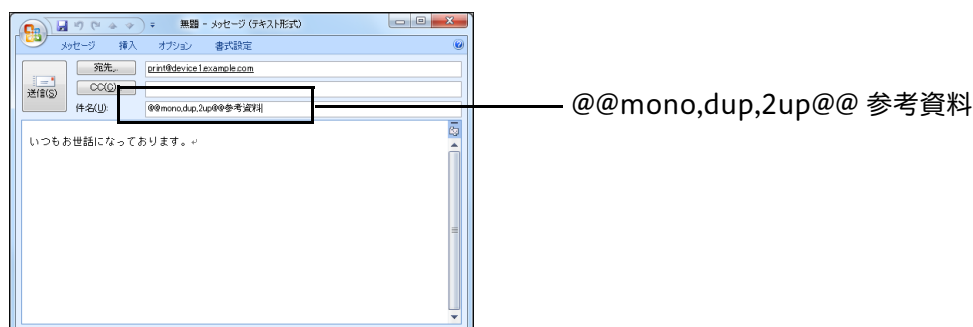
*2 メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。

*3 [1 アップ] を指定した場合は、出力サイズに印刷内容が収まるように原稿を自動的に拡大縮小して印刷されます。

補足

- ・本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従って印刷されます。
- ・原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付ファイルの種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。
 2. メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。
ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ (,) で区切り、「@@ ジョブ属性 (, ジョブ属性) (, ジョブ属性) @@」と入力します。
- 例) 件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up で印刷する場合



補足

- ・ ジョブ属性を指定するときに、大文字、小文字の区別はありません。
- ・ ジョブ属性、カンマ (,)、およびアットマーク (@) は、半角を使用してください。

参照

- ・ メール本文の印刷は、CentreWare Internet Services の [受信メールシートのプリント] でも設定できます。設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

3. メールの件名を確認し、送信します。

補足

- ・ ジョブ属性を件名のあとに入力したり、本機がサポートしていないジョブ属性を指定したり、ジョブ属性を指定しないでメールを送信した場合、メール本文と添付文書は、次の設定で印刷されます。定義されたジョブ属性以外の文字列が指定された場合も、次の設定で印刷されます。
- ・ TIFF、または JPEG 形式の添付文書：CentreWare Internet Services の [エミュレーション設定] にある、[TIFF/JPEG] の [使用するメモリー設定] で設定されている論理プリンターの設定値。
- ・ PDF 形式の添付文書：操作パネルの [PDF] の設定値。ただし、操作パネルの [PDF] の [プリント処理モード] を [PS] に設定していて、CentreWare Internet Services の [エミュレーション設定] にある [PostScript] のデフォルト論理プリンターを設定している場合は、論理プリンターの設定値が操作パネルの [PDF] の設定値に優先して適用されます。
- ・ XML Paper Specification (XPS) ファイルの添付文書：XML Paper Specification (XPS) に含まれる PrintTicket の設定（操作パネルの [XPS] の設定によって動作は異なります）
- ・ XDW、または XBD 形式の添付文書：操作パネルの [XDW (DocuWorks)] で設定されている設定値。

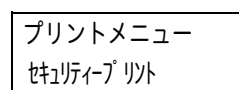
メールを手動で受信して印刷する

本機では、メールを受信すると自動的に印刷されますが、操作パネルから手動でメールを受信し、印刷することもできます。(POP メール受信時のみ)

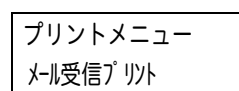
補足

- ・ この機能はオプションのハードディスクが装着され、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [ポート起動] > [メール受信] が [起動] に、[プロパティ] > [メール設定] > [受信プロトコル] が [POP3] に設定されている場合に使用できます。

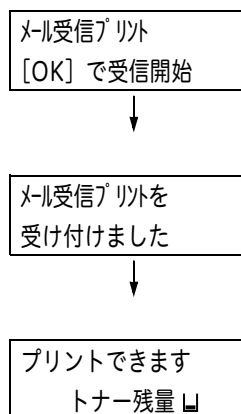
1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。



2. [メール受信プリント] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。



3. <▶> または <OK> ボタンで選択します。
受信を開始させる画面が表示されます。
4. <OK> ボタンを押します。
メールの受信が始まります。受信後、文書
が印刷されます。
- 印刷が終わると、自動的にプリント画面に
戻ります。



メールによる文書送信時のご注意

セキュリティーに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。そのため、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりしないよう、セキュリティーに関するご注意が必要です。

したがって、重要情報はセキュリティーが確保されているほかの方法を利用することをお勧めします。また、不要メールの受信を抑制するため、本機のメールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

ドメインによる受信制限

本機では、特定のドメインからだけのメールを受信するように設定できます。ドメインによる受信制限の設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

インターネットプロバイダーと本機を接続してメール機能を使用するときのご注意

- ・インターネットプロバイダーとの契約が定額制、常時接続でない場合、本機がメールサーバーに受信データを定期的に取りに行くため、その都度通信料金がかかります。
- ・IP マスカレードされた環境で接続してください。本機にグローバル IP アドレスを割り当てて接続した場合の動作は保証しません。
- ・POP 受信を行う場合には、必ず本機専用のメールアカウントを申請してください。ほかのユーザーと共通のメールアカウントを使用すると、トラブルの原因になります。
- ・インターネットの回線速度が遅い場合、画像データなど容量の多いデータの受信に時間がかかることがあります。
- ・SMTP 受信を許可しているプロバイダーもあります。その場合、プロバイダー側と綿密な調整が必要です。
- ・プライベートセグメントに MTA (Mail Transfer Agent) を立てて運用している環境への設置は、運用形態に合わせてください。

3.14 Google クラウドプリントを使って印刷する

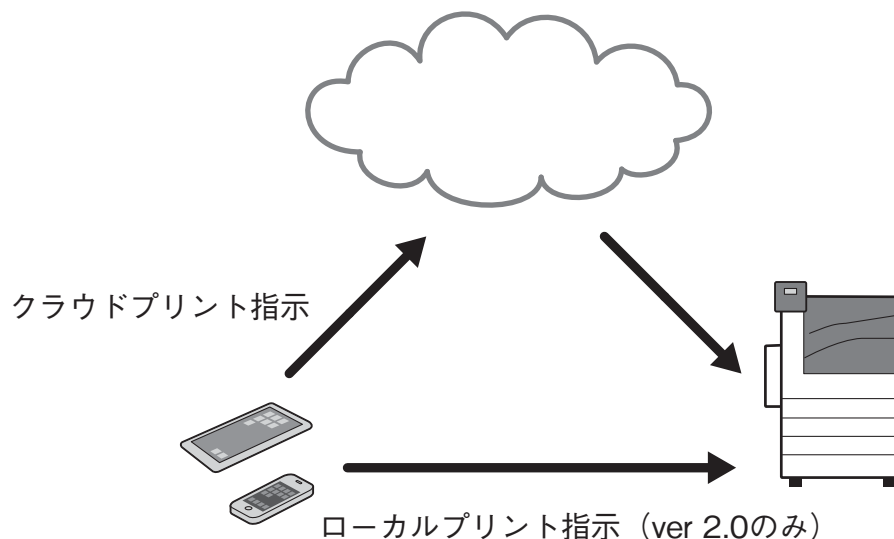
Google クラウドプリントを使用する方法について説明します。

Google クラウドプリントについて

Google クラウドプリントは、Google Inc. が提供するクラウド印刷サービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、本機を Google クラウドプリントに登録することで、Android™ 端末や iOS 搭載端末等から Gmail™ ウェブメールサービスや Google ドキュメント™ プログラムの文書などをプリントできます。

補足

- ・本機は Google クラウドプリント ver 1.1 および 2.0 に対応しています。Google クラウドプリント ver 2.0 では、プリント指示をクラウドを経由させずに本機に送ることができます。
- ・本書に記載されている Google クラウドプリントについての情報は、2014 年 12 月現在のものです。Google クラウドプリントの最新の情報については、Google クラウドプリントのヘルプを参照してください。
- ・Google クラウドプリントを利用してお使いの機械からプリントできるクライアント環境（対応 OS、対応ブラウザ、対応アプリケーション）については、Google クラウドプリントのヘルプを参照してください。



使用環境の設定

Google クラウドプリントを利用するための設定について説明します。

本体側の設定

Google クラウドプリントを使用するには、本機が IPv4 のネットワークに接続され、インターネットに接続できる必要があります。あらかじめ、本機に次の設定がされていることを確認してください。

IC カードリーダー	設定内容	参照
プロトコル設定	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で本機を使用するための設定 DNS の設定* 	「1.3 ネットワーク環境を設定する」(P.36)
プロキシサーバー設定	<ul style="list-style-type: none"> サーバー名、ポート番号、ログイン名、パスワードなど、インターネットに接続するための設定 	CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

* お使いの環境に合わせて、必要な場合はこの項目を設定してください。

■ プロトコル設定

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] > [TCP/IP 設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP (IPv4) 環境で本機を使用するための項目を設定します。

参照

- ・ ネットワーク環境の設定方法については、「1.3 ネットワーク環境を設定する」(P.36) を参照してください。

補足

- ・ Google クラウドプリントは、IPv6 環境では動作しません。

3. DNS サーバーを手動で設定する必要がある場合は、[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] > [TCP/IP 設定] で、DNS サーバーの設定をします。

参照

- ・ DNS サーバーの設定方法については、「[DNS サーバー設定]」(P.161) を参照してください。

■ プロキシサーバー設定

補足

- ・ お使いの環境に合わせて、必要な場合はこの項目を設定してください。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services が起動されます。

補足

- ・ CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [プロキシサーバー設定] で、サーバー名、ポート番号、ログイン名、パスワードなど、インターネットに接続するための項目を設定します。



補足

- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

参照

- ・プロキシサーバーの設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

Google クラウドプリントへの複合機の登録

CentreWare Internet Services を使用して [Google クラウドプリント] ポートを起動し、Google クラウドプリントにお使いの機械を登録する手順を説明します。

Google クラウドプリントにお使いの機械を登録するには、あらかじめ本機能を利用するユーザーの Google アカウント（メールアドレス）を作成しておく必要があります。

Google クラウドプリント ver 1.1 と ver 2.0 では、登録の手順が異なります。

手順	Google クラウドプリント ver 1.1	Google クラウドプリント ver 2.0
1	「用紙の準備」(P.113)	ver 2.0 では用紙の準備は不要です。
2	「[Google クラウドプリント] ポートの起動」(P.114)	「[Google クラウドプリント] ポートの起動」(P.114)
3	「Google クラウドプリント ver 1.1 への本機の登録」(P.115)	「Google クラウドプリント ver 2.0 への本機の登録」(P.116)

参照

- ・アカウントの作成方法について詳しくは、Google Inc. のウェブサイトを参照してください。

■ 用紙の準備

登録の手順では、お使いの機械から登録手順書が出力されます。登録作業を始める前に、次の設定をしてください。

補足

- ・登録完了後、変更前の設定に戻してください。

1. [仕様設定] > [プリント設定] > [用紙の置き換え] で、[近いサイズを選択] を設定します。

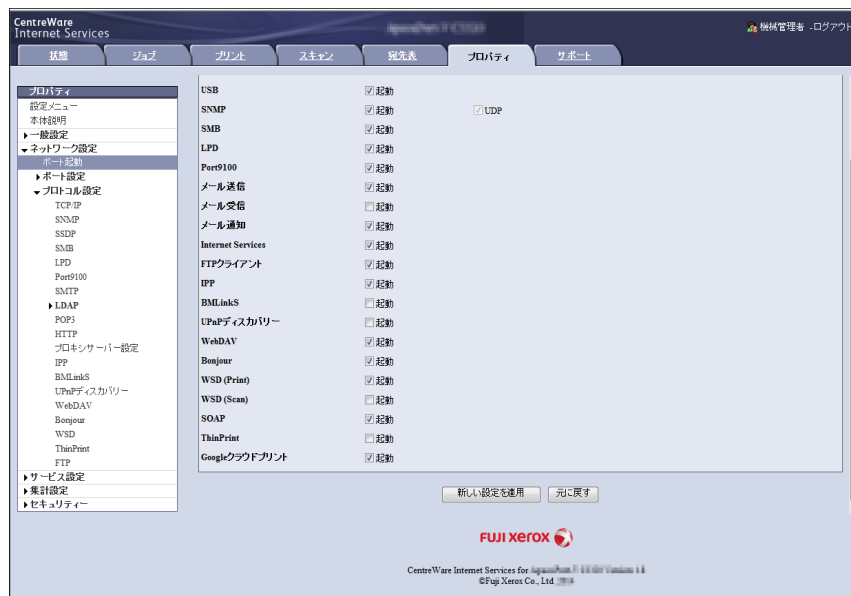
■ [Google クラウドプリント] ポートの起動

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services が起動されます。

補足

- ・ CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [ポート起動] で、[Google クラウドプリント] の [起動] にチェックを付けます。
Google クラウドプリント ver 2.0 に本機を登録する場合は、[Bonjour] の [起動] にもチェックを付けます。

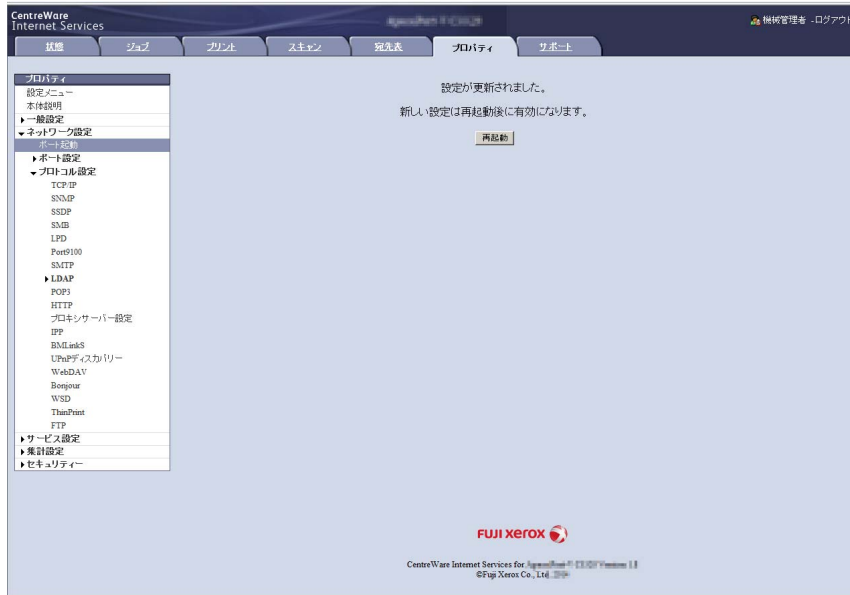


補足

- ・ 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

4. [新しい設定を適用] をクリックします。

- Web ブラウザーに、本機の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。



補足

- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

- 確認画面で [OK] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

■ Google クラウドプリント ver 1.1 への本機の登録

- 本機が再起動したら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
- [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] で [Google クラウドプリントに登録] をクリックします。



補足

- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

3. メッセージが [未登録] から [登録中] に変わり、本機から登録手順書がプリントされることを確認します。
この登録手順書は、次の手順以降が必要です。

補足

- ・ [登録中] のメッセージは手順 6 で登録処理が完了すると、[登録済み] に変わります。
- ・ [登録中] が表示されてから、14 分以内に手順 6 までの操作を行ってください。

4. Web ブラウザーのアドレス入力欄に登録手順書に記載されている URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

補足

- ・ 登録手順書に記載されている QR コードからカメラ機能付きスマートフォンを使って、登録ページにアクセスすることもできます。

5. 本機能を利用するユーザーの Google アカウント名とパスワードを入力してログインします。

補足

- ・ ここでログインするアカウントは、登録時に本機のオーナーとして設定されます。

6. [プリンタ登録を完了] をクリックします。
これで Google クラウドプリントへの登録は完了です。
7. [Manage your printers] をクリックします。
8. 本機がリストに表示されていることを確認します。
登録が完了すると、オーナーのアカウントでログインすることで、本機からプリントできます。

補足

- ・ 登録に失敗した場合は、手順 2 に戻って [Google クラウドプリントに登録] をクリックし、登録手順書をプリントし直してください。
- ・ オーナー以外のアカウントで本機能を利用したい場合は、共有の設定をしてください。共有の設定については、「複数ユーザーによる本機の共有について」(P.117) を参照してください。

■ Google クラウドプリント ver 2.0 への本機の登録

補足

- ・ 本機を Google クラウドプリント ver 2.0 に登録するには、お使いのコンピューターに Google Chrome™ がインストールされている必要があります。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、Google Chrome を起動します。

補足

- ・ お使いの Google アカウントにログインしていない場合は、ログインしてください。

2. 画面の右上にある [☰] をクリックします。
3. ドロップダウンメニューの [設定] をクリックします。
4. [詳細設定を表示...] をクリックします。
5. [Google クラウドプリント] の下にある [管理] をクリックします。
プリンター管理画面が表示され、[新しいデバイス] の下に登録できるプリンターの一覧が表示されます。
6. 登録できるプリンターの一覧に本機が表示されていることを確認し、右の [登録] をクリックします。
7. 確認画面で [登録] をクリックします。
8. 機械管理者として、本機の認証モードに入ります。

9. 本機のメニュー画面で、[仕様設定 / 登録] > [仕様設定] > [プリンター設定] > [Google クラウドプリント登録] を選択します。
10. 確認画面で [はい (登録する)] を押します。
しばらくすると、Google Chrome のプリンター管理画面の [マイデバイス] に、本機が追加され、Google クラウドプリント ver 2.0 への登録が完了します。
登録が完了すると、オーナーのアカウントでログインすることで、本機からプリントできます。

本機の登録状況の確認

本機が Google クラウドプリントに登録されているかどうかは、CentreWare Internet Services で確認できます。

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に本機の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。CentreWare Internet Services が起動されます。

補足

- ・ CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] をクリックします。
登録状況によって、[登録済み] または [未登録] と表示されます。



補足

- ・ 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- ・ ネットワーク環境や混雑具合によっては、Google 側の登録処理が完了するまで時間がかかることがあります。
- ・ [プロトコル設定] で [Google クラウドプリント] が表示されない場合は、Google クラウドプリントポートが起動していない可能性があります。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

複数ユーザーによる本機の共有について

本機を共有したいユーザーの Google アカウントを登録しておくことで、オーナー以外のユーザーも Google クラウドプリントを利用して、本機からプリントできるようになります。

補足

・登録の手順について詳しくは、Google クラウドプリントのヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを開いて、オーナーのアカウントで Google クラウドプリントにログインします。
2. Google クラウドプリントの管理画面で、[プリンタ] をクリックします。
3. 本機を選択して、[共有] をクリックします。
4. 表示された画面で、共有するユーザーの Google アカウント（メールアドレス）を入力し、[共有] をクリックします。
[アクセス権のあるユーザー] リストに追加されます。

補足

・リストに追加されたユーザーが Google クラウドプリントにログインすると、オーナーにより共有の設定が行われたことを示すメッセージが表示されます。共有に同意してください。

Google クラウドプリントへの本機の登録の解除

Google クラウドプリントへの登録を解除する手順を説明します。

補足

・Google クラウドプリントのプリンター管理画面からお使いの機械の登録を解除しても、機械側には設定が反映されません。必ず CentreWare Internet Services から、次の手順で登録の解除を行ってください。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services が起動されます。

補足

・CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] で、[登録を解除] をクリックします。



補足

・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

4. メッセージが [登録済み] から [未登録] に変わることを確認します。



補足

- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- ・ネットワーク環境や混雑具合によっては、Google側の解除処理が完了するまで時間がかかることがあります。

プリントする

Gmail ウェブメールサービスのメールの本文および添付文書 (PDF/JPEG) や Google ドキュメントプログラムの文書などをプリントできます。

ここでは、Android 端末から Gmail ウェブメールサービスの本文をプリントする例で、手順を説明します。

1. プリントするメールを表示します。
2. メール本文をプリントするときは、右上のメニューから [印刷] を選択します。

補足

- ・メールの添付文書がプリントできる場合は、添付文書のファイル名のあとに「印刷」と表示されます。添付文書をプリントするときは、ファイル名のあとの [印刷] をタップしてください。
- ・Google ドキュメントのスプレッドシートをプリントするときは、ファイル名のあとの [印刷] をタップしてください。

3. プリンターの選択画面が表示されるので、お使いの機械を選択します。

補足

- ・Google クラウドプリント ver 2.0 をお使いの場合、ローカルプリントを行う際はローカルの宛先から機械を選択してください。

4. プリント設定項目を指定し、右上の [印刷] をタップします。

補足

- ・プリント設定で表示される項目は、プリントする機械の仕様に関係なく常に固定されています。このため、お使いの機械によっては、指示どおりのプリント結果にならない場合があります。

Google クラウドプリントのトラブル対処

本機に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。

なお、該当する処置をしても正常に作動しないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

登録時のトラブル

症 状	原 因	処 置
CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] で [Google クラウドプリントに登録] を押しても、メッセージ表示が [登録済み] に変わらない。	お使いの機械がインターネットに接続できませんでした。	ネットワーク設定を確認してください。 参照 ・ 詳しくは、「本体側の設定」(P.111) を参照してください。
	ネットワーク環境でプロキシサーバーを使用しています。	[仕様設定] > [機械管理者メニュー] > [ネットワーク/ポート設定] > [EPプロキシサーバー設定] で、プロキシサーバーの設定をしてください。 参照 ・ 詳しくは、「本体側の設定」(P.111) を参照してください。
	ネットワーク環境でプロキシサーバーを使用し、プロキシ認証を行っています。	本機能は、プロキシ認証には対応していません。プロキシ認証を使用しない設定に変更してください。
	DNS が正しく設定されていません。	[仕様設定] > [機械管理者メニュー] > [ネットワーク/ポート設定] > [DNSサーバー設定] で、DNS の設定が正しいかどうかを確認してください。
	お使いの機械の証明書検証が有効に設定されています。	お使いの機械の証明書検証を無効にするか、正しいルート証明書をインポートしてください。
	ネットワーク通信が混み合っていたため、タイムアウトが発生しました。	しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。
	ネットワーク環境にファイアウォールが設置されています。	"*.google.com" との通信を許可する必要があります。ファイアウォール設定を確認してください。
Googleクラウドプリントの登録手順書が出力されない。	お使いの機械で認証プリントまたはプライベートプリントが設定されています。	CentreWare Internet Services の [エラー履歴] で、エラーコードを確認してください。 1 コンピューターで、Web ブラウザーを起動します。 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、お使いの機械の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、<Enter> キーを押します。 3 [ジョブ] タブの [エラー履歴] から、[日付/時刻] と [エラーコード] を確認します。 4 「エラーコード」(P.264) を参照し、原因と処置方法を確認してください。
	[登録を解除] ボタンを押した直後に、[Google クラウドプリントに登録] ボタンを押しました。	Google 側で、お使いの機械の解除処理が完了していない可能性があります。Google クラウドプリントのプリンター管理画面を表示し、お使いの機械がリストに表示されていないことを確認した上で、もう一度登録作業を行ってください。

症 状	原 因	処 置
Googleクラウドプリントの登録手順書が2枚出力された。	登録操作中に本機の電源を切りました。	印刷処理中に本機の電源を切ると、リカバリー機能により、登録手順書が2枚出力されることがあります。

プリント時のトラブル

症 状	原 因	処 置
論理プリンターで設定したとおりに出力されない。	Google クラウドプリント ver1.1 の仕様により、論理プリンターで設定した内容は無効となり反映されません。Google クラウドプリントのプリント設定で出力されます。	Google クラウドプリントで印刷項目を設定してください。
文字やイメージが崩れて出力される。	Google クラウドプリントの仕様により、プリント指示文書と出力結果が同一にならない可能性があります。	プリンターの選択画面で、[Google ドキュメントに保存] を選び、保存された PDF 文書の出力結果を確認してください。

Google クラウドプリントの注意 / 制限

■ 機械使用上の注意 / 制限

- ・本機能は、認証プリントおよびプライベートプリントに対応していません。
- ・本機能を利用する場合、認証が必要な HTTP/HTTPS プロキシサーバーは使用できません。
- ・本機能を利用する環境にファイアウォールが設置されている場合、".google.com" との通信を許可しなければなりません。

■ プリント機能使用上の注意 / 制限

- ・Google クラウドプリント ver 2.0 の仕様により、プリントする文書の、両面印刷、部数の設定などは無効になります。詳細な設定をして文書をプリントする場合は、Google クラウドプリント ver1.1 を利用して出力するか、弊社提供のプリンタードライバーやプリントユーティリティなどの別な手段を利用して出力してください。
- ・Google クラウドプリント ver 2.0 の仕様により、文字やイメージが崩れた状態で出力される場合があります。
- ・プリント時に設定できる項目は、お使いのアプリケーションによって異なります。表示される設定項目は機械の仕様によらないため、お使いの機械によっては、設定が有効にならない場合があります。
- ・本機能では、日本語および英語以外の言語を含んだ文書のプリントを保証していません。
- ・本機能を利用する場合、プリント指示の順序と文書の出力順序が前後する場合があります。また、長時間機械を起動していない状態で、ユーザーが多数のプリント指示を行った場合は、出力順序が著しく異なる場合があります。
- ・本機能を利用して出力された文書のユーザー名は、ジョブ履歴レポートで「Google クラウドプリント」と記載されます。
- ・本機能を利用して出力された文書名は、ジョブ履歴レポートで「Google Cloud Print Job」と記載されます。
- ・1 台のコンピューター上で、Google クラウドプリント ver 1.1 と ver 2.0 の両方にプリンターを登録することはできません。

4 用紙について

4.1 用紙について

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機に適した用紙を使用してください。

⚠ 警告

- ・ 電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

使用できる用紙

用紙種類

各トレイにセットできる用紙種類および最大収容枚数は、次のとおりです。

補足

- ・ メートル坪量とは、1m²の用紙1枚の質量をいいます。

用紙トレイ	用紙種類（メートル坪量）	最大収容枚数*
手差しトレイ	普通紙（60～105g/m ² ）、 再生紙（60～105g/m ² ）、 うら紙（60～105g/m ² ）、 厚紙1（106～169g/m ² ）、 厚紙2（170～216g/m ² ）、 OHPフィルム、 ラベル紙、 穴あき紙、 ユーザー用紙1～5（60～105g/m ² ）	10mm まで 100 枚
トレイ 1 （標準）	普通紙（60～105g/m ² ）、 再生紙（60～105g/m ² ）、 うら紙（60～105g/m ² ）、 OHPフィルム、 ラベル紙、 穴あき紙、 ユーザー用紙1～5（60～105g/m ² ）	560 枚
トレイ 2 （標準）	普通紙（60～105g/m ² ）、 再生紙（60～105g/m ² ）、 うら紙（60～105g/m ² ）、 厚紙1（106～169g/m ² ）、 厚紙2（170～216g/m ² ）、 OHPフィルム、 ラベル紙、 穴あき紙、 ユーザー用紙1～5（60～105g/m ² ）	560 枚

用紙トレイ	用紙種類 (メートル坪量)	最大収容枚数*
トレイ 3～4 (2トレイモジュール) (オプション)	普通紙 (60～105g/m ²)、 再生紙 (60～105g/m ²)、 うら紙 (60～105g/m ²)、 厚紙 1 (106～169g/m ²)、 厚紙 2 (170～216g/m ²)、 OHP フィルム、 ラベル紙、 穴あき紙、 ユーザー用紙 1～5 (60～105g/m ²)	各トレイ 560 枚
トレイ 3～4 (タンデムトレイモジュール) (オプション)	普通紙 (60～105g/m ²)、 再生紙 (60～105g/m ²)、 うら紙 (60～105g/m ²)、 厚紙 1 (106～169g/m ²)、 厚紙 2 (170～216g/m ²)、 OHP フィルム、 ラベル紙、 穴あき紙、 ユーザー用紙 1～5 (60～105g/m ²)	トレイ 3 : 870 枚 トレイ 4 : 1,130 枚
トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) (オプション)	普通紙 (60～105g/m ²)、 再生紙 (60～105g/m ²)、 うら紙 (60～105g/m ²)、 厚紙 1 (106～169g/m ²)、 厚紙 2 (170～216g/m ²)、 OHP フィルム、 ラベル紙、 うす紙、 穴あき紙、 ユーザー用紙 1～5 (60～105g/m ²)	2,300 枚

* 弊社 P 紙の場合

注記

- ・用紙は、そのサイズや種類に応じて、必ず適切なトレイにセットしてください。また、プリンタードライバーや操作パネルでは、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択して印刷してください。用紙のセットや、設定方法が適切でないと、紙づまりの原因になります。
- ・水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

使用できる用紙の規格

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷をする場合は、規格に合った用紙を使用してください。

用紙トレイ	規格 (メートル坪量)
手差しトレイ	60～216g/m ²
トレイ 1 (標準)	60～105g/m ²
トレイ 2 (標準)	60～216g/m ²
トレイ 3～4 (2トレイモジュール) (オプション)	60～216g/m ²
トレイ 3～4 (タンデムトレイモジュール) (オプション)	60～216g/m ²
トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) (オプション)	56～216g/m ²

使用できる用紙の種類

補足

- ・ 本機では、操作パネルを使って、それぞれの用紙種類に適した画質処理を設定できます。使用する用紙によっては、設定を変更する必要があります。各用紙と画質処理の設定については、「[用紙の画質処理]」(P.196)を参照してください。
- ・ 記載のない用紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

■ 標準紙

本機の標準紙を紹介します。

商品名	メートル坪量	用紙種類の設定	用紙の画質処理	用紙の特長と使用上の注意
P紙	64 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-

■ 準標準紙

本機の準標準紙を紹介します。

商品名	メートル坪量	用紙種類の設定	用紙の画質処理	用紙の特長と使用上の注意
複写印刷用紙 <110>	127 g/m ²	上質紙	厚紙 1	-
G70	67 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
C2r (シー・ツー・アール) 紙	70 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
スタンダードタイプII	64 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-
PR ホワイト	66 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-
リサイクルコピーペーパー R100	66 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
C2 (シー・ツー) 紙	70 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-

■ 使用可能紙

本機の使用可能紙を紹介します。

商品名	メートル坪量	用紙種類の設定	用紙の画質処理	用紙の特長と使用上の注意
PPC 用紙 N100	69 ± 3 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
TANOSEE α エコペーパー タイプ RN	69 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
やしま R	64 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
PPC PAPER High White	68 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-
mondi IQ selection smooth 最厚口	160 g/m ²	上質紙	厚紙 1	-
OK プリンス上質	157 g/m ²	上質紙	厚紙 1	-

■ 使用制限紙

次の用紙を使用する場合は、制限があります。

商品名	メートル坪量	用紙種類の設定	用紙の画質処理	制限
ラベル用紙、FX	-	特殊紙	ラベル紙	紙詰まりが起きたり、用紙が複数枚同時に送られたりする場合は、用紙をよくさばいてからセットしてください。用紙をさばいても用紙送りのトラブルが改善されない場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。
ラベル用紙 (PPCラベルA4、20面)、A-one	125 g/m ²	特殊紙	ラベル紙	
ラベル用紙 (PPCラベルA4、20面)、コクヨ	125 g/m ²	特殊紙	ラベル紙	
はがき用紙 A4 (通常用)、FX	190 g/m ²	特殊紙	厚紙 2	-
はがき用紙 A4 (往復用)、FX	190 g/m ²	特殊紙	厚紙 2	-
官製年賀はがき 4連	190 g/m ²	特殊紙	厚紙 2	-
官製年賀はがき	190 g/m ²	特殊紙	厚紙 2	-
PPC/ レーザー用 OHP フィルム A4 クリア、キソ化成産業	-	特殊紙	OHP	-

使用できない用紙

次のような用紙は、使用しないでください。紙づまりや故障、および装置破損の原因になります。

- ・FUJI XEROX フルカラー OHP フィルムのように白い枠付きの OHP フィルム、257×257mm (V302)
- ・弊社推奨以外の OHP フィルム
- ・インクジェット専用紙
- ・インクジェット用郵便はがき
- ・インクジェット用 OHP フィルム
- ・黒い折り紙 (全サイズ)
- ・感熱紙 / 熱転写用紙
- ・電飾フィルム
- ・水転写紙
- ・ゼログラフィックフォトペーパー
- ・タックフィルム (透明白色、金色、銀色、強粘着白色)
- ・105 g/m² 以下のコート紙
- ・デジタルコート紙光沢タイプ
- ・感熱紙 / 熱転写用紙メディア
- ・布地転写用紙、色布地転写用紙
- ・OK トップコート N (240 g/m²)
- ・アートフラックス
- ・カーボン紙
- ・黒い折り紙 (全サイズ)
- ・一度プリントしたラベル紙

- ・155℃の熱で変質するインクを使った用紙
- ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- ・貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- ・のり付け部分がのりでベタついている封筒
- ・湿っている用紙、ぬれている用紙
- ・台紙全体がラベルなどで覆われてないもの
- ・しわや折れ、破れのある用紙
- ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- ・他のプリンターやコピー機で、一度印刷された用紙
- ・波打っている用紙、反っている（カールしている）用紙
- ・静電気で密着している用紙
- ・紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- ・表面加工したカラー用紙
- ・ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは、中性紙に替えてください。
- ・凹凸や止め金のある封筒

用紙の保管と取り扱い

適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、紙づまりやカール、印字品質の低下、故障の原因になります。用紙を保管するときは、次のことに気をつけてください。

用紙の保管場所

- ・温度：10～30℃
- ・相対湿度：30～65%

保管上の注意

- ・開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- ・用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- ・しわ、折れ、カールなどが付かないように保管してください。
- ・直射日光の当たらない場所に保管してください。

4.2 用紙をセットする

手差しトレイ、およびトレイ 1～4、6 に用紙をセットする方法を説明します。

補足

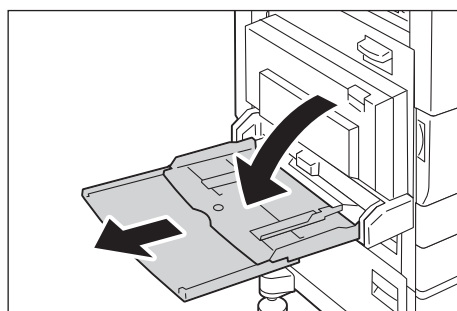
- ・ プリント中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

手差しトレイに用紙をセットする

注記

- ・ 本機では、電源を入れた状態で用紙をセットしてください。
- ・ 種類が異なる用紙を同時にセットしないでください。
- ・ 印刷中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 手差しトレイには、用紙以外のものを置かないでください。また、無理な力を加えて、手差しトレイを押し下げないでください。

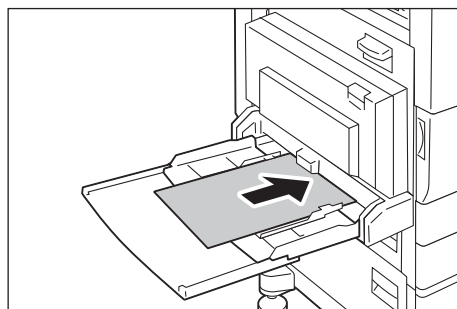
1. 手差しトレイを、手前に引いて開けます。
必要に応じて、延長トレイを引き出します。
延長トレイは、2段階に引き出せます。



2. 印刷する面を下にして、用紙をセットします。

注記

- ・ 種類やサイズが異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。

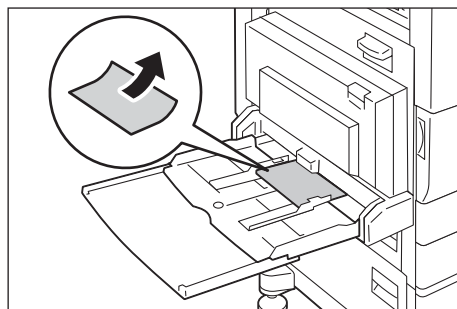


注記

- ・ はがきなどの厚い紙に印刷する場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を右図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折れ目をつけてしまうと、紙づまりの原因となります。

補足

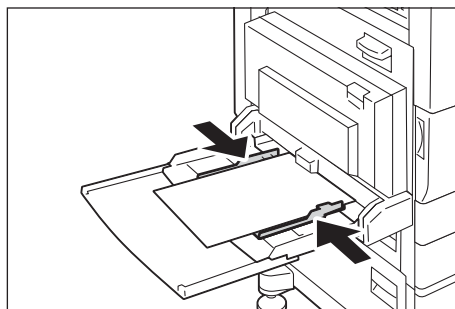
- ・ はがき、封筒、ラベル、長尺サイズの用紙をセットする場合は、各用紙によってセット方法が異なります。「手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き」(P. 129)、「3.3 定形外サイズの用紙に印刷する」(P. 72)を参照してください。



3. 用紙ガイドを動かして、用紙の端に合わせます。

注記

- ・ 用紙ガイドは、軽く当ててください。用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかったりすると紙づまりの原因になります。
- ・ 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。

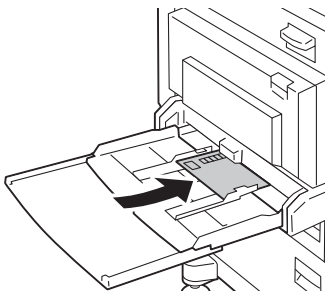
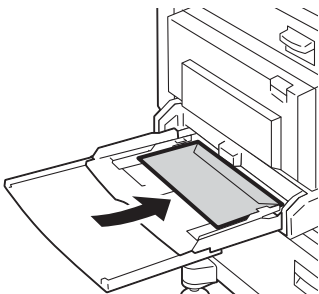


補足

- ・ 手差しトレイの用紙に印刷する場合は、印刷時にプリンタードライバーで、セットした用紙のサイズと種類を設定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ・ PDF ファイルを lpr など印刷する場合のように、プリンタードライバーを使用しないで印刷するときは、操作パネルで用紙種類を設定します。詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.191)を参照してください。

手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き

手差しトレイに、はがきや封筒をセットする場合は、セットする用紙の向きに注意してください。はがき、封筒の詳しい印刷方法は、「手差しトレイではがき / 封筒を印刷する」(P. 68) を参照してください。

はがきの場合	封筒の場合
<p>例) 郵便はがき</p> 	<p>例) 封筒洋長形 3号</p> 
<p>印刷面を下にして、本機と向かい合ったときにはがきの上部が奥側になるようにセットします。</p>	<p>フラップを閉じて、印刷面を下にして、封筒の上部を機械側にセットします。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラップが開いている封筒を使用する場合は、封筒の下部（フラップではない方を機械側にセットします。 ・封筒を使用する場合、紙しわなどが発生することがあります。

注記

- ・きれいに印刷するためには、次のような封筒は使用しないでください。
 - ・カールやよじれがある封筒
 - ・貼り付いている封筒、破損している封筒
 - ・窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスがある封筒
 - ・ひもや金属製の留め金が付いている封筒や、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
 - ・切手が貼ってある封筒
 - ・フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
 - ・ふちがギザギザな封筒や、隅が折れている封筒
 - ・表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒
 - ・フラップが開いたままの、のり付き封筒

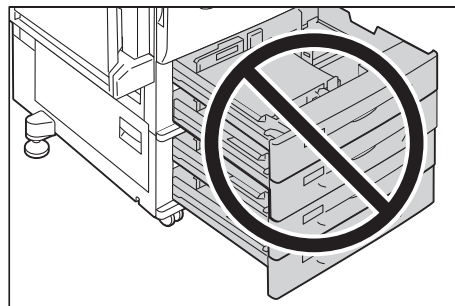
トレイ 1～4 に用紙をセットする

本機にはトレイ 1～2 (標準トレイ) が装着されています。オプションの 2 トレイモジュールを装着するとトレイ 3～4 が利用できます。

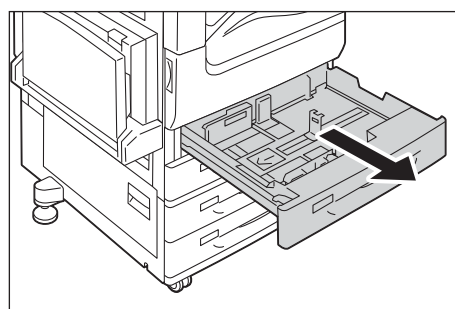
ここでは、トレイ 1 (標準トレイ) に用紙をセットする例で説明します。

注記

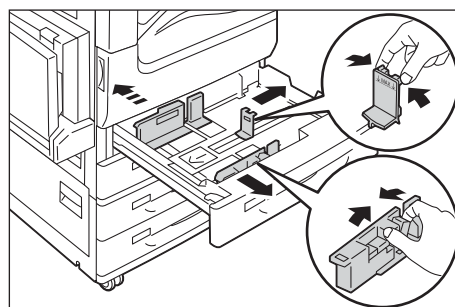
- 複数の用紙トレイを同時に引き出すと、機器全体が傾き、転倒などによりケガの原因となる恐れがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出してください。



1. トレイを、止まるまで手前に引き出します。



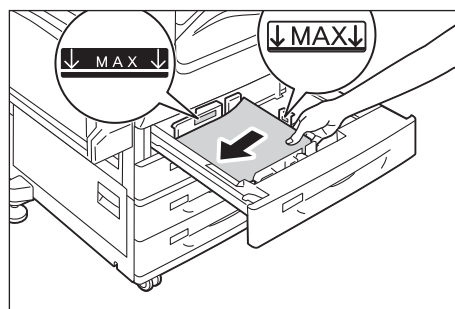
2. 2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。



3. 印刷する面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

注記

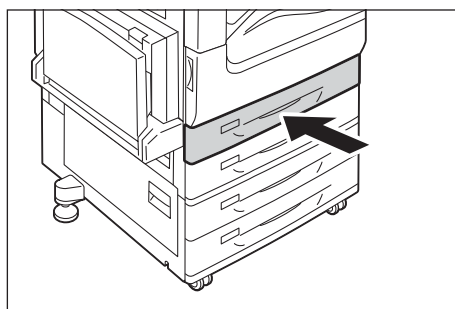
- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙上限線 (「MAX」の位置) を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。
- トレイの右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。



- 奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

注記

- ・トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

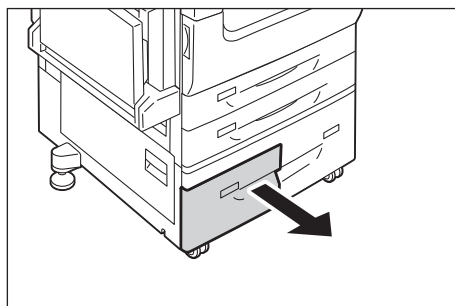


トレイ 3～4 (タンデムトレイモジュール) に用紙をセットする

オプションのタンデムトレイモジュールを装着するとトレイ 3～4 が利用できます。トレイ 3～4 に用紙をセットする手順について説明します。

■ トレイ 3 (タンデムトレイモジュール) に用紙をセットする

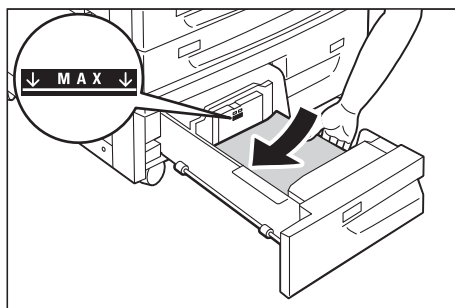
1. トレイを、止まるまで手前に引き出します。



2. 2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。

注記

- ・種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・用紙上限線 (「MAX」の位置) を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。



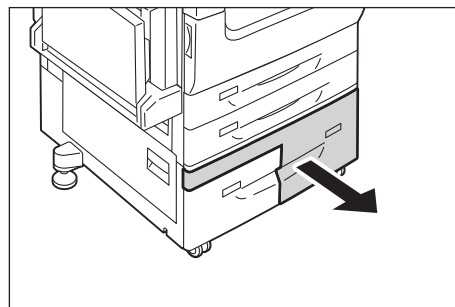
3. 奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

注記

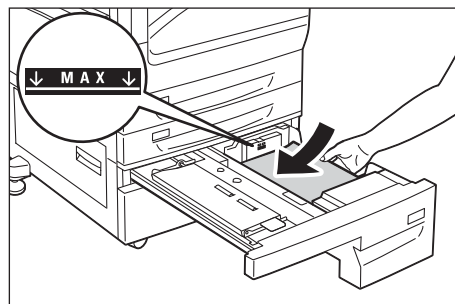
- ・トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

■ トレイ 4 (タンデムトレイモジュール) に用紙をセットする

1. トレイを、止まるまで手前に引き出します。



2. 2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。



注記

- ・種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・用紙上限線(「MAX」の位置)を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

3. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

注記

- ・トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

トレイ 1～4 の用紙サイズ / 種類の変更について

トレイ 1～4 に定形サイズ用の紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知しますが、定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルでサイズを設定します。

また、用紙の種類も自動的に検知できないため、設定が必要です。用紙の種類の設定がトレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。正しく用紙種類を設定してください。工場出荷時の設定では、各トレイとも普通紙に設定されています。

参照

- ・「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 136)
- ・「トレイの用紙種類を変更する」(P. 137)

補足

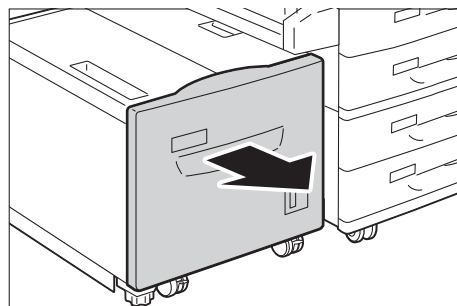
- ・本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで「用紙の画質処理」の設定が必要なことがあります。画質については、「[[用紙の画質処理]]」(P. 196)を、設定方法については「用紙別の画質処理を設定する」(P. 139)を参照してください。
- ・用紙の種類は、印刷時にプリンタードライバーで変更することもできます。手順については、「3.4 さまざまな種類の用紙に印刷する」(P. 76)を参照してください。

トレイ 6 に用紙をセットする

大容量給紙トレイ 1 段 (オプション) を装着するとトレイ 6 が利用できます。トレイ 6 に用紙をセットする手順について説明します。

プリント中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

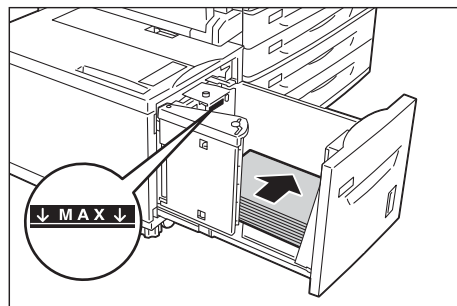
1. トレイ 6 を、止まるまで手前に引き出します。



2. 印刷する面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

注記

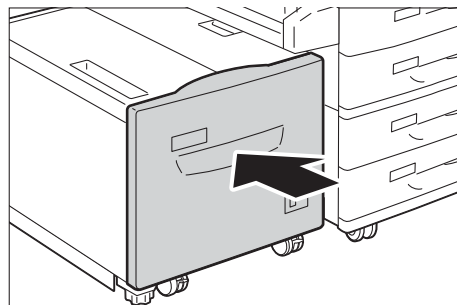
- ・種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・用紙上限線 (「MAX」の位置) を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。



3. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

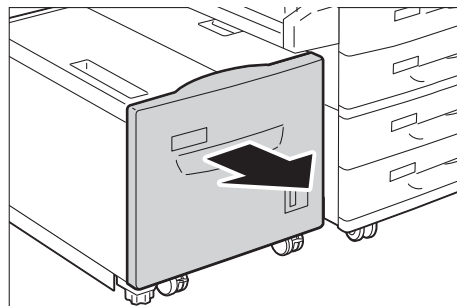
注記

- ・トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

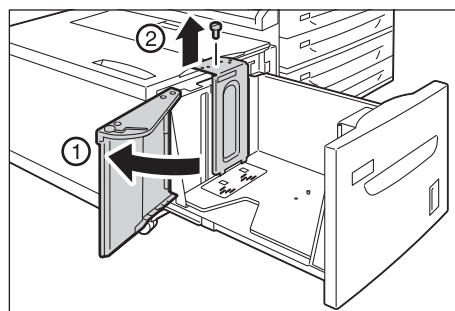


トレイ 6 の用紙サイズを変更する

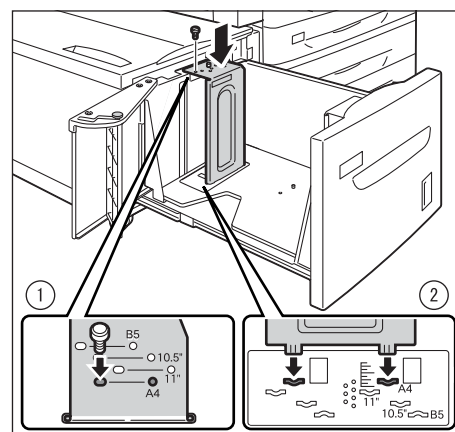
1. トレイ 6 を、止まるまで手前に引き出します。
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



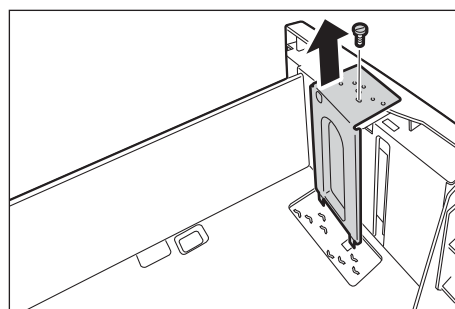
3. エンドガイドを開いて (①)、奥のガイドのネジを外し (②)、ガイドをトレイから外します。



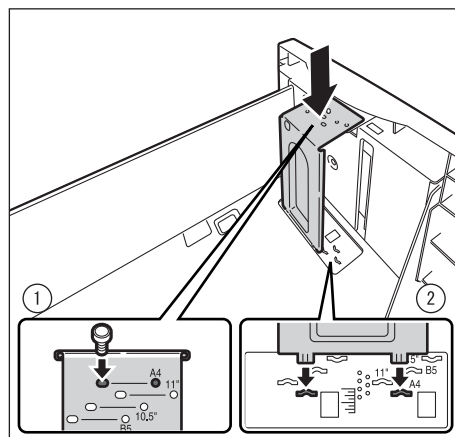
4. ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (①)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (②)。



5. 手前のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。



6. ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (①)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (②)。



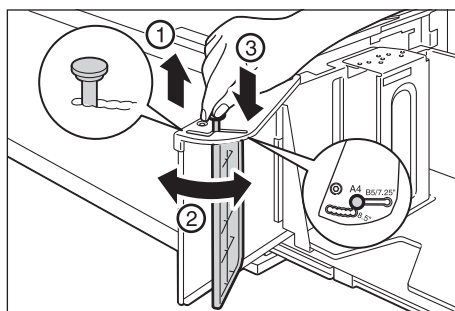
7. 図のようにエンドガイドのレバーを引き上げ (①)、レバーを溝に沿って移動させながら用紙サイズに合わせて (②)、レバーを下ろします (③)。

注記

- ・ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

補足

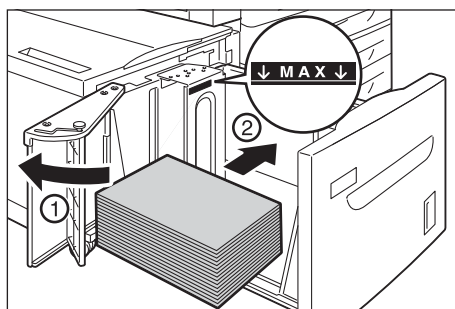
- ・エンドガイドの 8.5" の左側の溝は使用しません。



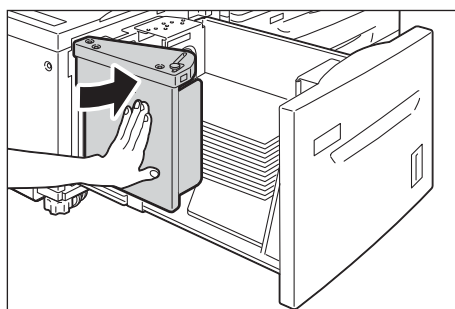
8. エンドガイドを開き (①)、コピーまたはプリントする面を上にして、用紙の先端を右側にそろえてセットします (②)。

注記

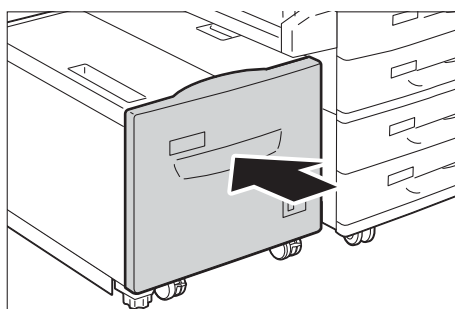
- ・種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・用紙上限線 (「MAX」の位置) を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。



9. エンドガイドをしっかりと閉じます。



10. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。



トレイ 6 の用紙種類の変更について

トレイ 6 に定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知しますが、用紙の種類は操作パネルで設定します。

用紙の種類の設定がトレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。正しく用紙種類を設定してください。工場出荷時の設定では、普通紙に設定されています。

参照

- ・「トレイの用紙種類を変更する」(P. 137)

補足

- ・本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで「用紙の画質処理」の設定が必要ながあります。画質については、「[用紙の画質処理]」(P. 196)を、設定方法については「用紙別の画質処理を設定する」(P. 139)を参照してください。
- ・用紙の種類は、印刷時にプリンタードライバーで変更することもできます。手順については、「3.4 さまざまな種類の用紙に印刷する」(P. 76)を参照してください。

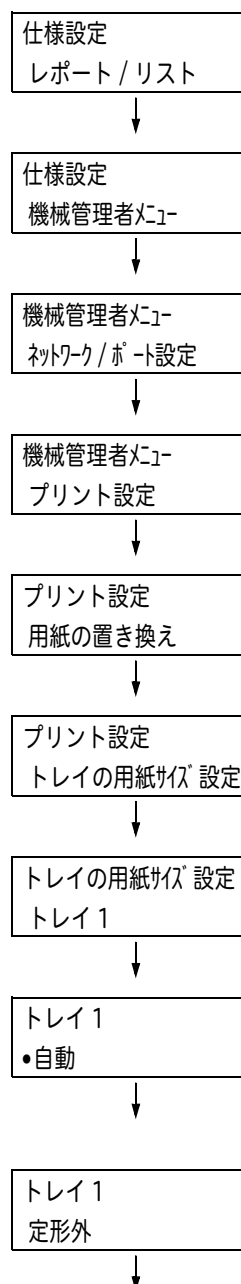
トレイの用紙サイズを設定する

ここでは、操作パネルでトレイ1～4の用紙サイズを定形外サイズに設定する方法を説明します。

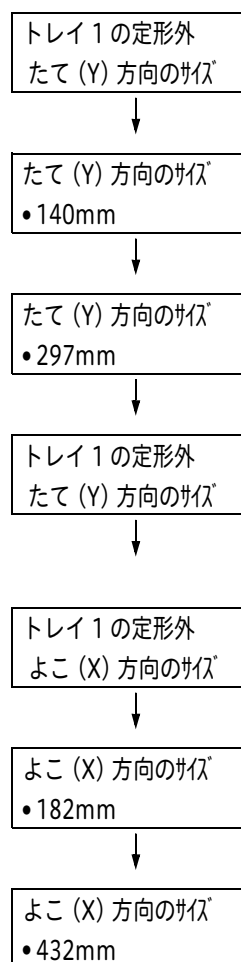
補足

- ・定形外サイズから定形サイズの用紙に変更した場合は、次の手順9で「自動」を選択してください。セットした用紙のサイズと向きは、本機が自動的に検知します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. 「機械管理者メニュー」が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。「ネットワーク/ポート設定」が表示されます。
4. 「プリント設定」が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。「用紙の置き換え」が表示されます。
6. 「トレイの用紙サイズ設定」が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。「トレイ1」が表示されます。
8. 設定したいトレイが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。現在の設定値が表示されます。
9. 「定形外」が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。



10. 〈OK〉ボタンで選択します。
[たて (Y) 方向のサイズ] が表示されます。
11. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
12. 〈▲〉〈▼〉ボタンで、たて方向のサイズを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
(例：297mm)
13. たて方向のサイズの設定が終わったら、よこ方向のサイズを設定します。
〈◀〉または〈戻る〉ボタンで、[たて (Y) 方向のサイズ] に戻ります。
14. 〈▼〉ボタンを押します。
[よこ (X) 方向のサイズ] が表示されます。
15. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
16. 〈▲〉〈▼〉ボタンで、よこ方向のサイズを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
(例：432mm)
17. ほかのトレイも設定する場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



トレイの用紙種類を変更する

用紙の種類の設定が、トレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下することがあります。
ここでは、操作パネルでトレイの用紙種類を設定する方法を説明します。

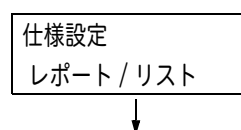
注記

- ・ 設定した用紙種類で、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりするなどの現象が発生する場合は、別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に設定を変更して印刷してみてください。

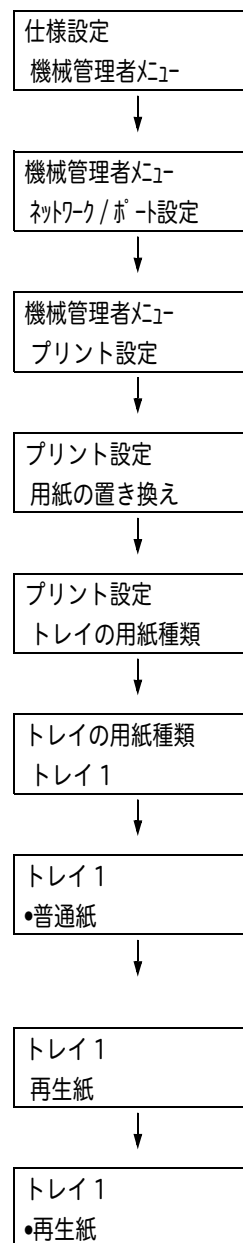
補足

- ・ 各用紙に適した設定値については、「使用できる用紙の種類」(P. 124) の表を参考にしてください。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



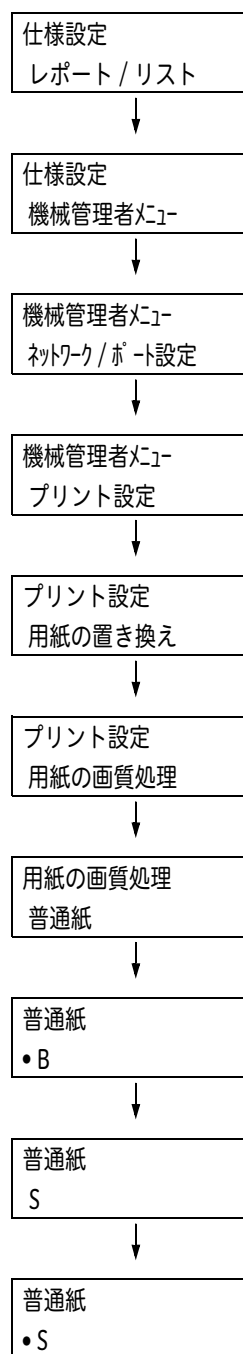
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、
<▼> ボタンを押します。
3. <▶> または <OK> ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されま
す。
4. [プリント設定] が表示されるまで、
<▼> ボタンを押します。
5. <▶> または <OK> ボタンで選択します。
[用紙の置き換え] が表示されます。
6. [トレイの用紙種類] が表示されるまで、
<▼> ボタンを押します。
7. <▶> または <OK> ボタンで選択します。
[トレイ 1] が表示されます。
8. 設定したいトレイが表示されるまで<▼> ボ
タンを押したあと、<▶> または <OK> ボ
タンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
9. 設定したい用紙種類が表示されるまで、
<▼> ボタンを押します。
(例：再生紙)
10. <OK> ボタンで決定します。
11. ほかのトレイも設定する場合は、<◀> また
は <戻る> ボタンを押して手順 8 に戻り、同
様に設定します。
設定を終了する場合は、<仕様設定> ボタン
を押して、プリント画面に戻ります。



用紙別の画質処理を設定する

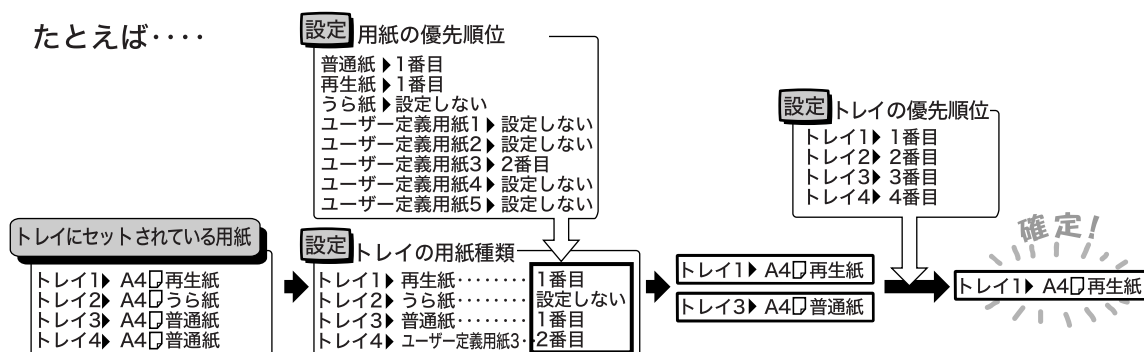
本機は、設定された用紙の種類に応じて画質の処理をします。使用する用紙によって、印字品質や画質などのトラブルが頻繁に発生する場合は、次の手順で画質の処理方法を変更してください。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [プリント設定] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[用紙の置き換え] が表示されます。
6. [用紙の画質処理] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[普通紙] が表示されます。
8. 設定したい用紙種類が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。現在の設定値が表示されます。
9. 設定したい画質が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
(例：S)
10. 〈OK〉ボタンで決定します。
11. ほかの用紙も設定する場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



自動トレイ選択について

プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで、[トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にして印刷を指示すると、機械は印刷する原稿のサイズと向き、用紙種類、用紙色から、該当するトレイを選択します。これを、自動トレイ選択と呼びます。この自動トレイ選択で、該当するトレイが複数ある場合は、操作パネルの [トレイの用紙種類] に設定されている値を [用紙の優先順位] にあてはめ、優先順位が高いトレイを選択します。このとき、[用紙の優先順位] が [設定しない] になっている用紙をセットしているトレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。また、[用紙の優先順位] がまったく同じ場合は、[トレイの優先順位] で決定されます。



補足

- 手差しトレイは、工場出荷時は [自動トレイ切替対象外] に設定されています。自動トレイ選択の対象にする場合には、「トレイ5(手差し)を自動トレイ選択の対象に設定する」(P.141)を参照してください。
- 手差しトレイを自動トレイ選択の対象にした場合、手差しトレイにはもっとも低い優先度だけが設定できます。手差しトレイを自動トレイ選択の対象として最優先したい場合は、「[手差し優先]」(P.195)を参照してください。
- [トレイの優先順位] で [自動トレイ切替対象外] に設定しているトレイは、自動トレイ選択の対象外です。
- 自動トレイ選択で該当するトレイがなかったときには、用紙補給を促すメッセージが表示されます。このメッセージを表示しないで、原稿サイズに近いサイズの内紙か、大きい用紙に印刷するように設定することもできます (用紙の置き換え機能)。
- 印刷中に用紙がなくなったときは、印刷していた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選択して、印刷を続けます (自動トレイ切り替え機能)。このとき、[用紙の優先順位] を [設定しない] に設定している種類の用紙が入ったトレイには、切り替えません。
- 同じ種類の用紙でも、用紙に名前を付けて、ユーザー定義用紙として設定することもできます。たとえば、青色の普通紙をセットしている場合に、「フツウシ Blue」といった名前を付けると、ほかの普通紙と区別できます。

参照

- 「[プリント設定]」(P.190)

トレイ 5 (手差し) を自動トレイ選択の対象に設定する

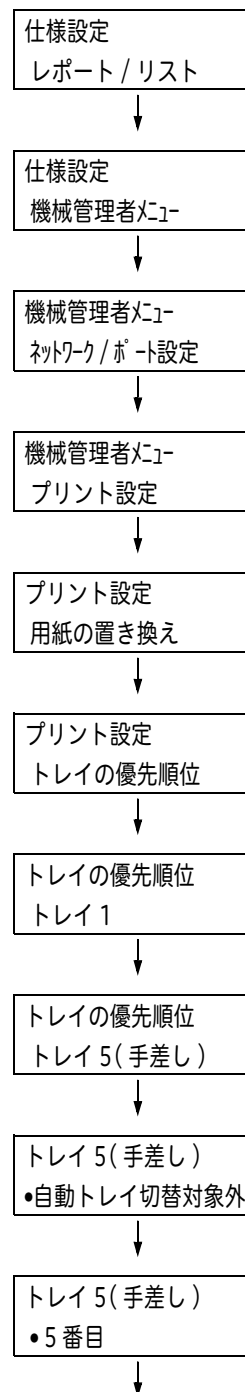
ここでは、操作パネルでトレイ 5 (手差し) を自動トレイ選択の対象に設定する方法を説明します。

トレイ 5 (手差し) に優先順位、用紙サイズを設定することで、自動トレイ選択の対象に設定することができます。

参照

・「自動トレイ選択について」(P.140)

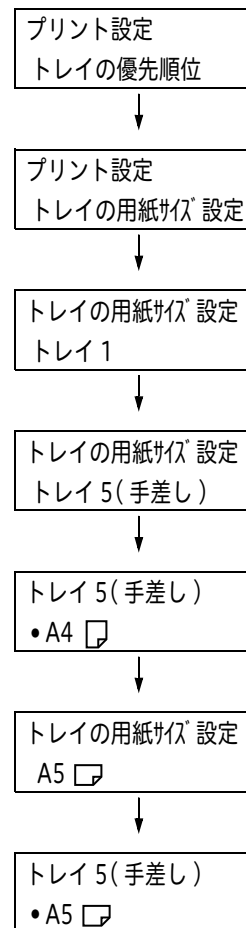
1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [プリント設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[用紙の置き換え] が表示されます。
6. [トレイの優先順位] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[トレイ 1] が表示されます。
8. [トレイ 5 (手差し)] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[自動トレイ切替対象外] が表示されます。
10. 〈▼〉ボタンを押したあと、〈OK〉ボタンを押します。
これで、トレイ 5 (手差し) に優先順位が設定されます。



補足

・トレイ 5 (手差し) には、もっとも低い優先度だけが設定できます。トレイ 5 (手差し) を自動トレイ選択の対象として最優先したい場合は、「[手差し優先]」(P.195) を参照してください。

11. [プリント設定] メニューが表示されるまで、〈◀〉 ボタンを押します。
12. [トレイの用紙サイズ設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
13. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンで選択します。
[トレイ 1] が表示されます。
14. [トレイ 5 (手差し)] が表示されるまで、
〈▼〉 ボタンを押します。
15. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
16. 設定したいサイズが表示されるまで、〈▼〉
ボタンを押します。
(例：A5)
17. 〈OK〉 ボタンで決定します。
18. 設定を終了する場合は、〈仕様設定〉 ボタン
を押して、プリント画面に戻ります。



5 操作パネルでの設定

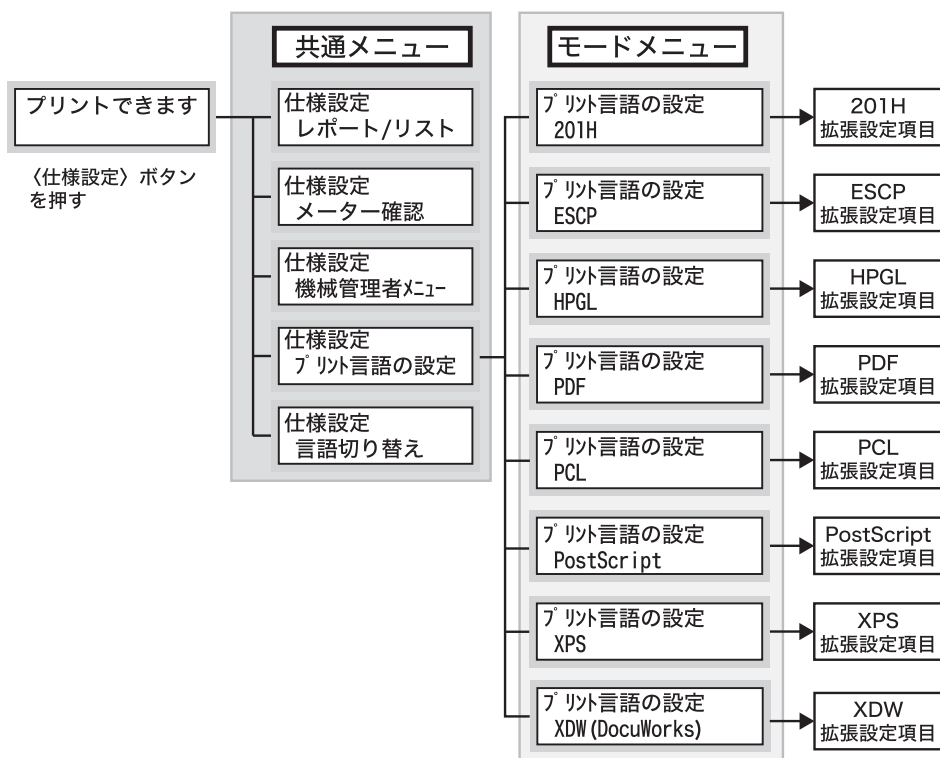
5.1 共通メニューの概要

メニューの構成

メニューには、共通メニューとモードメニューがあります。本書では、主に共通メニューについて説明します。

補足

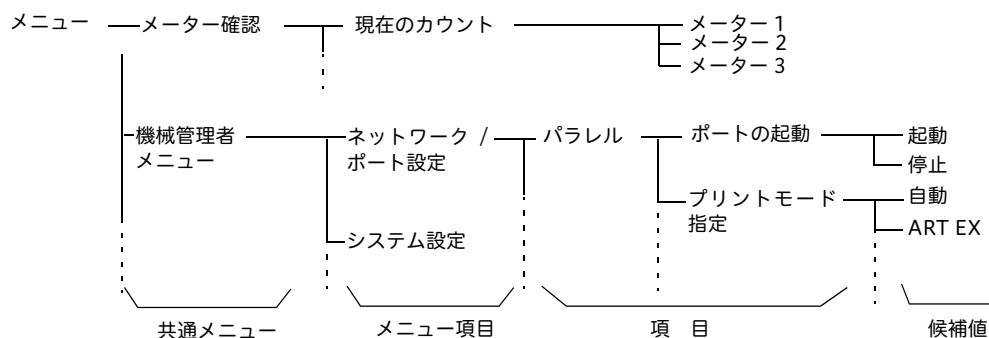
- ・ [PostScript] は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。



共通メニューは、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。共通メニューは、次のような階層で構成されています。

共通メニュー > メニュー項目 > 項目 > 候補値

下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。



共通メニューの各メニューの概要は、次のとおりです。

共通メニュー	内容	詳細説明の参照先
レポート / リスト	各種レポート / リストを印刷します。	「7.2 レポート / リストを印刷する」 (P. 311)
メーター確認	印刷した枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。	「総印刷ページ数を確認する (メーター)」 (P. 315)
機械管理者メニュー	[ネットワーク / ポート設定] コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。	「[ネットワーク / ポート設定]」 (P. 148)
	[システム設定] 節電モードや異常警告音の設定など、プリンター本体の基本的な動作に関する設定をします。また、メニュー項目の設定が誤って変更されることを防ぐために、メニュー項目の設定操作に対し、暗証番号を設定します。	「[システム設定]」 (P. 168)
	[プリント設定] 自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。	「[プリント設定]」 (P. 190)
	[メモリー設定] 各インターフェイスのメモリーやフォームメモリーの容量を変更します。	「[メモリー設定]」 (P. 205)
	[画質補正] 印刷画質が悪いときに、本機を調整します。	「[画質補正]」 (P. 208)
	[フィニッシャーの調整] フィニッシャーが装着されている場合に、パンチ穴や折り線を設定します。	「[フィニッシャーの調整]」 (P.209)
	[初期化 / データ削除] プリンターの設定値やハードディスクの初期化、フォームデータの削除をします。	「[初期化 / データ削除]」 (P. 210)
プリント言語の設定	[201H] PC-PR201H エミュレーションモードの設定をします。	メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『PC-PR201H エミュレーション設定ガイド』
	[ESCP] ART IV、ESC/P エミュレーションモードの設定をします。	メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『ART IV、ESC/P エミュレーション設定ガイド』
	[HPGL] HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定をします。	メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション設定ガイド』
	[PDF] PDF ファイルを直接印刷するための設定をします。	「[PDF]」 (P. 212)
	[PCL] PCL エミュレーションモードの設定をします。	メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』
	[PostScript] PostScript に関する設定をします。	「[PostScript]」 (P. 214)
	[XPS] XML Paper Specification (XPS) ファイルを直接印刷するための設定をします。	「[XPS]」 (P. 215)
	[XDW (DocuWorks)] DocuWorks ファイルを直接印刷するための設定をします。	「[XDW (DocuWorks)]」 (P. 216)
言語切り替え	操作パネルの表示言語を切り替えます。	「[言語切り替え]」 (P. 218)

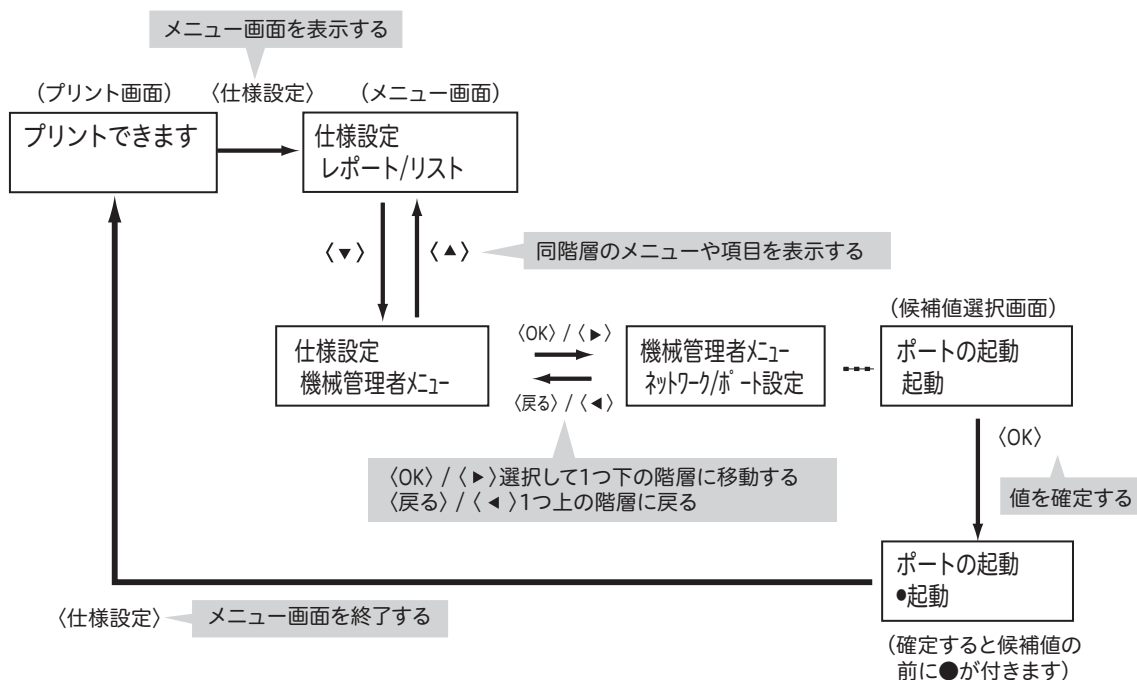
補足

- ・メニュー項目を設定するための基本的な操作方法については、「基本的な操作方法」(P. 145)を参照してください。

設定を変更する

基本的な操作方法

メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移動しながらプリンターの設定をしたりするには、操作パネルの次のボタンを押します。



補足

- ・一度<OK>ボタンを押して確定した値を変更するときは、はじめから設定し直してください。
- ・項目によって、設定を有効にするには本機の再起動が必要な場合があります。その場合は、メニュー画面を終了したとき、自動的に本機が再起動します。

設定した値を、初期値に戻すには

<▲> や <▼> ボタンで数値を変更するような項目では、<▲> と <▼> ボタンを同時に押すと、初期値に戻すことができます。

変更処理が終了すると工場出荷時の値が表示されます。<OK> ボタンを押すと、値が確定されます。

操作例：スリープモードへの移行時間を変更する

スリープモードへの移行時間を 60 分後に設定する例で、共通メニューの操作を説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押してメニューを切り替えます。

仕様設定
機械管理者メニュー

補足

- ・ 選択したい項目を過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。下の階層に移動します。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

補足

- ・ 間違っ、違う項目で〈▶〉または〈OK〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンで前の画面に戻ります。
- ・ 最初からやり直したい場合は、〈仕様設定〉ボタンを押します。

4. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。下の階層に移動します。

システム設定
音の設定

6. [スリープモード移行時間] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

システム設定
スリープモード 移行時間

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。現在の設定値が表示されます。

スリープモード 移行時間
• 1 分後

8. 〈▲〉〈▼〉ボタンを押して、[60 分後] を表示します。

スリープモード 移行時間
60 分後

補足

- ・ 〈▲〉〈▼〉ボタンを押し続けると、連続的に値を変えることができます。

9. 〈OK〉ボタンで決定します。値が確定されます。

スリープモード 移行時間
• 60 分後

10. これで設定が完了です。〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

プリントできます
トナー残量

5.2 共通メニュー項目の説明

ここでは、共通メニューで設定できる項目について説明します。

補足

- ・メニューの設定方法については、「設定を変更する」(P. 145)を参照してください。
- ・CentreWare Internet Servicesでも、一部、操作パネルと同様の項目を設定できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。
- ・共通メニュー全体を図式的に表したメニューツリーは、「操作パネルメニュー一覧」(P. 410)を参照してください。

[レポート / リスト]

各種レポート / リストを印刷します。レポート / リストの詳細、および印刷方法は、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 311)を参照してください。

補足

- ・本機に取り付けられているオプション品によって、印刷できるレポート / リストが異なります。詳細は、「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 311)を参照してください。

[メーター確認]

印刷した枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。メーターの詳細、および確認手順は、「総印刷ページ数を確認する (メーター)」(P. 315)を参照してください。

[機械管理者メニュー]

[機械管理者メニュー]には、[ネットワーク / ポート設定]、[システム設定]、[プリント設定]、[メモリー設定]、[画質補正]、[フィニッシャーの調整]、[初期化 / データ削除]のメニュー項目があります。

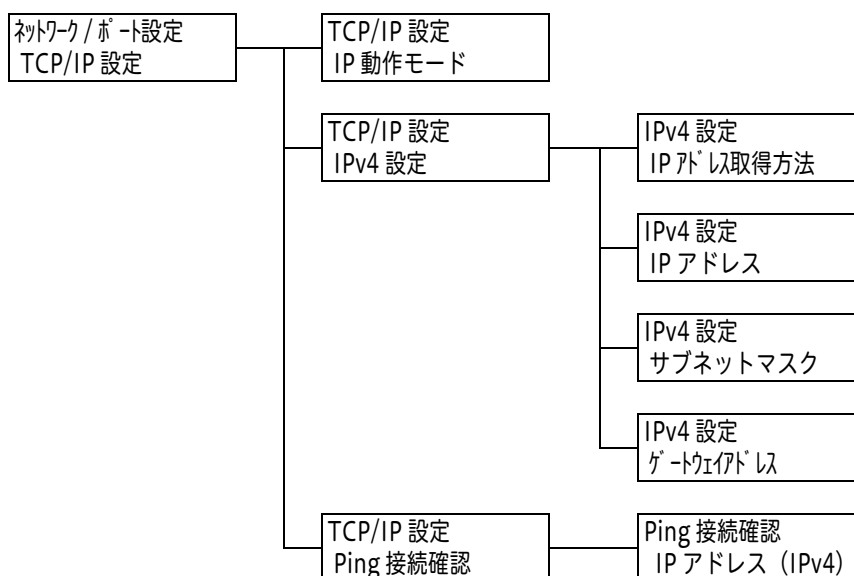
[ネットワーク / ポート設定]

[ネットワーク / ポート設定] では、コンピューターに接続されている本機のインターフェースの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。

[TCP/IP 設定]

補足

- ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合は、[IPv4 設定 -1] と [IPv4 設定 -2] が表示されます。



設定項目	説明
IP 動作モード	IP 動作モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [デュアルスタック] (初期値) IPv4 と IPv6 モードの両方が使用できます。・ [IPv4] IPv4 モードを使用します。[IPv4 設定] から IP アドレスの設定を行います。・ [IPv6] IPv6 モードを使用します。オートコンフィグレーションになっているので、詳細設定は不要です。

設定項目		説明
IPv4 設定	—	IPv4 設定を行います。
	IP アドレス取得方法	<p>TCP/IP を使うために必要な情報 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の取得方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [DHCP/AutoIP] (初期値) AutoIP 機能付きの DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーから自動的に取得します。 ・ [手動] 操作パネルを使って、手動で設定します。設定する IP アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。 ・ [DHCP] DHCP サーバーから自動的に取得します。 ・ [BOOTP] BOOTP から自動的に取得します。 ・ [RARP] RARP から自動的に取得します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [DHCP/AutoIP]、[DHCP]、[BOOTP]、または [RARP] から、[手動] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス	<p>自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。</p> <p>アドレスは、xxx、xxx、xxx、xxx の形式で入力します。IP アドレスとゲートウェイアドレスの xxx に設定できるのは 0 ~ 255 までの数値です。ただし、先頭の xxx に限り、127 と 224 ~ 255 は無効です。また、サブネットマスクの各 xxx に設定できるのは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値です。 (参照 P. 218 の *2)</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。 ・ サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合 (途中のビットを 0 に設定した場合など)、数値の設定後に〈仕様設定〉ボタンを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。 ・ 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。
Ping 接続確認	<p>IP アドレス (IPv4)</p> <p>設定した条件で、本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかを確認します。コンピューターの IPv4 アドレスを入力すると、Ping 接続確認が開始されます。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合は、[IP アドレス (IPv4) -1] と [IP アドレス (IPv4) -2] が表示されます。 	

[パラレル]

補足

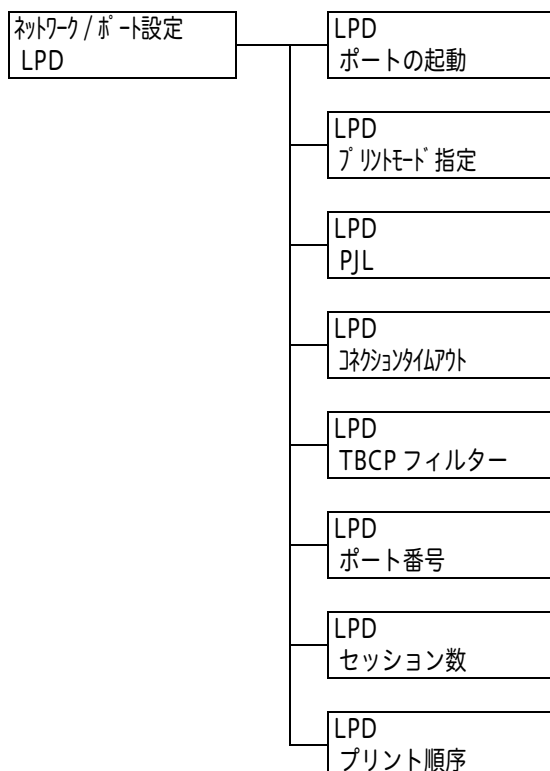
- ・ この項目は、パラレルポート（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、パラレルポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] ・ [停止] (初期値) <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	<p>印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 (参照 P. 218 の *1) ・ [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。(参照 P. 218 の *3) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PS] は、Adobe PostScript 3 キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
PjL	<p>コンピューターから送られてくる PjL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p>PjL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PjL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 218 の *5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効] (初期値) ・ [無効]

設定項目	説明
Adobe 通信 プロトコル	<p>PostScript の通信プロトコルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [標準] (初期値) 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 ・ [バイナリー] 通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が [標準] に比べて速くなることがあります。 ・ [TBCP] 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。 ・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にだけ有効です。
自動排出時間	<p>データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。</p> <p>時間は 5 ~ 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [30 秒] (初期値)
双方向通信	<p>パラレルインターフェイスの双方向送信 (IEEE1284) を有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効] (初期値) ・ [無効]

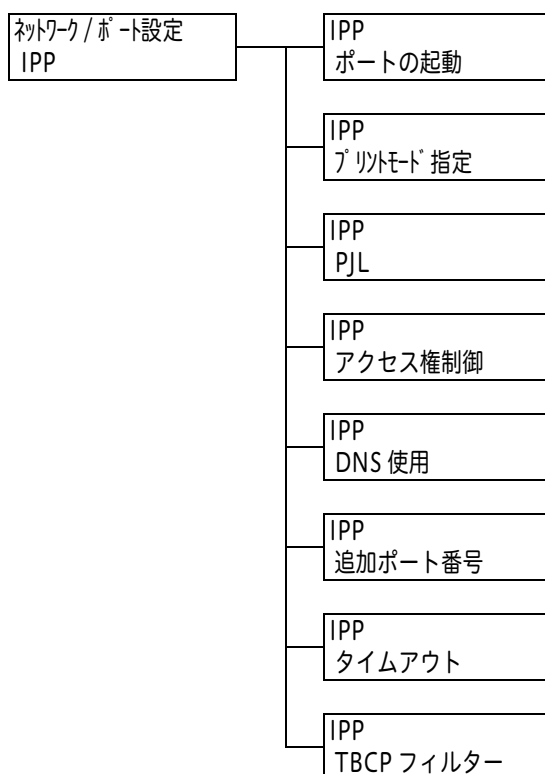
[LPD]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、LPD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] (初期値) ・ [停止] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LPD ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。 <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	<p>印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 (参照 P. 218 の *1) ・ [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。(参照 P. 218 の *3) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PS] は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。
PJL	<p>コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p>PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 218 の *5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効] (初期値) ・ [無効]
コネクションタイムアウト	<p>印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ~ 3600 秒の間で、1 秒単位に設定します。 (参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [16 秒] (初期値)
TBCP フィルター	<p>PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ~ 65535 の間で設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [515] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
セッション数	<p>本機に、LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を、1 ~ 10 の間で設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [5] (初期値)

設定項目	説明
プリント順序	印刷データの順序について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [データ処理順] (初期値) 本機がデータを処理した順序で印刷します。 ・ [プリント受け付け順] 本機がデータを受信した順序で印刷します。

[IPP]



設定項目	説明
ポートの起動	電源を入れたときに、IPP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] (初期値) ・ [起動] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

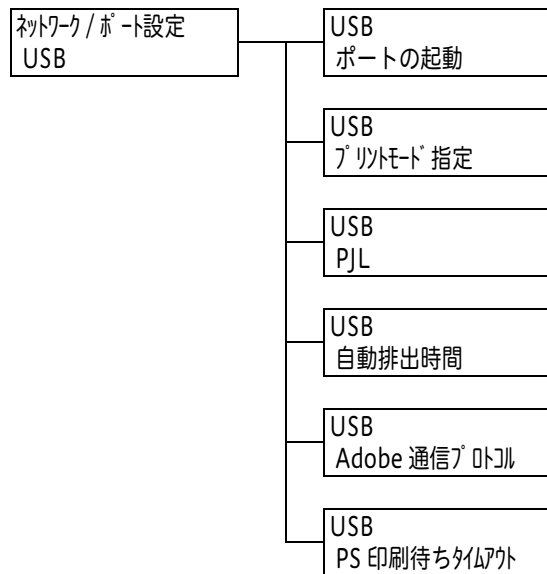
設定項目	説明
プリントモード指定	<p>印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。（参照 P. 218 の *1） ・ [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。（参照 P. 218 の *3） <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PS] は、Adobe PostScript 3 キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。
PjL	<p>コンピューターから送られてくる PjL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p>PjL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PjL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。（参照 P. 218 の *5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効]（初期値） ・ [無効]
アクセス権制御	<p>印刷ジョブの中止や削除、本機をポーズ状態にするときやポーズ状態の解除をするときに、アクセス権制御を有効にするか無効にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効]（初期値） ・ [有効]
DNS 使用	<p>本機を認識するときに、DNS（Domain Name System）に登録した名前を使うかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効]（初期値） DNS 名を使用します。 ・ [無効] IP アドレスを使用します。
追加ポート番号	<p>追加ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。（参照 P. 218 の *2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80]（初期値） <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（参照 P. 218 の *6）/BMLinkS ポートは、同じポート番号を共用できます。
タイムアウト	<p>印刷データの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、0 ～ 65535 秒の間で 1 秒単位に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [60 秒]（初期値）
TBCP フィルター	<p>PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効]（初期値） ・ [有効] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。

[Bonjour]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、Bonjour ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] (初期値) ・ [停止] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Multicast DNS 機能を使う場合は [起動] にしてください。また、Bonjour を使用して検出したプリンターで印刷するためには、LPD ポートも起動します。

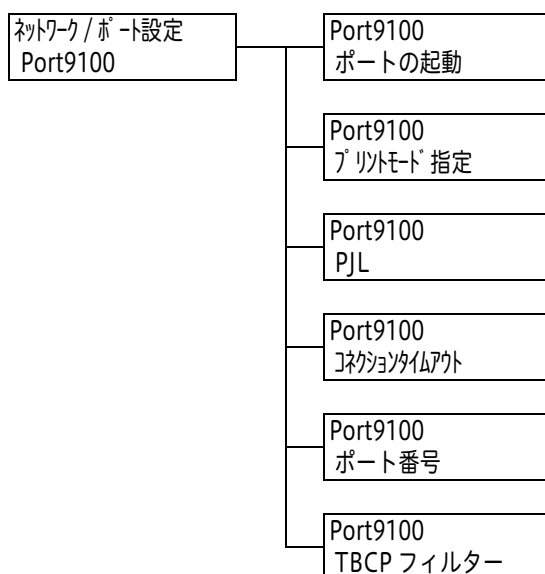
[USB]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、USB2.0 (High Speed) ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] (初期値) ・ [停止] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

設定項目	説明
プリントモード指定	<p>印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。（参照 P. 218 の *1） ・ [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。（参照 P. 218 の *3） <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PS] は、Adobe PostScript 3 キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。
PJL	<p>コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p>PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。（参照 P. 218 の *5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効]（初期値） ・ [無効]
自動排出時間	<p>データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。</p> <p>時間は 5 ～ 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。（参照 P. 218 の *2）</p> <p>また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [30 秒]（初期値）
Adobe 通信プロトコル	<p>PostScript の通信プロトコルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [標準]（初期値） 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 ・ [バイナリー] データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。データによっては印刷処理が [標準] に比べて速くなることがあります。 ・ [TBCP] 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 ・ [RAW] 通信プロトコルが Raw 形式のときに設定します。Macintosh から、USB 経由で EPS 形式のファイルが正しく印刷できない場合に選択します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。 ・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にのみ有効です。 ・ 通常は、初期値の [標準] で使用してください。
PS印刷待ちタイムアウト	<p>PostScript の印刷待ちタイムを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効]（初期値） [USB] の [自動排出時間] を使用します。 ・ [有効] PostScript プリントドライバーの [印刷待ちタイムアウト] を使用します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。

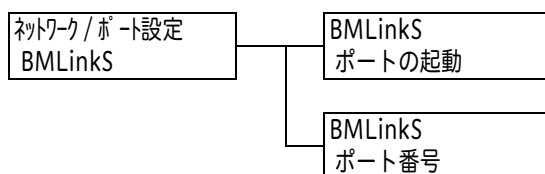
[Port9100]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] (初期値) ・ [停止] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	<p>印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) <p>コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 (参照 P. 218 の *1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ART EX] [PS] [ART IV] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] <p>コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [HexDump] <p>コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。(参照 P. 218 の *3)</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PS] は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
PjL	<p>コンピューターから送られてくる PjL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p>PjL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PjL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 218 の *5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効] (初期値) ・ [無効]
コネクションタイムアウト	<p>印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ~ 65535 秒の間で、1 秒単位に設定します。 (参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [60 秒] (初期値)

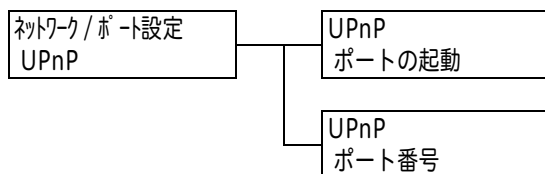
設定項目	説明
ポート番号	<p>ポート番号を、1～65535の間で設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [9100] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
TBCP フィルター	<p>PostScript データを処理するとき、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。

[BMLinkS]



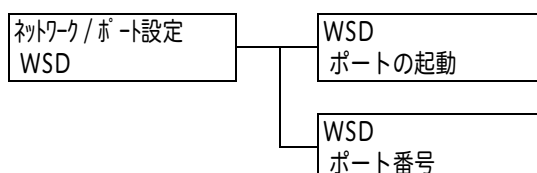
設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、BMLinkS ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] (初期値) ・ [起動] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	<p>ポート番号を、1～65535の間で設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 218 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共有できます。

[UPnP]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、UPnP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] (初期値) ・ [起動] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 218 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共有できます。

[WSD]

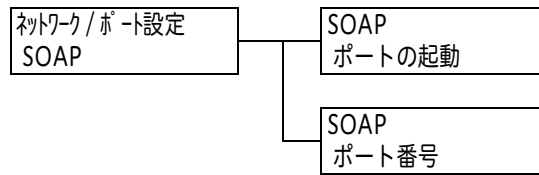


補足

- ・ WSD は、Web Services on Devices の略称です。

設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、WSD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] (初期値) ・ [停止] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 218 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共有できます。

[SOAP]

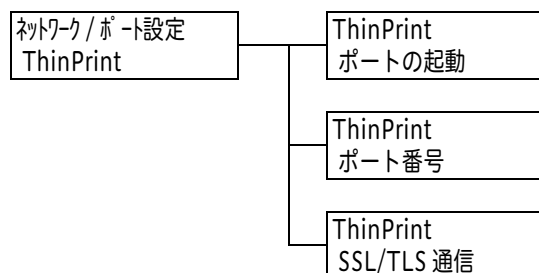


設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、SOAP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] (初期値) ・ [停止] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ~ 65535 の間で設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 218 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共有できます。

[ThinPrint]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ ThinPrint® 機能を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



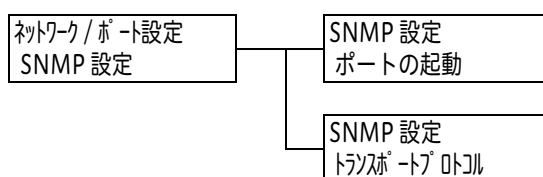
設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、ThinPrint ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] (初期値) ・ [起動]
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ~ 65535 の間で設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [4000] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

設定項目	説明
SSL/TLS 通信	<p>SSL を使用した暗号化通信を有効にするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SSL 通信では、クライアント証明書が必要です。適切な証明書を本機に設定してください。

[SNMP 設定]

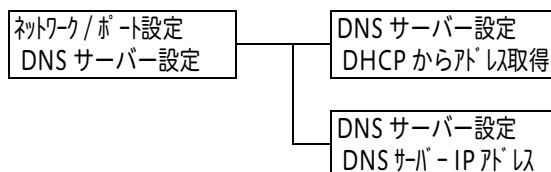
補足

- ・ SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。



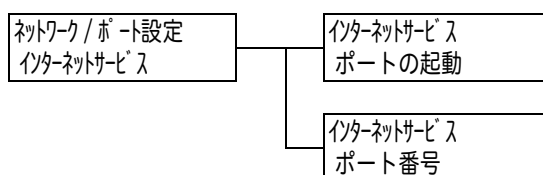
設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、SNMP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] (初期値) ・ [停止] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
トランスポートプロトコル	<p>SNMP で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX、UDP のどちらか、または両方が使えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [UDP] (初期値) ・ [IPX] ・ [IPX,UDP] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ UDP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。 ・ IPX、UDP どちらのプロトコルを使うかは、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

[DNS サーバー設定]



設定項目	説明
DHCP からアドレス取得	<p>DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動的に取得しない場合、手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。 ・ [する] から [しない] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。 ・ IP アドレスの取得方法が手動に設定されている場合は、[しない] で固定です。
DNS サーバー IP アドレス	<p>この項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ~ 255 までの数値です。(参照 P. 218 の *2)</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。

[インターネットサービス]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、インターネットサービスポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。[起動] に設定すると、CentreWare Internet Services を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] (初期値) ・ [停止] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットサービスを起動する場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスの設定が必要です。
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ~ 65535 の間で設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 218 の *6) /BMLinkS ポートは、同じポート番号を共用できます。

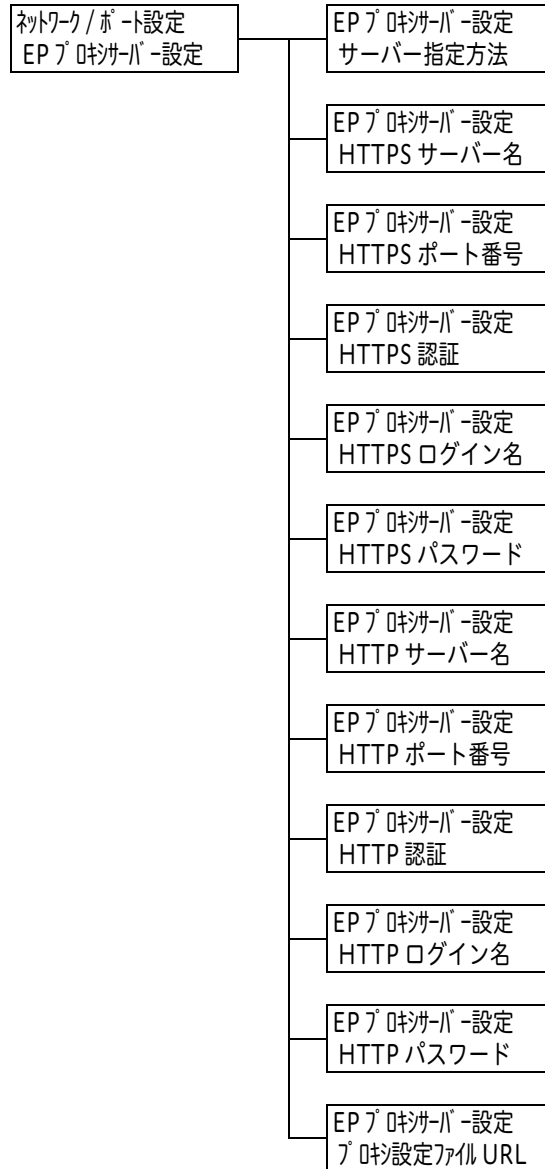
[EP プロキシサーバー設定]

注記

- ・ 本機能は、トータルサービス契約を締結される場合に使用することがあります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご確認ください。

補足

- ・ CentreWare Internet Services でも設定できます。CentreWare Internet Services の設定によっては、表示項目が異なります。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。



設定項目	説明
サーバー指定方法	<p>EP プロキシサーバーの指定方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [すべて同じ設定] (初期値) HTTPS と HTTP で同じ設定が使用されます。 HTTPS での設定内容が HTTP で使用されます。 ・ [プロトコルごとに設定] HTTPS と HTTP を別々に設定します。 ・ [設定ファイル URL を設定] [プロキシ設定ファイル URL] で登録した URL が使用されます。 ・ [設定ファイルを自動検出] 自動検出した設定ファイルが使用されます。

設定項目	説明
HTTPS サーバー名 HTTP サーバー名	HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのサーバー名を入力します。 255 文字まで入力できます。(参照 P. 218 の *4)
HTTPS ポート番号 HTTP ポート番号	HTTPS、HTTP で使用するポート番号を、1 ~ 65535 の間で設定します。 (参照 P. 218 の *2) ・ [8080] (初期値) 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
HTTPS 認証 HTTP 認証	HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーの認証機能を有効にするか、無効にするかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効]
HTTPS ログイン名 HTTP ログイン名	HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのログイン名を入力します。 31 文字まで入力できます。(参照 P. 218 の *4)
HTTPS パスワード HTTP パスワード	HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのパスワードを入力します。 31 文字まで入力できます。(参照 P. 218 の *4)
プロキシ設定ファイル URL	EP プロキシサーバーとして指定する URL を入力します 最大 255 文字まで入力できます。

[Ethernet 設定]

補足

- ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、[Ethernet 設定 -1] と [Ethernet 設定 -2] が表示されます。

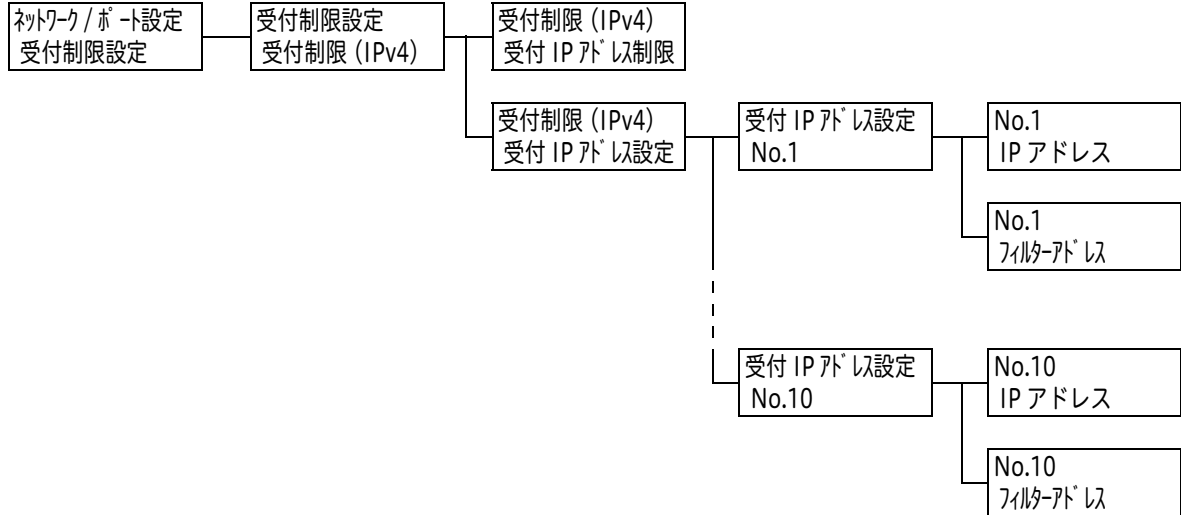
ネットワーク/ポート設定 Ethernet 設定

設定項目	説明
Ethernet 設定	<p>Ethernet インターフェイスの通信速度 / コネクタの種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] 100M (全二重)、100M (半二重)、10M (全二重)、10M (半二重)、1000 Mbps を自動的に切り替えます。 ・ [自動 (100Mbps 上限)] (初期値) 100M (全二重)、100M (半二重)、10M (全二重)、10M (半二重) を自動的に切り替えます。 ・ [100M (全二重)] 100M (全二重) に固定して使う場合に選択します。 ・ [100M (半二重)] 100M (半二重) に固定して使う場合に選択します。 ・ [10M (全二重)] 10M (全二重) に固定して使う場合に選択します。 ・ [10M (半二重)] 10M (半二重) に固定して使う場合に選択します。 ・ [1000 Mbps] 1000 Mbps に固定して使う場合に設置します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、[自動 (100Mbps 上限)] は、プライマリーインターフェイスの設定にのみ表示されます。セカンダリーインターフェイスの初期値は、[自動] になります。 ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、セカンダリーインターフェイス設定の [1000 Mbps] は、ギガビットに対応しているときのみ表示されます。

[受付制限 (IPv4)]

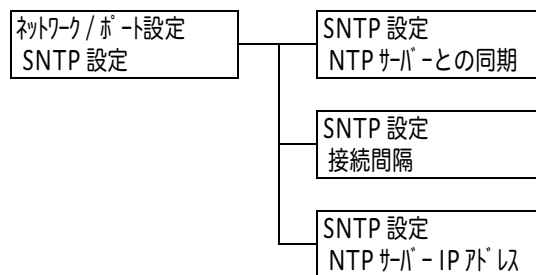
補足

- ・ 受信制限は、CentreWare Internet Services でも設定できます。設定例については、「IP アドレスによる受信制限」(P. 330) を参照してください。
- ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、[受付制限 (IPv4) -1] と [受付制限 (IPv4) -2] が表示されます。



設定項目	説明
受付 IP アドレス制限	IP アドレスを使って受信制限をするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
受付 IP アドレス設定	受け付ける IP アドレスを制限する場合に、印刷を受け付ける IP アドレスを登録します。IP アドレスは、10 個まで登録できます。登録した IP アドレスには、フィルターアドレスを設定します。IP アドレス、フィルターアドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。 xxx は 0 ~ 255 までの数値です。(参照 P. 218 の *2) たとえば、[IP アドレス]: 129.249.110.23、[フィルターアドレス]: 255.255.255.0 と設定した場合、印刷を受け付ける IP アドレスは、129.249.110.xxx です。xxx は 1 ~ 254 までの数値です。 補足 ・ CentreWare Internet Services では、IP アドレスは、25 個まで登録できます。

[SNTP 設定]

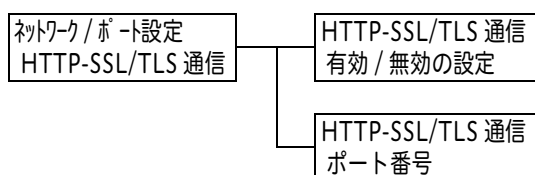


設定項目	説明
NTP サーバーとの同期	NTP サーバーと同期して、本機のシステム時計の時刻を合わせるかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
接続間隔	NTP サーバーに接続する間隔を 1 ～ 500 時間の間で、1 時間単位に設定します。(参照 P. 218 の *2) ・ [168 時間] (初期値)
NTP サーバー IP アドレス	NTP サーバーの IP アドレスを設定します。 IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。(参照 P. 218 の *2) ・ [000.000.000.000] (初期値)

[HTTP-SSL/TLS 通信]

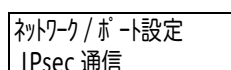
補足

- ・ SSL/TLS プロトコルを使用して、HTTP の通信データを暗号化する場合に設定します。この項目は、本機に証明書が登録されている場合に表示されます。
- ・ HTTP の通信の暗号化、および本機に必要なサーバー証明書については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 343) を参照してください。



設定項目	説明
有効 / 無効の設定	SSL/TLS 通信を使用するかどうかを設定します。 ・ [無効] (初期値) SSL/TLS 通信を使用しません。 ・ [有効] SSL/TLS 通信を使用します。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 218 の *2) ・ [443] (初期値) 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

[IPsec 通信]

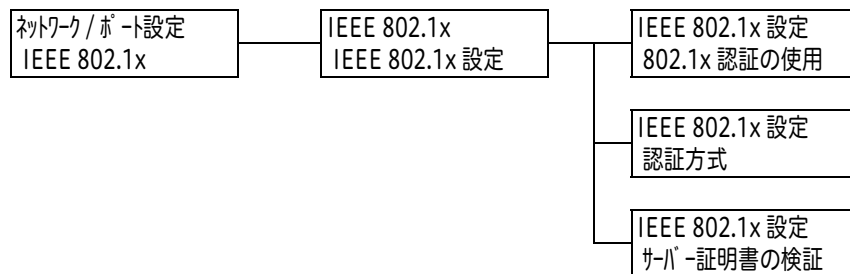


設定項目	説明
IPsec 通信	<p>コンピューターからネットワーク上の本機へデータを送るときに、データをパケット単位で暗号化して送信するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 をお使いの場合だけ使用できます。 ・ IPsec の設定方法については、「IPsec を使用して暗号化するための設定」(P. 347) を参照してください。

[IEEE 802.1x 設定]

補足

- ・ セカンダリーイーサネットキット (オプション) が取り付けられている場合、[IEEE 802.1x 設定 -1] と [IEEE 802.1x 設定 -2] が表示されます。

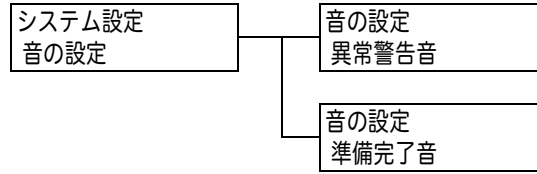


設定項目	説明
802.1x 認証の使用	<p>IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [使用しない] (初期値) ・ [使用する]
認証方式	<p>IEEE 802.1x の認証方式を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [EAP-MD5] (初期値) ・ [EAP-MS-CHAPv2] ・ [PEAP/MS-CHAPv2] ・ [EAP-TLS]
サーバ証明書の検証	<p>サーバ証明書の検証をするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する]

[システム設定]

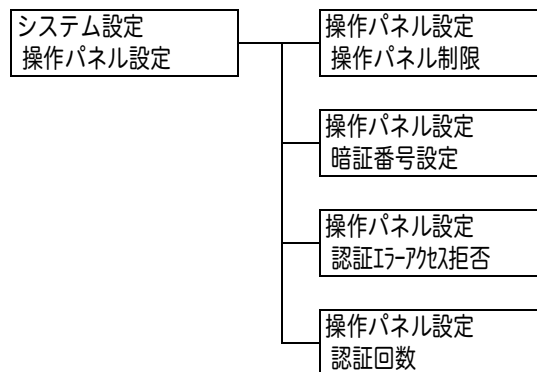
[システム設定] は、本機の動作設定を行うためのメニューです。

[音の設定]



設定項目	説明
異常警告音	紙づまりなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音の大きさを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [小] (初期値)・ [中]・ [大]・ [なし]
準備完了音	本機がプリントできる状態になったときに鳴る音の大きさを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [小] (初期値)・ [中]・ [大]・ [なし] 補足 <ul style="list-style-type: none">・ AirPrint を使用して印刷する場合、モバイルデバイスから使用可能なプリンターを検索し、その機械の準備完了音を鳴らすことができます。AirPrint を使用した印刷については、『ユーザーズガイド AirPrint 編』を参照してください。

[操作パネル設定]



設定項目	説明
操作パネル制限	<p>暗証番号を設定して、メニュー操作を制限するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] に設定すると、暗証番号設定画面が表示されます。暗証番号として12桁の数字を、〈▲〉、〈▼〉ボタンを押して入力してください。〈▶〉、〈◀〉ボタンで桁を移動できます。 ・ 暗証番号として、[000000000000] は設定できません。 ・ この設定は、CentreWare Internet Services を使ってリモートで管理することもできます。
暗証番号設定	<p>操作パネル制限を設定している場合に暗証番号を変更できます。新しい暗証番号を12桁の数字で入力してください。2回入力した暗証番号が一致した場合に、暗証番号が変更されます。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [操作パネル制限] を [する] に設定しないと、暗証番号を変更できません。 ・ この設定は、CentreWare Internet Services を使ってリモートで管理することもできます。
認証エラーアクセス拒否	<p>認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] (初期値) ・ [しない]
認証回数	<p>認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するまでのエラー回数を1～10回の間で、1回単位に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [5回] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証エラーアクセス拒否] が [しない] に設定されている場合は、[しない] と表示されます。

[自動リセット]

システム設定
自動リセット

設定項目	説明
自動リセット	<p>メニューが表示された状態を自動的に解除するかどうかを、1～30分の間で、1分単位に設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [1分後] ～ [30分後]

[低電力モード]

補足

- ・ 低電力モードについては、「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 58)を参照してください。

システム設定
低電力モード

設定項目	説明
低電力モード	<p>低電力モードは、一定の時間が経過すると、自動的に定着部の温度を下げて機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効] (初期値) ・ [無効] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [スリープモード] の設定が [無効] になっている場合は、[低電力モード] を [無効] に設定できません。

[低電力移行時間]

補足

- ・ 低電力移行時間については、「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 58) を参照してください。

システム設定 低電力移行時間

設定項目	説明
低電力移行時間	<p>低電力モードに移行するまでの時間を 1 ~ 240 分の間で 1 分単位に設定します。(参照 P. 218 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1 分後] (初期値)

[スリープモード]

補足

- ・ スリープモードについては、「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 58) を参照してください。

システム設定 スリープモード

設定項目	説明
スリープモード	<p>スリープモードは、コントローラーの受信部以外の電源を完全にオフにし、消費電力を最低の値に下げる機能です。ただし、ウォームアップ時間は、低電力モードよりも長くなります。この機能を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効] (初期値) ・ [無効] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [低電力モード] の設定が [無効] になっている場合は、[スリープモード] を [無効] に設定できません。

[スリープモード移行時間]

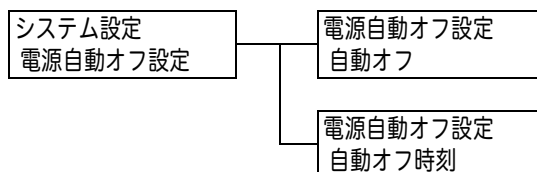
補足

- ・ スリープモード移行時間については、「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 58) を参照してください。

システム設定 スリープモード移行時間

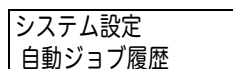
設定項目	説明
スリープモード 移行時間	スリープモードに移行するまでの時間を1～240分の間で1分単位に設定します。(参照 P.218 の*2) ・ [1分後] (初期値) 参照 ・ 「操作例：スリープモードへの移行時間を変更する」 (P.146)

[電源自動オフ設定]



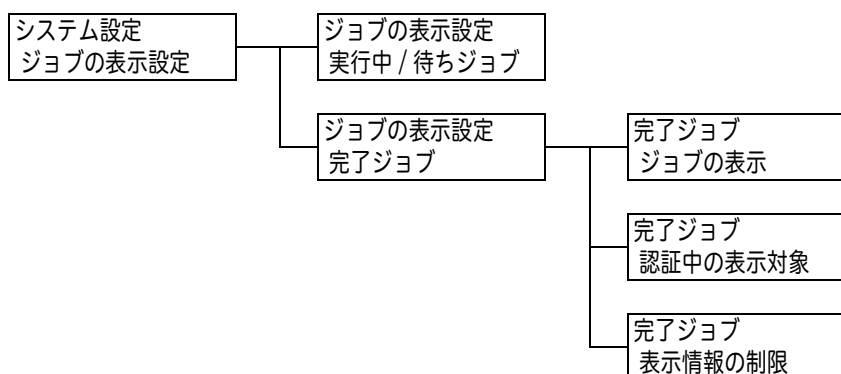
設定項目	説明
自動オフ	本機では、設定した時刻になると電源が自動的に切れるように設定できます。 ・ [しない] (初期値) 本機の電源は自動的に切れません。 ・ [する] 設定した時刻になると、本機の電源が自動的に切れます。 補足 ・ 自動オフ時刻が設定されていても、本機に紙づまりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合には、電源は自動的に切れません。
自動オフ時刻	[システム時計]> [時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。 時間は1～12時、または00～23時の間で1時間単位、分は00～59分の間で1分単位に設定できます。 ・ [0:00 AM] または [0:00] (初期値) 参照 ・ [時刻表示切り替え] の設定方法については、「時刻表示切り替え」 (P.176) を参照してください。

[自動ジョブ履歴]



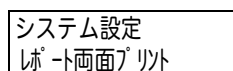
設定項目	説明
自動ジョブ履歴	処理を行った印刷データに関する情報 (ジョブ履歴レポート) を、自動的に印刷するかどうかを設定します。 ・ [プリントしない] (初期値) ジョブ履歴レポートを自動的に印刷しません。 ・ [プリントする] 過去に自動で排出されていない印刷データの履歴が、記憶領域いっぱいになった時点 (50件) で、古いものから自動的に印刷されます。実行中や実行待ちの印刷データは記録されません。

[ジョブの表示設定]



設定項目		説明
実行中 / 待ちジョブ		印刷を実行中、またはレディー時のジョブの情報表示について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [情報を制限しない] (初期値) ・ [情報を制限する]
完了ジョブ	-	完了ジョブの情報表示について設定します。
	ジョブの表示	完了したジョブの表示方法について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [常に表示する] (初期値) ・ [表示しない] ・ [認証中は表示する]
	認証中の表示対象	完了したジョブについて、全てのユーザーのジョブを表示するか、認証ユーザーのみの情報を表示するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [すべて] (初期値) ・ [認証ユーザーのジョブ]
	表示情報の制限	完了ジョブの表示情報を制限するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [制限しない] (初期値) ・ [制限する]

[レポート両面プリント]



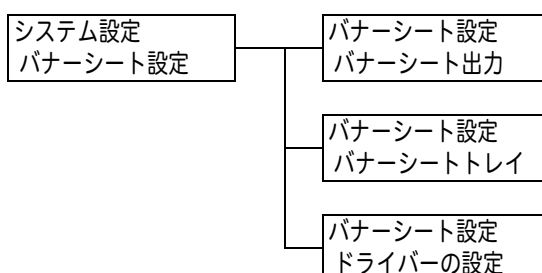
設定項目	説明
レポート両面プリント	レポート / リストを印刷するときに、片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [片面] (初期値) ・ [両面]

[プリント可能領域]

システム設定
プリント可能領域

設定項目	説明
プリント可能領域	<p>プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。エミュレーション（PC-PR201H、HP-GL/2、ESC/P、PCL）や PostScript で印刷する場合に有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [標準] (初期値) ・ [拡張]

[バナーシート設定]



設定項目	説明
バナーシート出力	<p>バナーシートを出力するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [出力しない] (初期値) バナーシートを出力しません。 ・ [スタートシート] 文書の始めに出力します。 ・ [エンドシート] 文書の終わりに出力します。 ・ [スタート + エンドシート] 文書の始めと終わりに出力します。
バナーシートトレイ	<p>バナーシート用の用紙を給紙するトレイを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [トレイ 1] (初期値) ・ [トレイ 2] ~ [トレイ 4]、[トレイ 6] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 3、4、6 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。
ドライバーの設定	<p>プリンタードライバーでのバナーシートの設定を有効にするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効] (初期値) ・ [無効]

[セキュリティープリント操作]

補足

- ・ この項目は、セキュリティープリント機能が使用できる場合に表示されます。

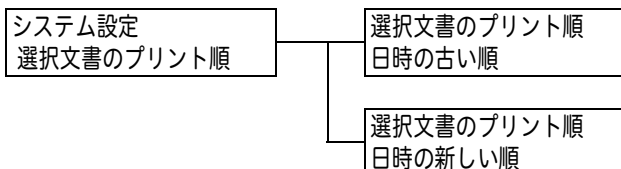
システム設定
セキュリティープリント操作

設定項目	説明
セキュリティープリント操作	セキュリティープリントの印刷を、操作パネルから実行できるようにするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [有効] (初期値) 操作パネルからセキュリティープリントを実行できます。・ [無効] 操作パネルからセキュリティープリントを実行できません。

[選択文書のプリント順]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合、または RAM ディスクが [有効] に設定されている場合に表示されます。

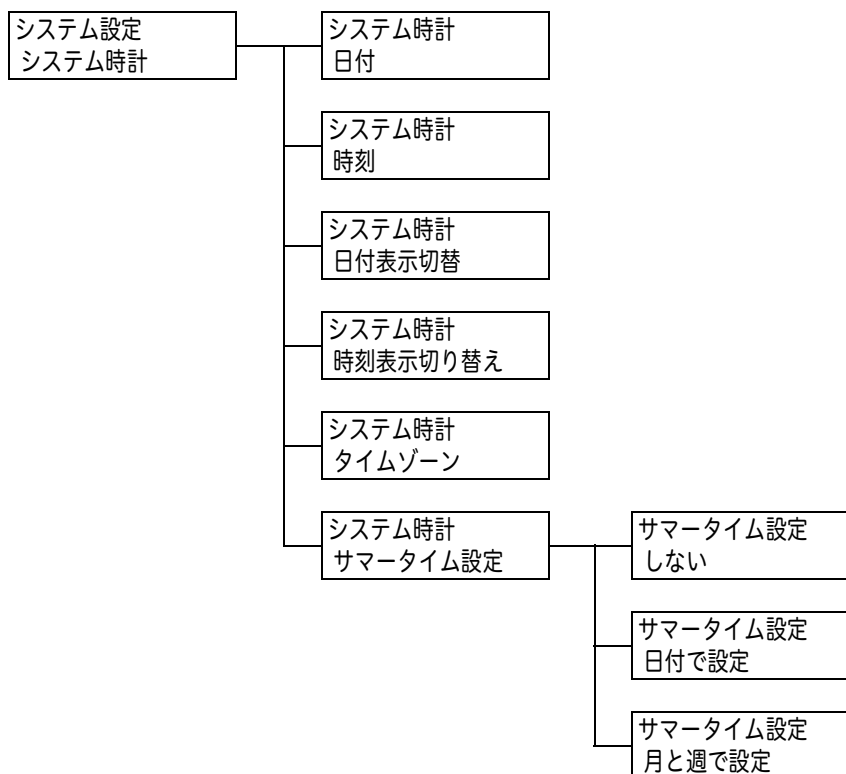


設定項目	説明
選択文書のプリント順	セキュリティープリント機能、プライベートプリント機能、および認証プリント機能を使って印刷する場合に、選択文書のプリント順を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [日時の古い順] (初期値) 日時の古い順に印刷します。・ [日時の新しい順] 日時の新しい順に印刷します。

[システム時計]

補足

- ・ ここで設定された日付 / 時刻が、レポートやリストに印刷されます。



設定項目	説明
日付	[日付表示切替] で設定した形式に合わせて、年月日を設定します。
時刻	[時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。
日付表示切替	日付の表示順序を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [yyyy/mm/dd] (初期値) 年 / 月 / 日の順で表示します。 ・ [mm/dd/yyyy] 月 / 日 / 年の順で表示します。 ・ [dd/mm/yyyy] 日 / 月 / 年の順で表示します。

設定項目	説明
時刻表示切り替え	時刻表示の方法を設定します。 ・ [12 時間制] (初期値) ・ [24 時間制]
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
サマータイム設定	サマータイムについて設定します。 ・ [しない] (初期値) サマータイムを設定しません。 ・ [日付で設定] サマータイムの開始日、終了日を日付 (月、日) で設定します。 ・ [月と週で設定] サマータイムの開始日、終了日を月と週で設定します。 補足 ・ 設定できない値を入力したときには「設定値が正しくありません」、開始日と終了日に同じ設定をしたときには「開始日と終了日が正しくありません」が表示されます。 ・ 開始日と終了日に同じ月は設定しないでください。同じ月を設定すると、サマータイムの設定が正しく動作しません。

[紙づまり時の処理]

システム設定
紙づまり時の処理

設定項目	説明
紙づまり時の処理	印刷中に紙づまりが発生した場合の処理を設定します。 ・ [除去後にプリント再開] (初期値) 紙づまり解消後に、印刷を再開します。 ・ [プリント中止] 紙づまり解消後に、そのジョブをキャンセルします。

[ドラム寿命動作]

システム設定
ドラム寿命動作

設定項目	説明
ドラム寿命動作	ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、寿命の約 7,500 ページ ^{*1} 前に予備用意のメッセージが表示され、寿命の約 2,300 ページ ^{*1} になると交換時期が近いことを示すメッセージが表示されます。 ドラムカートリッジの交換時期になったとき、印刷を停止するかどうかを選択します。 ・ [プリント停止する] (初期値) ドラムカートリッジ交換のメッセージ表示後は、新しいドラムカートリッジに交換するまで印刷は停止されます。 ・ [プリント停止しない] ドラムカートリッジの交換時期になっても、すぐに印刷は停止されず、ドラムカートリッジに異常が検知された段階で本機を保護するために強制的に印刷を停止します。 ただし、この場合はドラムカートリッジの寿命が過ぎているため、印刷画質など本機の性能に影響が出ることがあります。また短期間で印刷が停止してしまう可能性があるため、すぐに新しいドラムカートリッジをご用意のうえ、交換することをお勧めします。

- *1 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「A.3 消耗品、定期交換部品の寿命について」(P. 380)を参照してください。

[ミリ/インチ切り替え]

システム設定
ミリ/インチ切り替え

設定項目	説明
ミリ/インチ 切り替え	操作パネルで長さを表示 / 入力するときの単位を設定します。 ・ [ミリ (mm)] (初期値) ・ [インチ (")]

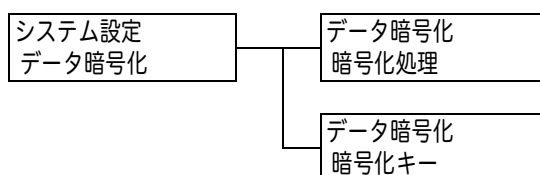
[データ暗号化]

注記

- ・ [データ暗号化] の設定を変更した場合、ハードディスクが初期化されます。

補足

- ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ データの暗号化は、ハードディスクにデータを書き込むときに、すべてのデータに対して自動的に暗号化します。



設定項目	説明
暗号化処理	システム内部 (ハードディスク) のデータの暗号化をするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
暗号化キー	データを暗号化する場合の暗号化キーを数字 12 桁で設定します。 補足 ・ [暗号化キー] は、セキュリティー対策上の必要から、設定を行っても、必ず設定画面には [0] が表示されます。

[HDD の上書き消去]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

システム設定
HDDの上書き消去

設定項目	説明
HDDの上書き消去	ハードディスク内のデータを上書き消去をするかどうか、上書き消去する場合は、その回数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [3回] (初期値) ・ [しない] ・ [1回]

[プリントジョブの追越]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

システム設定
プリントジョブの追越

設定項目	説明
プリントジョブの追越	本機が何らかの原因で実行開始できない（印刷を開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを許可するか、禁止するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [禁止] (初期値) ・ [許可] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セキュリティープリントやサンプルプリントなどの蓄積文書は、追い越し許可の対象外です。 ・ [許可] に設定した場合、[異常終了プリント処理] は設定できません。

[異常終了プリント処理]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられていて、[プリントジョブの追越] が [禁止] に設定されている場合に、表示されます。

システム設定
異常終了プリント処理

設定項目	説明
異常終了プリント処理	実行中のジョブに何らかのエラーが発生し、ジョブのキャンセルが必要になった場合の動作について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動的に再開] (初期値) エラーが発生したジョブを機械が自動的にキャンセルし、次のジョブを再開します。 ・ [ユーザー操作で再開] ジョブのキャンセルが必要なエラーが発生した場合は、操作パネルにエラーメッセージを表示します。本体側の操作によって、ジョブがキャンセルされます。

[ソフトウェアダウンロード]

システム設定
ソフトウェアダウンロード

設定項目	説明
ソフトウェアダウンロード	ソフトウェアのダウンロードを許可するか、禁止するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [許可] (初期値) ・ [禁止]

[RAM ディスク]

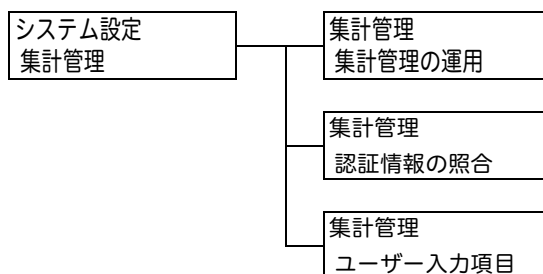
補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合には、表示されません。

システム設定
RAM ディスク

設定項目	説明
RAM ディスク	RAM ディスクを使用するか、しないかを設定します。[有効] に設定すると RAM ディスクが使用できるようになります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

[集計管理]

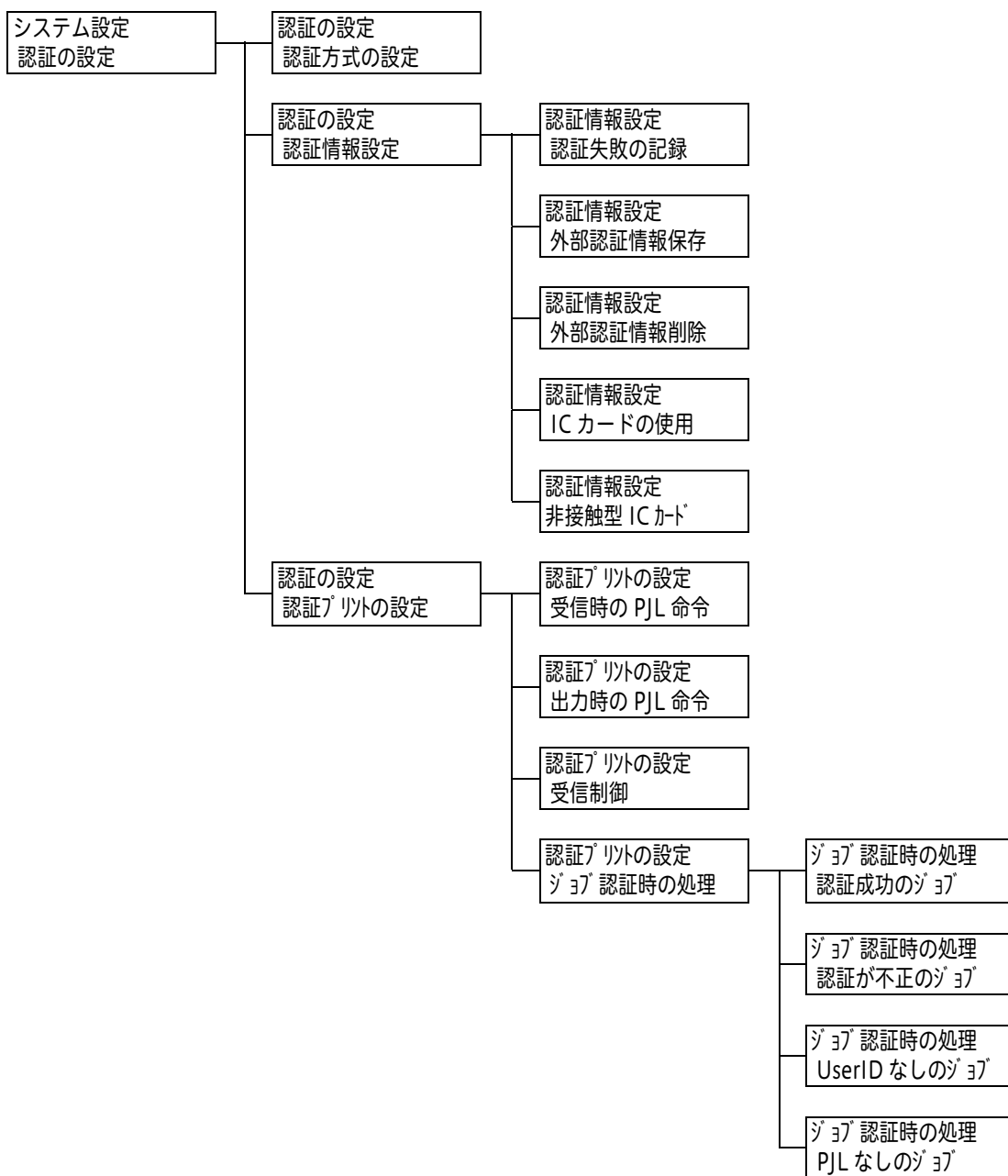


設定項目	説明
集計管理の運用	<p>集計管理の運用方法を設定します。[本体集計管理] に設定すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] が印刷されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [認証サーバー] 認証サーバーで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。 ・ [本体集計管理] 本機にあらかじめ登録されている情報を利用して、集計管理をします。 ・ [ネット集計管理] 外部アカウントサービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。ユーザー情報は、外部アカウントサービスから登録します。
認証情報の照合	<p>認証するときに、入力情報を照合するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている場合に表示されます。 ・ [する] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] か [本体認証] に設定されている場合に表示されます。
ユーザー入力項目	<p>認証するために、ユーザーが入力する項目を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [User ID と Account ID] (初期値) 認証するときに、User ID と Account ID の両方を入力します。 ・ [User ID のみ] 認証するときに、User ID だけを入力します。 ・ [Account ID のみ] 認証するときに、Account ID だけを入力します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [User ID と Account ID] および [User ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない]、[認証情報の照合] が [する] に設定されている場合は、表示されません。 ・ [Account ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [本体認証] に設定されている場合は、表示されません。

[認証の設定]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが [有効] に設定されている場合に表示されます。



設定項目	説明
認証方式の設定	認証の方法を設定します。 ・ [認証しない] (初期値) 認証しません。 ・ [本体認証] 本機にあらかじめ登録されているユーザー情報を、認証に使用します。 ・ [外部認証] 外部認証サーバーを、認証に使用します。

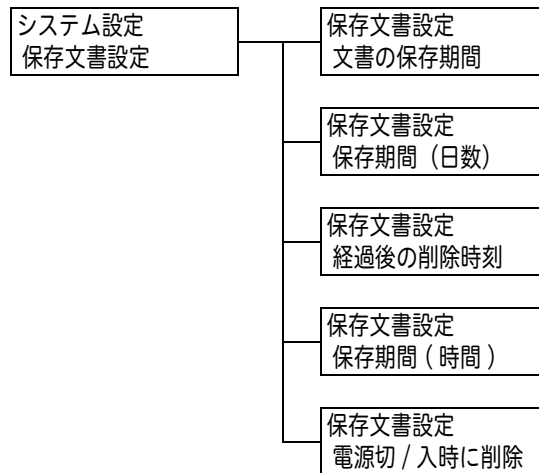
設定項目		説明
認証情報設定	認証失敗の記録	不正なアクセスを検知するために、10分間に設定した回数だけ認証に失敗したとき、[エラー履歴レポート]に認証失敗を記録するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] (初期値) [する]にする場合は、認証失敗を記録する失敗回数を1～600の間で設定します。初期値は10回です。 ・ [しない] 補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認証に失敗しても、[エラー履歴レポート]に記録が残るだけで、「[操作パネル設定]」(P.168)のようなアクセス拒否は行われません。
	外部認証情報保存	外部認証情報を保存するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する] 補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられていて、[認証方式の設定] で [外部認証] が設定されている場合に表示されます。
	外部認証情報削除	[外部認証情報保存] を [する] にして保存された外部認証情報を削除します。 補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられていて、[認証方式の設定] で [外部認証] が設定されている場合に表示されます。
	ICカードの使用	ICカードを使用するかについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する] ・ [する (PKIのみ)]
	非接触型ICカード	非接触型ICカードを使った認証について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [離れても認証継続] (初期値) ・ [離れたら認証解除]
認証プリントの設定	-	認証登録ユーザー情報を使った認証プリントについて設定します。 補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
	受信時のPJL命令	PJL命令で、外部からのプリント受信を制御できます。[制御しない]を選択したとき、またはPJL命令がないときは、後述の[受信制御]の設定を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [制御しない] (初期値) ・ [制御する]
	出力時のPJL命令	PJL命令で、外部からのプリントジョブのプリントを制御できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [制御しない] (初期値) ・ [制御する]

設定項目		説明
(認証プリントの設定)	受信制御	<p>受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリントの認証に従う] (初期値) ・ [プライベートプリント保存] <p>認証機能を利用しているいないにかかわらず、User ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントに保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証プリントに保存] <p>認証機能を利用しているいないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントに保存します。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証プリントに保存] に設定すると、認証に成功してもしなくても、プリントジョブはすべて保存されます。不要なプリントジョブを増やさないためには、保存期間を設定して保存期間を過ぎたプリントジョブを自動的に削除するように設定するか、手で削除してください。保存期間を設定する方法については、「[保存文書設定]」(P. 184) を参照してください。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、IC カードシステムが接続されている場合に表示されません。 ・ [プライベートプリント保存] および [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。
	ジョブ認証時の処理	<p>プリントジョブを受信した際の処理方法について設定します。</p> <p>[認証成功のジョブ] 認証が成功したジョブを受信した際の処理方法について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリント] (初期値) 印刷します。 ・ [プライベートプリント保存] プライベートプリントに保存します。 <p>[認証が不正のジョブ] 認証が不正のジョブを受信した際の処理方法について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ジョブを中止] (初期値) ・ [認証プリントに保存] <p>[UserID なしのジョブ] UserID が無いジョブを受信した際の処理方法について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ジョブを中止] (初期値) ・ [プリント] ・ [認証プリントに保存] <p>[PJL なしのジョブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [User ID を利用しない] (初期値) ・ [User ID があれば利用] <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリント] ・ [認証プリントに保存] ・ [プライベートプリント保存] (初期値) ・ [ジョブを中止] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、IC カードシステムが接続されている場合に表示されません。

[保存文書設定]

補足

- この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、またはRAMディスクが〔有効〕に設定されている場合に表示されます。



設定項目	説明
文書の保存期間	蓄積文書の保存期間を設定します。設定した期間が経過すると、蓄積文書は自動的に削除されます。 <ul style="list-style-type: none"> 〔設定しない〕（初期値） 保存したままにします。 〔日数と削除時刻〕 日数と時刻で保存期間を設定します。 〔時間〕 削除するまでの時間を設定します。
保存期間（日数）	保存期間（日数）を1～14日の間で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 〔7日〕（初期値）
経過後の削除時刻	文書を削除する時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 〔3:00AM〕または〔3:00〕（初期値） 補足 <ul style="list-style-type: none"> 〔システム設定〕 > 〔システム時計〕 > 〔時刻表示切り替え〕の設定によって、12時間表示または24時間表示で設定します。
保存期間（時間）	保存期間（時間）を0時間15分～120時間00分の間で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 〔4時間00分〕（初期値）
電源切 / 入時に削除	電源を切 / 入したとき、保存期間にかかわらず、蓄積文書を削除するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 〔削除しない〕（初期値） 電源を切 / 入したときに、保存時間を経過した蓄積文書だけを削除します。保存時間が経過していない蓄積文書は、削除しません。 〔削除する〕 電源を切 / 入したときに、すべての蓄積文書を削除します。

[インナー排出トレイ]

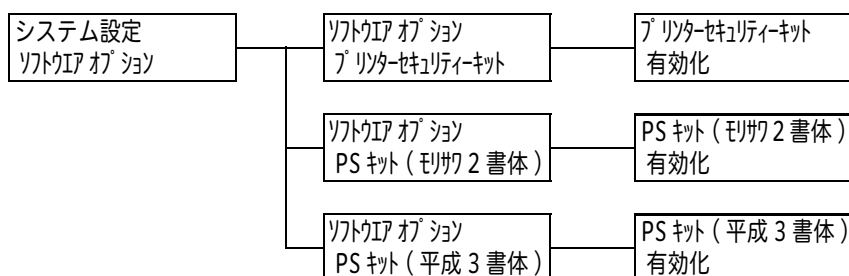
システム設定
インナー排出トレイ

設定項目	説明
インナー排出トレイ	インナー排出トレイ（オプション）を取り付けたとき、[あり] に設定します。 ・ [なし]（初期値） ・ [あり]

[ソフトウェアオプション]

補足

- ・ この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）または Adobe PostScript 3 キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ セキュリティ拡張キットを取り付ける場合は、ハードディスク（オプション）が必要です。



設定項目	説明
プリンター セキュリティ キット	機械に取り付けたセキュリティ拡張キットを有効にします。[有効化] を選択すると、確認メッセージが表示されます。〈OK〉ボタンを押してください。 補足 ・ 一度、[プリンターセキュリティキット] を [有効化] に設定すると、取り付けているセキュリティ拡張キットROMは、他の機械で使用できません。 ・ 機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
PS キット (モリサワ2書体)	機械に取り付けた Adobe PostScript 3 キット (モリサワ2書体) を有効にします。[有効化] を選択すると、確認メッセージが表示されます。〈OK〉ボタンを押してください。 補足 ・ 一度、[PS キット (モリサワ2書体)] を [有効化] に設定すると、取り付けている Adobe PostScript 3 キット ROM は、他の機械で使用できません。 ・ 機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
PS キット (平成3書体)	機械に取り付けた Adobe PostScript 3 キット (平成3書体) を有効にします。[有効化] を選択すると、確認メッセージが表示されます。〈OK〉ボタンを押してください。 補足 ・ 一度、[PS キット (平成3書体)] を [有効化] に設定すると、取り付けている Adobe PostScript 3 キット ROM は、他の機械で使用できません。 ・ 機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

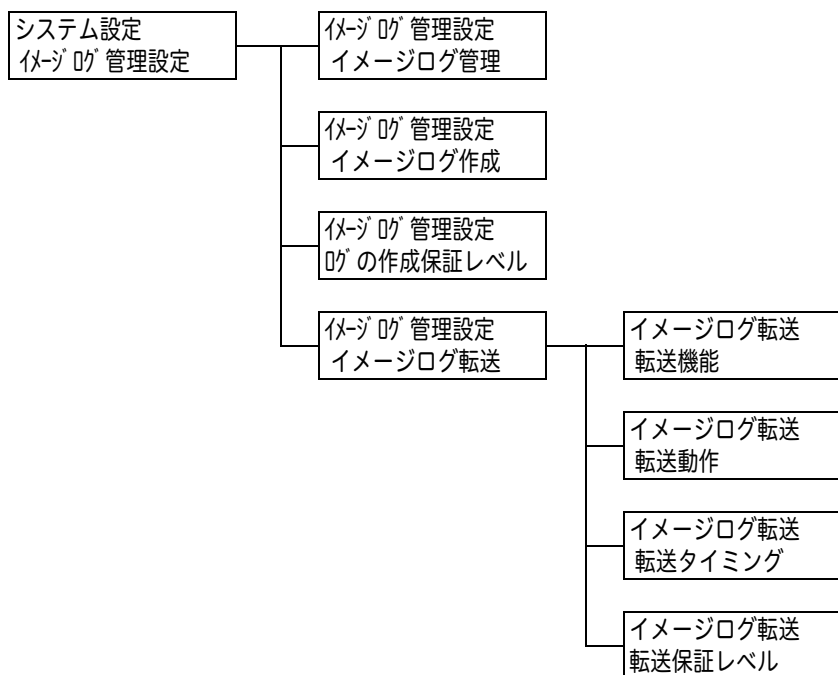
[イメージログ管理設定]

注記

- ・ イメージログ管理機能を使用したい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

補足

- ・ この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）とハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。



設定項目	説明
イメージログ管理	イメージログ管理機能を使用するかどうかを設定します。通常は [しない] で固定されています。イメージログ管理機能を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する]
イメージログ作成	イメージログを作成するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] (初期値) ・ [しない]
ログの作成保証レベル	ジョブに対して、イメージログが確実に作成されるかどうかのレベルを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [低] (初期値) 本機のパフォーマンスを優先し、可能な範囲で作成します。そのため、イメージログが抜けてしまうことがあります。 ・ [高] イメージログを漏れなく作成します。そのため、本機の動作・運用に影響が出ることがあります。
イメージログ転送	イメージログをログサーバーに転送するための機能について設定します。
	転送機能
	イメージログの転送機能を使用するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [使用しない] (初期値) ・ [使用する]

設定項目		説明
イメージログ転送	転送動作	<p>自動転送の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [まとめて転送] (初期値) ・ [一時停止] ・ [ジョブ単位で転送] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ジョブ単位で転送] は、[ログの作成保証レベル] が [高] のときに表示されます。
	転送タイミング	<p>イメージログの転送タイミングを設定します。それぞれについて [無効] または [有効] を設定します。初期値は、すべて [有効] です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ジョブ終了時] ・ [電源投入時] ・ [一定時間経過時] ・ [一定ログ数保存時] ・ [時刻指定] <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <ul style="list-style-type: none"> ・ [12:00 AM] または [0:00] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [時刻指定] を [有効] に設定した場合は、[システム時計] > [時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時:分を設定します。時間は 1 ~ 12 時、または 00 ~ 23 時の間で 1 時間単位、分は 00 ~ 59 分の間で 1 分単位に設定できます。
	転送保証レベル	<p>ログ管理サーバへデータを転送するときの保証レベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [低] (初期値) ・ [高] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [高] に設定すると漏れなくデータを転送しますが、データ転送の間は本機のパフォーマンスの低下や、一時停止が発生することがあります。

[ソフトウェア手動更新]

補足

- ・ この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

システム設定 ソフトウェア手動更新

設定項目	説明
ソフトウェア手動更新	<p>インターネットを使った EP システムを利用している場合、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EP システムは、一部の地域で利用できない場合があります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

[ソフトウェア日時更新]

補足

- この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

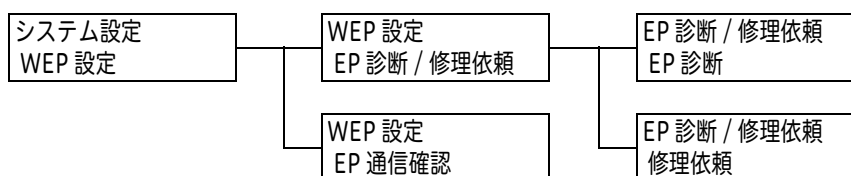
システム設定
ソフトウェア日時更新

設定項目	説明
ソフトウェア日時更新	<p>インターネットを使った EP システムを利用している場合、設定した日時に自動的に、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <ul style="list-style-type: none"> ・ 日付 [dd/mm] または [mm/dd] ・ 時刻 [0:00 AM] または [0:00] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効] に設定した場合は、[システム時計] > [日付表示切替] で設定した形式に合わせて、月と日を、[時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時:分を設定します。 時間は 1 ~ 12 時、または 00 ~ 23 時の間で 1 時間単位、分は 00 ~ 59 分の間で 1 分単位に設定できます。 ・ EP システムは、一部の地域で利用できない場合があります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

[WEP 設定]

補足

- この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



設定項目	説明
EP 診断 / 修理依頼	<p>インターネットを使った EP システムを利用している場合、本機の点検や修理が必要となったときに、本機を使って弊社プリンターサポートデスクに連絡できます。連絡を受けると、必要に応じてカスタマーエンジニアが訪問します。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EP システムは、一部の地域で利用できない場合があります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
EP 診断	EP 診断を依頼します。
修理依頼	修理を依頼します。

設定項目	説明
EP 通信確認	EP システムを利用して弊社プリンターサポートデスクに連絡したときの通信状態を確認できます。 [EP 通信確認] を選択すると、EP システムと通信確認を行い、確認メッセージが表示されます。 (OK) ボタンを押してください。

[GCP 登録]

補足

- この項目は、Google クラウドプリントポートが起動されている場合に表示されます。Google クラウドプリントポートの起動方法については、「[Google クラウドプリント] ポートの起動」(P.114) を参照してください。

システム設定 GCP 登録

設定項目	説明
GCP 登録	CentreWare Internet Services を使用して、お使いのコンピューターから Google クラウドプリントへの本機の登録要求が済んでいる場合、次の画面が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> [GCP 受付許可しますか?] ・[はい] (初期値) ・[いいえ] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> Google クラウドプリントへの本機の登録が取り消されている場合、[登録は取り消されました]、既に登録されている場合は、[この機械は既に登録されています] というメッセージが表示されます。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> Google クラウドプリントについて詳しくは、「3.14 Google クラウドプリントを使って印刷する」(P. 111) を参照してください。

[プリント設定]

[プリント設定] では、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。

補足

- ・自動トレイ選択については、「自動トレイ選択について」(P. 140) を参照してください。

[用紙の置き換え]

プリント設定
用紙の置き換え

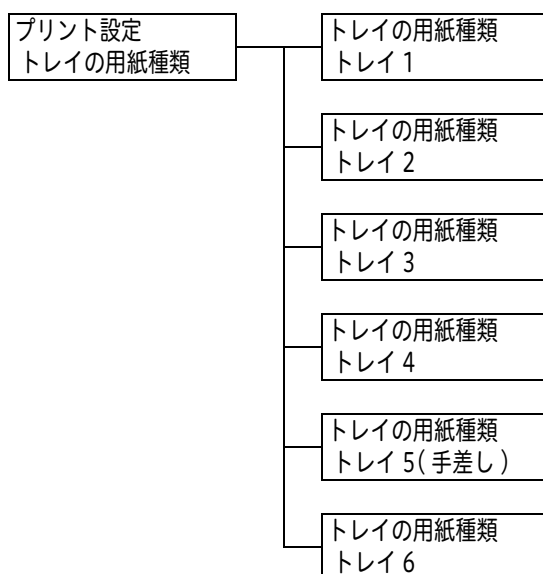
設定項目	説明
用紙の置き換え	<p>自動トレイ選択によって選択された用紙トレイに用紙がない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えて印刷をするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [しない] (初期値) 置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。・ [大きいサイズを選択] 選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍で印刷します。・ [近いサイズを選択] 選択されている用紙サイズにもっとも近いサイズの用紙に置き換えて印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。・ [手差しトレイから給紙] 手差しトレイにセットされている用紙に印刷します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。

[用紙種類エラーの処理]

プリント設定
用紙種類エラーの処理

設定項目	説明
用紙種類エラーの処理	<p>印刷ジョブで指定している用紙種類がセットされている用紙トレイがない場合にどうするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [確認画面表示] (初期値) 用紙種類の確認を促すメッセージを表示します。・ [プリントする] メッセージを表示しないで、現在セットされている用紙種類で印刷します。・ [設定変更表示] 設定変更を促すメッセージを表示します。

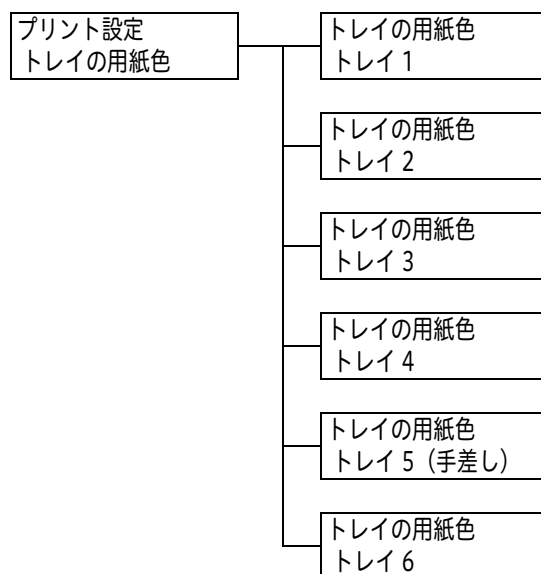
[トレイの用紙種類]



設定項目	説明
トレイ 1	<p>トレイ 1 にセットする用紙の種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[厚紙 1]、[OHP フィルム]、[ラベル紙]、[穴あき紙]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。
トレイ 2	<p>トレイ 2 にセットする用紙の種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[OHP フィルム]、[穴あき紙]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。
トレイ 3～トレイ 4	<p>トレイ 3～4 にセットする用紙の種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[OHP フィルム]、[ラベル紙]、[穴あき紙]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 3～4 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。
トレイ 5 (手差し)	<p>手差しトレイにセットする用紙の種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[OHP フィルム]、[ラベル紙]、[穴あき紙]、[普通紙 (A)]、[普通紙 (B)]、[普通紙 (C)]、[普通紙 (D)]、[普通紙 (E)]、[普通紙 (F)]、[普通紙 (G)]、[普通紙 (S)]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。

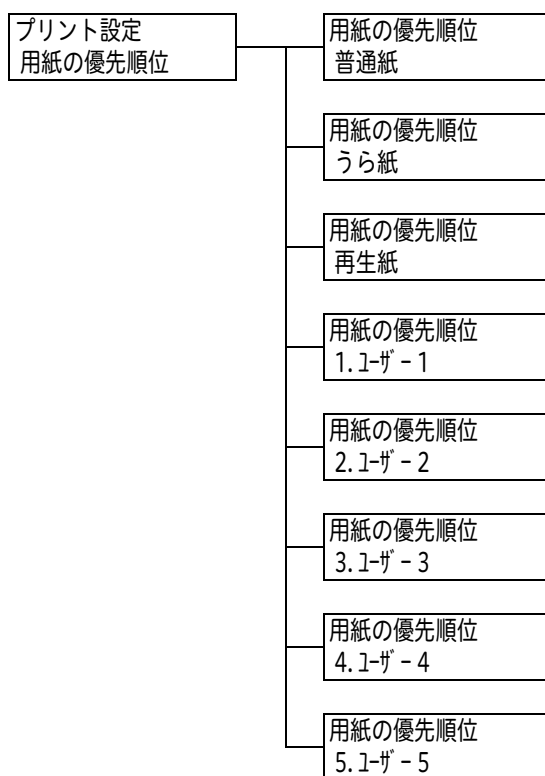
設定項目	説明
トレイ 6	<p>トレイ 6 にセットする用紙の種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[OHP フィルム]、[ラベル紙]、[うす紙]、[穴あき紙]、[1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 6 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。

[トレイの用紙色]



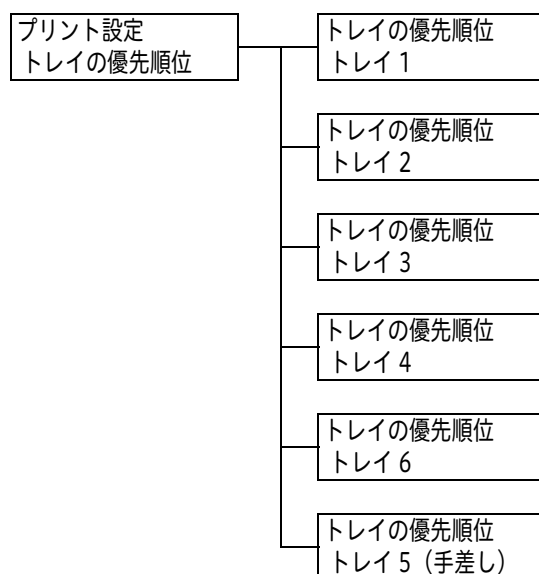
設定項目	説明
トレイ 1 ~ トレイ 4、 トレイ 5 (手差し)、 トレイ 6	<p>トレイにセットした用紙の色を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [白] (初期値)、[青]、[黄色]、[緑]、[ピンク]、[透明]、[アイボリー]、[グレー]、[クリーム]、[山吹色]、[赤]、[オレンジ]、[1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5]、[その他] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 3、4、6 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] には、[用紙色名称設定] で設定した名称が表示されます。

[用紙の優先順位]



設定項目	説明
普通紙、うら紙、再生紙、ユーザー 1 ~ 5	<p>自動トレイ選択によって選択されるトレイにセットされている用紙の種類 の優先順位を設定します。初期値は、普通紙 [1 番目]、再生紙 [2 番目]、そ れ以外は [設定しない] です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1 ~ 9 番目] 設定する優先順位を選択します。 ・ [設定しない] 優先順位を設定しません。この場合、自動トレイ選択の対象になりません。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した 名称が表示されます。 ・ 異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択されるト レイは、[トレイの優先順位] によって決定します。

[トレイの優先順位]



設定項目	説明
トレイ 1～トレイ 4、トレイ 6、トレイ 5 (手差し)	<p>自動トレイ選択によって選択されるトレイの優先順位を設定します。初期値は、トレイ 1 が [1 番目]、トレイ 2 が [2 番目]、トレイ 3 が [3 番目]、トレイ 4 が [4 番目]、トレイ 6 が [5 番目]、トレイ 5 (手差し) が [自動トレイ切替対象外] です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1 番目] ～ [5 番目] 設定する優先順位を選択します。 ・ [自動トレイ切替対象外] 自動トレイ選択の対象になりません。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 3、4、6 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。 ・ 異なるトレイに同じ優先順位は設定できません。他のトレイと同じ優先順位を指定した場合は、指定したトレイ以外の優先順位が、自動的に変更されます。 ・ トレイ 5 (手差し) には、もっとも低い優先度だけが設定できます。

[手差し優先]

プリント設定
手差し優先

設定項目	説明
手差し優先	<p>印刷ジョブで指定している用紙種類が手差しトレイにセットされている用紙種類と一致する場合に、手差しトレイを最優先で選択するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) 手差しトレイを最優先で選択しません。 ・ [する] 手差しトレイを最優先で選択します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [トレイの優先順位] > [トレイ 5 (手差し)] で [自動トレイ切替対象外] が選択されている場合、用紙種類が一致していなくても手差しトレイに用紙がセットされていれば手差しトレイから給紙されます。

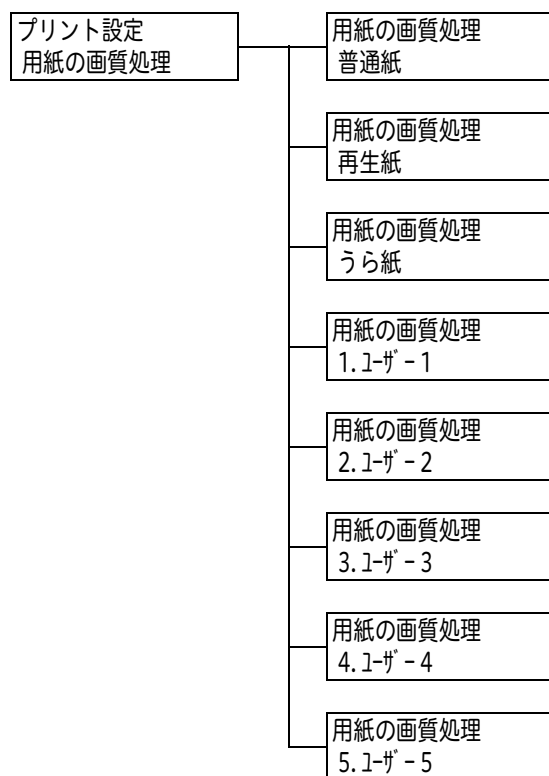
[トレイの用紙サイズ設定]



設定項目	説明
トレイ 1～トレイ 4、 トレイ 6	<p>各トレイの用紙サイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (トレイ 1～4、トレイ 6の初期値) センサーによって用紙サイズを自動検出します。 ・ [定形外] たて方向のサイズとよこ方向のサイズを任意の数値に設定します。 [定形外] を選択して表示される [たて (Y) 方向のサイズ] と [よこ (X) 方向のサイズ] で設定してください。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 3、4、6 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・ 定形外サイズの設定手順については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 136) を参照してください。

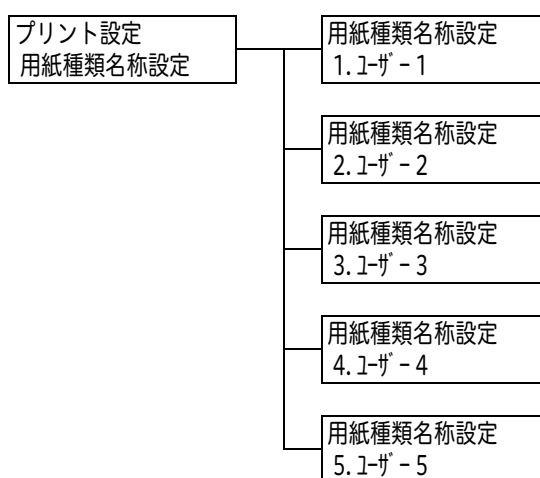
設定項目	説明
トレイ 5 (手差し)	<p>トレイ 5 (手差し) の用紙サイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [A3]、[A4]、[A4] (初期値)、[A5]、[A5]、[A6]、[B4]、[B5]、[B5]、[B6]、[B6]、[5.5 x 8.5]、[5.5 x 8.5]、[7.25 x 10.5]、[7.25 x 10.5]、[8.5 x 10]、[8.5 x 10]、[8.5 x 11]、[8.5 x 11]、[215 x 315mm]、[表紙 A4]、[9 x 11" (表紙レター)]、[十六開]、[十六開]、[八開]、[はがき]、[往復はがき]、[4 x 6]、[写真 2L サイズ]、[洋長形 3]、[封筒 #10]、[封筒 モナーク]、[封筒 DL]、[封筒 C4]、[封筒 C5] ・ [定形外] たて方向のサイズとよこ方向のサイズを任意の数値に設定します。 [定形外] を選択して表示される [たて (Y) 方向のサイズ] と [よこ (X) 方向のサイズ] で設定してください。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定形外サイズの設定手順については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 136) を参照してください。 ・ [トレイ 5 (手差し)] は、[トレイの優先順位] > [トレイ 5 (手差し)] で [自動トレイ切替対象外] が選択されている場合には表示されません。

[用紙の画質処理]



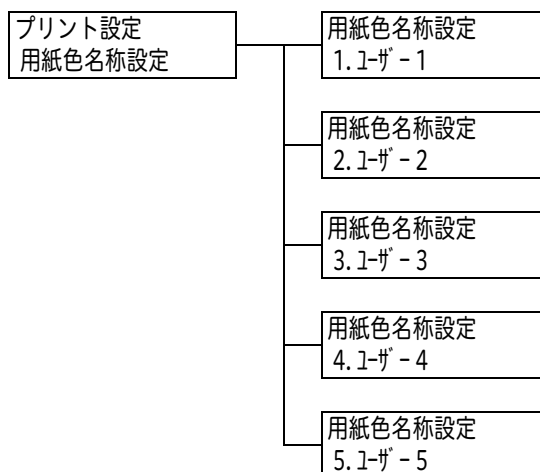
設定項目	説明
普通紙、再生紙、 うら紙、 1. ユーザー 1 ~ 5. ユーザー 5	それぞれの用紙に対する画質処理（用紙種類）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [A] 90 ~ 105g/m² の上質紙に適した画質です。 ・ [B]（[普通紙]、[うら紙] の初期値） 80 ~ 89g/m² の一般的に使われているオフィス用紙（P 紙、C2（シーツ）紙など）に適した画質です。 ・ [C]（[再生紙]、[1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] の初期値） 60 ~ 79g/m² の再生紙（C2r（シーツアール）紙など）に適した画質です。

[用紙種類名称設定]



設定項目	説明
1. ユーザー 1 ~ 5. ユーザー 5	[用紙の優先順位]、[トレイの用紙種類]、[用紙の画質処理] などに表示される [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] を、任意の名称に変更できます。 英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ~ 8 文字の間で設定します。 (参照 P. 218*2、*4 の No.1、2、3、4)

[用紙色名称設定]



設定項目	説明
1. ユーザー 1 ~ 5. ユーザー 5	[トレイの用紙色] に表示される [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] を任意の名称に変更できます。 英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ~ 8 文字の間で設定します。 (参照 P. 218*2、*4 の No.1、2、3、4)

[センタートレイのオフセット]

補足

- この項目は、インナー排出トレイ（オプション）が取り付けられていない場合に表示されます。

プリント設定
センタートレイのオフセット

設定項目	説明
センタートレイのオフセット	用紙を排出するときに、位置をずらして用紙を排出することを「オフセット」といいます。センタートレイのオフセット機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [セットごとにずらす] (初期値) 部数単位でオフセットします。 ・ [ジョブごとにずらす] ジョブ単位でオフセットします。 ・ [しない] オフセットしません。

[センタートレイ下段オフセット]

補足

- この項目は、インナー排出トレイ（オプション）が取り付けられていて、[インナー排出トレイ] が [あり] に設定されている場合に表示されます。インナー排出トレイの設定については、「[インナー排出トレイ]」(P.185) を参照してください。

プリント設定
センタートレイ下段オフセット

設定項目	説明
センタートレイ下段オフセット	用紙を排出するときに、位置をずらして用紙を排出することを「オフセット」といいます。センタートレイ下段のオフセット機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [セットごとにずらす] (初期値) 部数単位でオフセットします。 ・ [ジョブごとにずらす] ジョブ単位でオフセットします。 ・ [しない] オフセットしません。

[センタートレイ上段オフセット]

補足

- ・ この項目は、インナー排出トレイ（オプション）が取り付けられていて、[インナー排出トレイ]が[あり]に設定されている場合に表示されます。インナー排出トレイの設定については、「[インナー排出トレイ]」(P.185)を参照してください。

プリント設定
センタートレイ上段オフセット

設定項目	説明
センタートレイ上段 オフセット	用紙を排出するときに、位置をずらして用紙を排出することを「オフセット」といいます。センタートレイ上段のオフセット機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [セットごとにずらす]（初期値） 部数単位でオフセットします。・ [ジョブごとにずらす] ジョブ単位でオフセットします。・ [しない] オフセットしません。

[フィニッシャートレイのオフセット]

補足

- ・ この項目は、フィニッシャー（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

プリント設定
フィニッシャートレイのオフセット

設定項目	説明
フィニッシャートレイの オフセット	用紙を排出するときに、位置をずらして用紙を排出することを「オフセット」といいます。フィニッシャートレイのオフセット機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [セットごとにずらす]（初期値） 部数単位でオフセットします。・ [ジョブごとにずらす] ジョブ単位でオフセットします。・ [しない] オフセットしません。

[ID 印字機能]

プリント設定
ID 印字機能

設定項目	説明
ID 印字機能	特定の位置に、ユーザー ID を印刷します。 <ul style="list-style-type: none">・ [しない] (初期値) ユーザー ID を印刷しません。・ [左上] ユーザー ID を、用紙の左上部分に印刷します。・ [右上] ユーザー ID を、用紙の右上部分に印刷します。・ [左下] ユーザー ID を、用紙の左下部分に印刷します。・ [右下] ユーザー ID を、用紙の右下部分に印刷します。

[奇数ページの両面]

プリント設定
奇数ページの両面

設定項目	説明
奇数ページの両面	両面印刷時の、奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [片面] (初期値) 片面分の最終ページを、片面印刷時と同じく両面印刷を行うための給紙動作をしないで印刷します。両面の印刷動作をしないため、高速に印刷できます。・ [両面] 最終ページは片面のみのデータですが、両面印刷時と同じく両面印刷を行うための給紙動作を行います。用紙に上下、または左右の区別がある用紙（穴あき用紙など）に印刷する場合は、印刷の向きをそろえることができます。

[未登録フォームへ印字]

プリント設定
未登録フォームへ印字

設定項目	説明
未登録フォームへ印字	印刷時に指定されたフォームが未登録だった場合に、印刷を中止するか、データのみ印刷するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [する (データのみ)] (初期値)・ [しない]

[基本の用紙サイズ]

プリント設定
基本の用紙サイズ

設定項目	説明
基本の用紙サイズ	各プリントモードの [用紙サイズ] の初期値を設定します。 ・ [A4] (初期値) ・ [8.5x11"]

[サイズ検知切り替え]






























プリント設定
サイズ検知切り替え

設定項目	説明
サイズ検知切り替え	定形サイズ原稿、および用紙を自動的に検知するときの、用紙サイズを設定します。[AB系] (初期値)、[AB系 (八開 / 十六開)]、[AB系 (8×13"/8×14")]、[インチ系]、[AB系 (8×13")] から選択します。 自動検知できるサイズの組み合わせについては、下の表を参照してください。

■ 自動検知できるサイズ

用紙サイズグループ	AB系 / AB系 (八開 / 十六開)				AB系 (8x13") / AB系 (8x13"/8x14")			
	トレ11~4 (2トレ1メモジュール)	トレ13~4 (タッチドトレ1メモジュール)	トレ16	トレ15 (手差し)	トレ11~4 (2トレ1メモジュール)	トレ13~4 (タッチドトレ1メモジュール)	トレ16	トレ15 (手差し)
A6 	×	×	×	×	×	×	×	×
A5 	○	×	×	○	○	×	×	○
A5 	×	×	×	○	×	×	×	×
A4 	○	×	×	○	○	×	×	×
A4 	○	○	○	○	○	○	○	×
A3 	○	×	×	○	○	×	×	×
B6 	×	×	×	×	×	×	×	×
B6 	×	×	×	○	×	×	×	×
B5 	○	×	×	○	○	×	×	○
B5 	○	○	○	○	×	×	×	×
B4 	○	×	×	○	○	×	×	○

用紙サイズグループ	AB系 / AB系 (八開 / 十六開)				AB系 (8x13") / AB系 (8x13"/8x14")			
	トシテ1~4 (2トシテモジュール)	トシテ3~4 (タンデムトシテモジュール)	トシテ6	トシテ5(手差し)	トシテ1~4 (2トシテモジュール)	トシテ3~4 (タンデムトシテモジュール)	トシテ6	トシテ5(手差し)
5.5x8.5"	×	×	×	×	×	×	×	×
5.5x8.5"	×	×	×	×	×	×	×	○
7.25x10.5"	×	×	×	×	×	×	×	×
7.25x10.5"	×	×	×	×	○	○	○	○
8x10"	×	×	×	×	×	×	×	×
8x10"	×	×	×	×	×	×	×	×
8.5x11"	○	×	×	×	○	×	×	○
8.5x11"	○	○	○	×	○	○	○	○
215x315mm	×	×	×	×	×	×	×	×
8.5x13"	○	×	×	×	○	×	×	○
8.5x14"	○	×	×	×	○	×	×	○
11x15"	×	×	×	×	×	×	×	×
11x17"	○	×	×	×	○	×	×	○
表紙 A4	×	×	×	×	×	×	×	×
表紙レター (9x11")	×	×	×	×	×	×	×	×
十六開 (台湾 / 中国本土)	×	×	×	×	×	×	×	×
十六開 (台湾 / 中国本土)	○	×	×	×	×	×	×	×
八開 (台湾 / 中国本土)	○	×	×	×	×	×	×	×
郵便はがき	×	×	×	○	×	×	×	×
往復はがき	×	×	×	×	×	×	×	×
Post Card (4x6")	×	×	×	×	×	×	×	×
写真 2L (5x7")	×	×	×	×	×	×	×	×
封筒長形 3号	×	×	×	○	×	×	×	×
封筒洋長形 3号	×	×	×	○	×	×	×	×
Commercial#10	×	×	×	×	×	×	×	○
Monarch7.3/4	×	×	×	×	×	×	×	○
封筒 DL	×	×	×	×	×	×	×	×
封筒角形 20号 (C4)	×	×	×	×	×	×	×	×
封筒角形 6号 (C5)	×	×	×	×	×	×	×	○

用紙サイズグループ	インチ系			
	トレイ1~4 (2トレイモジュール)	トレイ3~4 (タンデムトレイモジュール)	トレイ6	トレイ5(手差し)
セットする場所				
A6 	×	×	×	×
A5 	×	×	×	×
A5 	×	×	×	×
A4 	○	×	×	×
A4 	○	○	○	×
A3 	○	×	×	×
B6 	×	×	×	×
B5 	○	×	×	○
B5 	×	×	×	×
B4 	○	×	×	○
5.5x8.5" 	○	×	×	×
5.5x8.5" 	×	×	×	○
7.25x10.5" 	×	×	×	×
7.25x10.5" 	○	○	○	○
8x10" 	×	×	×	×
8x10" 	×	×	×	×
8.5x11" 	○	×	×	○
8.5x11" 	○	○	○	○
215x315mm 	×	×	×	×
8.5x13" 	○	×	×	○
8.5x14" 	○	×	×	○
11x15" 	×	×	×	×
11x17" 	○	×	×	○
表紙 A4 	×	×	×	×
表紙レター (9x11") 	×	×	×	×
十六開  (台湾 / 中国本土)	×	×	×	×
十六開  (台湾 / 中国本土)	×	×	×	×
八開  (台湾 / 中国本土)	×	×	×	×
郵便はがき 	×	×	×	×

用紙サイズグループ	インチ系			
	トレナ1~4 (2トレナモジュール)	トレナ3~4 (タッチ&トレナモジュール)	トレナ6	トレナ5(手差し)
セットする場所				
往復はがき <input type="checkbox"/>	×	×	×	×
Post Card (4x6") <input type="checkbox"/>	×	×	×	○
写真 2L (5x7") <input type="checkbox"/>	×	×	×	○
Post Card (6x9") <input type="checkbox"/>	×	×	×	○
封筒長形 3号 <input type="checkbox"/>	×	×	×	×
封筒洋長形 3号 <input type="checkbox"/>	×	×	×	×
Commercial#10 <input type="checkbox"/>	×	×	×	○
Monarch7.3/4 <input type="checkbox"/>	×	×	×	○
封筒 DL <input type="checkbox"/>	×	×	×	×
封筒角形 20号 (C4) <input type="checkbox"/>	×	×	×	×
封筒角形 6号 (C5) <input type="checkbox"/>	×	×	×	○

[OCR フォントのグリフ]

プリント設定
OCR 以外のグリフ

設定項目	説明
OCRフォントのグリフ	ART IV、ESC/P、または PCL エミュレーションモードでの OCR-B のグリフコード 0x5c を切り替えることができます。 ・ [バックスラッシュ] (初期値) ・ [円記号]

[メモリー設定] (参照 P. 218 の *2)

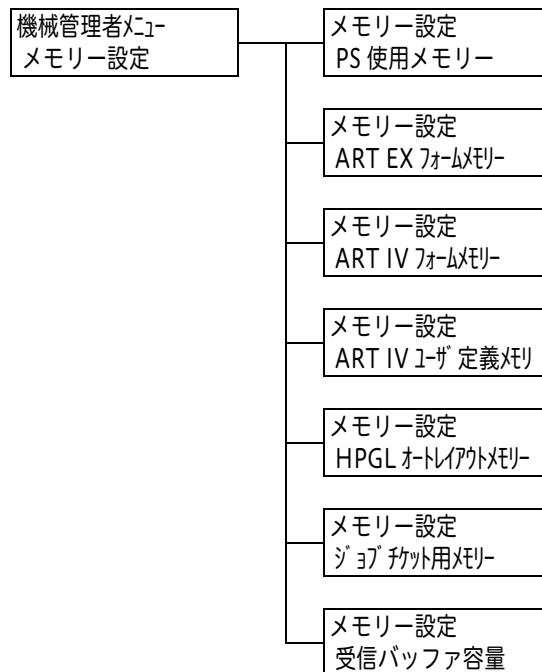
[メモリー設定] は、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量を変更します。

注記

- ・メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- ・メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。
- ・ポートを起動に設定したときにメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、メモリーの割り当て容量を変更してください。ただし、パラレルポート、USB ポートは自動的に停止しません。

補足

- ・メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、または CentreWare Internet Services で設定できます。
- ・プリントページバッファは、実際の印刷イメージを描画する領域です。プリントページバッファの容量は、直接変更できません。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。解像度の高い文書を印刷するときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、[機能設定リスト] で確認できます。また、CentreWare Internet Services を使っても確認できます。



設定項目	説明
PS 使用メモリー	<p>PostScript の使用メモリー容量を指定します。 55.00 ~ 128.00MB の間で、0.25MB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [55.00MB] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。

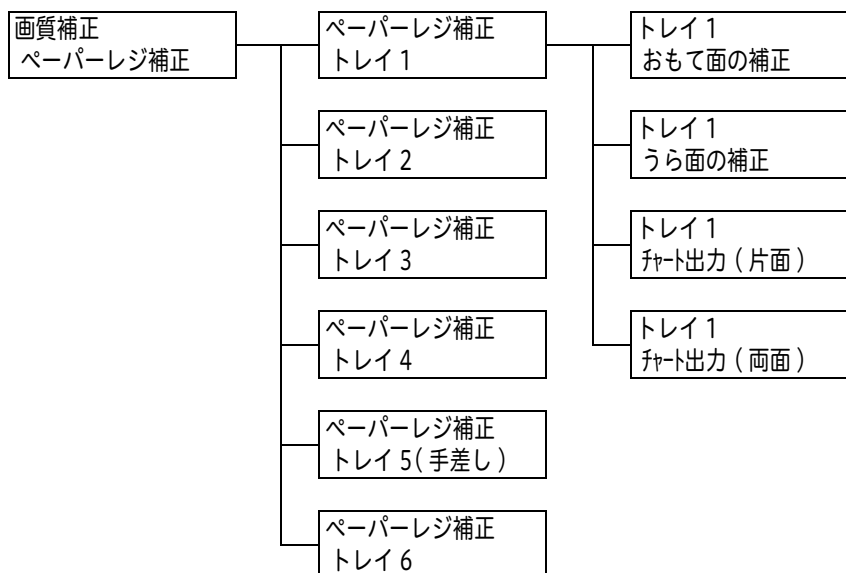
設定項目	説明
ART EX フォーム メモリー	<p>ART EX プリンタードライバー用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ~ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [128KB] (初期値) <p>ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
ART IV フォーム メモリー	<p>ART IV 用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ~ 2048KB の間で、32KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [128KB] (初期値) <p>ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
ART IV ユーザ 定義メモリー	<p>ART IV のユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。 32 ~ 2048KB の間で、32KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [32KB] (初期値) <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
HPGL オート レイアウトメモリー	<p>HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。 64 ~ 5120KB の間で、32KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [64KB] (初期値) <p>ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合は、オートレイアウト用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。</p>
ジョブチケット用メモリー	<p>ジョブチケットに使用するメモリーの容量を指定します。 0.25 ~ 8.00MB の間で、0.25MB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [0.25MB] (初期値)
受信バッファ容量	<p>インターフェイスごとに、受信バッファ (コンピューターから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所) のメモリー容量を設定します。LPD、SMB、IPP の場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。</p> <p>受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するコンピューターの解放が早くなる場合があります。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートが停止している場合は、対応する各項目は表示されません。 ・ コンピューターから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもコンピューターの解放時間が変わらない場合があります。

設定項目	説明
パラレルメモリー、IPPメモリー、USBメモリー、Port9100メモリー	<p>64～1024KBの間で、32KB単位にメモリー容量を設定します。初期値はパラレル、USBは[64KB]、そのほかは[256KB]です。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[IPPメモリー]は、ハードディスク(オプション)が取り付けられていない場合に表示されます。ハードディスクが取り付けられている場合は、[IPPスプール]が表示されます。 ・パラレルメモリーは、パラレルポート(オプション)が取り付けられている場合に表示されます。
LPDスプール	<ul style="list-style-type: none"> ・[スプールしない](初期値) スプール処理は行われません。あるコンピューターからLPDの印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。LPD専用の受信バッファのメモリー容量を、1024～2048KBの間で32KB単位で設定します。初期値は[1024KB]です。 ・[ハードディスクスプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。この項目は、ハードディスク(オプション)が取り付けられている場合に表示されます。 ・[メモリースプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。この候補値を選択したときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.5～32.00MBの間で0.25MB単位で設定します。初期値は[1.00MB]です。なお、設定したメモリー容量よりも大きい印刷データは、受信できません。このようなときは、[ハードディスクスプール]、または[スプールしない]を選択してください。 <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LPR バイトカウントを無効にしている場合、スプールメモリーで設定されている容量より大きな容量の文書を送信すると、ジョブの送信が繰り返されてしまいます。この場合には、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで[ポート]タブを開いて、LPR バイトカウントを有効にするか、メモリースプールの容量を文書容量よりも大きい値に変更してください。
IPPスプール	<ul style="list-style-type: none"> ・[スプールしない](初期値) スプール処理は行われません。あるコンピューターからのIPPの印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。IPP専用の受信バッファのメモリー容量を、64～1024KBの間で32KB単位で設定します。初期値は[256KB]です。 ・[ハードディスクスプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[IPPスプール]は、ハードディスク(オプション)が取り付けられている場合に表示されます。ハードディスクが取り付けられていない場合は、[IPPメモリー]が表示されます。

[画質補正]

[画質補正] は、印刷画質が悪いときに本機を調整します。

[ペーパーレジ補正]



補足

- ・トレイ 3、4、6 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。
- ・[おもて面の補正]、[うら面の補正]、[チャート出力 (片面)]、[チャート出力 (両面)] は、トレイ 1～トレイ 5 (手差し)、トレイ 6 の各々のトレイに対応して表示されます。
- ・ペーパーレジ補正については、「7.12 ペーパーレジを調整する」(P. 361) を参照してください。
- ・垂直方向 (リードレジ) の補正はトレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

設定項目	説明
おもて面の補正	おもて面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) の印刷位置を補正します。 ・ -2.0mm ~ +2.0mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.5mm 刻みで設定できます。
うら面の補正	うら面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) の印刷位置を補正します。 ・ -2.0mm ~ +2.0mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.5mm 刻みで設定できます。
チャート出力 (片面)	おもて面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) の印刷位置を補正するときに使用するチャートを出力します。
チャート出力 (両面)	うら面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) の印刷位置を補正するときに使用するチャートを出力します。

[フィニッシャーの調整]

フィニッシャーを使用する場合の設定をします。

[パンチユニットの設定]

補足

- この項目は、フィニッシャー C3 パンチユニット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

フィニッシャーの調整
パンチユニットの設定

設定項目	説明
パンチユニットの設定	パンチ穴の数を設定します。 <ul style="list-style-type: none">[2/4 穴] (初期値) パンチユニット 2/4 穴が取り付けられている場合に選択します。 2 穴の間隔は、80mm です。[2/3 穴 (US 規格)] パンチユニット 2/3 穴 (US 規格) (オプション) が取り付けられている場合に選択します。 2 穴の間隔は、70mm です。

[折りを補助する筋]

補足

- この項目は、中とじフィニッシャー C3 (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

フィニッシャーの調整
折りを補助する筋

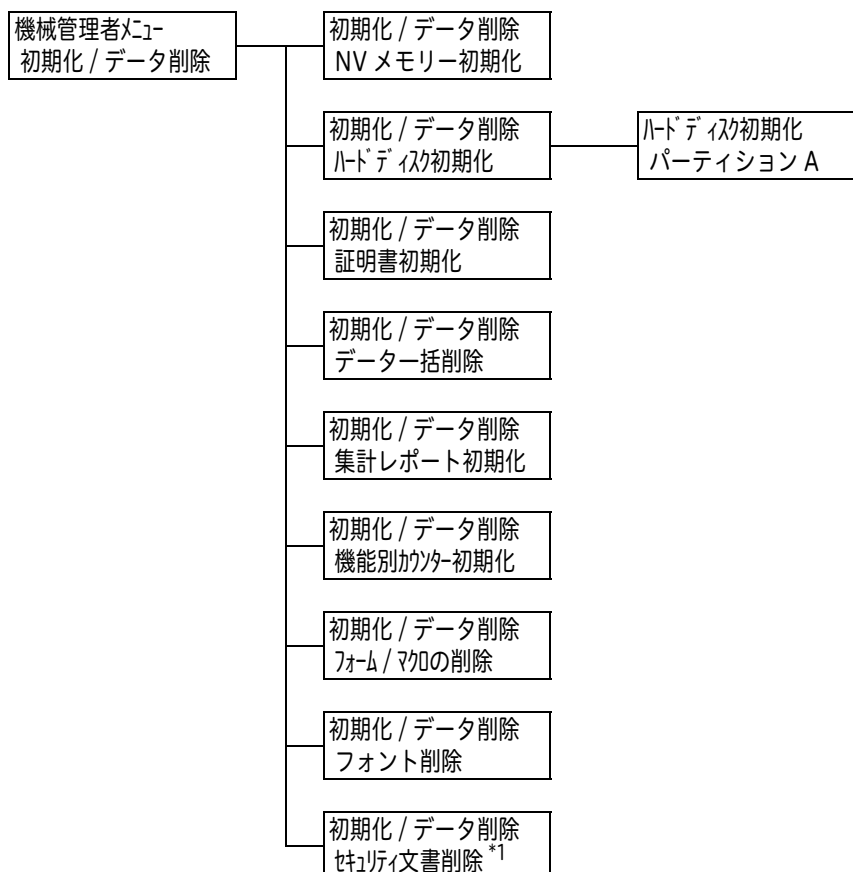
設定項目	説明
折りを補助する筋	補助折り線の数を設定します。 <ul style="list-style-type: none">[付けない] 補助折り線を付けません。[片側 1 本] 補助折り線を 1 本付けます。[片側 2 本] 補助折り線を 2 本付けます。[片側 3 本] 補助折り線を 3 本付けます。

[初期化 / データ削除]

[初期化 / データ削除] では、NV メモリーに記憶されているプリンター設定値、ネットワークポート、ハードディスク（オプション）の初期化、および本機に登録されているフォームなどのデータを削除します。

補足

- ・ 初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。



*1 セキュリティープリントを使用している場合は [セキュリティ文書削除]、プライベートプリントを使用している場合は [プライベート文書削除] と表示されます。

設定項目	説明
NV メモリー 初期化	NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。 補足 ・ NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。
ハードディスク 初期化	ハードディスク（オプション）を初期化します。 初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、PC-PR201H、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データです。 補足 ・ ハードディスクを初期化しても、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書やログは消去されません。 ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
証明書初期化	証明書を一括削除し、初期化します。 登録した証明書が破損し、使用できない場合に行ってください。

設定項目	説明
データ一括削除	<p>NV メモリー、ハードディスク（オプション）のデータを一括して初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。また、ハードディスクを初期化すると、追加フォント、PC-PR201H、ART EX、ART IV、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書が消去されます。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードディスクが装着されている場合、処理に時間がかかることがあります（約 1 時間以上）。処理中は、操作パネルのランプが点滅します。処理中は、電源を切らないようにしてください。
集計レポート初期化	<p>集計レポートを初期化します。初期化すると、集計値が 0 になります。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 「[プリンター集計レポート] のデータを初期化する」(P. 317) を参照してください。
機能別カウンター初期化	<p>機能別カウンターや稼働状況別時間カウンターなどを初期化します。初期化すると、カウンターの値が 0 になります。</p>
フォーム / マクロの削除	<p>登録されているフォーム / マクロを削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ART EX フォーム削除] ART EX プリンタードライバー用フォームを削除します。 [ART IV フォーム削除] ART IV 用フォームを削除します。 [201H フォーム削除] エミュレーションの PC-PR201H 用フォームを削除します。 [ESC/P フォーム削除] エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。 [PCL マクロ削除] エミュレーションの PCL 用マクロを削除します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。 登録されているマクロがない場合は、[マクロ登録はありません] と表示されます。
フォント削除	<p>登録されているフォントを削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [PCL フォント削除] エミュレーションの PCL 用フォントを削除します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。 登録されているフォントがない場合は、[フォント登録はありません] と表示されます。
セキュリティー文書削除	<p>セキュリティープリントやプライベートプリントとして蓄積されている文書を削除します。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティープリントを使用している場合には [セキュリティー文書削除]、プライベートプリントを使用している場合には [プライベート文書削除] の項目が表示されます。 文書がない場合は、[文書はありません] と表示されます。

[プリント言語の設定]

[プリント言語の設定] には、[201H]、[ESCP]、[HPGL]、[PDF]、[PCL]、[PostScript]、[XPS]、[XDW (DocuWorks)] のメニュー項目があります。

[201H]

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『PC-PR201H エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[ESCP]

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『ART IV、ESC/P エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[HPGL]

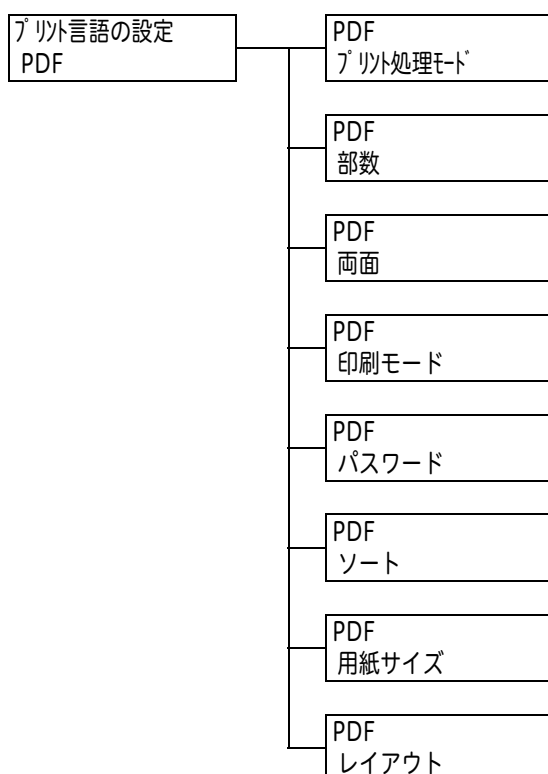
このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[PDF]

PDF ファイルを直接プリンターに送信して印刷する場合の設定をします。

補足

・ [部数]、[両面]、[印刷モード]、[パスワード]、[ソート]、[用紙サイズ]、[レイアウト] の設定は、ContentsBridge Utility（富士ゼロックス株式会社製のソフトウェア）を使用しないで PDF ファイルを印刷する場合に有効になります。詳しくは、「3.11 PDF ファイルを直接印刷する」（P. 97）を参照してください。



設定項目	説明
プリント処理モード	<p>PDF ファイルの印刷処理モードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PDF Bridge] (初期値) PDF ファイルを、本機搭載の PDF Bridge 機能を使用して処理します。 ・ [PS] PDF ファイルを PostScript の機能を使用して処理します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。 ・ [PDF Bridge] を選択した場合と [PS] を選択した場合では、印刷結果が異なることがあります。
部数	<p>印刷する部数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1 部] ~ [999 部] (初期値: 1 部) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。
両面	<p>両面印刷について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) 両面印刷をしません。 ・ [長辺とじ] 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷をします。 ・ [短辺とじ] 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷をします。
印刷モード	<p>画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [標準] (初期値) 標準的な速度、画質で印刷します。 ・ [高画質] 印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。 ・ [高速] 速度を優先して印刷します。
パスワード	<p>PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。印刷する PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけ印刷できます。 設定できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 218 の *4 No.1、3、4、5)</p>
ソート	<p>複数部数を、1 部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) して印刷するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する]
用紙サイズ	<p>出力する用紙サイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) 印刷する PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。 ・ [A4] または [8.5 x 11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5 x 11"] のどちらかが表示されます。

設定項目	説明
レイアウト	<p>印刷するときのレイアウトについて設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動倍率] (初期値) 印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。 ・ [100% (等倍)] 印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。 ・ [カタログ (小冊子)] 印刷する PDF ファイルのページ構成に応じて、カタログのようにページを割り付けて両面印刷します。ただし、ページ構成によっては、カタログ印刷ができない場合があります。その場合は、[自動倍率] で印刷されます。また、[用紙サイズ] で [A4] を設定している場合は、A4 サイズの用紙に印刷されます。[用紙サイズ] で [自動] を設定している場合は、A3 または A4 サイズの用紙に印刷されます。 ・ [2 アップ] 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。 ・ [4 アップ] 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられていて、[プリント処理モード] で [PS] を選択している場合は表示されません。

[PCL]

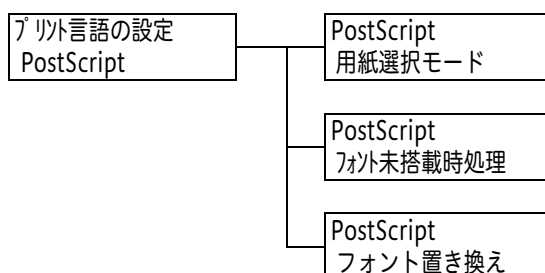
このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[PostScript]

PostScript に関する設定をします。

補足

- ・ この項目は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。



設定項目	説明
用紙選択モード	<p>PostScript の DMS (Deferred Media Selection) 機能を有効にするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) DMS (Deferred Media Selection) 機能を有効にします。 ・ [トレイから選択] DMS (Deferred Media Selection) 機能を無効にします。用紙トレイから選択されます。

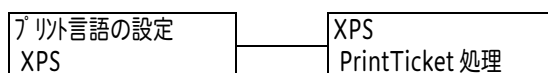
設定項目	説明
フォント未搭載時 処理	<p>ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [フォントを置き換え] (初期値) ジョブで指定されたフォントを置き換えて印刷します。置き換えられるフォントは Courier です。置き換えられたフォントが日本語の場合は、正しく印刷されません。日本語フォントで印刷する場合は [フォント置き換え] で [ATCx を使用する] を選択してください。 ・ [ATCx を使用する] (初期値) ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えて印刷する機能です。 ・ [プリントを中止] 印刷を中止します。
フォント置き換え	<p>ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。</p> <p>ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えて印刷する機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ATCx を使用する] (初期値) ・ [ATCx を使用しない]

[XPS]

XPS に関する設定をします。

補足

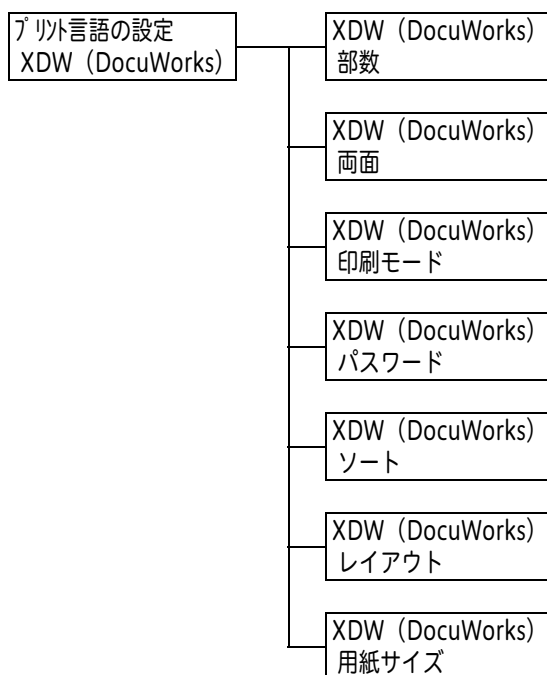
- ・ XPS とは、XML Paper Specification の略です。



設定項目	説明
PrintTicket 処理	<p>XPS PrintTicket^{*1} を読み込んだ時の本機の動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [標準モード] (初期値) PrintTicket を処理します。本機用の他のプリンタードライバーからの出力に近い結果が得られます。 ・ [無効] PrintTicket 処理をしません。本機以外の機種用に生成された XPS 文書を処理したときに PrintTicket エラーが発生するような場合に、本設定にすることで出力できるようになります。 ・ [準拠モード] 指示がない時の代替設定や、無効な指示があった場合は Microsoft の仕様に準拠した処理を行います。本機以外の機種で XPS 文書を出力した結果と合わせたい場合に設定します。 <p>^{*1} PrintTicket とは、Microsoft 社が規定した XPS 文書内部に格納されている印刷設定です。</p>

[XDW (DocuWorks)]

DocuWorks ファイルを直接プリンターに送信して印刷する場合の設定をします。



設定項目	説明
部数	<p>印刷する部数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1部] ~ [999部] (初期値: 1部) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。
両面	<p>両面印刷について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) 両面印刷をしません。 ・ [長辺とじ] 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷をします。 ・ [短辺とじ] 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷をします。
印刷モード	<p>画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [高速] 速度を優先して印刷します。 ・ [標準] (初期値) 標準的な速度、画質で印刷します。 ・ [高画質] 印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。
パスワード	<p>DocuWorks ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。印刷する DocuWorks ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけ印刷できます。</p> <p>設定できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。</p> <p>(参照 P. 218 の *4 No.1、3、4、5)</p>
ソート	<p>複数部数を、1部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) して印刷するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する]

設定項目	説明
レイアウト	<p>印刷するときのレイアウトについて設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動倍率] (初期値) 印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。 ・ [100% 等倍] 印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。 ・ [2 アップ] 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。 ・ [4 アップ] 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動倍率] や [2 アップ]、[4 アップ] では、付箋を含まない原稿サイズで倍率が設定されます。
用紙サイズ	<p>出力する用紙サイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) 印刷する DocuWorks ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。 ・ [A4] または [8.5×11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5×11"] のどちらかが表示されます。

[言語切り替え]

メニュー
言語切り替え

設定項目	説明
言語切り替え	操作パネルの表示言語を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [日本語] (初期値) 日本語で表示します。 ・ [English] 英語で表示します。

補足

- ・ [English] に設定した場合、プリンタードライバーや弊社ソフトウェアは英語版を使用してください。なお、英語版のプリンタードライバー、ContentsBridge Utility は、「A.4 製品情報の入手方法」(P. 381) を参照して弊社のホームページからダウンロードしてください。

*1 [自動] 設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。

*2 <▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

*3 ダンププリントの各列は、次の項目が印刷されます。

Count	ジョブの先頭データからのバイト数が印刷されます。
16 進数表記コード	印刷データを 4 バイトごとに区切り、16 進表記形式で印刷されます。
ASCII コード	印刷データを JIS X0201 の 8 単位符号を使用して印刷されません。JIS X0201 で定義されていない文字は、UD と印刷されません。

*4 文字列一覧

No.	文字種	文字
1	空白	スペース
2	半角カナ	アアイウエオカククケコサシセリヲチツテトナニネノハヒフホマミメヤユヨ ラリルロワヅ
3	アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
4	数字	0123456789
5	記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^_`{ }

*5 ・ [有効] の設定時、プリントモード指定が [HexDump] に設定されている場合、PjL コマンドも [HexDump] で出力されます。

・ PjL コマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。

*6 WSD は、Web Services on Devices の略称です。

6 困ったときには

本機の使用中にトラブルが発生し、どのように対処したらよいかわからないときには、まず、「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)～「6.8 ネットワーク関連のトラブル」(P. 294)の症状の中に該当するものがないかを探してください。

該当する項目があったら、「処置」の説明を参照して対処してください。

該当する項目がない、または該当する処置をしても改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

6.1 紙づまりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルの〈エラー〉ランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙づまりの位置を操作パネルの左下にある概観図で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。

紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態から印刷が再開されます。

概観図の表示	メッセージに表示されている紙づまりの位置	紙づまりの処置	参照ページ
A	カバー A	左側面上部カバー [A] 内での紙づまり	P. 220
B	カバー B	左側面下部カバー [B] 内での紙づまり	P. 222
C	カバー C	左側面下部カバー [C] 内での紙づまり	P. 223
D	カバー D	左側面上部カバー [D] 内での紙づまり	P. 224
E	カバー E	左側面最上部カバー [E] 内での紙づまり	P. 225
1～4	トレイ 1～4	トレイ 1～4 (トレイ 3、4 は 2 トレイモジュール) での紙づまり	P. 226
-	トレイ 3	トレイ 3 (タンデムトレイモジュール) での紙づまり	P. 226
-	トレイ 4	トレイ 4 (タンデムトレイモジュール) での紙づまり	P. 227
5	トレイ 5 (手差し)	トレイ 5 (手差し) での紙づまり	P. 228
-	大容量トレイユニット / トレイ 6	トレイ 6 での紙づまり	P. 228
-	フィニッシャー / センタートレイ	フィニッシャー接続時のセンタートレイでの紙づまり	P. 231
F	フィニッシャー / カバー F	フィニッシャー接続部のカバー F 内での紙づまり	P. 231
-	フィニッシャー / [3a]	フィニッシャー内部 [3a] での紙づまり	P. 232
-	フィニッシャー / [3a] / [3b]	フィニッシャー内部 [3a] / [3b] での紙づまり	P. 233
-	フィニッシャー / [3c]	フィニッシャー内部 [3c] での紙づまり	P. 234
-	フィニッシャー / [3d]	フィニッシャー内部 [3d] での紙づまり	P. 235
		フィニッシャー内部 [3d] での紙づまり (排出口から用紙が出ている場合)	P. 235

概観図の表示	メッセージに表示されている紙づまりの位置	紙づまりの処置	参照ページ
-	フィニッシャー / [4]	フィニッシャー内部 [4] での紙づまり	P. 236
-	フィニッシャー / [4a]	フィニッシャー内部 [4a] での紙づまり	P. 236
-	メールボックス	10 ビン出力装置での紙づまり	P. 237

⚠ 警告

- ・ 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラ部に用紙が巻きついているときは無理にとらないでください。ケガややけどの原因となる恐れがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

注記

- ・ 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。
- ・ 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- ・ 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・ 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

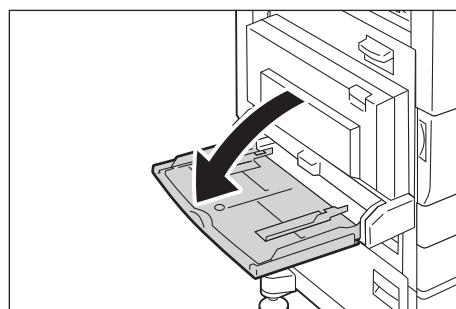
本体の左側面上部カバー [A] での紙づまり

本体の左側面上部のカバー [A] 内で発生した紙づまりの処置方法について説明します。ディスプレイに表示されるメッセージで、どちらのレバーを使用するかを確認してください。

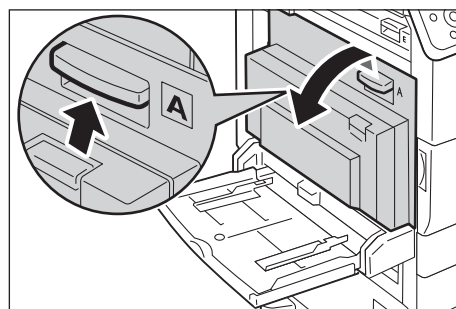
- ・ 「緑のレバー [A1] を使う場合」 (P.220)
- ・ 「緑のレバー [A2] を使う場合」 (P.221)

緑のレバー [A1] を使う場合

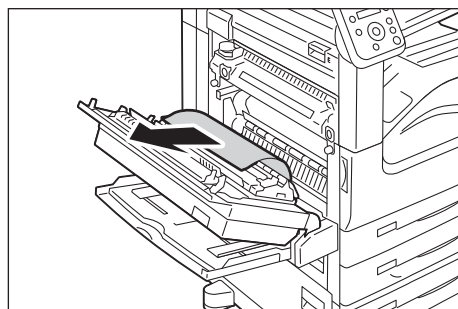
1. 用紙トレイ 5 (手差し) を開けます。



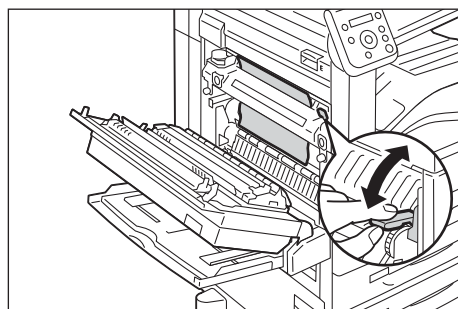
2. カバー [A] のレバーを押し上げて、カバー [A] を開けます。



3. 詰まっている用紙が定着部に達していない場合は、詰まっている用紙を取り除きます。手順 6 に進みます。詰まっている用紙が定着部に達している場合は手順 4 に進みます。



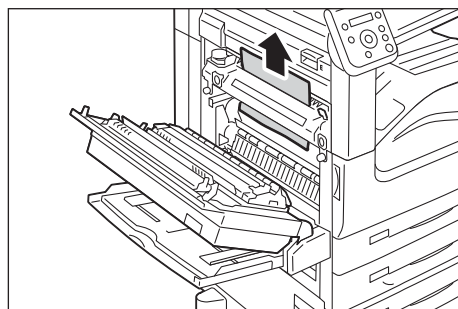
4. 緑のレバー [A1] を矢印の方向に繰り返し押し下げて、上方に用紙を送り出します。



5. 矢印の方向に用紙を取り除きます。

補足

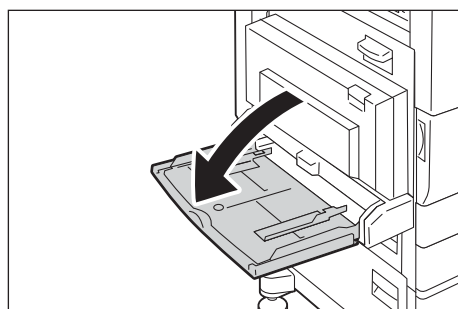
- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



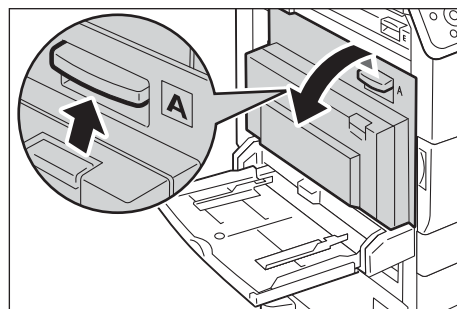
6. カバー [A] の中央部を押して、ゆっくりと閉じ、用紙トレイ 5 (手差し) を上げます。

緑のレバー [A2] を使う場合

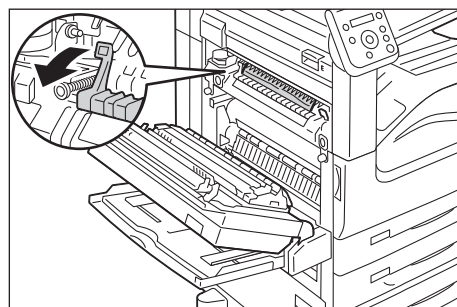
1. 用紙トレイ 5 (手差し) を開けます。



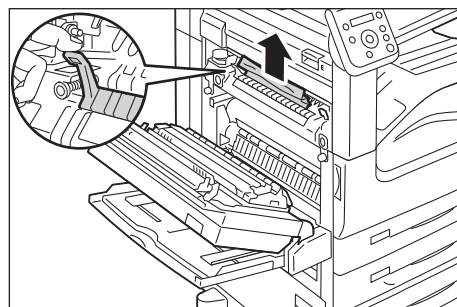
- カバー [A] のレバーを押し上げて、カバー [A] を開けます。



- 定着部に用紙が詰まっているときは、緑のレバー [A2] を矢印の方向に下げて、定着部のカバーを開けます。



- 詰まった用紙が定着部の中にある場合は、緑のレバー [A2] を押さえたままゆっくりと引いて取り除きます。



補足

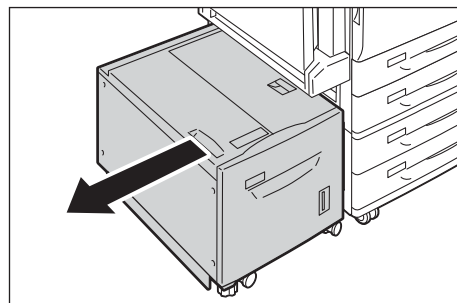
- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

- カバー [A] の中央部を押して、ゆっくりと閉じ、用紙トレイ 5 (手差し) を上げます。

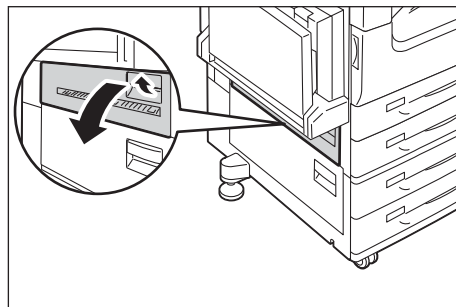
左側面下部カバー [B] での紙づまり

本体の左側面下部のカバー [B] 内で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

- 用紙トレイ 6 (大容量給紙トレイ (1 段)) が装着されている場合は、トレイの上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。



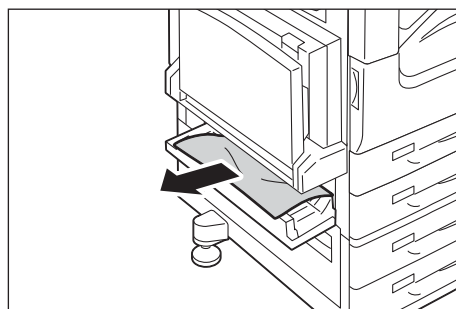
2. カバー[B]のレバーを押し上げ、カバー[B]を開けます。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・ 上部の見えにくい所に用紙が詰まっている場合があります。よく確認してください。
- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

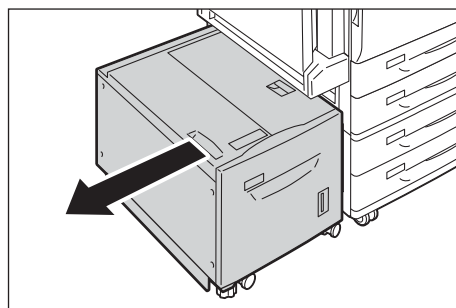


4. カバー[B]の中央部を押して、しっかり閉じます。
5. 用紙トレイ6(大容量給紙トレイ(1段))が装着されていた場合は、ゆっくり元に戻します。

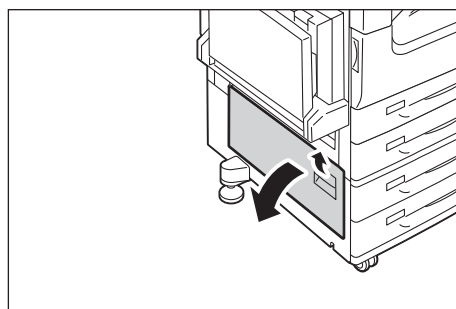
本体の左側面下部カバー [C] での紙づまり

本体の左側面下部のカバー内 [C] で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙トレイ6(大容量給紙トレイ(1段))が装着されている場合は、トレイの上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。



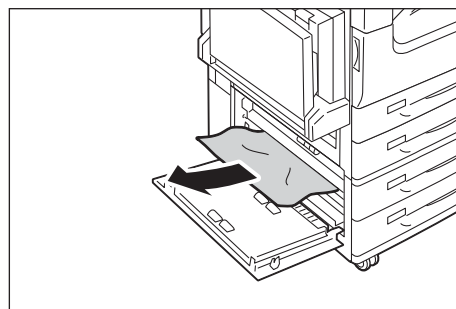
2. カバー[C]のレバーを押し上げ、カバー[C]を開けます。



- 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・上部の見えにくい所に用紙が詰まっている場合があります。よく確認してください。
- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

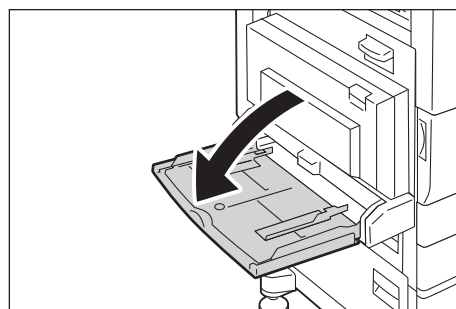


- カバー [C] をゆっくりと閉じます。
- 用紙トレイ 6 (大容量給紙トレイ (1段)) が装着されていた場合は、ゆっくり元に戻します。

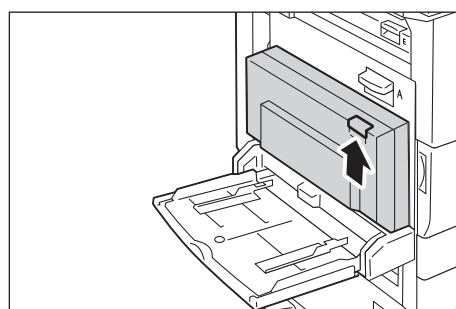
本体の左側面上部カバー [D] での紙づまり

本体の左側面上部カバー [D] (両面ユニット部) で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

- 用紙トレイ 5 (手差し) を開けます。



- カバー [D] のレバーを押し上げて、カバー [D] を開けます。

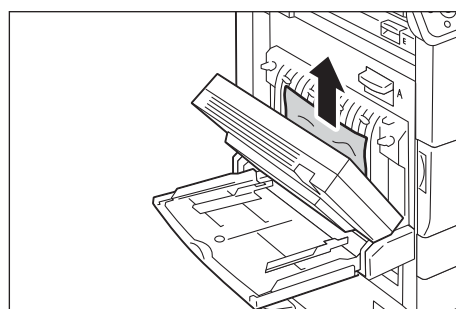


- 詰まった用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

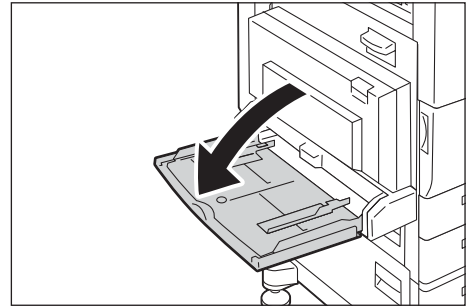
- カバー [D] を閉じ、用紙トレイ 5 (手差し) を閉じます。



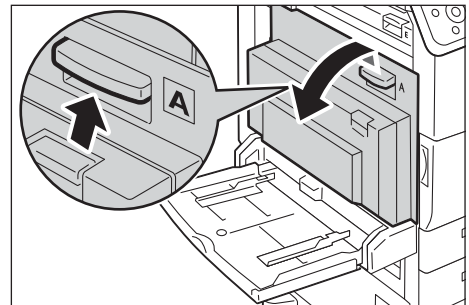
左側面最上部カバー [E] での紙づまり

本体の左側面最上部のカバー [E] 内で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

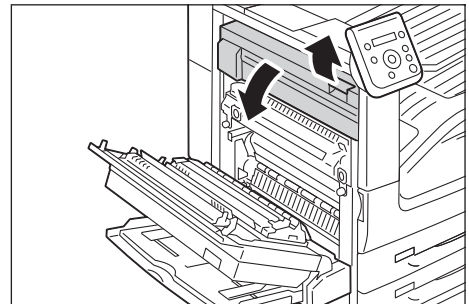
1. 用紙トレイ 5（手差し）を開けます。



2. カバー [A] のレバーを押し上げて、カバー [A] を開けます。



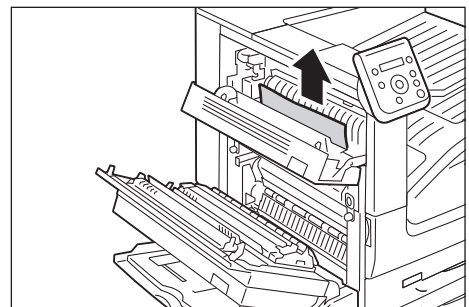
3. カバー [E] のレバーを押し上げて、カバー [E] を開けます。



4. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



5. カバー [E] の中央部を押して、しっかり閉じます。
6. カバー [A] の中央部を押して、ゆっくりと閉じ、用紙トレイ 5（手差し）を上げます。

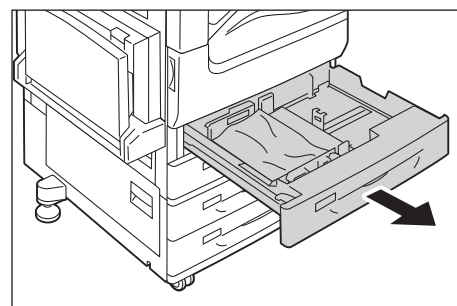
用紙トレイ 1～2、3～4 (2トレイモジュール装着時) での紙づまり

用紙トレイ 1、2 および 2トレイモジュール (オプション) の用紙トレイ 3、4 で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙が詰まっている用紙トレイを引き出します。

注記

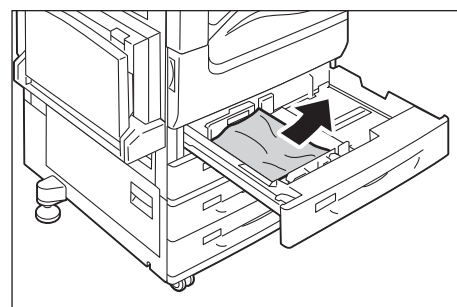
- ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。



2. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



3. 奥に突き当たる場所まで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

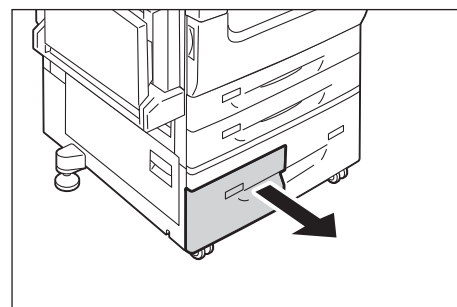
用紙トレイ 3 での紙づまり (タンデムトレイモジュール装着時)

タンデムトレイモジュール (オプション) の用紙トレイ 3 で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙が詰まっている用紙トレイを引き出します。

注記

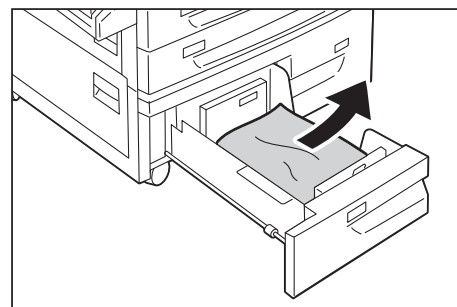
- ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。



2. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



3. 奥に突き当たるまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

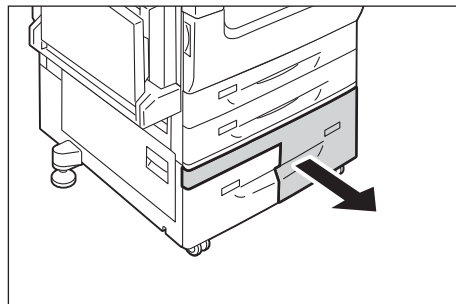
用紙トレイ 4 での紙づまり (タンデムトレイモジュール装着時)

タンデムトレイモジュール (オプション) の用紙トレイ 4 で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙トレイ 4 を引き出します。

注記

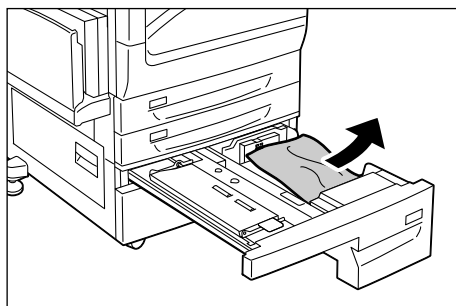
- ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。



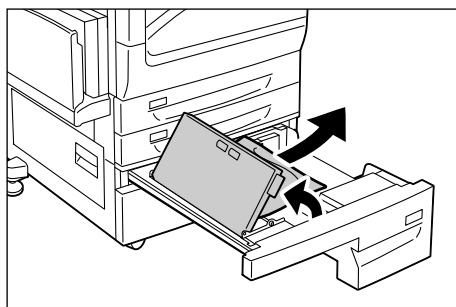
2. 詰まっている用紙を取り除きます。

注記

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



3. 用紙搬送部に用紙が詰まっている場合は、中のカバーを開けて用紙を取り除きます。



4. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

用紙トレイ 5（手差し）での紙づまり

用紙トレイ 5（手差し）で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

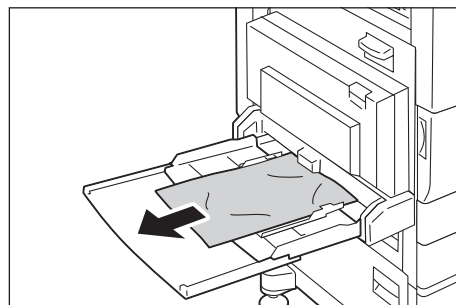
1. 用紙トレイ 5（手差し）から、セットしてある用紙のすべてを取り除きます。

注記

- ・用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

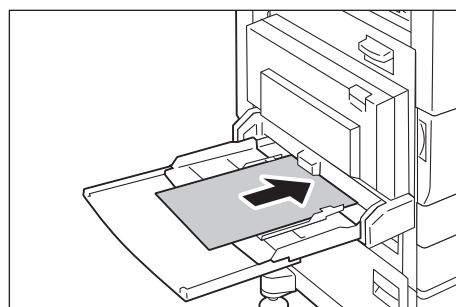


2. 取り出した用紙の四隅をそろえます。

3. プリントしたい面を下にして、用紙先端を差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

補足

- ・用紙上限線（図の「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。



用紙トレイ 6（大容量給紙トレイ 1 段）での紙づまり

オプションの用紙トレイ 6（大容量給紙トレイ 1 段）で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

ここでは、次の箇所で発生した紙づまりの処置方法について説明しています。

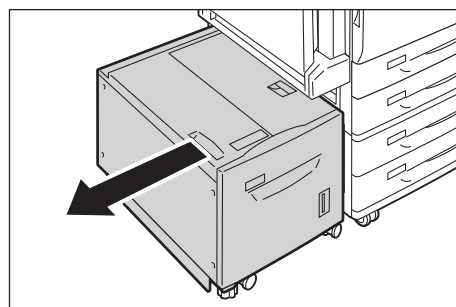
- ・「排出口で詰まった場合」(P.228)
- ・「上部カバー内で詰まった場合」(P.229)
- ・「用紙トレイ 6（大容量給紙トレイ 1 段）内で詰まった場合」(P.230)

補足

- ・用紙が詰まる箇所によって処置方法が異なります。表示されたメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

排出口で詰まった場合

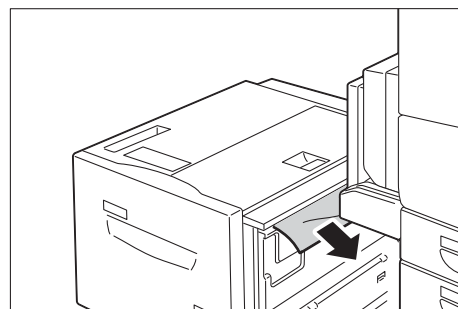
1. 用紙トレイ 6 の上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。



- 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

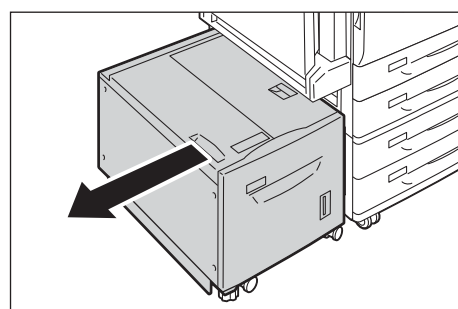
- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



- 用紙トレイ 6 をゆっくりと元に戻します。

上部カバー内で詰まった場合

- 用紙トレイ 6 の上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。

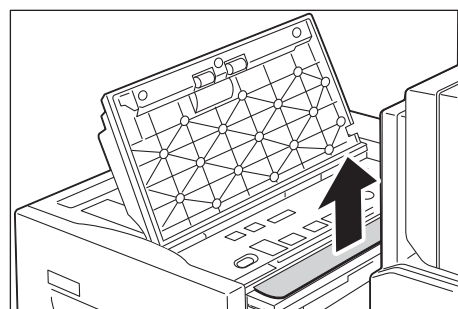


- 用紙トレイ 6 の上部カバーを開けます。

- 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



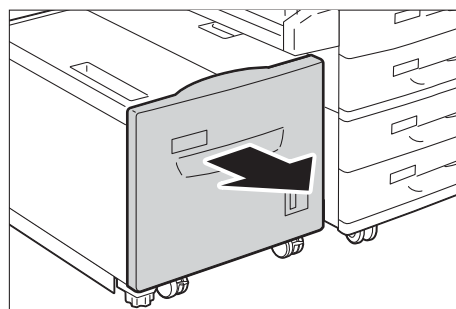
- 用紙トレイ 6 の上部カバーを閉じます。
- 用紙トレイ 6 をゆっくりと元に戻します。

用紙トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) 内で詰まった場合

1. 用紙トレイ 6 を、手前に止まるまで引き出します。

⚠ 注意

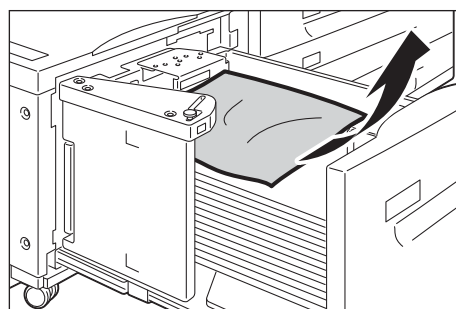
- ・用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。



2. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



3. 奥に突き当たるまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 での紙づまり

オプションのフィニッシャー C3、または中とじフィニッシャー C3 を装着している場合に、フィニッシャー内部で発生した紙づまりの処置について説明します。

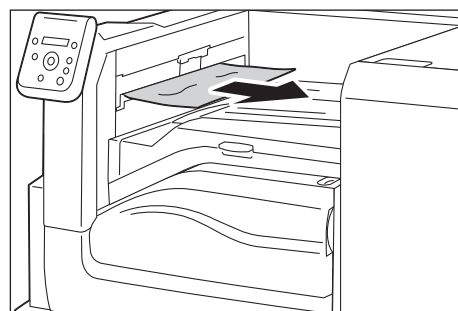
- ・「セントートレイでの紙づまり」(P.231)
- ・「フィニッシャー接続部 (カバー [F]) での紙づまり」(P.231)
- ・「レバー「3a」での紙づまり」(P.232)
- ・「レバー「3a」での紙づまり (ノブ「3b」を使う場合)」(P.233)
- ・「レバー「3c」での紙づまり」(P.234)
- ・「レバー「3d」での紙づまり」(P.235)
- ・「レバー「3d」での紙づまり (排出口から用紙が出ている場合)」(P.235)
- ・「中とじユニット「4」での紙づまり (中とじフィニッシャー C3 のみ)」(P.236)
- ・「製本トレイ「4a」での紙づまり (中とじフィニッシャー C3 のみ)」(P.236)

補足

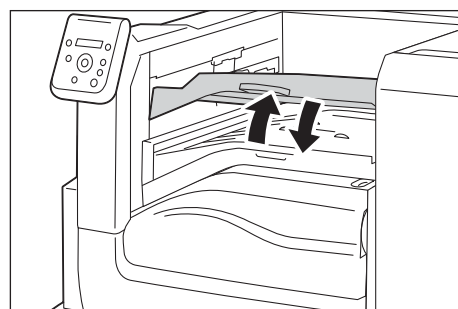
- ・用紙が詰まる箇所によって処置方法が異なります。ディスプレイに表示されたメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

センタートレイでの紙づまり

1. センタートレイの排出口に用紙があれば、右方向に用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。

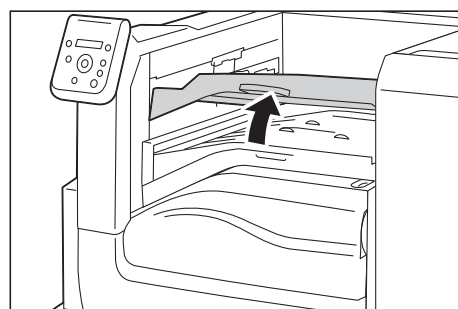


2. フィニッシャー接続部の上面カバー[F]を、1度開けてから閉じます。

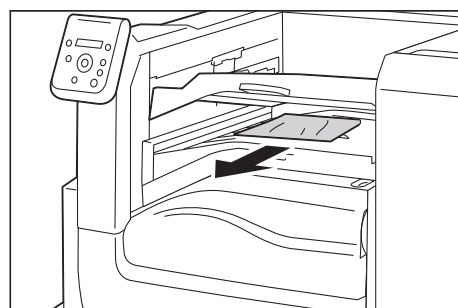


フィニッシャー接続部 (カバー [F]) での紙づまり

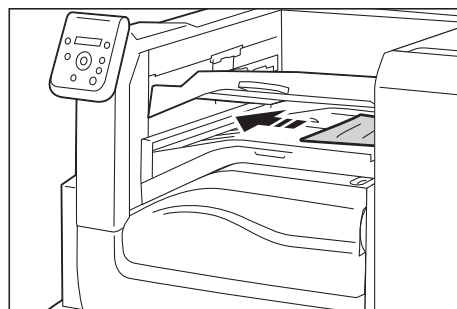
1. フィニッシャー接続部の上面カバー [F] を開けます。



2. 用紙があれば取り除きます。



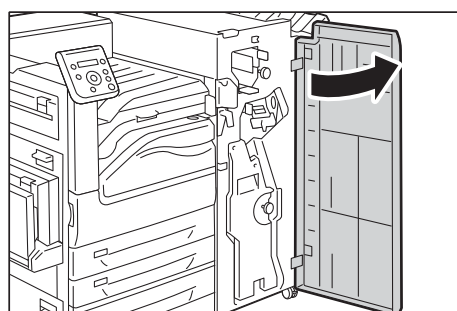
3. 用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。



4. フィニッシャー接続部の上面カバー [F] を閉じます。

レバー「3a」での紙づまり

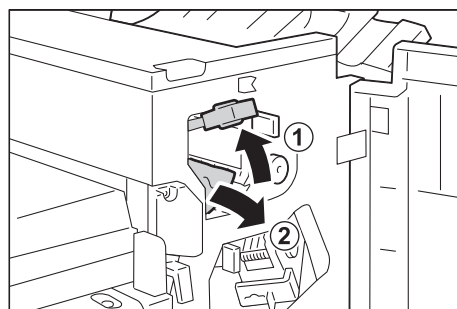
1. フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



2. レバー「3a」を上方向に開いて (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



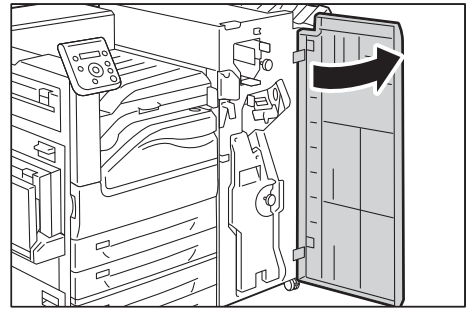
3. レバー「3a」を元に戻します。
4. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

レバー「3a」での紙づまり（ノブ「3b」を使う場合）

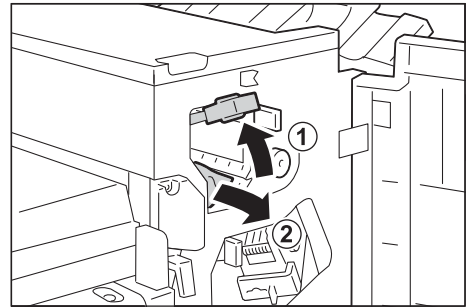
1. フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



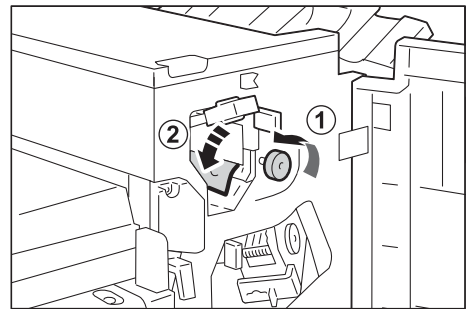
2. レバー「3a」を上方向に開いて (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



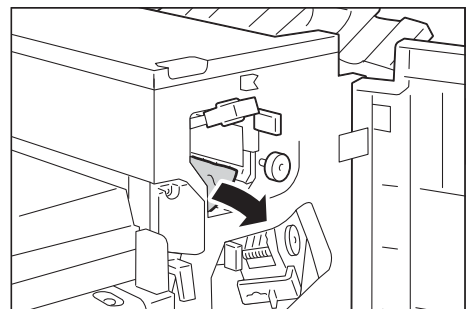
3. ノブ「3b」を左方向に回して (①)、詰まっている用紙を送り出します (②)。



4. 用紙をゆっくり引き抜き、取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



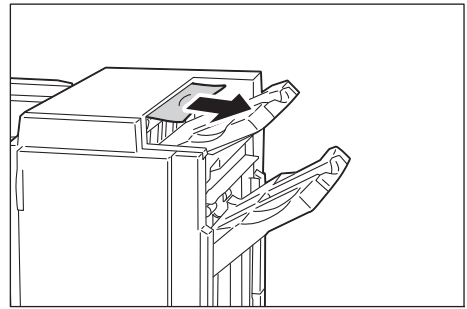
5. レバー「3a」を元に戻します。
6. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

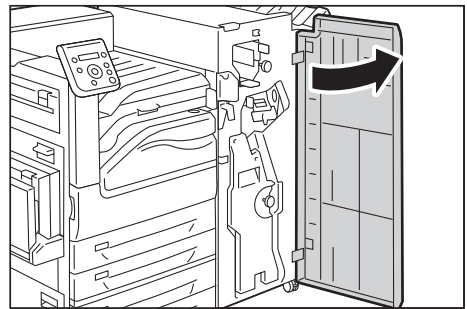
- ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

レバー「3c」での紙づまり

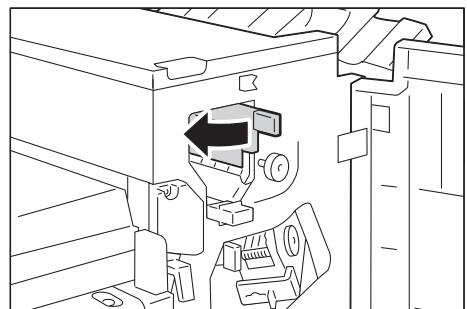
1. 排出トレイの排出口から用紙が出ている場合は、用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。取り除けない場合、または排出口から用紙が出ていない場合は、手順2に進みます。



2. フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



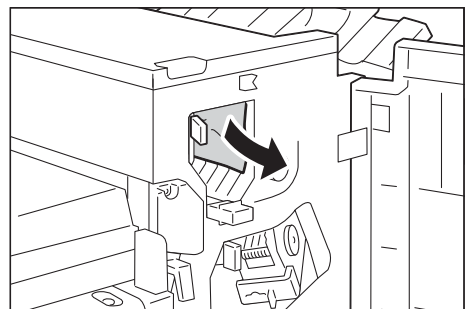
3. レバー「3c」を左方向に開きます。



4. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



5. レバー「3c」を元に戻します。

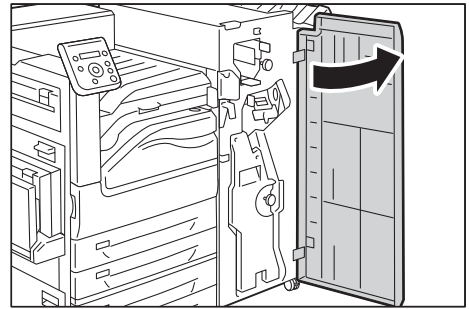
6. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

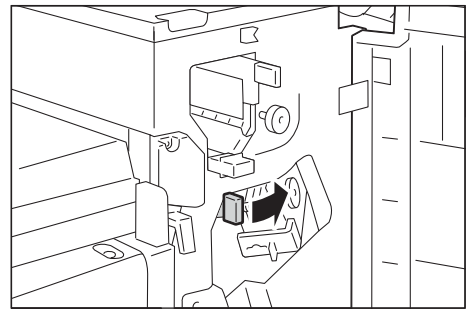
- ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

レバー「3d」での紙づまり

1. フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



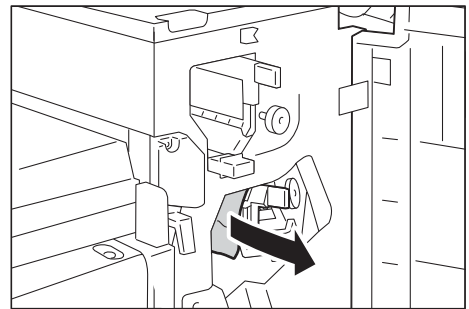
2. レバー「3d」を右方向に開きます。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



4. レバー「3d」を元に戻します。

5. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

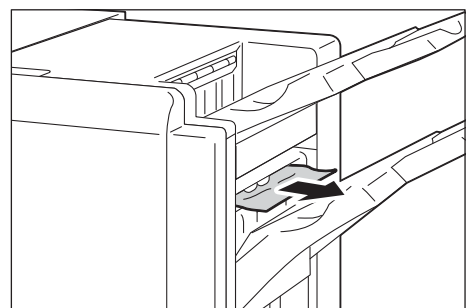
- ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

レバー「3d」での紙づまり（排出口から用紙が出ている場合）

1. 詰まっている用紙を、右方向にゆっくり引き抜いて、取り除きます。

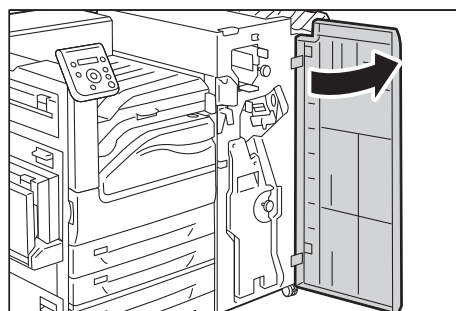
補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

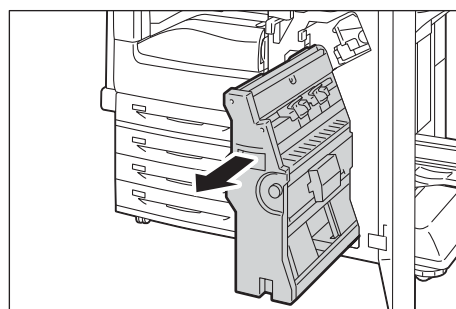


中とじユニット「4」での紙づまり (中とじフィニッシャー C3 のみ)

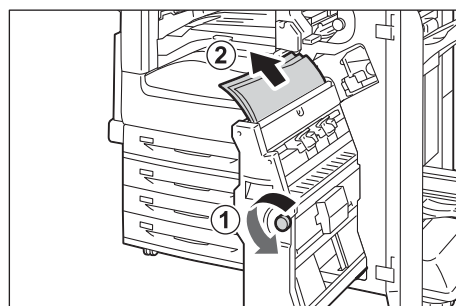
1. フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



2. 中とじユニット「4」を引き出します。



3. ノブ「4a」を左方向に回して (①)、すべての用紙を取り除きます (②)。



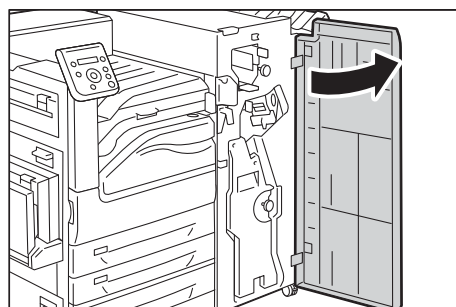
4. 中とじユニット「4」を元に戻します。
5. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

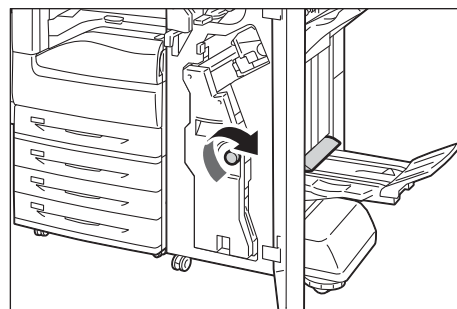
- ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

製本トレイ「4a」での紙づまり (中とじフィニッシャー C3 のみ)

1. フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



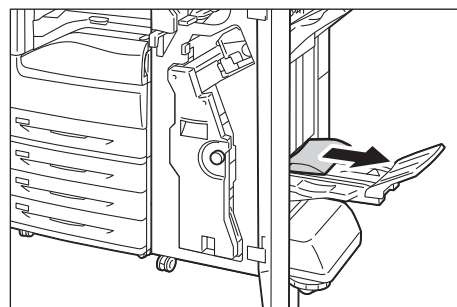
2. ノブ「4a」を右方向に回して、用紙を製本トレイに送り出します。



3. 用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



4. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

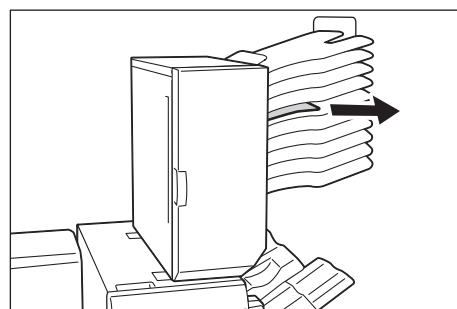
10 ビン出力装置（オプション）での紙づまり

オプションの10ビン出力装置を装着している場合に、10ビン出力装置で発生した紙づまりの処置について説明します。

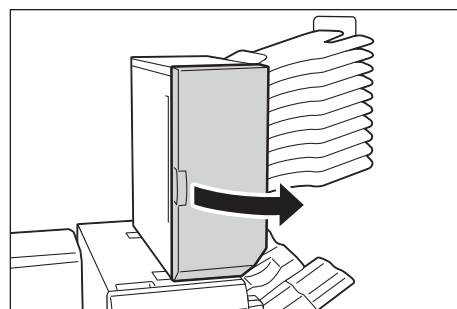
1. 10ビン出力装置の排出口から用紙が出ている場合は、用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。

補足

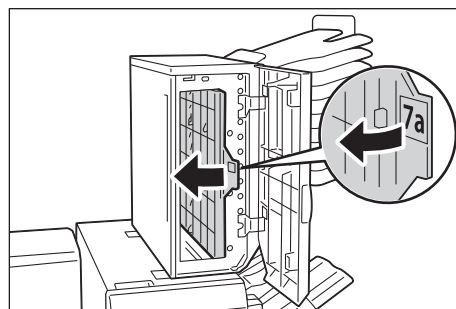
- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



2. 10ビン出力装置のフロントカバーを開けます。



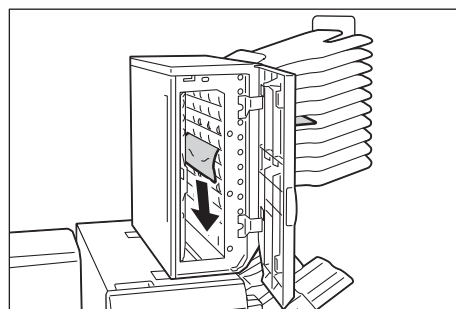
3. カバー「7a」を左方向に開きます。



4. 10ピン出力装置の排出口から用紙が出ている場合は、下向きにゆっくり引き抜いて、取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



5. 10ピン出力装置の下側から用紙が出ている場合は、上向きにゆっくり引き抜いて、取り除きます。

補足

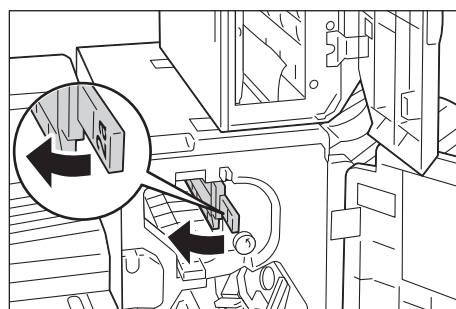
- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



6. それでも用紙が取り除けない場合は、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



7. レバー「2a」を左方向に開きます。



8. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



9. レバー「2a」を元に戻します。

10. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

11. 10ビン出力装置のカバー「7a」を閉じます。

12. 10ビン出力装置のフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ 10ビン出力装置のフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

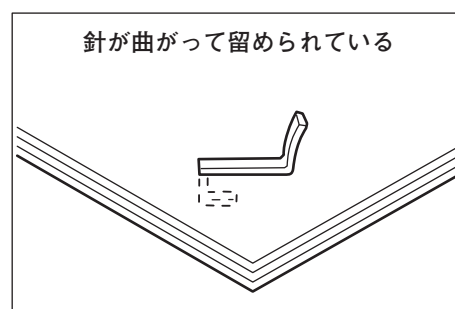
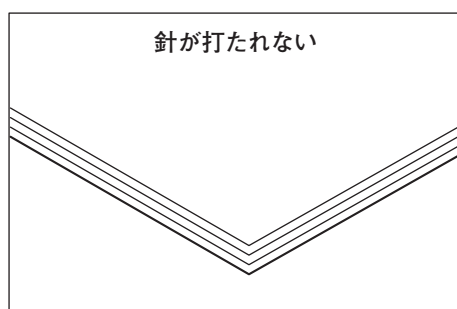
6.2 ホチキスの針づまりの処置

フィニッシャー（オプション）を装着して、ホチキスを利用しているときに、針づまりが発生する場合があります。針づまりが発生したときは、メッセージを確認して、次のページの手順に従って処置をしてください。

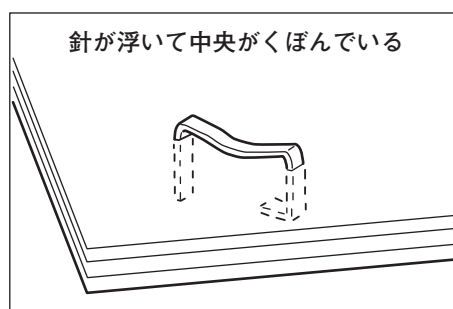
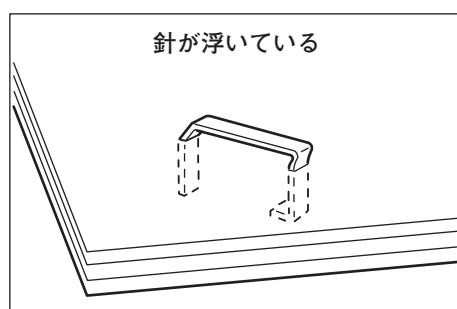
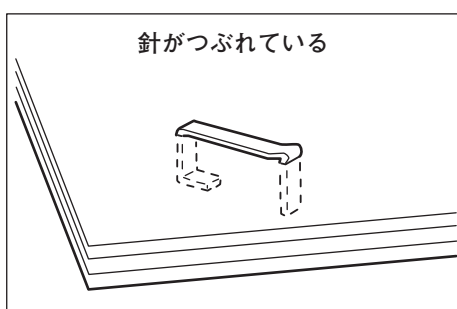
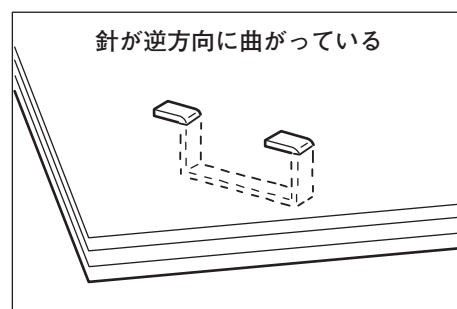
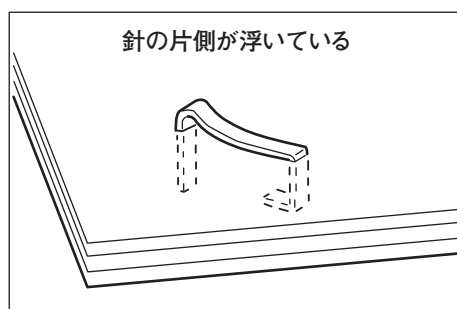
また、針が打たれなかったり、針が曲がって留められたりする場合も、手順に従って針づまりの処置をしてください。処置をしても改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

注記

- 詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。
- ホチキスが正しく留まっても、排出された用紙の取り扱いによっては、針の先端が用紙から離れることがあります。



下図のように針が打たれているときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。



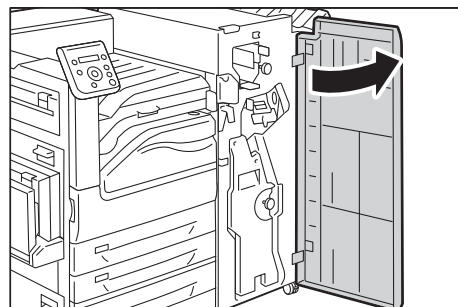
平とじホチキスカートリッジの針づまり (フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 装着時)

オプションのフィニッシャー C3、または中とじフィニッシャー C3 を装着している場合の、平とじホチキスカートリッジの針づまり処置について説明します。

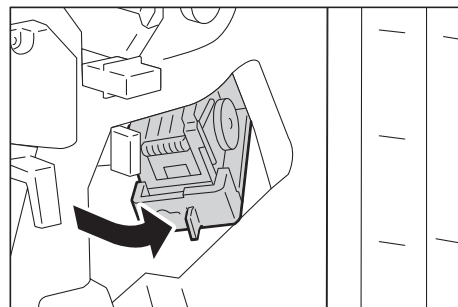
⚠ 警告

- 詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



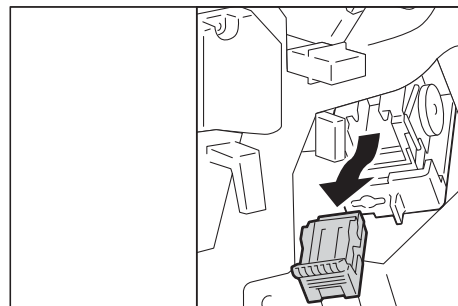
2. ホチキスカートリッジホルダーのレバー「R1」を持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せます。



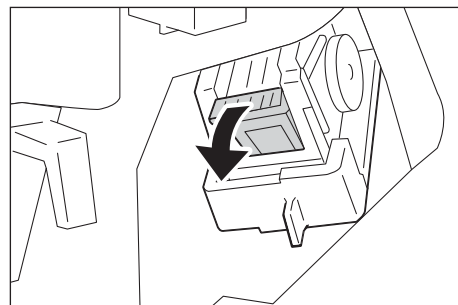
3. オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

補足

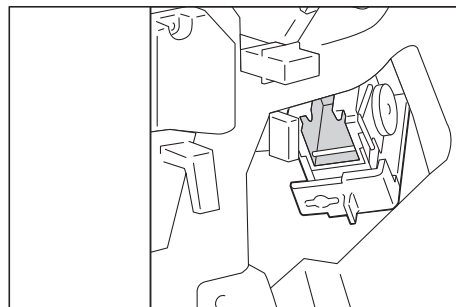
- ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出すときは、強めにホチキスカートリッジを引いてください。



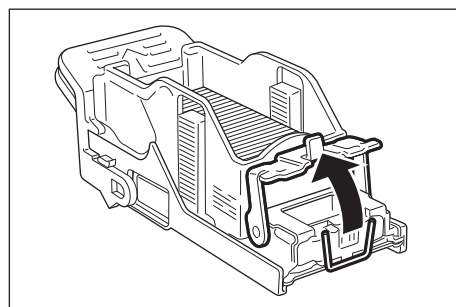
- 65 枚用ホチキスカートリッジを装着している場合は、オレンジ色のレバーを下方方向に倒して、ホチキスカートリッジを引き出してください。



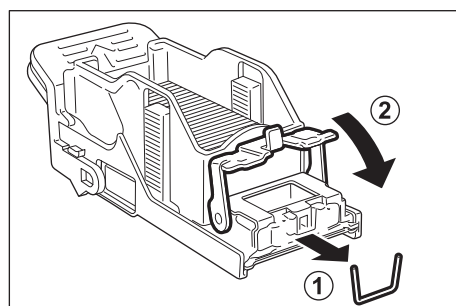
4. ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャー内部に針がないか確認します。



5. ホチキスカートリッジの金属部分を押し上げます。



6. 詰まっているホチキス針を取り除き (①)、手順 5 で押し上げた金属部分を元に戻します (②)。



7. ホチキスカートリッジのオレンジ色のレバーを持って、元の位置に戻し、カチッと音がするまで押し込みます。



8. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

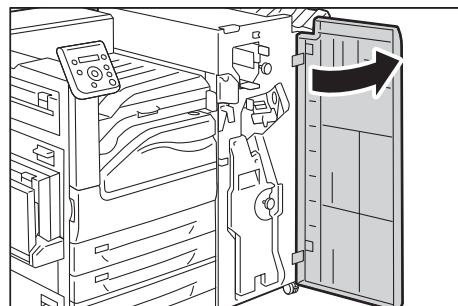
- ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

上記の処置をしても針が取り除けないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

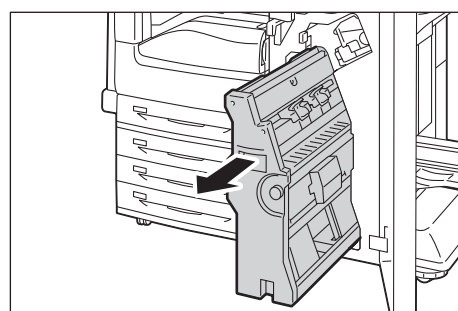
中とじホチキスカートリッジの針づまり（中とじフィニッシャー C3 装着時）

オプションの中とじフィニッシャー C3 を装着している場合の、中とじホチキスカートリッジの針づまりの処置について説明します。

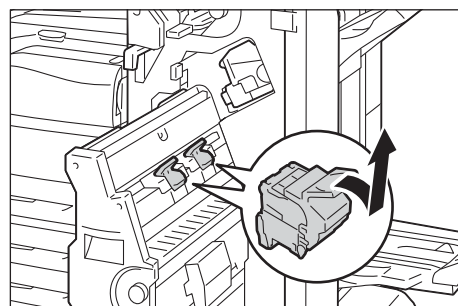
1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



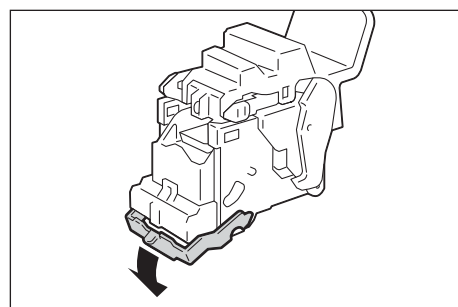
2. 中とじユニットを引き出します。



3. 中とじホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方向に倒してから、上に引いて取り出します。



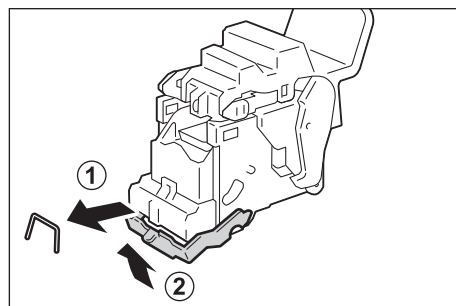
4. ホチキスカートリッジの金属部分を押し下げます。



5. 詰まっているホチキス針を取り除き (①)、手順 4 で押し下げた金属部分を元に戻します (②)。

⚠ 注意

- ・ 詰まったホチキス針を取り除くときは、指などにケガをしないように十分にご注意ください。



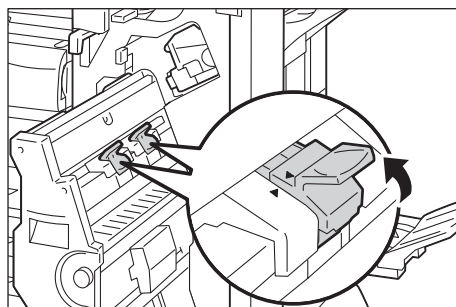
6. 中とじホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



7. 軽く押し上げて、カチッと音がするのを確認します。

補足

- ・ 中とじホチキスカートリッジの (▶) と中とじユニットの (◀) が合うように戻してください。



8. 中とじユニットを元の位置にもどします。
9. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

6.3 電源、異常音など、機械本体のトラブル

症状	原因 / 処置
電源が入らない	本機の主電源または電源が切れていませんか？ 主電源の〈 〉側および電源スイッチを押して、電源を入れてください。
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか？ 本機の電源および主電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の主電源および電源を入れてください。
	正しい電圧のコンセントに接続していますか？ 本機は、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに、単独で接続してください。
パネルに何も表示されない	節電モードに入っている可能性があります。操作パネルの〈節電〉ボタンを押して、節電モードを解除してください。 節電モードが解除できない場合は、電源コードがきちんと差し込まれていることを確認し、電源を入れ直します。 それでも改善されない場合は、機械の故障かもしれません。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
異常な音がする	本機の設置場所は、水平ですか？ 安定した平面の上に移動してください。
	トレイが外れていませんか？ トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機内に異物が入っていませんか？ 主電源および電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
プリンター内部に結露が発生した	操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間放置し、機械内部に水滴がない（ローラー、金属部分など）ことを十分確認したうえでお使いください。 参照 ・スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」（P. 170）
節電モードに移行しない	次のようなときには、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。 ・操作パネルで何らかの操作をしているとき ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうちいずれか 1 つでも交換メッセージが表示されているとき ・定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき ・紙づまり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき ・故障などによりエラーが発生しているとき


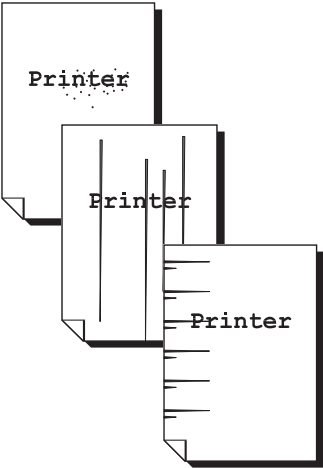
6.4 印刷が正しくできないトラブル

症状	原因 / 処置
〈エラー〉ランプが点滅している	<p>お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたくえで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主なエラーメッセージ (50 音順)」(P. 254) ・「エラーコード」(P. 264)
〈エラー〉ランプが点灯している	<p>操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか？ 操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主なエラーメッセージ (50 音順)」(P. 254) ・「エラーコード」(P. 264)
印刷を指示したのに〈プリント可〉ランプが点滅、点灯しない	<p>インターフェイスクーブルが抜けていませんか？ いったん電源を切り、インターフェイスクーブルの接続を確認してください。</p> <p>本機がオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっていませんか？ オフライン状態の場合は〈オンライン〉ボタンを、メニュー画面が表示されているときは〈プリントメニュー〉ボタンを押して、解除してください。</p> <p>使用するプロトコルが正しく設定されていますか？ 使用するポートが起動されているかを確認してください。また、CentreWare Internet Services でプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[[ネットワーク / ポート設定]]」(P. 148) ・CentreWare Internet Services のヘルプ <p>コンピューターが正しく設定されていますか？ プリンタードライバーなどコンピューターの環境を確認してください。</p>
〈プリント可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	<p>データが本機内部に残っています。印刷の中止、または残っているデータの強制排出をします。 〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから、印刷を中止する場合は〈プリント中止〉ボタンを、データを強制排出する場合は、〈OK〉ボタンを押してください。中止および排出が終わったら、もう一度〈オンライン〉ボタンを押して、本機をオンライン状態にします。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラレル / USB ポートを使用している場合、〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降の印刷データは〈OK〉ボタンを押したあとに、新しい印刷ジョブとして認識され、最後にオフラインを解除したあとに印刷されます。またそのとき、正常に印刷されないことがあります。

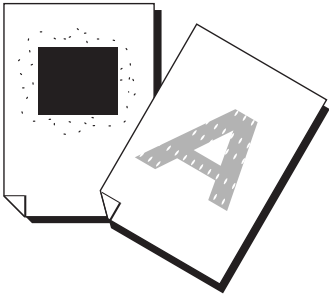

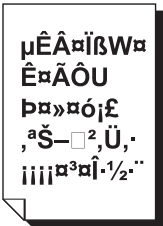

症状	原因 / 処置
印刷できない	<p>パラレルケーブルで接続している場合、コンピューターは双方向通信に対応していますか？ 工場出荷時、本機の方方向通信の設定は、[有効] になっています。コンピューターが双方向通信に対応していない場合は、操作パネルで、双方向通信の設定を [無効] にしてから印刷してください。</p> <p>参照 ・「[パラレル]」(P. 150)</p> <p>ネットワークプリンターの場合、本機の IP アドレスは正しく設定されていますか？ また、受信制限の設定が間違っている可能性もあります。 本機の設定が正しいかどうか確認し、必要であれば変更してください。</p> <p>参照 ・「IP アドレス (IPv4) を設定する」(P. 36) ・「IP アドレス (IPv6) を設定する」(P. 39) ・「IP アドレスによる受信制限」(P. 330)</p> <p>1 度の印刷指示で送信される印刷データの容量が、受信容量の上限を超えている可能性があります。受信バッファの設定をメモリスプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。 1 つの印刷ファイルでメモリーの上限を超えてしまう場合には、印刷ファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割して印刷を指示します。 印刷するデータファイルが複数ある場合には、1 度に印刷するファイルの量を減らして印刷してください。</p>
印刷に時間がかかる	<p>受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書を印刷するときは、操作パネルの [メモリー設定] で使用しない項目のメモリー容量を減らして、プリントページバッファの容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなる場合があります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。</p> <p>参照 ・「[メモリー設定]」(P. 205)</p> <p>プリンタードライバーの [印刷モード] の設定で、[高精細] が選択されていませんか？ [グラフィックス] タブの [印刷モード] の設定を [標準] に変更すると、印刷にかかる時間を短縮できることがあります。</p> <p>参照 ・プリンタードライバーのヘルプ</p> <p>TrueType® フォントの印刷方法によっては、印刷に時間がかかることがあります。プリンタードライバーの [詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントの印刷方法を変更してください。</p> <p>参照 ・プリンタードライバーのヘルプ</p>
印刷を指示していないのに、[プリントしています] が表示される (パラレル /USB インターフェイス使用時)	<p>本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れませんでしたか？ <プリント中止> ボタンを押して、印刷を中止してください。</p> <p>補足 ・本機の電源を入れるときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。</p>

症状	原因 / 処置
印字された文書の上部分が 欠ける 思った位置に印刷されない	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「4.2 用紙をセットする」(P.127)
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。 参照 ・プリンタードライバーのヘルプ

6.5 印字品質や画質のトラブル

症状	原因 / 処置
<p>印刷がうすい (かすれる、不鮮明)</p> 	<p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p>参照 ・「使用できる用紙」(P. 122)</p> <p>ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。</p> <p>トナーセーブ機能が有効になっていませんか？ プリンタードライバーの [グラフィックス] タブの [トナー節約] で、[しない] を選択してください。</p> <p>参照 ・プリンタードライバーのヘルプ</p> <p>もっと濃く印刷したい場合は、印刷時にプリンタードライバーで [グラフィックス] タブの [画質調整] または [トナーバランス] を選択し、各設定を変更して印刷してみてください。</p> <p>参照 ・プリンタードライバーのヘルプ</p> <p>別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。</p>
<p>黒点や黒線または色線が印刷される 等間隔に汚れが起きる</p> 	<p>用紙搬送路に汚れが付着している場合もあります。数枚印刷してください。</p> <p>ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。</p>

症状	原因 / 処置
<p>指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる</p> 	<p>選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。</p> <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p>参照 ・「使用できる用紙」(P. 122)</p> <p>定着ユニットが劣化、または損傷しています。定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。</p>
<p>用紙全体がぬりつぶされて印刷される</p> 	<p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。</p> <p>高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
<p>何も印刷されない</p> 	<p>一度に複数枚の用紙が搬送されています (重送)。用紙をよくさばいてからセットし直してください。</p> <p>トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。</p> <p>高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
<p>白抜けや白筋が出る</p> 	<p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p>参照 ・「使用できる用紙」(P. 122)</p> <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>ドラムカートリッジが正しくセットされていません。正しくセットし直してください。</p> <p>プリンター内部に結露が発生している可能性があります。操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたためり、約 1 時間放置し、機械内部に水滴がない (ローラー、金属部分など) ことを十分確認したうえでお使いください。</p> <p>参照 ・スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」(P. 170)</p> <p>ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>現像器が劣化、または損傷しています。現像器ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

症状	原因 / 処置
<p>画像の一部が抜けて白点になる 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかかっている</p> 	<p>別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。</p>
<p>文字がにじむ</p> 	<p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p>参照 ・「使用できる用紙」(P. 122)</p> <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>プリンター内部に結露が発生している可能性があります。操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたためり、約 1 時間放置し、機械内部に水滴がない（ローラー、金属部分など）ことを十分確認したうえでお使いください。</p> <p>参照 ・スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」(P. 170)</p>
<p>文字化けする 画面表示と印刷結果が一致しない</p> 	<p>TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？プリンタードライバーの、[詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントの印刷方法を [常に TrueType フォントを使う] に設定してください。</p> <p>参照 ・プリンタードライバーのヘルプ</p>
<p>斜めに印刷される</p> 	<p>用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。</p> <p>参照 ・「4.2 用紙をセットする」(P. 127)</p>

症状	原因 / 処置
はがき、封筒、OHP フィルムにきれいに印刷されない	<p>本機で使用できない種類のはがき、封筒、OHP フィルムがセットされています。適切な用紙をセットしてください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(P. 122)
	<p>プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[[トレイの用紙種類]」(P. 191) ・プリンタードライバーのヘルプ
	<p>プリンタードライバーで、トナー節約や、解像度が低く設定されています。それぞれ、プリンタードライバーの [グラフィックス] タブ、[詳細設定] タブで、設定を変更してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタードライバーのヘルプ

6.6 トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがっく	用紙は正しくセットされていますか？ 用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがき、封筒、OHP フィルムなどをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？ 新しい用紙と交換してください。
	適切な用紙を使用していますか？ 使用できる用紙をセットしてください。ただし、用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわがっくことがあります。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 122)
	トレイが外れていませんか？ トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機は水平な場所に設置されていますか？ 安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「4.2 用紙をセットする」(P. 127)
	用紙の継ぎ足しをしていませんか？ トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足すとこのような現象が起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
トレイ 1～4、6 からトレイが正しく選択されない	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドの位置がずれていると、本機は正しくセットされている用紙のサイズを検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、および用紙サイズ、用紙種類が適切に設定されているかを確認してください。 参照 ・「[[プリント設定]]」(P. 190) ・プリンタードライバーのヘルプ
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの [トレイ / 排出] タブで [用紙トレイ選択] を [自動] にしていませんか。 [トレイ 5 (手差し)] を選択するか、 [自動] の場合は手差しトレイを自動選択トレイの対象に設定してください。 参照 ・プリンタードライバーのヘルプ ・「トレイ 5 (手差し) を自動トレイ選択の対象に設定する」(P. 141)

6.7 主なエラーメッセージとエラーコード

主なエラーメッセージ (50 音順)

操作パネルに表示される主なエラーメッセージについて説明します。

補足

- ・ディスプレイの右端に [▼] [▲] マークが表示されている場合は、〈▼〉〈▲〉ボタンで画面を上下に移動させて、メッセージの全文を確認してください。
- ・メッセージが 1 画面で表示できない場合、交互に画面を切り替えて表示することもあります。下表では、↑↓で切り替わるメッセージを表しています。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
[OK] でプリント開始 [プリント中止] でキャンセル	トレイの用紙サイズまたは用紙種類を変更したあと、操作パネルの〈OK〉ボタンを押すか、または〈プリント中止〉ボタンを押して印刷を中止してください。
カバー N を 閉じてください (N : A、B、C、D、E のどれか)	カバー N が開いています。 表示されているカバーをしっかりと閉じてください。
紙づまり : A を開け [A1] を繰り返し押し 下げ用紙を除去し、 用紙がないときは、 [A2] を下げて用紙を 除去してください	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー A を開け、レバー A1 を繰り返し押し下げて、詰まっている用紙を取り除いてください。 用紙が見つからない場合は、レバー A2 を下げて詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり : カバー A を開けて、[A1] を引いて 用紙を上引き出し 除去してください	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー A を開け、レバー A1 を手前に引いて、詰まっている用紙を取り除いてください。 用紙を取り除けない場合は、カバー A を閉じトレイ 1 を引き出して用紙を取り除いてください。最後にカバー A を開け閉めしてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり : カバー A を 開け、[A2] を下げて 用紙を除去してくだ さい	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー A を開け、レバー A2 を下げて詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり : カバー A を 開け、カバー E を開い て用紙を除去してく ださい	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー A とカバー E を開け、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり : カバー N を 開けて、用紙を除去 してください (N : A、B、C、D)	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー N を開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり : 大容量トレイ ユニットを左に移動し、 上面カバーを開け用紙 を除去してください	トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) で紙づまりが発生しています。 トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) の上部カバーの取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくり移動させ、上面カバーを開け、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
紙づまり：大容量トレイユニットを左に移動してください	本機内部で紙づまりが発生しています。 トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) の取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくり移動させてください。
紙づまり：大容量トレイユニットをもとに戻してください	トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) の上部カバーの取っ手を持って、右方向へ止まるまでゆっくり押し戻してください。
紙づまり：トレイ 5 (手差し) の用紙をすべて除去し、もう一度セットしてください	手差し部分で紙づまりが発生しています。 手差しトレイの用紙をすべて取り除いてください。そのあと、手差しトレイに用紙をセットし直してください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり：トレイ N を引き出し用紙を除去し用紙ガイドの位置を確認してください (N : 1 ~ 4、6 のどれか)	本機内部で紙づまりが発生しています。 トレイ N を引き出し、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、トレイの用紙ガイドが正しい位置になっていることを確認してください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり：フィニッシャー接続部のカバー F を上に開け、用紙を除去してください	フィニッシャー接続部で紙づまりが発生しています。 フィニッシャー接続部の上部カバー F を上に開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり：フィニッシャートレイ排出口の奥にある用紙を 1 枚だけ除去してください	フィニッシャートレイ排出口で紙づまりが発生しています。 フィニッシャートレイ排出口に詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり：フィニッシャーの正面カバーを開け、[3a] を開いて用紙を除去してください	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開け、レバー [3a] を上方向に開いて、詰まっている用紙を取り除きます。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり：フィニッシャーの正面カバーを開け、[3d] を開いて用紙を除去してください	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開け、レバー [3d] を開いて、詰まっている用紙を取り除きます。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり：フィニッシャーの正面カバーを開け、[4] を引き出し [4a] を回してすべての用紙を除去してください	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開け、中とじユニット [4] を引き出し、ノブ [4a] を左方向に回して、詰まっている用紙を取り除きます。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)
紙づまり：フィニッシャーの正面カバーを開け、[4a] を回し、製本トレイに排出された用紙を除去してください	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開け、ノブ [4a] を右方向に回して、詰まっている用紙を製本トレイに排出させて取り除きます。 参照 ・「6.1 紙づまりの処置」(P. 219)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
紙づまり：メールボックスのカバーを開け [7a] を左方向に開け、用紙を除去してください	<p>10 ビン出力装置で紙づまりが発生しています。 10 ビン出力装置のカバーを開け、カバー [7a] を左方向に開けて、詰まっている用紙を取り除きます。</p> <p>参照 ・「6.1 紙づまりの処置」 (P. 219)</p>
紙づまり：メールボックスビンの用紙を除去し、メールボックスのカバーを開け閉めしてください	<p>10 ビン出力装置のビンで紙づまりが発生しています。 10 ビン出力装置のカバーを開け、詰まっている用紙を取り除きます。 最後に 10 ビン出力装置のカバーを開け閉めしてください。</p> <p>参照 ・「6.1 紙づまりの処置」 (P. 219)</p>
紙づまり：メールボックスビン N の用紙を除去し、メールボックスのカバーを開け閉めしてください (N: 1 ~ 10 のどれか)	<p>10 ビン出力装置のビン N で紙づまりが発生しています。 10 ビン出力装置のカバーを開け、ビン N から詰まっている用紙を取り除きます。 最後に 10 ビン出力装置のカバーを開け閉めしてください。</p> <p>参照 ・「6.1 紙づまりの処置」 (P. 219)</p>
製本トレイから用紙を取り出してください	<p>製本トレイの容量がいっぱいになりました。 製本トレイから出力された用紙を取り除いてください。</p>
セット後 [OK] でプリント開始 [プリント中止] でキャンセル	<p>手差しトレイに指定したサイズ of 用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。正しい用紙がセットされた後、[OK] ボタンを押すと印刷が継続され、[プリント中止] ボタンを押すと印刷はキャンセルされます。</p> <p>参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」 (P. 127)</p>
センタートレイの用紙を取り出してください	<p>センタートレイの容量がいっぱいになりました。 センタートレイから出力された用紙を取り除いてください。</p>
<p>! 手差しに用紙をセット <サイズ+方向><紙質></p>	<p>手差しトレイの用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。</p> <p>補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。</p> <p>参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」 (P. 127)</p>
手差しに用紙を補給 <サイズ+方向><紙質>	<p>手差しトレイの用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。</p> <p>参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」 (P. 127)</p>

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
! 手差しのガイド確認 <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイに正しい用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 127)
手差しの用紙サイズ確認 <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイに指定したサイズの用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。正しい用紙がセットされた後、印刷は自動的に開始されます。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 127)
! 手差しの用紙を確認 <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイに正しい用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 127)
! 手差しを確認し [OK] <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイに正しい用紙がセットされていません。 表示されている用紙が手差しトレイにセットされているかを確認し、〈OK〉ボタンを押してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
! トナーカートリッジのタイプが 違います	本機に適したトナーカートリッジではありません。 本機に適したトナーカートリッジを正しくセットしてください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「消耗品の種類と購入について」(P. 299)
! トナーカートリッジを交換 してください	トナーカートリッジの交換が必要です。 トナーカートリッジを交換してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 301)
! トナーカートリッジを正しく セットしてください	トナーカートリッジが正しくセットされていません。 トナーカートリッジを正しくセットしてください。 参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 301)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
! ドラムカートリッジのタイプが違います	<p>本機に適したドラムカートリッジではありません。 本機に適したドラムカートリッジを正しくセットしてください。</p> <p>補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。</p> <p>参照 ・「消耗品の種類と購入について」(P. 299)</p>
! ドラムカートリッジを確認してください	<p>ドラムカートリッジのテープがついたままになっています。 ドラムカートリッジのテープをはずしてからセットしてください。</p> <p>参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 303)</p>
! ドラムカートリッジを交換してください	<p>ドラムカートリッジの寿命、またはセットされたドラムカートリッジが本機用のものではないか、ドラムカートリッジに異常が発生しています。 ドラムカートリッジを新しいドラムカートリッジに交換してください。</p> <p>補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。</p> <p>参照 ・「消耗品の種類と購入について」(P. 299) ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 303)</p>
! ドラムカートリッジを正しくセットしてください	<p>ドラムカートリッジが正しくセットされていません。 ドラムカートリッジを正しくセットしてください。</p> <p>参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 303) ・「消耗品の種類と購入について」(P. 299)</p>
トレイ 6 に用紙をセット < サイズ + 方向 > < 紙質 >	<p>トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) の用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、トレイ 6 に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。</p> <p>参照 ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P. 133)</p>
トレイ 6 に用紙を補給 < サイズ + 方向 > < 紙質 >	<p>トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) の用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、トレイ 6 に用紙をセットしてください。</p> <p>参照 ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P. 133)</p>
トレイ 6 の上部カバーを閉じてください	<p>トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) の上部カバーが開いています。 トレイ 6 の上部カバーを閉じてください。</p>
トレイ 6 の用紙ガイドと用紙の位置を確認	<p>トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) に正しい用紙がセットされていません。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。</p> <p>参照 ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P. 133)</p>
トレイ 6 を右に戻してください	<p>トレイ 6 (大容量給紙トレイ 1 段) が正しく本体と接続されていません。 トレイ 6 を右方向にゆっくり押して本体と接続してください。</p>

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
<p>!トレイ N に用紙をセット <サイズ+方向><紙質> (N:1~4のどれか)</p>	<p>印刷時に指定した用紙（サイズまたは紙質）がセットされているトレイの用紙がなくなりました。 該当するトレイに用紙をセットしてください。また、印刷時に指定した用紙（サイズまたは紙質）がセットされているトレイが本機にない場合もこのメッセージが表示されます。この場合は、本機のトレイのどれかを表示されているサイズ・方向・紙質の用紙に変更してください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。</p> <p>補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。</p> <p>参照 ・「トレイ1~4に用紙をセットする」(P.130)</p>
<p>!トレイ N に用紙を補給 <サイズ+方向><紙質> (N:1~4のどれか)</p>	<p>用紙トレイ N の用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、用紙トレイ N に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。</p> <p>補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。</p> <p>参照 ・「トレイ1~4に用紙をセットする」(P.130)</p>
<p>!トレイ N の用紙種類確認 <サイズ+方向><紙質> (N:1~4、6のどれか)</p>	<p>用紙トレイ N に、正しい種類の用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、用紙トレイ N に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。</p> <p>補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。</p> <p>参照 ・「トレイ1~4に用紙をセットする」(P.130) ・「トレイ6に用紙をセットする」(P.133)</p>
<p>!トレイ N のガイドを確認 <サイズ+方向><紙質> (N:1~4、6のどれか)</p>	<p>用紙トレイ N に正しい用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、用紙トレイ N に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。</p> <p>補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。</p> <p>参照 ・「トレイ1~4に用紙をセットする」(P.130) ・「トレイ6に用紙をセットする」(P.133)</p>

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
<p>!トレイ N の用紙を確認 <サイズ+方向><紙質> (N:1~4、6のどれか)</p>	<p>用紙トレイ N に正しい用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、用紙トレイ N に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。</p> <p>補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。</p> <p>参照 ・「トレイ 1 ~ 4 に用紙をセットする」(P.130) ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P.133)</p>
<p>!トレイ N を正しく セットしてください (N:1~4のどれか)</p>	<p>用紙トレイが正しくセットされていません。 用紙と用紙ガイドの位置を確認して、トレイを正しい位置まで押し込んでください。</p> <p>補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。</p> <p>参照 ・「トレイ 1 ~ 4 に用紙をセットする」(P.130)</p>
<p>トレイの用紙サイズ：不明 用紙ガイド位置を確認</p>	<p>指定された用紙トレイの用紙サイズが不明です。 トレイの用紙ガイド位置を確認してください。</p>
<p>針づまり：フィニッシャーの 正面カバーを開け、 [R1] につまっている ホチキスの針を除去 してください</p>	<p>フィニッシャーで針づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、ホチキスカートリッジ [R1] を取り出し、詰まった針を取り除きます。</p> <p>参照 ・「6.2 ホチキスの針づまりの処置」(P.240)</p>
<p>フィニッシャー接続部のカバー [F] を閉じてください</p>	<p>フィニッシャーの接続部のカバーが開いています。 カバー F をしっかり閉じてください。</p>
<p>フィニッシャートレイの下に ある障害物を除去 してください</p>	<p>フィニッシャートレイの下に障害物が置かれています。 障害物を取り除き、エラーを解除するためにいったんフィニッシャートレイの上の用紙を取り除いてください。</p>
<p>フィニッシャートレイから用紙を 取り出してください</p>	<p>フィニッシャートレイの容量がいっぱいになりました。 フィニッシャートレイから出力された用紙を取り除いてください。</p>
<p>フィニッシャーの正面カバーを 開け、パンチダストボックス [R4] のくずを捨てて ください</p>	<p>パンチダストボックスがパンチ穴のくずでいっぱいになりました。 パンチダストボックスを取り出して、パンチ穴のくずを捨ててください。</p> <p>参照 ・「パンチ穴のくずを捨てる」(P.309)</p>
<p>フィニッシャーの正面カバーを 開け、パンチダストボックス [R4] を正しくセット してください</p>	<p>フィニッシャー内のパンチダストボックスが正しくセットされていません。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、パンチダストボックスを正しくセットしてください。</p> <p>参照 ・「パンチ穴のくずを捨てる」(P.309)</p>
<p>フィニッシャーの正面カバーを 開け、ホチキスカートリッジ [R1] を正しくセット してください</p>	<p>フィニッシャー内のホチキスカートリッジが正しくセットされていません。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、ホチキスカートリッジを正しくセットしてください。</p> <p>参照 ・「6.2 ホチキスの針づまりの処置」(P.240)</p>

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
フィニッシャーの正面カバーを開け、ホチキスカートリッジ [R1] の針を補給してください	ホチキスカートリッジに針が入っていません。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、ホチキスカートリッジ [R1] に新しいホチキス針をセットしてください。 参照 ・「ホチキスカートリッジを交換する」(P. 306)
フィニッシャーの正面カバーを開け、[4] を引き出しホチキスカートリッジ [R2] (手前) を交換してください	手前側にある中とじホチキスカートリッジの針が入っていません。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、中とじユニット [4] を引き出し、ホチキスカートリッジ [R2] に新しいホチキス針をセットしてください。 参照 ・「ホチキスカートリッジを交換する」(P. 306)
フィニッシャーの正面カバーを開け、[4] を引き出しホチキスカートリッジ [R2] [R3] を交換してください	中とじホチキスカートリッジの針が入っていません。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、中とじユニット [4] を引き出し、ホチキスカートリッジ [R2] [R3] に新しいホチキス針をセットしてください。 参照 ・「ホチキスカートリッジを交換する」(P. 306)
フィニッシャーの正面カバーを開け、[4] を引き出しホチキスカートリッジ [R3] (奥) を交換してください	奥側にある中とじホチキスカートリッジの針が入っていません。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、中とじユニット [4] を引き出し、ホチキスカートリッジ [R3] に新しいホチキス針をセットしてください。 参照 ・「ホチキスカートリッジを交換する」(P. 306)
フィニッシャーの正面カバーを開けてユニット [4] を正しくセットしてください	フィニッシャー内の中とじユニット [4] が正しくセットされていません。 中とじユニット [4] を正しくセットしてください。
フィニッシャーの正面カバーを閉じてください	フィニッシャーの正面カバーが開いています。 正面カバーをしっかりと閉じてください。
フィニッシャーの排出口からすべての用紙を取り除いてください	フィニッシャーの排出口に用紙が残っています。 すべての用紙を取り除いてください。
フィニッシャーの排出トレイから用紙を取り出しててください	フィニッシャーの排出トレイの容量がいっぱいになりました。 フィニッシャーの排出トレイから出力された用紙を取り除いてください。
! プリント一時停止 IC カード必要	プリントを一時停止しました。IC カードが必要です。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されま す。
プリントできません ***_***	本機に何らかの障害が発生しています。 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「***_***」を確認して処置してください。 参照 ・「エラーコード」(P. 264)
プリントできません ! DNS サーバー更新不可	DNS の IPv4 または IPv6 アドレス、ホスト名が更新できませんでした。 DNS サーバーの設定を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されま す。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
プリントできません ! IPvx アドレス重複 (vx : v4 または v6)	IPv4 または IPv6 アドレスが重複しています。 IP アドレスを変更してください。 補足 ・〈インフォメーション〉 ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「IP アドレス (IPv4) を設定する」 (P. 36) ・「IP アドレス (IPv6) を設定する」 (P. 39)
プリントできません ! USB ポートを確認	同時に接続できる USB の最大数を超えています。 使用していない USB を抜いてください。 補足 ・〈インフォメーション〉 ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
プリントできません ! トナー予備用意	トナーカートリッジの交換時期が近づいています。 トナーがなくなり、機械が停止するまでの残りの印刷可能ページ数は、約 1,300 ページ* ¹ です。 この間に、新しいトナーカートリッジの予備を用意してください。 補足 ・〈インフォメーション〉 ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
プリントできません ! ドラム交換	ドラムカートリッジの寿命、またはセットされたドラムカートリッジが本機用のものではないか、ドラムカートリッジに異常が発生しています。 寿命によりこのメッセージが表示されても、操作パネルの [システム設定] > [ドラム寿命動作] が [プリント停止しない] に設定されている場合は、ドラムカートリッジの寿命がきても機械が停止せずにこのメッセージが表示され、しばらくの間は継続して使用できます。 ただし、印刷画質などの本機の性能に影響が出ることがあるので、ドラムカートリッジを新しいものと交換することをお勧めします。 補足 ・〈インフォメーション〉 ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。
プリントできません ! ドラム交換時期	まもなくドラムカートリッジの交換時期になります。ドラムカートリッジの寿命がきて、機械が停止するまでの残りの印刷可能ページ数は、約 1,600 ページ* ¹ です。 この間に、新しいドラムカートリッジを用意してください。 補足 ・〈インフォメーション〉 ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
プリントできません ! ドラム予備用意	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。 新しいドラムカートリッジの予備を用意してください。残りの印刷可能ページ数は、約 5,300 ページ* ¹ です。 補足 ・〈インフォメーション〉 ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
! プリントできません ***_***	ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認して処置してください。 補足 ・〈インフォメーション〉 ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「エラーコード」 (P. 264)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
フロントカバーを閉じてください	フロントカバーが開いています。 フロントカバーをしっかりと閉じてください。
メールボックスのカバーを閉じてください	10 ビン出力装置のカバーが開いています。 10 ビン出力装置のカバーをしっかりと閉じてください。
メールボックスビン N から用紙を取り出して ください (X : 1 ~ 10 のどれか)	10 ビン出力装置のビン N の容量がいっぱいになりました。 ビン N から出力された用紙を取り除いてください。
用紙種類がないため 手差し用の用紙でプリント	用紙トレイに、プリンタードライバーで指定した用紙種類の用紙がセットされていません。手差しトレイの用紙を使用してプリントします。
用紙種類がないため トレイ N の用紙でプリント (N : 1 ~ 4、6 のどれか)	用紙トレイに、プリンタードライバーで指定した用紙種類の用紙がセットされていません。表示されたトレイの用紙を使用してプリントします。
! 料金不足 お金 / カード挿入	印刷中に料金が不足したためプリントを一時停止しました。印刷に必要なお金、または料金度数が残っているカードを挿入してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
! 料金不足 お金挿入	印刷中に料金が不足したためプリントを一時停止しました。印刷に必要なお金を挿入してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
! 料金不足 コピーカード挿入	印刷中に料金が不足したためプリントを一時停止しました。料金度数が残っているカードを挿入してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。

*1 印刷できるページ数は、印刷条件や原稿の内容によって、大きく変化します。詳細は、「A.3 消耗品、定期交換部品の寿命について」(P. 380)を参照してください。

エラーコード

エラーコードとは、エラーが発生して印刷が正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合、本機の操作パネルに表示される 6 桁の数字です。

このコードは、エラーの原因を突き止めるための、大切な情報です。エラーメッセージとともに、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。

なお、お客様で対処できるエラーコードについて、下表に記載しました。エラーコードが表示された場合は、まず、下表に該当するエラーコードがないかを確認してください。

エラーコードは、番号の小さい順に並んでいます。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても状態が改善されないときは、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご連絡ください。表に記載されていないエラーコードは、お客様では対処できないエラーです。

エラーコード	原因 / 処置
012-210 012-211 012-212 012-213 012-221 012-223 012-224 012-225 012-226 012-227 012-228 012-229 012-230 012-231 012-232 012-233 012-234 012-243	フィニッシャーが故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
012-246	フィニッシャーの中とじユニットが奥まで押し込まれていません 中とじユニットを奥まで確実に押し込んで、電源を切って、入れ直してください。
012-247 012-260 012-261 012-263 012-264 012-265 012-266 012-269 012-282 012-283 012-284	フィニッシャーが故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
012-285 012-291 012-293 012-294 012-295 012-296	フィニッシャーにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
016-210 016-211 016-212 016-213 016-215 016-217 016-218 016-219 016-229 016-230 016-233	ソフトウェアにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-234 016-235 016-236 016-237 016-238 016-239 016-242	本機の認証機能でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-400	802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なります。 ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-401	802.1x 認証方式が処理できません。 本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-402	認証接続がタイムアウトになりました。 本機と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。
016-403	ルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] を [しない] にしてください。 参照 ・「[IEEE 802.1x 設定]」(P. 167)
016-404	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-405	本機に格納されている証明書にエラーがありました。 証明書の初期化を実行してください。 参照 ・「証明書初期化」(P. 210)
016-406	SSL クライアント証明書にエラーがありました。 次のどれかの方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選択する。
016-407 016-408 016-409 016-410 016-411 016-412	本機に登録したカスタマイズプログラムに問題があります。 カスタマイズプログラムを修正し、再度インストールしてください。
016-427	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なります。 Ethernet2 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-428	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 Ethernet2 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-429	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。 Ethernet2 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-430	Ethernet2 側の設定ルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet2 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] を [しない] にしてください。
016-431	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-432	Ethernet2 側の SSL クライアント証明書にエラーがありました。 次のどれかの方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAPTLS」以外のものを選択する。
016-450	SMB のホスト名が重複しています。 ホスト名を変更してください。
016-453	DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
016-454	DNS から、IP アドレスを取得できませんでした。 DNS の設定と IP アドレスの取得方法の設定を確認してください。
016-455	SNTP サーバーへの接続がタイムアウトになりました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、SNTP サーバーの IP アドレスが合っているかを確認してください。
016-456	SNTP サーバーから、標準時同期源と同期していないというメッセージを受けました。 SNTP サーバーの設定を確認してください。
016-461	[イメージログ転送] の [転送保証レベル] が [高] に設定されている場合、未転送イメージログ停滞による新規ジョブ作成制限によって、新規ジョブが生成されません。 イメージログを管理するサーバーの状態やネットワークの状態を確認し、イメージログサーバーへのイメージログ転送を阻害する要因を解消してください。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ 転送設定の確認を行い、未転送ログをすべて転送する ・ イメージログの [ログの作成保証レベル] を [低] に変更する この場合、イメージログは未転送のまま順次消去される場合があります。 イメージログキット (Adobe PostScript 3) を使用しているときは、本機の電源を切ってから入れ直したとき、または本機が自動的に再起動したときには、再度、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直してください。
016-500 016-502	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-503	メール送信時に SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services から SMTP サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

エラーコード	原因 / 処置
016-504	<p>メール送信時に POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。</p> <p>参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ</p>
016-505	<p>メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。</p> <p>参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ</p>
016-506	<p>本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。 もう一度、ジョブを実行してください。それでも同じエラーが発生する場合は、次のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不要なイメージログを削除する ・ イメージログの [ログの作成保証レベル] を [低] に変更する <p>この場合、作成されたイメージログの内容は保障されません。</p> <p>参照 ・ 「 [イメージログ管理設定] 」 (P. 186)</p>
016-507	<p>イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーへのイメージログの転送に失敗しました。 サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定するか、システム設定の [イメージログ転送] の [転送設定] を [使用しない] に変更してください。</p>
016-508	<p>イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーへのイメージログの転送に失敗しました。 サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定してください。</p> <p>参照 ・ 「 [イメージログ管理設定] 」 (P. 186)</p>
016-509	<p>イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーから本機へのイメージログの転送ルールが設定されていないため、イメージログの転送に失敗しました。 サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定するか、システム設定の [イメージログ転送] の [転送設定] を [使用しない] に変更してください。</p> <p>参照 ・ 「 [イメージログ管理設定] 」 (P. 186)</p>
016-510 016-511 016-512	<p>イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーから本機へのイメージログの転送ルールが設定されていないため、イメージログの転送に失敗しました。 サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定してください。</p> <p>参照 ・ 「 [イメージログ管理設定] 」 (P. 186)</p>
016-514	<p>XML Paper Specification (XPS) 文書の処理中にエラーが発生しました。 XPS 対応ドライバーからの印刷でエラーが発生した場合には、アプリケーションから他のプリンタードライバー (ART EX、PCL 等) を使用して印刷してください。 XPS 文書をダイレクトプリント (ContentsBridge Utility、E-Mail、メディアリーダー等) した際にエラーが発生した場合には、XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ART EX、PCL 等) を使用して印刷してください。</p> <p>補足 ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-515	<p>XML Paper Specification (XPS) 文書の処理中に、メモリー不足が発生しました。次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [印刷モード] を [標準] にする ・ XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ART EX、PCL 等) を使用して印刷する <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-516	<p>XPS 文書内に含まれる PrintTicket に、不正な記述や、本機で対応していない印刷設定が含まれています。</p> <p>問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーションを作成した会社に、アプリケーションの動作を確認してください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-517	<p>PostScript ファイルに記述されている内容に誤りがあります。</p> <p>PostScript ドライバーでプリントしてください。または、PostScript ファイルに記述されている ProcessColorModel でカラーモードの切り替えをしないように変更してください。</p>
016-518	<p>PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark を同時に指定しました。</p> <p>PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark/UUID の指定は混在できません。どちらか一方を解除してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「UUID 印字」 (P. 335)
016-519	<p>設定しておいた印字可能な面数に達したため、終了しました。</p> <p>機械管理者に相談して、印字可能な面数の制限値を変更してください。</p>
016-522	<p>LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL クライアント証明書が取得できません。</p> <p>LDAP サーバーから SSL クライアント証明書が要求されています。本機に SSL クライアント証明書を設定してください。</p>
016-523	<p>LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。</p> <p>本機が LDAP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。LDAP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。</p>
016-524	<p>LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。</p> <p>LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>
016-525	<p>LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。</p> <p>LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>
016-526	<p>LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。</p> <p>本機に設定してある LDAP サーバーのアドレスと LDAP サーバーの SSL 証明書に記載されているアドレスが一致するようにしてください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。</p>
016-527	<p>LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。</p> <p>SSL 認証内部エラーです。</p> <p>ソフトウェアにエラーが発生しました。弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
016-529	<p>Remote Download サーバーに接続するときに、エラーが発生しました。規定時間 (45 秒内) にサーバーから応答がありませんでした。次の項目を確認してください。</p> <p>ネットワーク接続を確認してください。Remote Download サーバーがネットワーク上に正しく設定されているかを確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-533	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 本機と Kerberos サーバーの時計の時間差が、Kerberos サーバー側のクロックスキューの制限値を超えています。本機の時計または Kerberos サーバーの時計が正しく設定されているかを確認してください。 このとき、本機と Kerberos サーバーの時刻だけでなく、サマータイムの設定やタイムゾーンの設定も同じであることを確認してください。
016-534	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 本機に設定してある認証先が Kerberos サーバーに存在しない、または設定してある Kerberos サーバーのアドレスでは接続できません。本機の Kerberos サーバーの設定にある、認証先名、およびサーバーのアドレスが正しいことを確認してください。 Windows 2000、Windows 2003 Server と接続する場合は、認証先名は大文字にしてください。
016-535	Remote Download サーバー上に、指定されたファイルがありません。 ファイルを確認してください。
016-536	Remote Download サーバーに接続する前に、DNS アクセスしたことにより、エラーが発生しました。 DNS との接続を確認してください。 または、Remote Download サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
016-537	Remote Download サーバーに接続できませんでした。接続先の Remote Download サーバーのポートが開いていません。 ネットワーク設定のポートを確認してください。
016-538	Remote Download ファイルをハードディスクへ書き込む際に、エラーが発生しました。Remote Download サーバーから取得したファイルをハードディスクに書き込めません。 ハードディスクの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。または、ハードディスクを交換してください。
016-539	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 ソフトウェアにエラーが発生しました。弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-543	指定された認証先やドメインが、ApeosWare Authentication Management から削除されました。 [認証先] 画面にある [最新情報に更新] を押して、認証先情報を更新するか、ApeosWare Authentication Management にドメインを追加してください。
016-545	ApeosWare Authentication Management とアクティブディレクトリーの時間が、アクティブディレクトリーで設定された Kerberos サーバーのクロックスキューの上限からずれています。 ApeosWare Authentication Management をインストールしたコンピューターとアクティブディレクトリーのコンピューターの時間を合わせてください。ApeosWare Authentication Management がインストールされたコンピューターの Windows のタイムサービスが停止している場合は、サービスを起動してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。
016-546	一般ユーザーが自分以外のユーザー情報を取得しようとした。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-548	本機が ApeosWare Authentication Management に登録されていません。 本機を ApeosWare Authentication Management に登録してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。
016-553	ApeosWare Authentication Management が本機のインターフェイスのバージョンに対応していません。 ApeosWare Authentication Management のバージョンを上げる必要があります。本機が、バージョンを上げる ApeosWare Authentication Management に対応している商品であることを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-554	ApeosWare Authentication Management のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名、または照会用パスワードが不正です。 ApeosWare Authentication Management のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名と照会用パスワードを正しく設定してください。
016-555	ApeosWare Authentication Management がデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できずにタイムアウトになりました。 ApeosWare Authentication Management からデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できることを確認してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。
016-556	ApeosWare Authentication Management が接続するデータベースに負荷がかかりすぎているため、タイムアウトエラーになりました。 サービスに負荷がかかりすぎているので、時間をおいて、再度認証を実施してください。 それでも改善されないときは、ApeosWare Authentication Management を確認してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。
016-557	ApeosWare Authentication Management の内部エラーです。 ApeosWare Authentication Management を確認してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。
016-558	本機が ApeosWare Authentication Management から不明なエラーを受信しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-559	Remote Download パラメーターエラーが発生しました。 必要となるシステムデータに不正な値が設定されています。 必要なシステムデータの設定を確認してください。
016-560	本機と ApeosWare Authentication Management 間で通信エラーが発生しました。 ネットワークケーブルの抜けや、ApeosWare Authentication Management の設定を確認してください。また、機能設定リストを出力して、「ApeosWare Authentication Management」の「サーバー名 /IP アドレス」にサーバーの DNS アドレスが設定されている場合は、DNS が有効になっていることを確認してください。
016-562	ApeosWare Authentication Management に同じ IC カードの情報を持つユーザーが重複しています。 ApeosWare Authentication Management で IC カードの情報を正しく設定してください。
016-564	Remote Download Server で認証エラーが発生しました。 正しいユーザー名、パスワードを使用してください。
016-569	ApeosWare Authentication Management との通信中に、データの不具合、サーバーからの応答がないなどのエラーが発生しました。 サーバーやネットワークの状態を確認し、サーバーや機器を再起動してください。
016-598	ページ分割で、1 ページ分のメールデータのサイズが最大メッセージサイズを超えました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [SMTP] で、[1 通ごとのデータサイズ上限] を大きな値に変更してください。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
016-700	プリンタードライバーで設定した、セキュリティープリント、または認証プリントの暗証番号が、本機に設定してある暗証番号の最小桁数よりも桁数が少なかったため、処理を中断しました。 プリンタードライバーで設定する暗証番号を、本機に設定してある暗証番号の最小桁数よりも多い桁数に設定してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-701	<p>メモリーが不足したため、ART EX の印刷データを処理できませんでした。 解像度を低くしたり、両面印刷や N アップをしないで、再度印刷を指示してください。</p> <p>参照 ・プリンタードライバーのヘルプ</p>
016-702	<p>プリントページバッファが不足したため、ART EX または PostScript の印刷データを処理できませんでした。 次のどれかの方法で対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [グラフィックス] タブの [印刷モード] が [高精細] の場合は、[標準] にする ・ [詳細設定] タブの [ページ印刷モード] を [する] にする (ART EX のみ) ・ プリントページバッファを増やす <p>参照 ・ [印刷モード] / [ページ印刷モード]：プリンタードライバーのヘルプ ・ プリントページバッファ：「[メモリー設定]」(P. 205)</p>
016-703	<p>時刻指定プリント文書が登録できませんでした。 時刻指定プリント機能を使用するには、ハードディスク (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効に設定する必要があります。</p> <p>参照 ・ 「3.7 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -」(P. 87)</p>
016-704	<p>セキュリティ / サンプルプリントの最大文書数を超えました。 本機内に蓄積されている不要な文書を削除し、もう一度印刷を指示してください。</p>
016-705	<p>次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本機用のプリンタードライバーを使用していない 2 ハードディスク (オプション) が装着されていない状態で、セキュリティプリント、認証プリント、プライベートプリントのどれかのジョブを受信した <p>1. の場合：本機用のプリンタードライバーを使用してください。 2. の場合：本機にハードディスクが装着されているか確認してください。</p> <p>ハードディスクが装着されていない場合： ・ 機能を利用しない場合は、プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ > [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [なし] に設定する ・ 機能を利用する場合は、ハードディスクを装着する</p> <p>ハードディスクが装着されている場合： ・ プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ > [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [あり] に設定する</p> <p>それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
016-706	<p>セキュリティプリントの最大ユーザー数を超えました。 本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティプリントの登録ユーザーなどを削除し、もう一度印刷を指示してください。</p>
016-707	<p>サンプルプリントが印刷できませんでした。 サンプルプリント機能を使用するには、ハードディスク (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効に設定する必要があります。</p> <p>参照 ・ 「3.6 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -」(P. 83)</p>
016-708	<p>ハードディスク (オプション) の領域が不足しているため、印刷できませんでした。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。</p>
016-709	<p>ART EX 処理でエラーが発生しました。 印刷ジョブを一度削除して、印刷し直してください。</p>
016-710	<p>ハードディスクが故障しているため、時刻指定プリント文書が登録できませんでした。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-715	ESCP フォーム用のパスワードが一致しないため、ESCP フォームにアクセスできませんでした。ESCP フォーム用の正しいパスワードを指定してください。
016-716	ハードディスク（オプション）の容量が不足したため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-718	メモリーが不足したため、PCL の印刷データを処理できませんでした。 解像度を低くしたり、両面印刷や N アップをしないで、もう一度印刷を指示してください。
016-719	プリントページバッファが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。 プリントページバッファを増やしてください。
016-720	PCL の印刷データに処理できないコマンドが含まれています。 印刷データを確認して、印刷し直してください。
016-721	印刷処理中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。 1 操作パネルで [プリント設定] の [用紙の優先順位] が、すべての用紙で [設定しない] に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している 2 ESC/P のコマンドエラー 3 データが途中で切れた場合（ThinPrint での印刷を途中ですると、データ送信が止まり、このエラーが表示されることがあります。） 1 については、自動トレイ選択で印刷をする場合は、[用紙の優先順位] で、用紙のどれかを [設定しない] 以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選択すると、自動的に [用紙の優先順位] が [設定しない] に設定されてしまうので、注意してください。2 については、印刷データを確認してください。 参照 ・用紙の優先順位の設定：「[用紙の優先順位]」(P. 193)
016-722	本機で対応していないホチキスの指定や、フィニッシャーで対応していない用紙サイズの指定がされました。 ホチキスの位置や用紙サイズを確認して、もう一度プリントを指示してください。
016-723	本機で対応していないパンチの指定や、フィニッシャーで対応していない用紙サイズの指定がされました。 パンチの位置や用紙サイズを確認して、もう一度プリントを指示してください。
016-724	ホチキスとパンチが両方指定されましたが、不可能な位置の組み合わせになっています。 ホチキスとパンチの位置が同じ側になるように指定し直して、もう一度プリントを指示してください。
016-726	操作パネルで [プリントモード指定] が [自動] に設定されている場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。 Adobe PostScript 3 キットが必要です。
016-728	TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。 印刷データを確認してください。
016-729	TIFF データの色数、解像度が有効範囲の上限を超えているため、印刷できませんでした。 TIFF ファイルの色数、解像度を変更して、もう一度印刷を指示してください。
016-730	ART IV でサポートされていないコマンドを検知しました。 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
016-731	TIFF データが途中で切れていて印刷できませんでした。 もう一度印刷を指示してください。
016-732	エミュレーションで、指定されたフォームが登録されていません。 フォームを再登録して、もう一度印刷を指示してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-733	<p>次の原因が考えられます。</p> <p>1 メール送信時、宛先メールアドレスの@の右側の文字列から IP アドレスを取得できませんでした。</p> <p>2. メール送信時、@の右側のインターネットアドレスを DNS で解決できませんでした。</p> <p>1. については、宛先メールアドレスが正しく入力されているか確認してください。</p> <p>2. については、DNS サーバーアドレスを正しく設定してください。</p>
016-738	<p>PostScript で製本を指定したが、出力できない用紙サイズが設定されています。</p> <p>製本が可能な用紙サイズを指定して、もう一度印刷を指示してください。</p>
016-739	<p>PostScript で製本を指定したが、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせが合っておりません。</p> <p>製本が可能な原稿サイズと用紙サイズの組み合わせを指定して、もう一度印刷を指示してください。</p>
016-740	<p>PostScript で製本を指定したが、製本ができない用紙トレイが設定されています。</p> <p>製本が可能な用紙トレイを指定して、もう一度印刷を指示してください。</p>
016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	<p>本体の更新処理にエラーが発生しました。</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。</p> <p>それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
016-746	<p>PDF ファイルに、本機では対応していない機能が含まれているため、印刷できませんでした。</p> <p>Adobe Reader を使って PDF ファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] から印刷を指示してください。</p>
016-748	<p>ハードディスク (オプション) の領域が不足しているため、印刷できません。</p> <p>印刷データを分割する、複数部印刷している場合は 1 部ずつ印刷するなど、印刷データのページ数を少なくしてください。</p> <p>また、ハードディスク内の不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。</p>
016-747	<p>コピーの画像繰り返し機能とアノテーション機能を同時に使用しているときに、メモリー不足が発生しました。</p> <p>次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アノテーションのイメージのサイズを大きくする ・ 画像繰り返しの個数指定を少なくする
016-749	<p>プリンタードライバーから受信したプリント言語は、本機で印刷できません。</p> <p>本機用のプリンタードライバーを使用して印刷してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PostScript など印刷したいプリント言語によっては、オプションが必要になります。
016-750	<p>ContentsBridge Utility などの PDF や XML Paper Specification (XPS)、DocuWorks ファイルを直接送信するアプリケーションで印刷を指示しましたが、PDF または XML Paper Specification (XPS) とともに送信されるプリントジョブチケットに、本機で対応していない文法、または本機で対応していない印刷指示が含まれていました。</p> <p>ContentsBridge Utility など、プリントジョブを送信しているアプリケーションの使用方法、印刷指示内容に問題がないかを確認してください。問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーション作成会社にアプリケーションの動作を確認してください。</p> <p>それでも解決しない場合は、機能設定リスト、ジョブ履歴レポート、および送信しているプリントジョブチケット付きのプリントデータを取得のうえ、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-751	<p>次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、PDF ファイルの破損が発生しました。 PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定しているときに、メモリー不足が発生しました。 PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定して、OpenType フォントが含まれている PDF を処理しました。 <p>1. については、プリンタードライバーを使用してプリントしてください。 2. については、次のどれかの方法で対処してください。 ・ プリンタードライバーを使用してプリントする ・ PostScript 使用メモリーを増やす 3. については、OpenType フォントを含まない PDF を作成してください。</p> <p>参照 ・ 「[メモリー設定]」 (P. 205)</p>
016-752	<p>メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。 印刷モードが「高画質」になっている場合は「標準」に、「標準」の場合は「高速」に変更してください。</p>
016-753	<p>パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合、パスワードが一致しませんでした。 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。</p>
016-755	<p>印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。 Adobe Acrobat を使用して、PDF ファイルの印刷禁止の指定を解除してから、もう一度印刷を指示してください。</p> <p>参照 ・ Adobe Acrobat に付属のマニュアル</p>
016-756	<p>認証 / 集計管理機能を使用して運用している場合、本機に印刷できるユーザーとして登録されていません。機械管理者に確認してください。</p>
016-757	<p>入力した暗証番号が間違っている。もしくは、ユーザー認証できません。暗証番号や認証情報 (User ID) を確認してください。</p>
016-758	<p>サービスを利用できる部門として登録されていません。 集計管理者にご相談ください。</p>
016-759	<p>サービスを利用できる上限ページ数に達しました。 集計管理者にご相談ください。</p>
016-760	<p>PostScript の処理中にエラーが発生しました。次のどちらかの方法で処置してください。 ・ PostScript プリンタードライバーで、[印刷モード] の [高画質] が選択されていた場合は、[高速] に変更する ・ PS 使用メモリーを増やす</p> <p>参照 ・ [印刷モード]：プリンタードライバーのヘルプ ・ PS 使用メモリー：「[メモリー設定]」 (P. 205)</p>
016-761	<p>イメージ処理中にエラーが発生しました。 [グラフィックス] タブの [印刷モード] が [高精細] の場合は [標準] にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、[詳細設定] タブの [ページ印刷モード] を [する] に設定して印刷してください。</p> <p>参照 ・ [印刷モード] / [ページ印刷モード]：プリンタードライバーのヘルプ</p>
016-762	<p>実装されていないプリント言語が指定されました。 [ネットワーク / ポート設定] の [パラレル] と [USB] で [プリントモード指定] に正しいプリント言語を指定してください。</p>
016-764	<p>SMTP サーバーに接続できませんでした。 サーバーの管理者にご相談ください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-765	SMTP サーバーのハードディスクの容量がいっぱいのため、メール送信ができませんでした。サーバーの管理者にご相談ください。
016-766	SMTP サーバーでエラーが発生しました。サーバーの管理者にご相談ください。
016-767	メールアドレスが間違っているため、メール送信ができませんでした。メールアドレスを確認し、もう一度送信してください。
016-768	本機のメールアドレスが正しくないため、SMTP サーバーに接続できませんでした。本機のメールアドレスを確認してください。
016-769	SMTP サーバーが配送確認 (DSN) に対応していません。配送確認 (DSN) の設定をしないで、メールを送信してください。
016-772	DNS サーバーアドレスが設定されていません。DNS サーバーアドレスを設定してください。
016-781	次の原因が考えられます。 1. メール送信時に、メールサーバーが見つかりませんでした (TCP/IP のセッション確立失敗)。 2. メール送信時に、メールサーバーから本機へ SMTP サーバーエラーを受信しました。 1. 次のどれかの方法で処置してください。 ・ ネットワークケーブルを確認する ・ SMTP サーバーを IP アドレスで指定している場合は、IP アドレスが正しいか確認する 2. 本機のホスト名を、ASCII 文字で指定してください。 使用できる文字 ・ アルファベット (a ~ z, A ~ Z) ・ 数字 (0 ~ 9) ASCII 文字を使用しているかどうかは、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で確認してください。
016-792	プリンター集計レポートを印刷する場合に、ジョブの履歴が取得できませんでした。ジョブの履歴は存在しません。
016-798	ハードディスク (オプション) が故障しているため、指定されたプリントはできません。弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-799	プリントデータに不正なパラメーターが含まれています。たとえば、プリンタードライバーまたはアプリケーションで、用紙サイズ、給紙トレイ、両面指定、排出トレイなどが、本機では処理できない組み合わせに設定されている可能性があります。設定を変更してから、もう一度印刷を指示してください。また、用紙ガイドの位置がずれている場合があります。用紙ガイドの位置を確認してください。
017-700	ThinPrint .print Engine との接続がタイムアウトになりました。ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-701	ThinPrint .print Engine との接続でエラーが発生しました。ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-702	ThinPrint .print Engine から送信されたデータが不正です。ThinPrint .print Engine のエラーの可能性がありますが、再度印刷処理を行うと成功する場合があります。
017-703	ThinPrint .print Engine から送信された印刷データが本機で扱える最大サイズを超えました。ジョブを分割して、再度印刷処理をやり直してください。
017-704	内部エラーが発生しました。本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。
017-705 017-706 017-707 017-708	ThinPrint .print Engine の SSL 認証エラーです。ThinPrint .print Engine に登録しているサーバ証明書の内容 (有効期限、アドレスなど) を確認してください
017-709	ThinPrint .print Engine との SSL 通信エラーが発生しました。本機の設定を確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
017-713	SMTP サーバーが [STARTTLS 接続] に対応していません。 SSL/TLS 通信の設定を [STARTTLS 接続] 以外に変更してください。
017-714	SMTP サーバとの SSL 接続に失敗しました。 SMTP サーバが SSL 接続に対応しているか確認してください。対応している場合、SMTP サーバのポート番号を確認してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-715	SMTP サーバーの SSL サーバー認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。 本機が SMTP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。SMTP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
017-716	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-717	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-718	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-719	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL 認証内部エラーです。 もう一度、同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-723	DocuWorks ダイレクトプリントに対応していない文字が使用されています。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバー（ART EX プリンタードライバーなど）を使用して印刷してください。
017-725	強制アノテーションを印字する設定にしているときに、プリント指示でエラーが発生しました。 強制アノテーションのテンプレート名が正しくありません。 もう一度、本機に登録されている強制アノテーションのテンプレート名をご確認ください。
017-729	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）で、受け付けられるジョブの数が上限を超えているか、ジョブのスプール領域不足により、ジョブが一時的に送信できませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 ・プリントジョブ蓄積先の機器（親機）で、プリントデータのスパール先をハードディスクに設定してください。CentreWare Internet Services で、[プロパティ] > [一般設定] > [メモリー設定] > [IPP] で [ハードディスク] を選択します。 ・しばらく待ってから、再度ジョブを送信してください。
017-730	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）にジョブを送信するときに、ネットワークエラーが発生しました。 次の確認を行ってください。 ・ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する。 ・プリントジョブ蓄積先の機器（親機）の電源が入っていることを確認する。 ・プリントジョブ蓄積先の機器（親機）の IPP ポートが起動していることを確認する。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-731	POP サーバーとの接続に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・本機に設定した、POP サーバーの IP アドレスが正しく設定されているか ・ネットワークケーブルが接続されているか
017-733	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）にジョブを送信するときに、ソフトウェアの内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
017-734	AirPrint の処理中に、内部エラーが発生しました。 AirPrint 以外のプリンタードライバやソフトウェアを使用して、もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-735	デバイスの利用が禁止されています。 機械管理者に相談してください。
017-755	ソフトウェアダウンロードに失敗しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [サービス設定] > [Machine Software] > [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] で、[許可] にチェックが付いているかを確認してください。
017-756	本機にエラーが発生しました。 本体の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善しないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-759	本機のファームウェアを更新中にエラーが発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-766	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。 次の原因が考えられます。 1 TLS モードで POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。 2 それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。 1. については、POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 2. については、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-767	POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。 本機に POP3 サーバーの正しいサーバー証明書を登録してください。
017-768	有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに SSL 接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-769	有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-770	POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。 正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。
017-771	本機にエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
017-780	プリントジョブの追い越しを [許可] に設定した場合、追い越されたプリントジョブが一定時間を経過して自動解除されました。 特に処置は必要ありません。追い越されたプリントジョブの自動解除設定が有効になっている場合にこの機能が働きます。 運用上不都合がある場合は、設定を [禁止] にするか、自動解除までの時間を適切な値 (1 分～120 時間) に設定し直してください。
017-787	Google クラウドプリントのプリントデータ処理中にエラーが発生しました。 Google クラウドプリント以外の方法でプリントしてください。
018-400	本機の IPsec 設定が正しくありません。 認証方式を [事前共有鍵] に設定した場合はパスワード、認証方式を [デジタル署名] に設定した場合は IPsec 証明書を設定し直してください。
018-405	LDAP 認証エラーで認証に失敗しました。 認証先のアクティブディレクトリーでアカウントが無効に設定されています。または、サーバー側でアクセス禁止に設定されています。サーバー管理者にお問い合わせください。

エラーコード	原因 / 処置
018-406	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv4 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-407	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv6 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-408	Ethernet2 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 Ethernet2 側の IPv4 アドレスを変更して IP アドレスの重複を解消してください。
018-409 018-412 018-413 018-416	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-410	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-411	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-414	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-415	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-500	認証サーバーに証明書がありません。 サーバー証明書を設定してください。または、認証機能を解除してください。
018-501	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 ネットワーク接続および CA 認証サーバーのアドレスを確認してください。
018-503 018-504 018-506	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 もう一度、認証操作を行ってください。
018-507	入力されたユーザー名またはパスワードが正しくないため、認証に失敗しました。 ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。
018-508	認証中にサーバーエラーが発生しました。 認証サーバーの状態を確認してください。
018-511	DNS サーバーのアドレスが設定されていません。 本機に DNS サーバーのアドレスを設定してください。または、転送先の BMLinkS ストレージサービスのアドレスを IP アドレスで設定してください。
018-512	BMLinkS サーバーに接続できませんでした。 サーバーの検索を行い、最新のサーバーリストを取得してください。それでも接続できない場合は BMLinkS サーバーが起動しているか確認してください。
018-513	BMLinkS サーバーが見つかりません。 サーバーの検索を行い、最新のサーバーリストを取得してください。それでも接続できない場合は BMLinkS サーバーが起動しているか確認してください。
018-514	BMLinkS サーバーにログインできませんでした。 ユーザー名、またはパスワードが正しいか確認してください。
018-515	何らかの理由で、本機が BMLinkS サービスから該当エラーコードを受信しました。 指定したファイル名が保存場所に作成可能なファイル名かを確認してください。また、指定したファイル名が別のユーザーによって使用されていないかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-516	BMLinkS サーバーにデータが保存できませんでした。 保存するファイル名に、BMLinkS サーバーで使用できない文字が使われていないか確認してください。また、BMLinkS サーバーに、同じファイル名のファイルが存在したり、保存先のフォルダ名やファイル名が制限文字数を超過していないか確認してください。
018-517	BMLinkS サーバーにデータが保存できませんでした。 BMLinkS サーバーのディスク空き容量が不足しています。不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。
018-518	BMLinkS サーバーでエラーが発生しました。 しばらく待ってから、操作してください。
018-519	BMLinkS サーバーでエラーが発生しました。 サーバーの検索を行い、最新のサーバーリストを取得してください。また、BMLinkS サーバーが利用可能な状態か確認してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-520 018-521 018-522 018-523	BMLinkS サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-565	DNS サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ 本機に設定されているプロキシサーバー名が DNS に登録されているか ・ DNS サーバーと接続されているか ・ DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか
018-571	本機にエラーが発生しました。 もう一度同じ操作をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-572	内部エラーが発生しました。 指定したコンテキスト名が正しいか確認してください。
018-573	内部エラーが発生しました。 指定した接続名が正しいか確認してください。
018-574	内部エラーが発生しました。 指定したボリューム名が正しいか確認してください。
018-575	内部エラーが発生しました。 指定したユーザー名およびパスワードが正しいか確認してください。
018-576	内部エラーが発生しました。 指定したパス名が正しいか確認してください。
018-577	内部エラーが発生しました。 指定したファイル名が正しいか確認してください。
018-578	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ ネットワークケーブルが接続されているか ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ サーバー名およびツリー名 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。
018-579	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ データが格納されているサーバー容量 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。
018-580	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ ボリューム名 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。

エラーコード	原因 / 処置
018-581	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ ディレクトリーパス名 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行なってください。
018-583	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーのハードディスク状態 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行なってください。
018-584	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か確認してください。 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行なってください。
018-585	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ ほかのユーザーが利用状況（使用中、書き込みロック中など） また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行なってください。
018-586	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ ログインユーザ名 ・ ログインパスワード ・ ボリューム名 ・ サーバー名およびツリー名 ・ コンテキスト名 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行なってください。
018-590	サーバー上で同名のファイルやフォルダーを検知しました。 次のどれかの方法で処置してください。 1 複数の機械から同じサーバーの同じフォルダーにアクセスしていない状態で、もう一度同じ操作をしてください。 2 再発する場合は、弊社プリンターサポートデスクに連絡してください。
018-595	LDAP サーバーのデータベース上に、現在使用中の IC カードと同じ情報を持つエントリーが複数見つかりました。 LDAP サーバーのデータベース上に、ユーザーのエントリーが同じ IC カード情報を持たないように修正してください。
018-596	LDAP サーバーの認証でエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-700	外部認証時にエラーが発生しました。 しばらくしてから、もう一度同じ操作を実施してください。
018-709	外部アクセス中に、エラーが発生しました。 環境に応じて、次のどれかの方法で処置してください。 IPv4 環境の場合 ・ 本機の IPv4 アドレスを確認する ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する ・ DHCP サーバーのアドレスを確認する IPv6 環境の場合 ・ 本機の IPv6 アドレスに IPv6 ルーターから配布されるグローバルアドレスが割り当てられているか確認する ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する ・ IPv6 ルーターが正しく設定されているか確認する

エラーコード	原因 / 処置
018-715	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 Kerberos サーバーに、本機で使用できる認証方式と一致するものがない、または本機に、Kerberos サーバーで使用できる認証方式と一致するものはありません。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ Kerberos サーバーの認証方式を設定しなおしてください。 ・ 本機の FIPS 認証モードを解除してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-722	Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-723	Google クラウドプリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-724	Google クラウドプリントとの通信で、SSL 通信エラーが発生しました。 SSL の設定が正しいかを確認してください。
018-725	Kerberos サーバーに設定されたユーザーのパスワードの使用期限が切れています。 パスワードの使用期限を延長してください。
018-726	IC カード内の上位の CA 証明書が本機に登録されていません。 IC カード内の上位の CA 証明書を本機に登録してください。
018-727	Kerberos サーバーに認証されませんでした。 IC カード内の証明書を確認し、無効または失効している場合は、証明書を更新してください。また、サーバー側で使用禁止となっていないか確認してください。
018-728	Kerberos サーバーに認証されませんでした。" 次のどれかの方法で処置してください。 ・ KDC 証明書のルート CA 証明書が登録されていない場合は、ルート CA 証明書を登録してください。 ・ KDC 証明書が失効している場合は、サーバーの KDC 側の証明書を更新してください。 ・ 本機に設定した Kerberos サーバーのアドレスと、Kerberos サーバーの KDC 証明書に記載されたアドレスが一致していることを確認してください。
018-729	Google クラウドプリントとの接続がタイムアウトになりました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-730	Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。それでも状態が改善されないときは、内部エラーが発生している可能性があります。弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-731	ハードディスクの容量が不足しているため、ジョブを中止しました。 ハードディスクの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。処理中のジョブはすべて実行してから、もう一度操作してください。
018-737	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-738	Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-739	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-740	Google クラウドプリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-741	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
018-743	Google クラウドプリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-744	Google クラウドプリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 DNS の設定が正しいかを確認してください。
018-745	Google クラウドプリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-746	Google クラウドプリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 DNS の設定が正しいかを確認してください。
021-210 021-211 021-212	USB IC カードリーダーにエラーが発生しました。 USB IC カードリーダーの接続を確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、USB IC カードリーダーが故障している可能性があります。壊れていない USB IC カードリーダーを取り付けて、もう一度電源を入れなおしてください。
021-213	インターネットを使用する EP システムの単価テーブルの設定に問題があります。 機械管理者が CentreWare Internet Services を使用し、単価テーブルを読み出して、修正してください。1 ~ 9,999,999 の範囲で任意の値を設定して、書き込みを行ってください。
021-214	USB メモリーまたはメモリーカードリーダーとの暗号通信中にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-215	接続された課金集計機器と本機で設定した課金集計機器が異なります。 本機の設定を修正するか、本機の設定にあった機器を取り付けて、電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから電源を入れ直してください。
021-401	設定した数より多い USB IC カードリーダーなどの認証機器が差し込まれました。 差し込んだ認証機器を抜いてください。
021-501	インターネットを使用する EP システムとの通信に失敗しました。 電源を切って、入れ直してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-502	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
021-503	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。EP プロキシサーバー名のアドレスに問題があります。 次の項目を確認してください。 ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
021-504	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。"</p>
021-505	<p>EP サーバーとの SSL/TLS 通信に失敗しました。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-506	<p>EP サーバーのサーバーの SSL 証明書が正しくありません。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-507	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EP プロキシサーバーの認証ユーザー ・ EP プロキシサーバーの認証パスワード <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-508	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 <p>上記の設定を確認したあとも状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくはプロキシサーバーの設定変更や障害の可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-509	<p>EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-510	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 EP システムの契約期間を確認してください。 EP システムの契約期間中にこのエラーコードが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-511 021-512 021-513 021-514	<p>EP サーバーで、本機がすでに設定されています。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-515 021-516	<p>EP サーバーでの本機の設定が正しくありません。 電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-517 021-518 021-519	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
021-520 021-521 021-522	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LAN ケーブルの接続 ・ DNS サーバーアドレス設定 ・ デフォルトゲートウェイ設定 ・ サブネットマスク設定 <p>BB-Direct 構成の場合は、次の確認をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EP プロキシサーバー設定 <p>これらの設定を確認しても状態が改善しない場合は、ネットワーク障害もしくは DNS サーバー障害の可能性があります。 ネットワーク管理者に相談してください。 ネットワークが正常で、状態が改善しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-523	<p>EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 SOAP ポートが起動して、電源を切って、入れ直してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-524 021-525 021-526 021-527 021-528	<p>EP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 電源を切って、入れ直してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-529	<p>ソフトウェア更新サーバーでは、本機のすべてのソフトが最新という設定になっています。 最新バージョンでない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-530 021-531	<p>インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-532 021-533 021-534 021-535	<p>インターネットを使用する EP システムにソフトウェアバージョンアップの問い合わせをした結果、ソフトウェアバージョンアップができません。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
021-732	<p>EP システムを使用できません。 カードを挿入または料金を投入し、料金 / 度数の不足がないか確認してください。</p>
024-700	<p>オプション機能を利用するために必要なメモリー容量、またはハードディスクが装着されていません。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクに、電話でお問い合わせください。</p>
024-701	<p>指定した用紙と組み合わせができない排出面設定になっています。 組み合わせ可能な用紙と排出面設定を指定してください。</p>
024-702	<p>[システム設定] で [紙づまり時の処理] を [プリント中止] に設定しているときに、紙づまりが発生しました。 詰まった用紙を取り除いて、もう一度プリント指示をしてください。</p>
024-703	<p>製本可能な枚数の上限を超えているためプリントできませんでした。 坪量の少ない用紙に変更してください。または、製本の作成を解除してください。</p>
024-742	<p>プリントオプションで製本を指定したジョブのプリント枚数が、製本を作成可能な枚数を超えました。 プリントオプションで、製本を作成可能な枚数ごとに分冊するか、製本の作成を解除してください。</p>
024-746	<p>指定した紙質と組み合わせができない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、両面印刷のどれか）が指定されました。 印刷データを確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
024-747	プリンターパラメーターの組み合わせが不正です。原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。プリントデータを確認して、もう一度、プリントを指示してください。
024-775	プリントオプションで製本を指定したジョブのプリント枚数が、製本を作成可能な枚数を超えました。プリントオプションで、製本を作成可能な枚数ごとに分冊するか、製本の作成を解除してください。
025-596 025-597	ハードディスクにエラーが発生しました。 ハードディスクを交換してください。
026-400	USB ポートに 3 つ以上の機器が接続されています。 接続機器が最大 2 つになるように、取り外してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
026-704	DocuWorks 文書の処理中にエラーが発生しました。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバー（ART EX、PCL など）を使用して印刷してください。
026-705	メモリー容量が不足したため、DocuWorks 文書の処理ができません。 印刷モードが「高画質」になっている場合には、「標準」に、「標準」の場合には「高速」に変更してください。
026-706	印刷禁止指定された DocuWorks 文書を処理しようとしてしました。 DocuWorks Viewer を使用して印刷禁止指定を解除して、再プリントしてください。
026-707	パスワードで保護されている DocuWorks 文書を処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。
026-710	本機が対応していない暗号方式で暗号化された S/MIME メールを受信しました。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ メール送信者に暗号方式（3DES）で暗号化したメールの送信を依頼してください。 ・ 本機の FIPS140 認証モードを解除してください。
026-712	CentreWare Internet Services からの操作中にエラーが発生しました。 しばらくしてから、もう一度操作してください。
026-718	プリントの指示で、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
026-724 026-725	インターネットを使用する EP システムとの通信でエラーが発生しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
026-726	プリントジョブの指定時に機器構成情報が、実際の機器構成と一致していません。 プリンタードライバー画面で機器構成情報と、実際の機器構成を合わせてください。
026-727	次の原因が考えられます。 1 保存先のパス名に、使用できない文字（①など）が使われています。 2 保存先のパス名（拡張子を含む）が利用できる文字数を超えています。 次のいずれかを実行してください。 1 については、保存先のパス名を変更してください。 2 については、保存先のパス名を 1～255 バイト以内で設定してください。
026-730	指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズが不明です。 指定した用紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、再度ジョブを実行してください。
027-400	本機との通信に失敗しました。 他のメッセージが表示されている場合はそちらの内容を確認してください。パネル操作中なら操作を完了してください。リモートアクセス中ならアクセスが終了するまで待ってください。それでも解消しない場合は電源を切 / 入してください。実施しても問題が解消しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-442	IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 「ステートレス自動設定アドレス 1」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-443	IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 「ステートレス自動設定アドレス 2」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-444	IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 「ステートレス自動設定アドレス 3」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-445	手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
027-446	手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-447	IPv6 アドレスが重複しています。 本機の IPv6 「リンクローカルアドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-452	IP アドレスが重複しています。 本機に設定した IP アドレスを確認してください。
027-500	SMTP サーバーに接続できませんでした。 SMTP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。
027-501	POP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-502	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。
027-503	POP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-504	SMTP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-564	SMB のプロトコルエラーです。SMB サーバーが見つかりませんでした。 認証サーバーと本機がネットワーク通信できる状態にあるかを確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続確認 ・ TCP/IP 設定確認 ・ 137 番ポート (UDP)、138 番ポート (UDP)、139 番ポート (TCP) による通信の確認
027-565	SMB のプロトコルエラーです。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-566	SMB (TCP/IP) が起動されていません。 CentreWare Internet Service の [プロパティ] タブの [ポート起動] 画面で、SMB (TCP/IP) が起動されていることを確認してください。
027-572 027-573 027-574 027-576 027-578	SMB のプロトコルエラーです。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
027-584	SMB のプロトコルエラーです。SMB サーバーが共有セキュリティモードで動作しています。 SMB サーバーが Windows 95、Windows 98、または Windows Me の OS に設定されている可能性があります。SMB サーバーを Windows 95、Windows 98、および Windows Me 以外の OS に設定してください。
027-700	宛先メールアドレスのドメイン部分が禁止ドメインに指定されています。 宛先メールアドレスのドメイン部分が禁止ドメインに指定されていないことを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-701	ネットワークケーブルが抜けています。 ネットワークケーブルを本機に差し込み直してください。
027-702	指定した宛先用証明書がありません。 宛先用証明書を本機に登録してください。
027-703	指定した宛先用証明書の有効期限が切れています。 有効期限が切れていない宛先用証明書を本機に登録してください。
027-704	指定した宛先用証明書の CA 証明書がありません。 宛先用証明書の証明書パスを確認して、必要な CA 証明書を本機に登録してください。
027-705	指定した宛先用証明書が、廃棄対象になっています。 廃棄対象ではない宛先用証明書を指定してください。
027-706	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられた S/MIME 証明書が存在しませんでした。 メールアドレスに対応した S/MIME 証明書を、本機にインポートしてください。
027-707	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられた S/MIME 証明書の有効期限が過ぎていました。 新しく S/MIME 証明書を発行してもらい、本機にインポートしてください。
027-708	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられている S/MIME 証明書が、信頼できない証明書でした。 信頼できる証明書を本機にインポートしてください。
027-709	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられている S/MIME 証明書が、廃棄されていました。 新しい S/MIME 証明書を本機にインポートしてください。
027-710	受信したメールに、S/MIME 証明書がありません。 送信者に、S/MIME 証明書を添付してメールを送信するよう、連絡してください。
027-711	受信したメールから、送信者の S/MIME 証明書が取得できませんでした。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、送信者が送信する S/MIME 署名メールに、S/MIME 証明書を添付してください。
027-712	受信したメールの S/MIME 証明書が、有効期限を過ぎているか、信頼できない証明書でした。 送信者に、期限の有効な S/MIME 証明書を添付してメールを送信するように連絡してください。
027-713	受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-714	受信したメールの From フィールドと、S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていたため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、From フィールドと S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-715	受信したメールの S/MIME 証明書が、本機に登録されていないか、本機で使用するよう設定されていません。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、すでに S/MIME 証明書が登録済みの場合は、本機で使用するよう設定してください。
027-716	受信したメールの S/MIME 証明書が信頼できないため、受信メールを破棄しました。 送信者に信頼できる S/MIME 証明書を添付して送信するように連絡してください。
027-717	メール送信で使用する SMTP サーバーのアドレスを DNS サーバーから取得できませんでした。 DNS サーバーが正しく設定されているか確認してください。
027-720	アプリケーション連携先のサーバーが見つかりません。 DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。または、連携するアプリケーション (ApeosWare Flow Service) がインストールされているコンピューターが、DNS 登録されているかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-721	アプリケーション連携先が存在しません。 連携するアプリケーション (ApeosWare Flow Service) が正しく動作しているかを確認してください。
027-724	アプリケーション連携 (ApeosWare Flow Service) に失敗しました。 ApeosWare Flow Service が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-725	アプリケーション連携でジョブ操作に失敗しました。 連携するアプリケーション (ApeosWare Flow Service) が正しく動作しているかを確認してください。動作している場合は、ログを確認してください。動作していない場合は、ネットワーク環境を確認してください。
027-726	アプリケーション連携先 (ApeosWare Flow Service) のステータスが不明になりました。 ApeosWare Flow Service が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-728	外部サービスへの送信要求ファイル数が、送信可能最大数を超えました。 送信可能枚数を超えない枚数で、もう一度実行してください。
027-730	SMTP メールで、分割可能なページ数の上限を超えました。 ページ分割に設定してあるページ数を大きくするか、原稿のページ数を少なくしてください。
027-735	SSL を使った転送指定に対して、本機の SSL 設定が無効になっています。 本機の SSL 設定を有効にしてください。または、転送プロトコルを HTTP に指定してください。
027-736	サーバー証明書検証指定に対して、本機のサーバー証明書検証が無効になっています。 本機のサーバー証明書検証設定を有効にしてください。または、転送時のサーバー証明書検証指定を無効にしてください。
027-757	<p>次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 サーバーとの通信でエラーが発生しました。 2 本機に信頼する証明書がインポートされていません。 3 SSL プロキシサーバーを経由したため、SSL 証明書記載のサーバーアドレスと接続先サーバーアドレスが一致しませんでした。 4 本機未対応の暗号方式が使われるサーバーと通信しようとしてしました。 5. SSL サーバーがクライアント証明書認証の設定の場合、本機にクライアント証明書が未登録または一致しません。 6. サーバー証明書の有効期限が切れている、または期限前です。 <p>1. については、ping または traceroute コマンドを使用して、本機とサーバーまたは DNS との接続を確認してください。</p> <p>2. については、本機に、SSL サーバーの証明書が信頼する CA 証明書・中間証明書がインポートされているかをブラウザで確認してください。不足なら CA 証明書・中間証明書をインポートしてください。</p> <p>3. については、本機が SSL 通信内容を確認する機能を持つ SSL プロキシを経由しないか確認してください。経由していた場合、本機を SSL プロキシの対象外に指定してください。</p> <p>4. については、本機が対応する暗号方式にサーバーが対応しているか確認してください。対応していない場合は、対応している暗号方式を SSL サーバー設定に含めてください。</p> <p>5. については、本機にクライアント証明書を設定してください。本機にクライアント証明書をインポートし、クライアント証明書として利用します。</p> <p>6. については、本機の日時が正しいか、サマータイムまたは時差を確認します。ずれがある場合は日時または時刻を合わせます。</p>
027-760	XJT コマンドで仕様範囲外のパラメーターが指定されました。 指定したパラメーターを確認してください。
027-762	<p>外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントジョブが本機に指示されましたが、指示されたジョブチケットが次のように不正でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機ソフトウェア不具合によるジョブチケット異常書き換え ・ 送信元の外部サーバーのバグによるジョブチケット異常書き換え ・ ネットワークトラブルによるジョブチケット異常書き換え ・ 意図的なジョブチケットの改ざん <p>もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
027-763	外部のアカウントティングサーバーまたは外部認証サーバーとユーザー情報の照合ができませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ 外部アカウントティングサーバーまたは外部認証サーバーが正しく動作しているか確認する ・ ネットワークに障害がないか確認する ・ ネットワークケーブルを正しく接続する ・ 本機の設定を確認する
027-770	プリントジョブに問題があります。 ジョブを再度実行してください。
027-771	本機に接続しているサーバーのハードディスクがいっぱいになりました。 サーバーのデータを削除してください。
027-772	SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] でホスト名を、ASCII 文字で設定してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが HELO コマンドに対応しているか確認してください。
027-773	SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
027-774	指定したメールアドレスに使用できない文字が含まれています。 宛先のメールアドレスは、ASCII 文字だけで設定してください。
027-775	送信する宛先数が多すぎます。 宛先数を減らしてください。 それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが EHLO コマンドに対応しているか確認してください。
027-776	SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] でホスト名を、ASCII 文字で設定してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが HELO コマンドに対応しているか確認してください。
027-777	送信先の SMTP サーバーが SMTP-AUTH に対応していません。 CentreWare Internet Services で [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [SMTP] > [SMTP 送信の認証] を [利用しない] に設定してください。
027-778	送信先の SMTP サーバーが、本機に設定してある SMTP-AUTH の認証方式に対応していません。 ネットワーク管理者に、SMTP サーバーに認証方式を確認してください。 本機が対応している認証方式は、AUTH GSSAPI (Kerberos 指定時のみ)、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTH PLAIN、AUTH LOGIN、AUTH CRAM-MD5 です。
027-779	SMTP サーバーの認証に失敗しました。 SMTP-AUTH に設定してあるログイン名とパスワードを確認してください。
027-796	メール受信時に添付文書だけを印刷するように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。 メール本文やメールヘッダー情報なども印刷したい場合は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブで設定を変更してください。
027-797	受信メールの出力先が不正です。正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。
041-210 041-211	内部エラーが発生しました。 再度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されない場合は、機械の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
047-211 047-212	オフセット排出ユニットにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
047-213	異なるタイプのフィニッシャーが取り付けられていることを検知しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
047-214 047-215	本機にエラーが発生しました 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
047-216	フィニッシャーとの接続異常が発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
047-217	大容量トレイとの接続異常が発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
047-218	本機にエラーが発生しました 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
071-210	用紙トレイ 1 が故障しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
071-211	用紙トレイ 1 にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
072-210	用紙トレイ 2 が故障しました。 用紙トレイ 2 の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 2 以外の用紙トレイは使用できます。
072-211	用紙トレイ 2 にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
073-210	用紙トレイ 3 が故障しました。 用紙トレイ 3 の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 3 以外の用紙トレイは使用できます。
073-211	用紙トレイ 3 にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
074-210	用紙トレイ 4 が故障しました。 用紙トレイ 4 の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 4 以外の用紙トレイは使用できます。
074-211	用紙トレイ 4 にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
077-211	異なるタイプの用紙トレイモジュールが取り付けられていることを検知しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
077-213	本機の両面ユニットでエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
078-212	大容量給紙トレイにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
078-219	大容量給紙トレイにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
078-250	用紙トレイ 6 (大容量給紙トレイ) にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
078-500	トレイ 6 (大容量給紙トレイ) が故障しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
112-700	フィニッシャーのパンチダストボックスが、切りくずでいっぱいになりました。 パンチダストボックスの切りくずを捨ててください。 参照 ・「パンチ穴のクズを捨てる」
116-702	代替フォントでプリントされました。 プリントデータを確認してください。
116-703	PostScript でエラーが発生しました。 プリントデータを確認してください。
116-710	受信データが HP-GL/2 (オプション) スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。
116-711	指定した ART EX フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。 用紙サイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-712	ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713	ハードディスク (オプション) がいっぱいになったため、ジョブを分割して印刷しました。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
116-714	HP-GL、HP-GL/2 コマンドエラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-715	ART EX フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-718	指定した ART EX 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART EX フォーム登録リスト] で確認できます。 参照 ・「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 311)
116-720	メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。 不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。
116-725	本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。 もう一度、ジョブを実行してください。 それでも、同じエラーが発生する場合は、次のどれかの方法で処置してください。 ・ 不要なイメージログを削除する ・ イメージログの [ログの作成保証レベル] を [低] に変更する この場合、作成されたイメージログの内容は保障されません。
116-737	ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。

エラーコード	原因 / 処置
116-738	指定した ART IV フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていない。 用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-739	ART IV フォームメモリー、またはハードディスク（オプション）の容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	印刷データにプリンターの制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-741	ART IV フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-742	ART IV ロゴデータの登録上限数に達したため、ロゴデータが登録できません。 不要なロゴデータを削除してください。
116-743	ART IV フォームメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 メモリーの領域を増やしてください。
116-745	ART IV コマンドエラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-746	指定した ART IV 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。 フォームの登録状態は、[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認できます。
116-747	HP-GL、HP-GL/2 の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が大きすぎます。 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度印刷を指示してください。
116-748	HP-GL、HP-GL/2 の印刷データに描画データがありません。 印刷データを確認してください。
116-749	指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。 フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-750	バナーシートの給紙トレイに不具合があります。 バナーシートの給紙トレイを正常な状態にもどすか、バナーシートの給紙トレイを変更してください。
116-752	PDF や XML Paper Specification (XPS)、DocuWorks ファイルのプリントジョブチケットの記述内容に問題があります。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	JBIG データに含まれるパラメーターに不正なものがあり、それを自動的に修正しました。 ジョブの実行結果に問題がある場合は、再度、ジョブを実行してください。
116-780	本機が受信したメールの添付文書に問題があります。 添付文書を確認してください。 参照 ・「3.13 電子メールを使って印刷する - メール受信プリント -」(P. 102)
116-790	すべての部数をホチキス留めをしないで印刷しました。 ホチキスの設定位置が正しいかを確認し、もう一度実行してください。
124-702	指定した排出先（フィニッシュャートレイ）が故障しているため、排出先を変更しました。 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、故障しているフィニッシュャートレイ以外の排出トレイは使用できます。

エラーコード	原因 / 処置
124-705	パンチの設定を解除しました。 パンチの設定位置が正しいか確認し、もう一度実行してください。
124-706	紙折りの設定を解除しました。 紙折りの設定が正しいか確認し、もう一度実行してください。
124-708	用紙の排出先が、指定したトレイではなく、センタートレイに排出されました。次の原因が考えられます。 1. 両面指定時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙が送られた 2. フィニッシャーのパンチが故障した 次の処置を行ってください。 1. については、指定したサイズの用紙がトレイにセットされているか確認してください。 2. については、操作パネルに、012-231、012-232、012-233、012-234 どれかのエラーコードが表示されていることを確認して、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
124-709	ホチキスで留められる枚数を超えています。 ホチキスで留められる枚数を超えないようにするか、ホチキスの設定を解除し、もう一度実行してください。
124-710	指定した排出先から排出できません。排出できない用紙サイズや紙質が指定されているか、排出先が故障しています。 操作は必要ありません。自動で利用可能な排出先を選択して排出されます。正しい用紙サイズや紙質を指定しても、指定した排出先から排出されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

6.8 ネットワーク関連のトラブル

ネットワーク環境で印刷できないなどのトラブルについては、本機に同梱されているメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『マニュアル（HTML 文書）』を参照してください。

ここでは、CentreWare Internet Services とメール受信プリント / メール通知サービス機能を使用している場合や IPv6 に接続している場合に、発生しやすいトラブルについて、原因と処置方法を説明します。操作パネルにエラーメッセージやエラーコードが表示されている場合は、「6.7 主なエラーメッセージとエラーコード」（P. 254）を参照して処置してください。

CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services に接続できない	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ [機能設定リスト] を印刷して確認してください。
	URL は正しく入力されていますか？ URL をもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	HTTP のポート番号は正しいですか？ HTTP のポート番号をもう一度確認してください。ポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例) http://printer1.example.com:80/
	SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合、アドレス欄に正しく入力していますか？ SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合は、Web ブラウザーのアドレス欄に「http」ではなく、「https」から始まるアドレスを入力します。また、SSL/TLS のポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例) https://printer1.example.com:80/
プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。 参照 ・ Web ブラウザーのヘルプ	
Web ブラウザーに[しばらくお待ちください]などのメッセージが表示されたままになる	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
最新の情報が表示されない	[更新] をクリックしてください。
[表示更新] が機能しない 左側のメニューを選択しても、画面が切り替わらない 表示が遅い	指定されている OS や Web ブラウザーを使用していますか？ 「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照して、使用している OS や Web ブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
	プロキシサーバーを使用していると、状態が正しく表示されなかったり、表示が遅くなったりする場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。
	使用している Web ブラウザーに古い状態がキャッシュされている可能性があります。 Web ブラウザーのキャッシュをすべてクリアしてください。

症状	原因 / 処置
画面の表示が崩れる	Web ブラウザーのウィンドウサイズ、または表示フォントサイズを変更してください。
日本語が正しく設定できない	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できない場合があります。
[新しい設定を適用] をクリックしても反映されない	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。 入力した値を確認してください。

メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
メール受信プリントができない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	[メール受信] がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	受信許可ドメインを設定していませんか。 CentreWare Internet Services で、自分のドメインが受信許可ドメインに含まれているかどうかを確認してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
メール受信プリントで添付の PDF ファイルが印刷されない	メモリー容量が不足していると、印刷できないことがあります。容量の大きな添付ファイルを頻繁に印刷する場合は、メモリーを増設することをお勧めします。
メール通知サービスで、本機の状態がメールされない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	[メール通知] がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、設定を確認してください。
	送信先メールアドレスは正しく入力されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、正しい送信先を入力してください。
SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。	

症状	原因 / 処置
Yahoo メールを使用して、メール受信プリントすると、同一文書が何回もプリントされる	メール部分が複数添付されている可能性があります。 メール送信画面で「添付ファイルとして転送」を選択してください。
コンピューターで MSN メールを使用して、メール受信プリントすると、同一文書が何回もプリントされる	メール部分が複数添付されている可能性があります。 Windows Live メールを使用して、転送してください。または、携帯電話から転送してください。
携帯電話で MSN メールを使用して、メール受信プリントすると、改行していない位置で、改行される	入力時に改行していない場合でも、携帯電話のブラウザの端に位置していた箇所改行されて、MSN メールサーバーから転送されてしまいます。
Gmail などの Web メールを使用して、メール受信プリントすると、添付文書が印刷されない場合がある	転送された Gmail などの Web メールが、さらに転送されている可能性があります。 メール受信プリントする場合は、転送メールをさらに転送しないでください。
Beat モバイルメールを使用して、メール受信プリントすると、印刷結果が印刷設定と異なる場合がある たとえば、添付文書のみ印刷する設定にしても、メール本文が印刷されてしまう	Beat モバイルでメールを転送すると、転送元のメールのメール本文が添付文書として送信されます。 ほかの Web メールを使用して、転送してください。

IPv6 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services で、SSL を有効に設定している場合に、http:// [IPv6 アドレス] を指定しても https:// [IPv6 アドレス] サイトヘリダイレクトされない	SSL を有効に設定している場合、https:// [IPv6 アドレス] サイトを指定してください。
IPv6 ネットワークを介して印刷した場合、ペーパーセキュリティが正しく動作しない	IPv4 環境で運用してください。 IPv6 環境ではペーパーセキュリティは正しく動作しません。
IPv6 が利用できる Windows OS と通信できない	IPv6 が利用できる Windows OS で固定アドレスを設定してください。 通信を許可するホストアドレスとして、設定した IPv6 固定アドレスを本機に登録してください。
リンクローカルアドレスを指定するときに本機にアクセスできない	リンクローカルアドレスにスコープ識別子を付加してください。 たとえば Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 の Internet Explorer 7 を利用して、fe80::203:baff:fe48:9010 を指定してアクセスする場合には、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 のイーサネットアダプタローカルエリア接続の番号（例：8）をスコープ識別子として付加し、fe80::203:baff:fe48:9010%8 と入力します。
ルーターを越える検索が正しく動作しない	SMB を使った検索でルーターを越える場合、宛先アドレスを直接入力してください。 マルチキャストに応答するのは、ローカルリンク内でのマルチキャスト（FF02::1）のみです。

IPv6 環境での印刷時のトラブル

症状	原因 / 処置
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 が利用できる Windows OS から Windows 共有プリンターが使用できない	IPv6 が利用できる Windows OS 上の hosts ファイルに本機のコンピューター名を登録してください。 格納先例： C:\Windows\system32\driver\etc\hosts ファイルに登録します。
NetWare で IPv6 通信できない	IPv4 で運用してください。

その他 IPv6 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
DocuShare など外部アクセス接続サービスで、接続先 URL に IPv6 アドレスで指定すると正しく動作しない 例： http:// [ipv6:2001:db8::1]	IPv6 環境では DNS サーバーを運用し、接続先 URL を FQDN で指定してください。
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境において、SMB 認証の SMB サーバー設定にコンピューター名を指定すると認証に失敗する	認証サーバーのコンピューター名に、IPv6 アドレスを直接指定してください。
UPnP で IPv6 機器を検索できない	IPv6 環境では Web Services on Devices (WSD) のディスカバリ機能を使用してください。
出力されたジョブログに IPv6 アドレスが正しく記載されない	IPv4 で運用してください。

6.9 カスタムモードについて

トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期になると、交換についてのメッセージが表示されます。

カスタムモードでプリンターを使用したい場合は、次の手順に従って、カスタムモードに設定してから、対応したトナーでご使用ください。なお、このモードを使用したとしても、完全に空になったトナーはご使用できません。

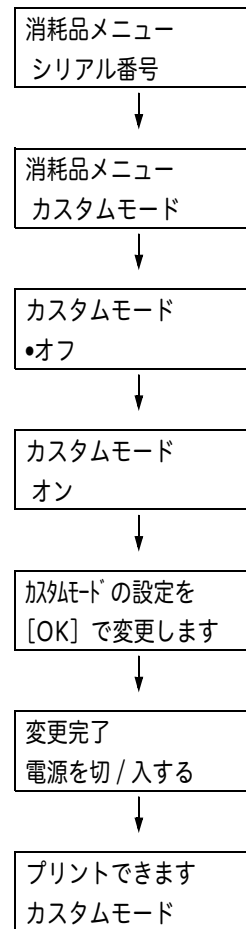
注記

- ・ カスタムモードによる本機の使用は、本来の本機の機能、性能が保たれないことがあり、当社推奨品における品質保証の範囲外となります。そのまま使い続けると、本機が故障する原因となることがあります。本機の故障となった場合は、有償修理となります。
- ・ カスタムモードでは、「[ドラム寿命動作]」(P. 176) の設定が無視されます。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

補足

- ・ カスタムモードから通常モードに戻すには、次の手順 4 で [オフ] を選択します。

1. 操作パネルの〈▼〉と〈OK〉ボタンを同時に押します。
消耗品メニューが表示されます。
2. [カスタムモード] が表示されるまで〈▼〉を押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定が表示されます。
4. 〈▼〉ボタンを押して、[オン]を表示します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
6. 〈OK〉ボタンを押します。
カスタムモードへの変更が開始されます。
7. 電源を切り、ディスプレイの表示が消えた後、10 秒待ってから、電源を入れます。
起動後にカスタムモードに切り替わります。



7 日常管理

7.1 消耗品を交換する

消耗品の種類と購入について

本製品には、次の消耗品があります。消耗品のご注文は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

注記

- ・本機は、純正消耗品を使用しているときに印刷品質や本機の性能がもっとも安定するように設計されています。純正品と異なる仕様の消耗品を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合や、本機が仕様外の消耗品が原因で故障したときに有償修理となる場合があります。純正品をご使用いただけますと、万一のトラブルのときも安心してサポートを受けることができます。本来の性能を得るためにも、純正品の使用をお勧めします。
- ・印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「A.3 消耗品、定期交換部品の寿命について」(P. 380)を参照してください。

品名	商品コード	印刷可能ページ数 (参考値)
トナーカートリッジ	CT202342	約 30,000 ページ
ドラムカートリッジ	CT351060	約 57,000 ページ
ホチキス針タイプ XE (2PCS)	CWAA0856	5,000 針 × 2 セット / 1 箱
ホチキス針タイプ XH (3PCS) (フィニッシャー C3 65 枚ステーブルユニット 2 用)	CWAA0855	5,000 針 × 3 セット / 1 箱

⚠ 警告

- ・床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- ・トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお渡ししてください。弊社にて処理いたします。

⚠ 注意

- ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

- ・ 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - ・ トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - ・ トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - ・ トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - ・ トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。
-

消耗品の取り扱いについて

- ・ 消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- ・ 消耗品 / メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
 - ・ 高温多湿の場所
 - ・ 火気がある場所
 - ・ 直射日光が当たる場所
 - ・ ほこりが多い場所
- ・ 消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- ・ 消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

使用済み消耗品の回収

- ・ 回収したドラムカートリッジ（感光体）およびトナーカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・ 不要となったドラムカートリッジ（感光体）およびトナーカートリッジは適切な処理が必要です。ドラムカートリッジ（感光体）およびトナーカートリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ず消耗品回収センターにご連絡ください。
<http://www.fujixerox.co.jp/support/cru/>
フリーダイヤル 0120-04-0692

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
プリントできません ■ トナー予備用意	すぐに交換する必要はありませんが、トナーカートリッジの予備を用意してください。 残りの印刷可能ページ数は、約 1,300 ページ*1 です。
■ トナーカートリッジを交換してください	トナーがなくなりました。新しいカートリッジに交換してください。「交換手順」(P. 301)を参照し、トナーカートリッジを交換してください。

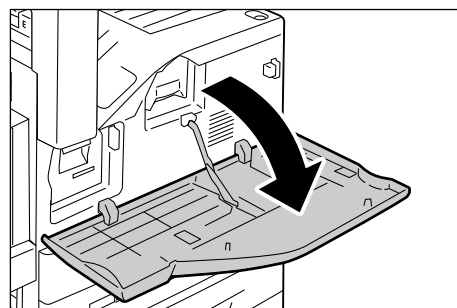
*1 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「A.3 消耗品、定期交換部品の寿命について」(P. 380)を参照してください。

注記

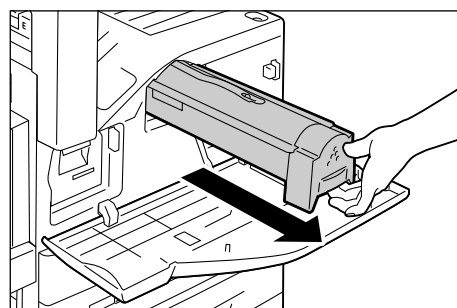
- ・ トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・ トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- ・ 一度本機から取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- ・ 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- ・ トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- ・ トナーカートリッジは、開封後 1 年以内に使い切ることをお勧めします。

交換手順

1. 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。



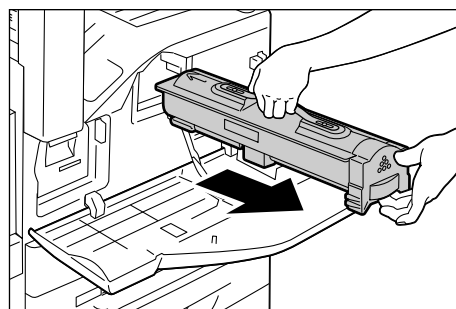
2. トナーカートリッジのハンドルに手をかけて、ゆっくり手前に引き出します。



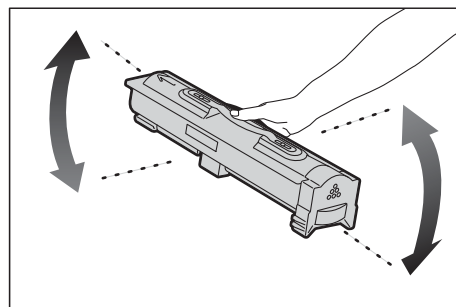
3. トナーカートリッジをゆっくり引き出ししながら、トナーカートリッジの上部の取っ手を持って、取り出します。

注記

- ・ トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。



4. 新しいトナーカートリッジを用意し、5～6回軽く上下左右に振ります。

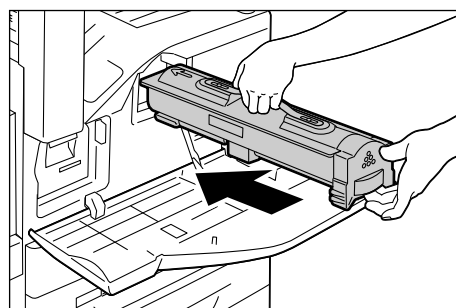


5. 新しいトナーカートリッジを挿入し、止まるまで押し込みます。

6. フロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。



ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
プリントできません ❶ ドラム予備用意	すぐに交換する必要はありませんが、ドラムカートリッジの予備を用意してください。 残りの印刷可能ページ数は、約 5,300 ページ ^{*1} です。
プリントできません ❶ ドラム交換時期	まもなくドラムカートリッジの交換時期になります。 残りの印刷可能ページ数は、約 1,600 ページ ^{*1} です。新しいドラムカートリッジを用意してください。
❶ ドラムカートリッジを交換してください	ドラムカートリッジの寿命です。 本機は停止し、印刷できなくなります。「交換手順」(P. 303) を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。
プリントできません ❶ ドラム交換	操作パネルで、「ドラム寿命動作」を「プリント停止しない」に設定 ^{*2} しているとき、ドラムカートリッジの寿命となった場合に表示されます。しばらくは印刷を継続できますが品質が保証できませんので、新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。

^{*1} 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「A.3 消耗品、定期交換部品の寿命について」(P. 380) を参照してください。

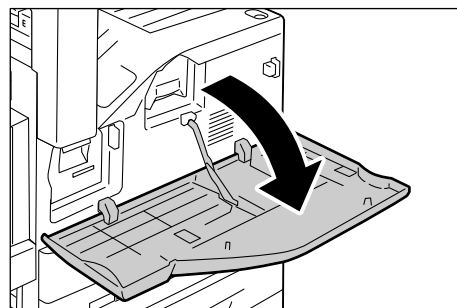
^{*2} この場合は、「プリントできません ❶ ドラム交換」のまま、メッセージは移行しません。設定については、「機械管理者メニュー」の「[ドラム寿命動作]」(P. 176) を参照してください。

交換手順

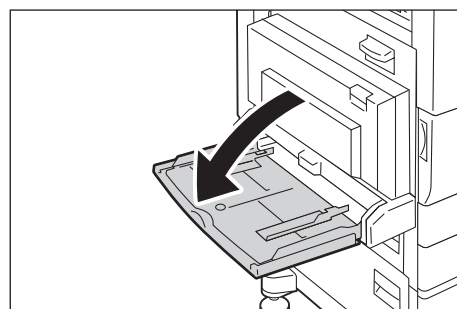
注記

・ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。

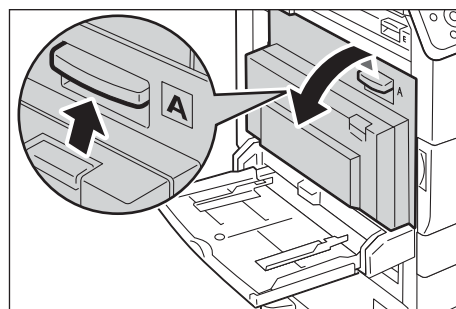
1. 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。



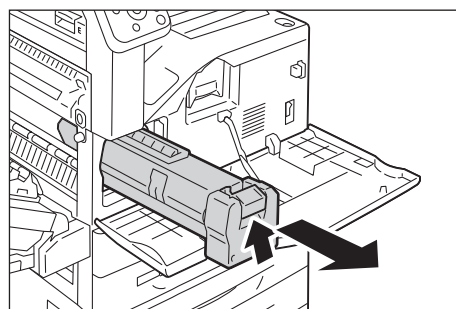
2. 用紙トレイ 5 (手差し) を開けます。



3. カバー A のレバーを押し上げて、カバー A を開けます。



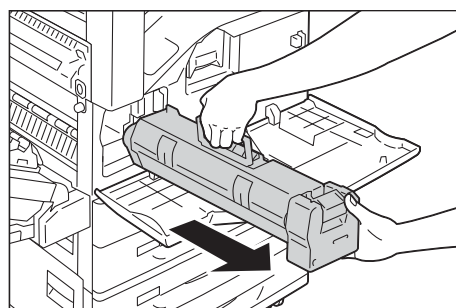
4. ドラムカートリッジのレバーを引き上げて、ドラムカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、手前にゆっくり引き出します。



5. ドラムカートリッジ上部の取っ手を持ち、ドラムカートリッジを引き出します。

注記

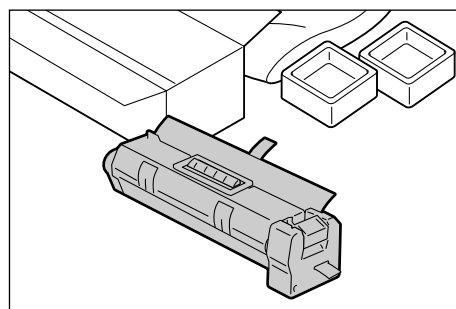
- ・必ず上部の取っ手を持ってドラムカートリッジを引き出してください。上部の取っ手を持たずにドラムカートリッジを引き出すと、ドラムカートリッジが抜け落ちて底を汚すことがあります。



6. 箱を開けて、新しいドラムカートリッジを袋から取り出します。

注記

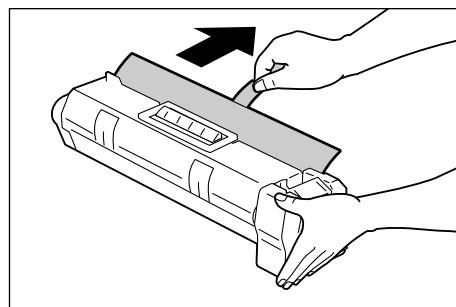
- ・ドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。
- ・使用済みのドラムカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。



7. ドラムカートリッジを平らな場所に置き、保護紙に付いているテープを持って、図のように保護紙を静かに引き抜きます。

注記

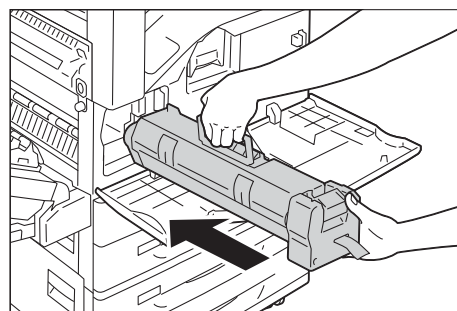
- ・保護紙を引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中で紙が切れてしまうことがあります。
- ・保護紙を引き抜いたあとは、ドラムカートリッジを振ったり、ドラムカートリッジに衝撃を与えたりしないでください。



8. ドラムカートリッジの取っ手を持って、奥に突き当たるまでゆっくり差し込みます。

注記

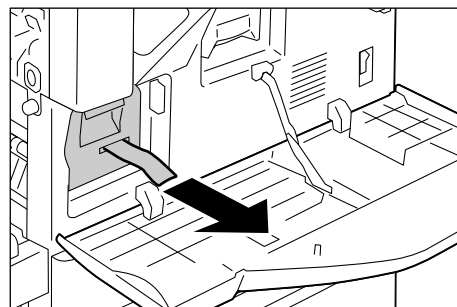
- ・ 確実に差し込んでください。



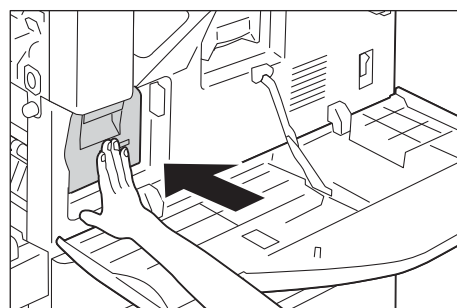
9. テープを、破かないようにまっすぐ水平に引き抜きます。

注記

- ・ テープを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引き抜くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。



10. ドラムカートリッジを再度押し込みます。



11. カバー A をしっかり閉じます。

12. 用紙トレイ 5 (手差し) を閉じます。

13. フロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

ホチキスカートリッジを交換する

ホチキスカートリッジの針が無くなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、新しいホチキスカートリッジと交換してください。

注記

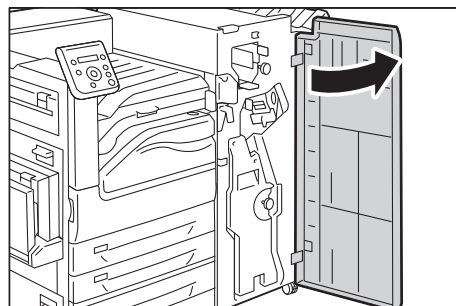
- ・ 弊社が推奨していないホチキス針を使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するホチキス針をご使用ください。

交換手順（フィニッシャー C3、中とじフィニッシャー C3 装着時）

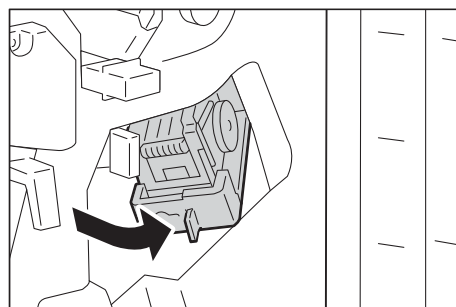
ディスプレイにホチキスカートリッジ [R1] の交換メッセージが表示されたら、次の手順に従って、ホチキスカートリッジを交換してください。

ここでは、中とじフィニッシャー C3 を例に説明します。フィニッシャー C3 の交換方法も同様です。

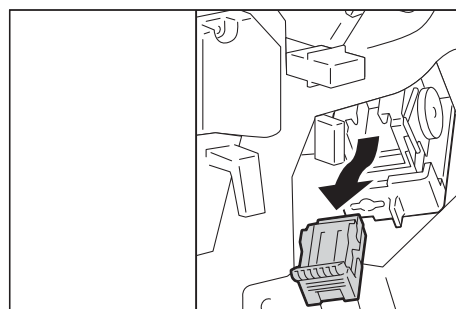
1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



2. ホチキスカートリッジホルダーのレバー [R1] を持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せます。



3. オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。



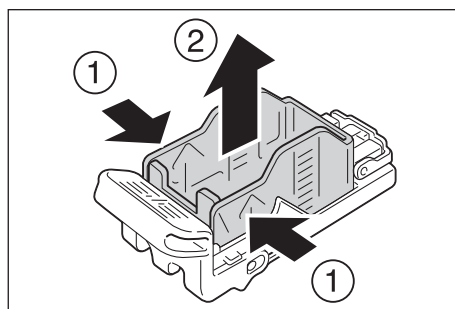
補足

- ・ ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出すときは、強めにホチキスカートリッジを引いてください。
- ・ フィニッシャー C3 65 枚ステープルユニット 2（オプション）を装着している場合は、オレンジ色のレバーを下方向に倒して、ホチキスカートリッジを引き出してください。

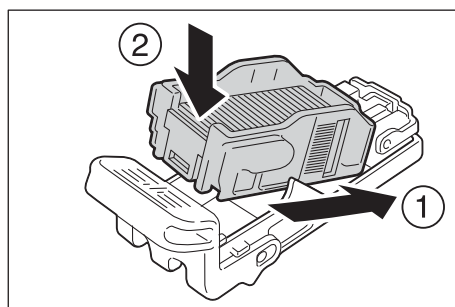
4. 空になった針ケースの左右をつまみ (①)、カートリッジから取り出します (②)。

注記

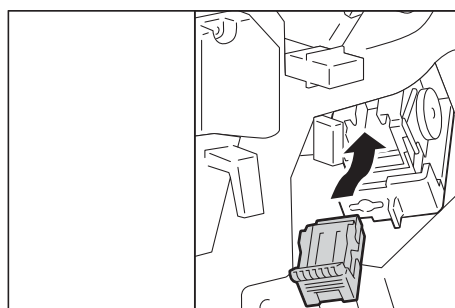
- 針ケースにホチキス針が残っている場合は、針ケースを取り出すことはできません。無理に針ケースを取り出そうとすると故障の原因になります。



5. ホチキスカートリッジに新しい針ケースを挿入し (①)、後方を押してセットします (②)。



6. ホチキスカートリッジのオレンジ色のレバーを持って、元の位置に戻し、カチッと音がするまで押し込みます。



7. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

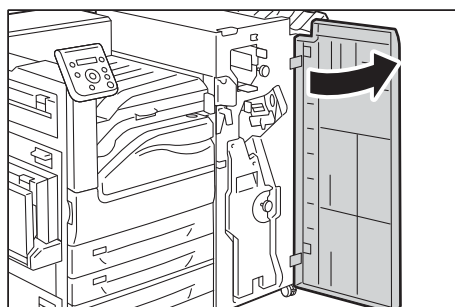
補足

- フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

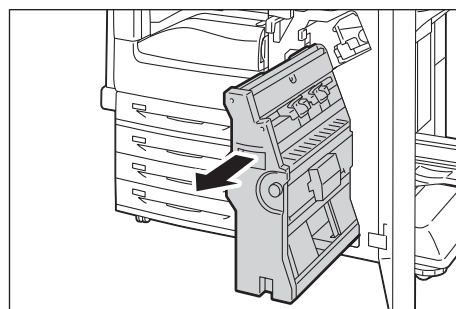
交換手順 (中とじフィニッシャー C3 装着時)

ディスプレイにホチキスカートリッジ [R2] [R3] の交換メッセージが表示されたら、次の手順に従って、ホチキスカートリッジを交換してください。

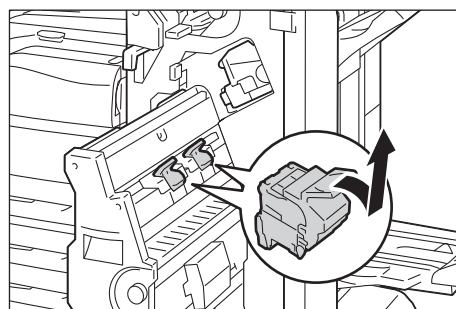
1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



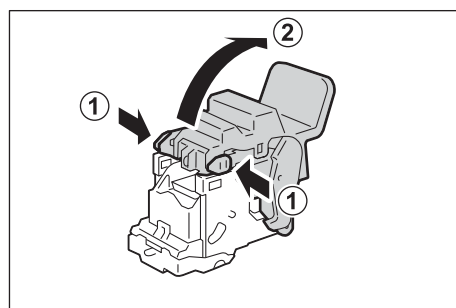
2. 中とじユニットを引き出します。



3. 中とじホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方方向に倒してから、上に引いて取り出します。



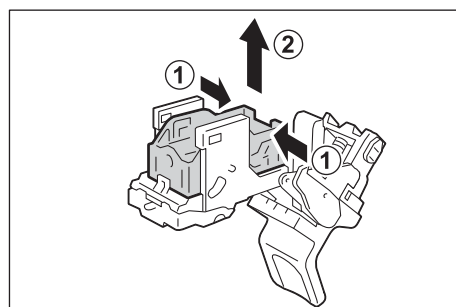
4. 中とじホチキスカートリッジの左右にあるオレンジ色のボタンを押して (①)、カバーを開きます (②)。



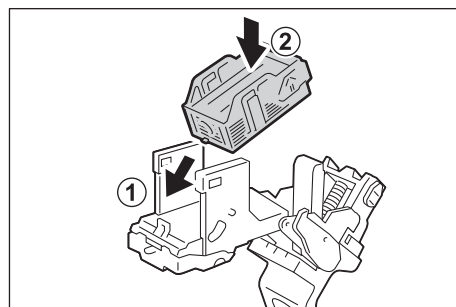
5. 空になった針ケースの左右をつまみ (①)、カートリッジから取り出します (②)。

注記

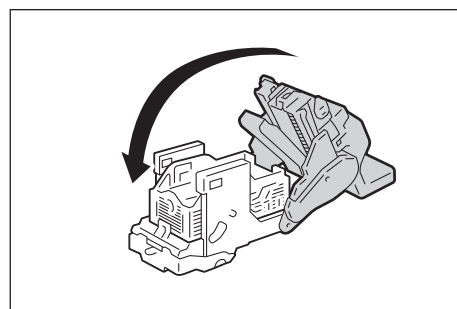
- 針ケースにホチキス針が残っている場合は、針ケースを取り出すことはできません。無理に針ケースを取り出そうとすると故障の原因となります。



6. 新しい針ケースを挿入し (①)、後方を押ししてセットします (②)。



7. カバーを閉じます。



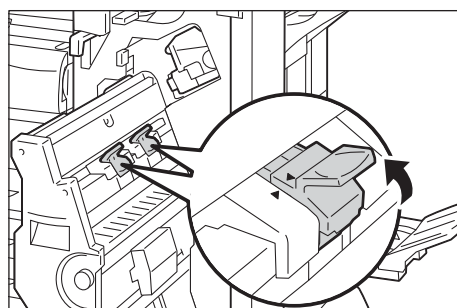
8. 中とじホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



9. 軽く押し上げて、カチッと音がするのを確認します。

注記

- ・ 中とじホチキスカートリッジの (▶) と中とじユニットの (◀) が合うように戻してください。



10. 中とじユニットを元の位置に戻します。

11. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

パンチ穴のクズを捨てる

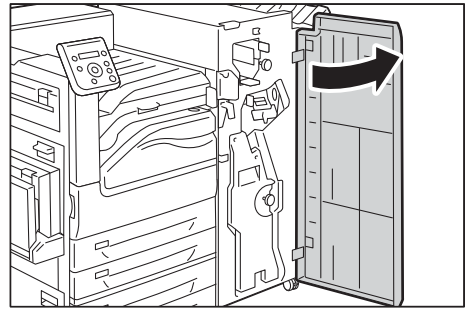
フィニッシャーを装着している場合、パンチ穴のクズがパンチダストボックス R4 にたまると、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、たまっているパンチ穴のクズを捨ててください。

注記

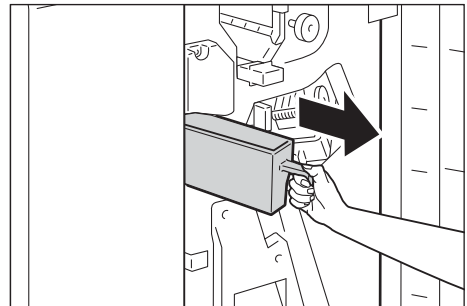
- ・ パンチ穴のクズを捨てるときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。
- ・ パンチ穴のクズは、完全に捨ててください。パンチ穴のクズが残っていると、メッセージが表示される前にパンチ穴のクズがいっぱいになり、機械の故障の原因になります。

廃棄手順

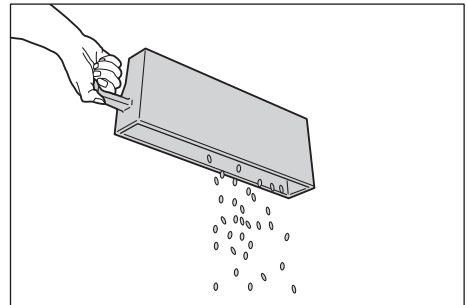
1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



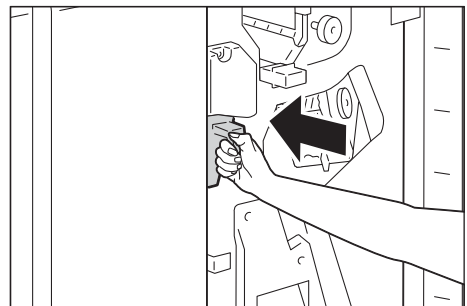
2. パンチダストボックス [R4] を手前へ引き抜きます。



3. パンチくずを、すべて捨てます。



4. 空になったパンチダストボックスを、奥まで差し込みます。



5. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

7.2 レポート / リストを印刷する

ここでは、レポート / リストの種類と印刷方法を説明します。

レポート / リストの種類

本機には、コンピューターからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート / リストを印刷する機能があります。

補足

- ・ レポート名が操作パネルでの表示名と異なる場合は、括弧内に操作パネルでの表示名を記載しています。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	印刷に必要な オプション品	説明
機能設定リスト	－	本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態が印刷されます。オプション品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどに印刷します。
ジョブ履歴レポート	－	コンピューターから送られた印刷データが、正しく印刷されたか、実行結果を印刷します。[ジョブ履歴レポート]には、最新の50件までの印刷ジョブが印刷されます。 この[ジョブ履歴レポート]は、50件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、操作パネルで設定できます。「[自動ジョブ履歴]」(P. 171)を参照してください。
エラー履歴レポート	－	本機に発生したエラーに関する情報が印刷されます。
プリンター集計レポート (集計レポート)	－	コンピューター別(ジョブオーナー別)に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報が印刷されます。 集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。 参照 ・ 「7.3 印刷ページ数を確認する」(P. 315)
プリンター集計管理レポート (集計レポート)	－	集計機能を使用している場合は[集計レポート]を選択すると、本レポートが印刷されます。 登録ユーザー別に、今まで印刷した累積ページ数、印刷に使用した用紙の累積枚数が確認できます。 参照 ・ 集計機能について: 「7.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P. 351)
フォントリスト	－	ART EX、ART IV、ESC/P、PDF Bridge、PC-PR201H、HP-GL/2、DocuWorks Bridgeで使用できるフォントの一覧が印刷されます。
PCL フォントリスト	－	PCLで使用できるフォントの一覧が印刷されます。 また、PCLで使用できるバーコードのサンプルも確認できます。
PostScript® フォントリスト (PS フォントリスト)	Adobe PostScript 3 キット	PostScriptで使用できるフォントの一覧が印刷されます。
ART IV、PR201H、ESC/P ユーザー定義リスト (ユーザー定義リスト)	－	ART IV、ESC/P および PC-PR201H プリントモードで登録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容が印刷されます。
ART EX フォーム登録リスト (ART EX フォームリスト) *1	－	オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧が印刷されます。 参照 ・ フォームの登録: プリンタードライバーのヘルプ

レポート/リスト名 (操作パネルでの表示名)	印刷に必要な オプション品	説明
PostScript® 論理プリンター登録リスト (PS 登録リスト)* ¹	Adobe PostScript 3 キット	登録されている 1～20 までの PostScript 論理プリンターの設定が印刷されます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
PC-PR201H 設定リスト (201H 設定リスト)* ¹	—	PC-PR201H プリントモードでの設定が印刷されます。 詳細は、本機に同梱されているメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『PC-PR201H エミュレーション設定ガイド』を参照してください。
PC-PR201H 論理プリンター・メモリー登録リスト (201H 登録リスト)* ¹	—	登録されている 1～5 までの PC-PR201H 論理プリンターの設定が印刷されます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
ESC/P 設定リスト* ¹	—	ESC/P プリントモードの設定が印刷されます。 詳細は、本機に同梱されているメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『ART IV、ESC/P エミュレーション設定ガイド』を参照してください。
ESC/P 論理プリンター・メモリー登録リスト (ESC/P 登録リスト)* ¹	—	登録されている 1～20 までの ESC/P 論理プリンターの設定が印刷されます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
HP-GL/2® 設定リスト* ¹	—	HP-GL、HP-GL/2 プリントモードでの設定値が印刷されます。 詳細は、本機に同梱されているメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション設定ガイド』を参照してください。
HP-GL/2® 論理プリンター・メモリー登録リスト (HP-GL/2 登録リスト)* ¹	—	登録されている 1～20 までの HP-GL、HP-GL/2 論理プリンターの設定が印刷されます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
TIFF/JPEG 設定リスト* ¹	—	TIFF/JPEG プリントモードでの各設定が印刷されます。
TIFF/JPEG 論理プリンター登録リスト* ¹	—	登録されている 1～20 までの TIFF/JPEG 論理プリンターの設定が印刷されます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
PDF 設定リスト* ¹	—	PDF ダイレクトプリントの操作パネルでの設定が印刷されます。
PCL 設定リスト* ¹	—	PCL プリントモードでの設定値が印刷されます。 詳細は、本機に同梱されているメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

レポート/リスト名 (操作パネルでの表示名)	印刷に必要な オプション品	説明
PCL マクロ登録リスト (PCL マクロリスト) *1	-	登録したマクロやフォームなどが印刷されます。
DocuWorks 設定リスト *1	-	DocuWorks ダイレクトプリントの操作パネルでの設定が印刷されます。
蓄積文書リスト	ハードディスク または 増設システム メモリー (512MB) *2	セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリント機能で、本機に蓄積された文書の一覧が印刷されます。 参照 ・「3.5 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -」(P. 79) ・「3.6 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -」(P. 83) ・「3.7 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -」(P. 87) ・「7.8 RAM ディスクを使用するための設定」(P. 326)
送受信ドメイン制限リスト (ドメイン制限リスト)	ハードディスク	送受信を許可 / 拒否するドメインの登録状況が印刷されます。 補足 ・送受信を許可するドメインを設定するか、拒否するドメインを設定するかは、CentreWare Internet Services で設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
使用済み製品回収情報シート (製品回収シート)	-	使用済みの本機の回収を依頼する場合に、情報シートが印刷されます。お客様から弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に本機の情報を知りたくていただくことによって、本機の回収経路が決定します。 参照 ・使用済み製品回収情報シートの記入欄は、お客様にご記入いただく必要はありません。
機能別カウンターレポート	-	機能別、用紙サイズ別の出力枚数やレディー時間、低電力モード時間、スリープモードなどの時間の累計が印刷されます。
隠し印刷サンプルリスト (隠し印刷サンプル)	セキュリティー 拡張キット ハードディスク	複製管理機能で作成する隠し印刷のサンプルが印刷されます。 参照 ・「複製管理」(P. 332)
ペーパーセキュリティーサンプルリスト (ペーパーセキュリティーサンプル)	セキュリティー 拡張キット ハードディスク	複製管理機能のペーパーセキュリティーで作成するデータのサンプルが印刷されます。 参照 ・「ペーパーセキュリティー」(P. 333)
バーコードサンプル	-	GS1-128 バーコードのサンプルが印刷されます。 [A3 バーコードモード ON]、[A3 バーコードモード OFF]、[A4 バーコードモード ON]、[A4 バーコードモード OFF] の 4 種類あります。
メーター確認レポート	-	メーターカウントが印刷されます。 本機能を利用するには、カスタマーエンジニアによる設定が必要です。

*1 これらの項目は [レポート/リスト] メニューで [プリント言語] を選択すると表示されます。

*2 RAM ディスクを有効に設定する必要があります。

レポート / リストを印刷する

レポート / リストは、操作パネルから印刷を指示します。ここでは、[機能設定リスト] を印刷する場合を例に説明します。ほかのレポート / リストも同様の手順で印刷できます。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
[レポート / リスト] が表示されます。

仕様設定
レポート / リスト



2. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[機能設定リスト] が表示されます。

レポート / リスト
機能設定リスト



補足

- ・ほかのレポート / リストを印刷する場合は、該当するレポート / リストが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始させる画面が表示されます。

機能設定リスト
[OK] でプリント開始

4. 〈OK〉ボタンで印刷します。
レポートが印刷されます。

5. 印刷が終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

7.3 印刷ページ数を確認する

これまでに印刷したページ数は、そのカウントの仕方によって確認方法が異なります。

総印刷ページ数を確認する（メーター）

操作パネルのディスプレイの表示で、印刷したページ数を確認できます。

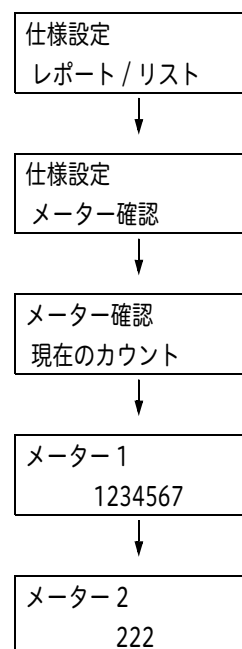
メーター 1	白黒印刷
メーター 2	通常は使用しません。

補足

- 両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は1ページとしてカウントされます。

メーターの確認方法は、次のとおりです。

- 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
- [メーター確認]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
- 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[現在のカウント]が表示されます。
- 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[メーター 1]が表示されます。
- 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、確認したいメーターを表示します。
- 確認が終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



コンピューター別に印刷ページ数を確認する（[プリンター集計レポート]）

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数が、[プリンター集計レポート] で確認できます。[プリンター集計レポート] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

[プリンター集計レポート] の印刷やデータの初期化は、操作パネルから行います。

補足

- ・ 認証 / 集計管理機能を使用している場合は、[プリンター集計レポート] は印刷できません。代わりに、[プリンター集計管理レポート] が印刷されます。[プリンター集計管理レポート] に切り替わると、それまでのプリンター集計のカウントは初期化されます。

参照

- ・ 印刷方法：「レポート / リストを印刷する」(P. 314)

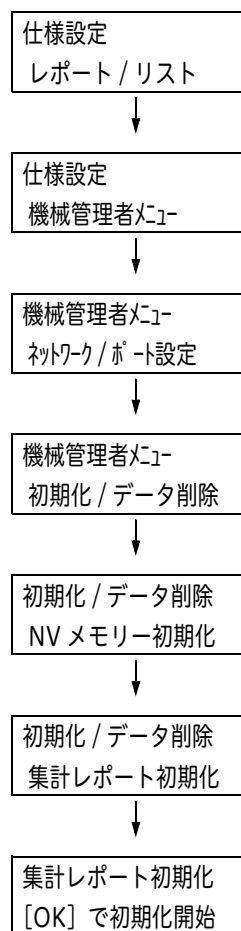
[プリンター集計レポート] の印刷結果について

[プリンター集計レポート] には、次の項目が印刷されます。

ジョブオーナー名	最大 50 ユーザーまでのオーナー名が印刷されます。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 51 人め以降のユーザーの印刷ジョブの場合は、最後から 2 つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
総ページ数	実際に印刷した総ページ数です。1 つの印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。
総枚数	印刷に使用した用紙の総枚数です。1 つの印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

[プリンター集計レポート] のデータを初期化する

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [初期化 / データ削除] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[NV メモリー初期化] が表示されます。
6. [集計レポート初期化] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。処理を開始させる画面が表示されます。
8. 〈OK〉ボタンを押します。データが初期化されます。
9. 処理が終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



機能別に印刷ページ数を確認する ([機能別カウンターレポート])

本レポートでは、2 アップや両面印刷などの機能別や、用紙サイズ別のプリントページ数や、プリント枚数を確認できます。

参照

- ・ 印刷方法: 「レポート / リストを印刷する」(P. 314)

7.4 IP アドレスを変更する

本機に設定された固定の IPv4 アドレスを、手動で変更する方法について説明します。

補足

- ・ 本機に固定の IPv6 アドレスは、CentreWare Internet Services を使用して変更してください。IPv6 アドレスを使って、CentreWare Internet Services にアクセスし、[プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で IPv6 アドレスを変更します。

■ IP アドレスの変更

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

補足

- ・ 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク/ポート設定

補足

- ・ 間違っ、違う項目で〈▶〉または〈OK〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンで前の画面に戻ります。
- ・ 最初からやり直したい場合は、〈仕様設定〉ボタンを押します。

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク/ポート設定
TCP/IP 設定

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[IP 動作モード] が表示されます。

TCP/IP 設定
IP 動作モード

6. [IPv4 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

TCP/IP 設定
IPv4 設定

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

IPv4 設定
IP アドレス取得方法

8. 〈▼〉ボタンで、[IP アドレス] を表示します。

IPv4 設定
IP アドレス

9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の IP アドレスが表示されます。
(例：192.0.0.2.1)

IP アドレス
• 192.000.002.001

10. 〈▲〉〈▼〉ボタンで最初のフィールドに値（例：192）を入力し、〈▶〉ボタンを押します。

IP アドレス
192.000.002.001

↓

補足

- ・ 変更する必要がない場合は、〈▶〉ボタンを押すと次のフィールドに移動します。
- ・ 〈▲〉〈▼〉ボタンを押し続けると、値が 10 ずつ変わります。
- ・ 前のフィールドに戻る場合は、〈◀〉ボタンを押します。

11. 他のフィールドも同様にを入力し、最後の 4 つめのフィールドを入力したら、〈OK〉ボタンで決定します。
(例：192.0.2.20)

IP アドレス
•192.000.002.020

12. 続けて、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを設定する場合は、〈戻る〉ボタンを押して、手順 14 に進みます。
これで、操作を終了する場合は、手順 21 に進みます。

■ サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの変更

13. [サブネットマスク] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

IPv4 設定
サブネットマスク

↓

14. 〈▶〉または 〈OK〉ボタンで選択します。
現在のサブネットマスクが表示されます。

サブネットマスク
•255.255.255.000

↓

15. IP アドレスと同様に、サブネットマスクを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
(例：255.255.255.010)

サブネットマスク
•255.255.255.010

↓

16. 〈戻る〉ボタンで、[サブネットマスク] に戻ります。

IPv4 設定
サブネットマスク

↓

17. 〈▼〉ボタンで、[ゲートウェイアドレス] を表示します。

IPv4 設定
ゲートウェイアドレス

↓

18. 〈▶〉または 〈OK〉ボタンで選択します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

ゲートウェイアドレス
•192.168.001.254

↓

19. IP アドレスと同様にゲートウェイアドレスを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
(例：190.151.1.254)

ゲートウェイアドレス
•190.151.001.254

20. これで、すべての設定が終了です。
〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。

21. [機能設定リスト] を印刷して、設定した内容を確認します。

7.5 Web ブラウザーでプリンターの状態を確認 / 管理する

本機をTCP/IP環境に設置した場合、ネットワーク上のコンピューターのWeb ブラウザーを使用して、本機の状態を確認したり、本機の設定を行ったりできます。

この機能を、CentreWare Internet Services と呼びます。

CentreWare Internet Services では、本機にセットされている消耗品や用紙などの残量の目安も確認できます。



補足

- ・ 詳しい CentreWare Internet Services の使用方法については、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 本機をパラレルケーブルまたは USB ケーブルで、コンピューターと直接接続している場合は、CentreWare Internet Services は使用できません。

7.6 電子メールでプリンターの状態を確認する

本機が接続されているネットワークに、メールの送受信ができる環境がある場合には、コンピュータから印刷を指示したジョブの終了をメールで知らせたり、消耗品や用紙などの状況などを、指定したメールアドレスに通知したりするように設定できます。

この機能を、メール通知サービスといいます。

メール通知サービスで通知される情報

メール通知サービスで通知される情報には、次のものがあります。

情報の種類	説明
ジョブの終了通知	コンピュータから印刷が指示されたジョブの結果（正常終了、中止、要確認）を通知します。
消耗品などの状態通知	あらかじめ設定した内容（消耗品の状態、用紙の状態など）を指定されたあて先へメールで通知します。 トナーやドラムカートリッジの状態を定期的に通知するので、タイムリーに交換時期を把握できます。 あて先は、ネットワーク管理者、または共用のアドレスを登録することをお勧めします。

メール通知サービスを使用するための設定

メール通知サービスを使用するためには、ネットワーク環境やメール環境の設定が必要です。設定が済んでいるかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク環境

- ・メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

CentreWare Internet Services を使用して、ポート起動、本体メールアドレス、TCP/IP 環境、メールサーバーなどを設定します。

メール環境に合わせて、[プロパティ] の次の項目を設定します。

補足

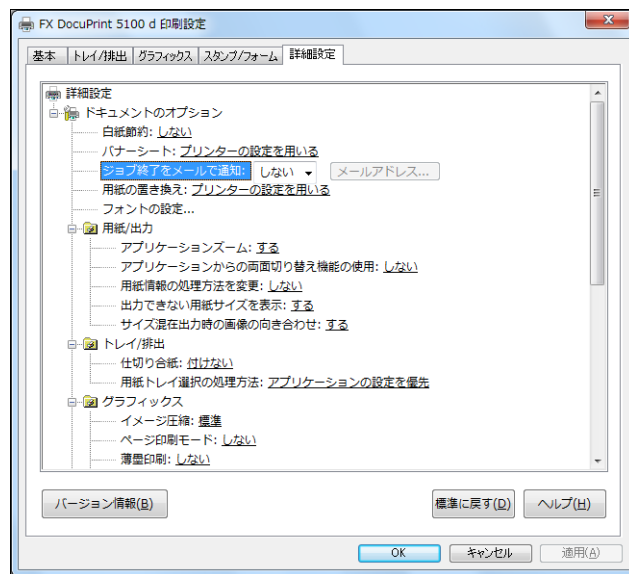
- ・設定後は、必ず [新しい設定を適用] をクリックして本機の電源を切り、入れ直します。
- ・ [メール通知フォルダ] が表示されない場合は、[ポート起動] で [メール通知] の [起動] にチェックを付けて、本機の電源を切り、入れ直してください。

項目	設定項目	説明
本体説明	管理者メールアドレス（設定推奨）、本体メールアドレス	「メール受信プリントをするための環境設定」(P. 102)の「本体説明」(P. 103)を参照してください。
一般設定>メール通知フォルダ* >ジョブ終了時のメール通知設定 (*:メール通知を起動すると表示されます)	通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを、英数字と「@」「.」「-」「_」で、128バイト以内で説明します。
	通知対象ジョブ	通知する対象のジョブを設定できます。 ・プリンター ・レポート
	通知条件	通知する条件を設定できます。 ・すべての場合 ・異常終了時のみ
	本文	ジョブ終了時の通知メールの本文を設定できます。
一般設定>メール通知フォルダ* >機械状態のメール通知設定 (*:メール通知を起動すると表示されます)	通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを、英数字と「@」「.」「-」「_」で、128バイト以内で説明します。
	通知状態設定	通知する内容をあて先別に設定できます。 ・消耗品の状態 ・交換部品の状態 ・用紙の状態 ・排出先の状態 ・ジャム状態 ・インターロック状態 ・フォルトの通知
	定期通知設定	メール通知を行う間隔などについて設定します（設定任意）。
ネットワーク設定>ポート起動	メール通知	チェックを付けます。
ネットワーク設定>プロトコル設定>TCP/IP	ホスト名、ドメイン名、DHCPからアドレスを取得 /DHCPv6-lite からアドレスを取得、DNSサーバーアドレス 1～3、DNSの動的更新 (IPv4/IPv6)、ドメイン検索リストの自動生成、検索ドメイン名 1～3、タイムアウト、DNSの名前解決のIPv6優先	「メール受信プリントをするための環境設定」(P. 102)の「ネットワーク設定>プロトコル設定>TCP/IP」(P. 103)を参照してください。
ネットワーク設定>プロトコル設定>SMTP	SMTPサーバーIPアドレス（ホスト名）、送信ポート番号（メール）、受信ポート番号、SMTP-SSL/TLS通信、本体メールアドレス、SMTP送信の認証、SMTP AUTH-ログイン名、SMTP AUTH-パスワード	「メール受信プリントをするための環境設定」(P. 102)の「ネットワーク設定>プロトコル設定>SMTP」(P. 105)を参照してください。

プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

印刷を指示したジョブの結果をメールで受け取るためには、ART EX プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。ここでは、Windows 7 を例に説明します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）を選択します。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから、[印刷設定] を選択します。
[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [詳細設定] タブをクリックします。
4. [ジョブ終了をメールで通知] で [する] を指定します。

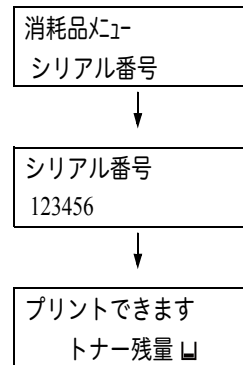


5. [メールアドレス] に、通知先のメールアドレスを半角英数字で入力し、[OK] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

7.7 シリアル番号（機械番号）を確認する

本機のシリアル番号を確認する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈▼〉と〈OK〉ボタンを同時に押します。
[消耗品メニュー] が表示されます。
2. 〈OK〉ボタンで選択します。
本機のシリアル番号が表示されます。
3. 〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



7.8 RAM ディスクを使用するための設定

ここでは、RAM ディスクを使用するための設定方法を説明します。

RAM ディスクを有効にすると、ハードディスク（オプション）を取り付けなくても、サンプルプリント / セキュリティープリント / プライベートプリント / 認証プリント / 時刻指定プリントが使用できます。

注記

- RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

補足

- RAM ディスクを使用して、大量データを印刷する場合、分割して送信されます。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[RAM ディスク] が表示されます。

システム設定
RAM ディスク

6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。

RAM ディスク
・無効

7. 〈▼〉ボタンを押します。

RAM ディスク
有効

8. 〈OK〉ボタンを押します。

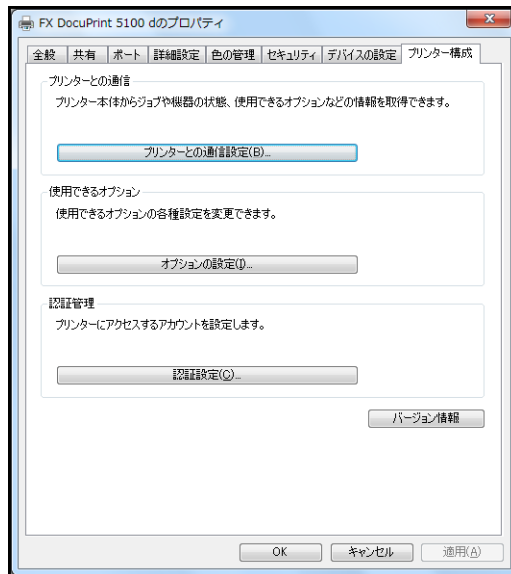
プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。[RAM ディスク] を [あり] に設定する必要があります。ここでは、Windows 7 を例に説明します。

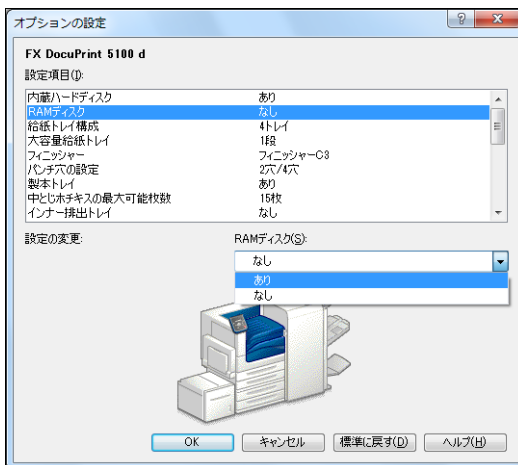
補足

・プリンタードライバーの各項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）を選択します。
2. 本機のプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブで [オプションの設定] をクリックします。



4. [オプションの設定] ダイアログボックスで、[RAM ディスク] を [あり] に設定し、[OK] をクリックします。



5. プロパティダイアログボックスの [OK] をクリックします。

7.9 セキュリティー機能について

セキュリティー機能の概要

ここでは、機械管理者を対象に、本機が持っている各種セキュリティー機能とその設定方法を説明します。詳しくは、それぞれの参照先をご覧ください。

機能	説明	参照先
通信の暗号化	本機とネットワーク上のコンピューターの間で通信する場合に、通信データを暗号化できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ クライアントコンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化 ・ 本機から LDAP サーバーへの HTTP 通信を暗号化 (SSL/TLS クライアント) ・ IPSec を使用して暗号化 	「7.10 暗号化機能を設定する」(P. 342)
セキュリティープリント	第三者に見られたくない文書や機密書類などを出力する場合、出力データを本体内に一時蓄積し、あらためて本体の操作パネルでパスワードを入力して出力します。 補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ ハードディスク (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効にする必要があります。 	「3.5 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -」(P. 79)
IC カードによるプライベートプリント、オンデマンドプリント、認証プリント	本機に IC カードシステムを接続して、IC カード認証によって出力します。出力データは、プライベートプリントと認証プリントの場合は本体内に、オンデマンドプリントの場合はサーバー内に一時的に蓄積されます。 補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ プライベートプリントと認証プリントを利用するには、ハードディスク (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効にする必要があります。 ・ オンデマンドプリントを利用するには、ハードディスク (オプション) が必要です。 ・ IC カードシステムについては、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。 	「3.8 プライベートプリント」(P. 90) 「3.9 オンデマンドプリント」(P. 93) 「3.10 認証プリント」(P. 94)
HDD 暗号化	システム内部 (NV メモリー、ハードディスク (オプション)) のデータを暗号化するための設定を行います。 注記 <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目の設定を変更すると、ハードディスクが初期化されます。 補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ ハードディスク (オプション) が必要です。 	「[データ暗号化]」(P. 177)
HDD 上書き消去	ハードディスク (オプション) 内のデータを上書き消去します。上書き消去を複数回行うことで、ハードディスクに記録されていた情報を、より確実に消去することができます。 補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ ハードディスク (オプション) が必要です。 	「[HDD の上書き消去]」(P. 177)
HDD の初期化	ハードディスクに残っているデータを一括して消去できます (ハードディスク初期化)。また、NV メモリーとハードディスクのデータを一括して初期化することもできます (データ一括削除)。	「ハードディスク 初期化」(P. 210) 「データ一括削除」(P. 211)

機能	説明	参照先
IPアドレスによる受信制限	使用できるコンピューターのIPアドレスを登録して、印刷を受け付けるIPアドレスを制限できます。	「[受付制限 (IPv4)]」 (P. 165) または、 「IP アドレスによる受信制限」(P. 330)
操作パネルのロック	パスワードによって操作パネルの操作に制限をかけることができます。	「[操作パネル設定]」 (P. 168)
ユーザー登録による利用制限	本機にユーザー情報を登録することによって、CentreWare Internet Services へのアクセスや、コンピューターからの印刷ができるユーザーを限定できます。	「7.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P. 351)
イメージログ機能	本機で実行されたジョブの文書を画像データとして保存し、ジョブの利用者、利用時刻、部数などのデータとともに、ログとして蓄積 / 管理します。 補足 ・セキュリティ拡張キット (オプション)、ハードディスク (オプション) が必要です。	この機能を使用したい場合は弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。 「[イメージログ管理設定]」(P. 186)
複製管理機能	ページ全体に日付や番号、複製制限コード (デジタルコード) を印字することによって、機密文書などの複写を抑止します。 補足 ・セキュリティ拡張キット (オプション)、ハードディスク (オプション) が必要です。	「複製管理機能について」 (P. 331)
強制アノテーション機能	ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、アノテーションが強制印字されます。 補足 ・セキュリティ拡張キット (オプション)、ハードディスク (オプション) が必要です。	「強制アノテーション機能について」(P. 337)
監査ログ機能	いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったかを記録します。	「監査ログ機能について」 (P. 340)
IC カード設定	IC カードの情報で認証、利用制限、利用状況を集計 / 管理します。	「本体内蔵 IC カードリーダーを利用するための設定」(P. 357)

IP アドレスによる受信制限

本機では、使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。ここでは、CentreWare Internet Services を使用した設定方法を説明します。

補足

- IPv4 のネットワーク環境では、操作パネルを使った設定もできます。操作パネルでの設定については、「[[受付制限 (IPv4)]]」(P. 165) を参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [受付 IP アドレス制限] をクリックします。
4. [アクセス制限 -IPv4] または [アクセス制限 -IPv6] の [受付 IP アドレス制限] にチェックを付け、[追加] をクリックします。



5. 表示された画面で、[受付 IP アドレス] に、TCP/IP で接続を許可する IP アドレスを設定します。

- [IP アドレスマスク] に、[受付 IP アドレス] で登録した IP アドレスに対するアドレスマスクをプレフィックス長の形式で設定します。
IPv4 での設定を例にすると、[受付 IP アドレス] を 129.249.110.23、[IP アドレスマスク] を 24 に設定した場合、印刷を受け付ける IP アドレスは、129.249.110.* (*は 1 ~ 254) になります。



- 設定ができれば、[新しい設定を適用] をクリックします。
- 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

複製管理機能について

複製管理は、ページ全体に日付や文字、背景、隠し文字デジタル情報を印刷することで、文書の複製を抑止したり、コピーの履歴を確認したりできる機能です。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

注記

- 複製管理機能による文書の複製制限は、常に機能することを保証するものではありません。原稿や設定条件によっては、機能が有効に働かない場合があります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- 複製管理機能を使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足

- セキュリティ拡張キット（オプション）、ハードディスク（オプション）が必要です。

複製管理機能には、次の種類があります。

- 複製管理**
あらかじめ本機に登録されているパターンを使用して、原稿に日付や背景を隠し印刷します。この原稿をコピーすると、桜紙や VOID 紙のように隠し印刷が浮き上がります。
- ペーパーセキュリティ**
隠し文字のほかに複製制限コード（デジタルコード）を埋め込むことで、出力した原稿のコピー / スキャン / FAX 送信を禁止したり、情報漏えい時に作業履歴を追跡したりすることができます。なお、コピー / スキャン / FAX 送信を禁止するには、対応した機器やソフトウェアが必要になります。
- UUID 印字**
UUID とは、Universally Unique Identifier の略で、ほかと重複しないことが保証された 128 ビットの値です。UUID 印字機能を使用すると、原稿に識別 ID (UUID) を印刷して、特定の文書の印刷ログを検索できます。

複製管理

ページ全体に日付や背景を隠し印刷します。出力した原稿をコピーすると、隠し印刷した文字列や背景が浮き上がります。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから[セキュリティ] > [複製管理] > [複製管理] をクリックします。[複製管理] 画面が表示されます。



4. 各項目を設定します。

設定項目	説明
印刷する日付の形式	印刷日付の印字パターンを設定します。ここで設定した値は、複製管理機能全体で共通になります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [20yy/mm/dd] ・ [dd/mm/20yy] ・ [mm/dd/20yy] ・ [20yy 年 /mm 月 dd 日]
隠し印刷初期値	文字の埋め込み方を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [浮き出し] 背景に隠された文字列が浮き出して印字されます。文字列の部分は、[背景パターン] で設定したパターンで印字されます。 ・ [白抜き] 背景に隠された文字列が白抜きされて印字されます。白抜きされた文字以外の背景には、[背景パターン] で設定したパターンが印字されます。
文字列の大きさ	複製管理で印字される文字の大きさを、24 ~ 80 ポイントの範囲で 1 ポイント刻みで設定できます。

設定項目	説明
背景パターン	複製管理機能の隠し印刷に使用する背景パターンを設定します。 ・ [ウェーブ] / [サークル] / [ストライプ] / [チェーン] / [ビーム] / [ひし形] / [ひまわり] / [扇]
印刷の濃度	複製管理で印刷される文字の濃度を設定します。 ・ [うすい] / [ふつう] / [濃い]
文字 / 背景コントラスト	複製管理で印字される文字 / 背景のコントラストを設定します。コントラスト 1～9 の 9 種類から選択します。 補足 ・ 文字 / 背景のコントラストは、[隠し印刷サンプルリスト] を印刷して確認してから、設定してください。
クライアントプリント	クライアント側のコンピューターから印刷したときに、強制的に複製管理を印字するかどうかを設定します。 ・ [しない] ・ [する]
強制印字の制御	[本機の設定を優先] を設定した場合は、本機で [クライアントプリント] が [する] に設定されているときに、クライアントから複製管理、ペーパーセキュリティを指示しても無視されます。クライアントから複製管理、ペーパーセキュリティを指示するには TrustMarkingBasic (別売) が必要です。 ・ [本体の設定を優先] ・ [クライアントの設定を優先] 補足 ・ この設定は、複製管理とペーパーセキュリティで共通です。

5. 各項目の設定ができれば、[新しい設定を適用] をクリックします。

ペーパーセキュリティ

注記

・ IPv6 ネットワークを使用して印刷した場合、ペーパーセキュリティは正しく動作しません。

ページ全体に複製制限コード（デジタルコード）を隠し印刷します。この文書はコピー禁止文書になり、ペーパーセキュリティ対応機器からコピー / スキャン / FAX 送信などのジョブを実行しようとするすると強制的に中止されます。また、情報漏えいの際には、専用のアプリケーションを使用することで、いつ、どこで、誰が出力したのかを追跡できます。

補足

・ 文字列の隠し印刷については、「複製管理」(P. 332) を参照してください。
・ デジタルコードの解析には、富士ゼロックス株式会社製アプリケーション「PaperSecurity Analyzer」(別売) が必要です。詳細は弊社プリンターサポートデスクまたは販売店までお問い合わせください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティー] > [複製管理] > [ペーパーセキュリティ] をクリックします。
[ペーパーセキュリティ] 画面が表示されます。



4. 各項目を設定します。

設定項目	説明
解析パスワード	文書の追跡情報を解析するときのパスワードを、4 ~ 12 文字で設定します。
ユーザー定義文字列	追跡情報として埋め込む隠し文字の文字列を、32 文字以内で設定します。
クライアントプリント	クライアント側のコンピューターから印刷したときに、強制的に隠し文字列を印字するかどうかを設定します。 ・ [しない] ・ [する]
強制印字の制御	[本機の設定を優先] を設定した場合は、本機で [クライアントプリント] が [する] に設定されているときに、クライアントから複製管理、ペーパーセキュリティを指示しても無視されます。クライアントから複製管理、ペーパーセキュリティを指示するには TrustMarkingBasic (別売) が必要です。 ・ [本機の設定を優先] ・ [クライアントの設定を優先] 補足 ・ この設定は、複製管理とペーパーセキュリティで共通です。
レポート / リスト	レポート / リストを印刷したときに、強制的に隠し文字列を印字するかどうかを設定します。 ・ [しない] ・ [する]
複製制限コード	ペーパーセキュリティのジョブ実行禁止の指定をするかしないかを設定します。[埋め込む] に設定すると、デジタルコードが埋め込まれます。 ・ [埋め込まない] ・ [埋め込む]

設定項目	説明
文字列初期値	<p>隠し文字列の印字で埋め込む文字列を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [なし] ・ [禁複写] ・ [コピー] ・ [複写] ・ [文字列登録] <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 任意の文字列を登録する場合は、[文字列登録] をクリックして表示される画面で文字列を入力し、[新しい設定を適用] をクリックしてください。
背景パターン	<p>隠し印刷に使用する背景パターンを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ウェーブ] / [サークル] / [ストライプ] / [チェーン] / [ビーム] / [ひし形] / [ひまわり] / [扇]
文字 / 背景コントラスト	<p>複製管理で印字される文字 / 背景のコントラストを設定します。コントラスト 1 ~ 9 の 9 種類から選択します。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字 / 背景のコントラストは、[ペーパーセキュリティサンプルリスト] を印刷して確認してから、設定してください。

5. 各項目の設定ができたなら、[新しい設定を適用] をクリックします。

UUID 印字

UUID とは、Universally Unique Identifier の略で、ほかと重複しないことが保証された 128 ビットの値です。UUID 印字機能を使用すると、印刷ジョブごとに識別 ID (UUID) を印刷します。

ApeosWare Log Management (別売)、または ApeosWare Accounting Service (別売) やイメージログ管理機能を利用すると、UUID をキーとしてログを検索し、ジョブごとに「いつ」、「誰が」プリントしたかなどの情報を確認できるため、情報漏えいの抑止に効果があります。

補足

・ イメージログ管理機能については「セキュリティ機能の概要」(P. 328) を参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティー] > [複製管理] > [UUID] をクリックします。
[UUID] 画面が表示されます。



4. 各項目を設定します。

設定項目	説明
UUID 印字	UUID 印字をするかしないかを設定します。 ・ [しない] ・ [する]
印字位置	UUID の印字位置を設定します。 ・ [左上] / [中央上] / [右上] / [左下] / [中央下] / [右下]
印字位置の微調整(縦方向)	UUID 印字位置を縦方向に 0 ~ 100mm の間で微調整します。
印字位置の微調整(横方向)	UUID 印字位置を横方向に 0 ~ 200mm の間で微調整します。 補足 ・ 微調整値は、用紙の端を 0mm として値を大きくすると用紙中央方向に移動します。ただし、印字位置で [中央上] または [中央下] を選択した場合、よこ方向の調整値は用紙の中央を 100mm としています。印字位置で [中央上] または [中央下] を選択する場合は、微調整値をいったん 100mm に設定してから調整してください。
うら面の印字位置	うら面の UUID 印字位置を設定します。 ・ [おもて面と同じ] ・ [おもて面と対称]

5. 各項目の設定ができれば、[新しい設定を適用] をクリックします。

強制アノテーション機能について

強制アノテーションは、ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、透かし文字やユーザー ID を強制印字できる機能です。

詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・複製管理、ペーパーセキュリティ、UUID印字が指定されている場合は、それらと重なって印字されます。
- ・セキュリティ拡張キット（オプション）、ハードディスク（オプション）が必要です。

レイアウトテンプレートの関連付け

レイアウトテンプレートとの関連づけを設定します。関連づけを設定できるのは次のものです。

- ・クライアントプリント
- ・メール受信プリント
- ・レポート

補足

- ・クライアントプリントは、コンピューターからプリントを指示したジョブです。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [強制アノテーション] > [レイアウトテンプレートの関連付け] をクリックします。
[レイアウトテンプレートの関連付け] 画面が表示されます。



4. [クライアントプリント]、[メール受信プリント]、または [レポート] の、[確認 / 変更] をクリックします。

5. 表示された画面で、[レイアウトテンプレートの関連付け] の [付ける] にチェックをつけます。



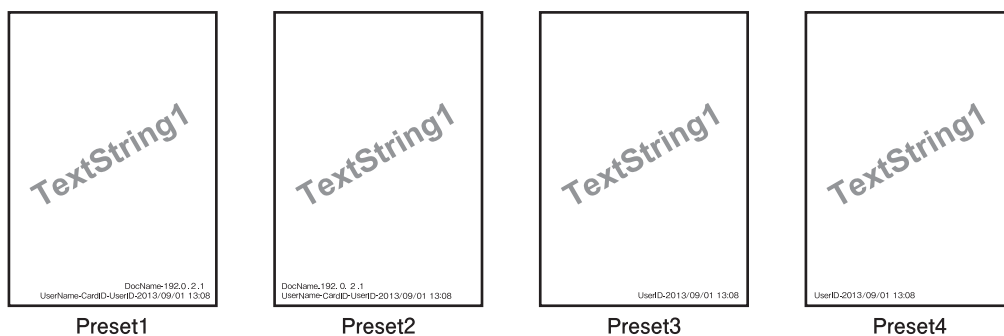
6. レイアウトテンプレートを選択します。

補足

- ・ 本機にはあらかじめ [preset1] ~ [preset4] のレイアウトテンプレートが用意されています。これらのテンプレートは削除できません。
- ・ ジョブの種類や実行形態によっては、印字されない項目があります。
- ・ 機械が作成した白紙ページには、強制アノテーションは印字されません。
- ・ 強制アノテーションで印字される時刻は、本機の状態や設定、出力内容によって、出力を指示した時刻と異なる場合があります。印字される時刻は、出力を開始した時刻になります。

参照

- ・ 文字列の登録については、「文字列の登録」(P. 339)を参照してください。



レイアウトテンプレート	印字される項目
preset1	[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。 用紙の右下 ([preset1] の場合)、または左下 ([preset2] の場合) に、次の項目が印字されます。 ・ 上段：文書名、印字を指示したコンピューターの IP アドレス ・ 下段：ユーザー名、カード ID、ユーザー ID、年月日時
preset2	
preset3	[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。 用紙の右下 ([preset3] の場合)、または左下 ([preset4] の場合) に、次の項目が印字されます。 ・ ユーザー ID、年月日時
preset4	

7. 設定ができれば、[新しい設定を適用] をクリックします。

レイアウトテンプレートの削除

本機では、この機能は使用できません。

文字列の登録

強制アノテーションで使用する文字列を登録します。

注記

- ・ 本機で使用できる文字列は [文字列登録 1] だけです。[文字列登録 2] ~ [文字列登録 8] は使用できません。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [強制アノテーション] > [文字列の登録] をクリックします。
[文字列の登録] 画面が表示されます。



4. 登録したい文字列を入力します。

補足

- ・ 最大文字数は、半角で 64 文字、全角で 32 文字です。

5. 設定ができれば、[新しい設定を適用] をクリックします。

監査ログ機能について

監査ログ機能は、いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったのかを確認することができます。この機能を使用すると、本体の不正使用や不正使用の試みを監視できます。

注記

- ・ 監査ログ機能を使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足

- ・ 最大 50 件までログを保存します。ハードディスク（オプション）を取り付けると、最大 15,000 件までログを保存します。最大保存数を超えると、古いログから自動的に削除されます。
- ・ 監査ログを取り出すには、HTTPS を設定しておく必要があります。設定方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 343) または、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

監査ログ機能を有効にする

監査ログ機能を使用するためには、事前に機能を有効にする必要があります。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [監査ログ] をクリックします。
[監査ログ] 画面が表示されます。
4. [監査ログを有効にする] の [監査ログの起動] にチェックをつけ、[新しい設定を適用] をクリックします。

監査ログを取り出す

監査ログデータはテキストデータ (auditfile.txt) として取り出すことができます。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [監査ログ] をクリックします。
[監査ログ] 画面が表示されます。
4. [監査ログの取り出し] の [リンク先] をクリックします。
5. [ファイルのダウンロード] 画面が表示されるので、[保存] をクリックし、監査ログデータ (auditfile.txt) を保存します。
6. 監査ログデータを確認します。

監査ログに保存されている内容

監査ログには、次のような内容が保存されます。

保存される内容		説明
デバイスの稼働開始 および終了	開始	電源が入り、印刷可能になった情報
	終了	電源オフの情報
ユーザー認証	ログイン/ログアウト	認証管理を行っている場合、プライベートプリントなどで IC カード認証をしたときのログイン/ログアウト情報
	KO 認証ロック	機械管理者 ID の認証を連続で一定回数失敗し、機械管理者認証がロックされた情報
	不正侵入攻撃検知	SNMP の認証で連続失敗した情報
監査ログの有効化 / 無効化	有効 / 無効の設定変更	CentreWare Internet Services で監査ログ機能の設定（有効 / 無効）をした情報
ジョブの終了	プリント	プリントジョブが終了した情報
	レポート	レポートが印刷された情報
デバイス設定の変更 / 参照	時刻の設定変更	操作パネルや時刻設定サーバー、MIB などから日時設定が変更された情報
	ユーザー情報	ユーザー情報が登録、変更、削除された情報
	認証の設定変更	認証関連の設定が変更された情報
	セキュリティーの設定変更 / 参照	操作パネルやCentreWare Internet Services でセキュリティー関連のメニューにアクセスしたり、設定を変更した情報
	ジョブ関連	時刻指定プリントなど、本機に蓄積されるプリントジョブの設定が変更された情報
デバイス格納データ へのアクセス	証明書の登録 / 削除	証明書が登録および削除された情報
	監査ログの取り出し	監査ログの取り出しが行われた情報
デバイスの構成変更	ハードディスクの交換検知	ハードディスク（オプション）が取り付けられたり、交換された情報
	ROM バージョンの変更	ファームウェアなどのソフトウェアをバージョンアップしたときなど、ROM バージョンが変更になった情報

7.10 暗号化機能を設定する

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要になります。
使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- ・CentreWare Internet Services を使用して作成した自己証明書（有効期限は 1 年）
- ・他の認証局で作成された証明書

他の認証局で作成された証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services で本機にインポートしてください。

参照

- ・証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

暗号化の種類	自己証明書	他の認証局で作成された証明書
クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)	○	○
本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)	×	○
IPSec を使用して暗号化する	×	○ ^{*1}

○：使用できる ×：使用できない

*1 [IKE 認証方法] が [デジタル署名] の場合に使用します。

暗号化機能について

本機では、ネットワーク上にあるほかのコンピューターと通信する場合に、通信データを暗号化できます。

■ クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

本機の HTTP サーバーを利用するポートには、SOAP ポート、インターネットサービス (HTTP) ポート、IPP ポートがあります。

クライアントから本機への HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。通信を暗号化するには、自己証明書、または他の認証局で作成された証明書のいずれかのデバイス証明書を使用できます。

補足

- ・作成済みの証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services を使って証明書をインポートしてください。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポート で印刷するときに通信データを暗号化 (SSL 暗号化通信) できます。
- ・発行した証明書の有効期限は 1 年です。

■ 本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)

LDAP サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。通常、証明書を設定する必要はありませんが、LDAP のサーバーが SSL クライアント認証を要求する設定の場合には、CentreWare Internet Services を使用して、本機に作成済みの SSL/TLS クライアント証明書をインポートし、設定する必要があります。

また、サーバー証明書の検証を有効にして LDAP サーバーの検証を行う場合には、LDAP サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証するために、そのルート証明書を CentreWare Internet Services から本機に登録する必要があります。

補足

- ・ CentreWare Internet Services を使って他の認証局で作成された証明書をインポートする方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

■ IPsec を使用し暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。

IKE 認証方式を事前共有鍵、またはデジタル署名から選択できます。デジタル署名を選択する場合は、本機に IPsec 用証明書が必要です。

CentreWare Internet Services を使用して、他の認証局で作成された証明書をインポートします。なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPsec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。

補足

- ・ 証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

HTTP の通信を暗号化するための設定

HTTP の通信を暗号化するための設定について説明します。

本機側の設定

本機に証明書を設定します。

ここでは、CentreWare Internet Services で自己証明書 (SSL サーバー用) を作成し、SSL/TLS 通信を有効にする手順を説明します。各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・ CentreWare Internet Services で、作成済みの証明書をインポートして使用することもできます。作成済みの証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

注記

- ・ 本体で生成した自己証明書、または証明書の文字コードが UTF-8 で記載された証明書を使って SSL 通信を行う場合、MacOS X 10.2 の OS 環境で Internet Explorer を利用できません。これは、証明書の文字コード (UTF-8) を OS が認識できないためです。MacOS X 10.2 の OS 環境でご利用の場合は、Netscape 7 を使用してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。
[証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書の作成] をクリックします。[証明書の作成] 画面が表示されます。
5. [自己証明書] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 表示された画面で、[公開鍵のサイズ] と [発行者]、[有効期間] を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。

補足

- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。



- 設定が更新されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
- [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] をクリックします。
- [HTTP - SSL/TLS 通信] の [有効] にチェックを付け、[新しい設定を適用] をクリックします。



- 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。本機が再起動し、設定した値が反映されます。

補足

- CentreWare Internet Services を起動すると、[プロパティ] の [セキュリティ] の下に [証明書管理] が表示されます。[証明書管理] では、証明書の情報の確認や選択、証明書のエクスポート、削除などをすることができます。

通信を暗号化した場合の CentreWare Internet Services へのアクセス方法

HTTP の通信を暗号化した場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

- ・IP アドレスの入力例：https://192.168.1.100/
(「192.168.1.100」の部分は、お使いの機種種の IP アドレスに置き換えてください。)
- ・インターネットアドレスの入力例：https://xxx.yyyy.zz.vvv/

IPP ポートで通信データを暗号化して印刷するための設定

HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポートで印刷するとき、通信データを暗号化できません。

プリンター側の設定で、IPP ポートが [起動] に設定されていない場合 (初期値: [停止]) は、「1.4 使用するポートを起動する」(P. 40) を参照して起動してください。

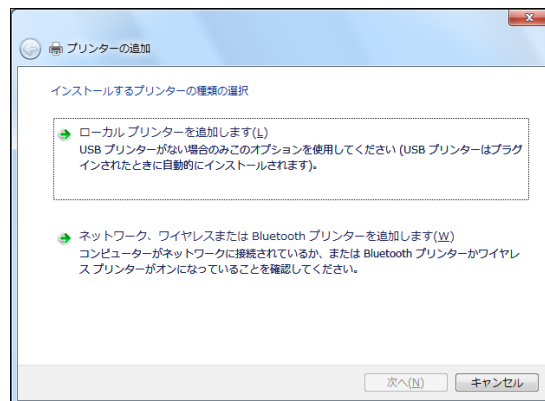
次に、コンピューターにプリンタードライバーをインストールし、出力ポートを IPP ポートに設定します。

以下に、Windows 7 の例で、プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

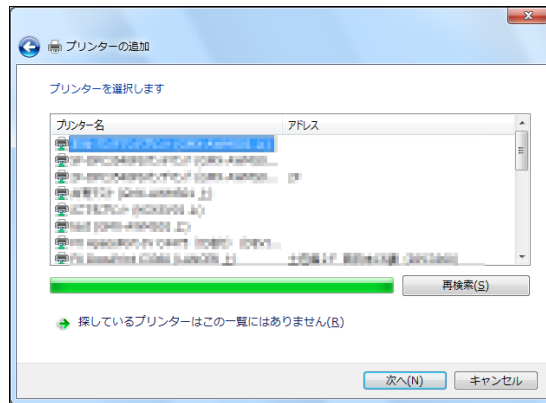
補足

- ・インストール手順についての詳細は、メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) 内の『マニュアル (HTML)』を参照してください。

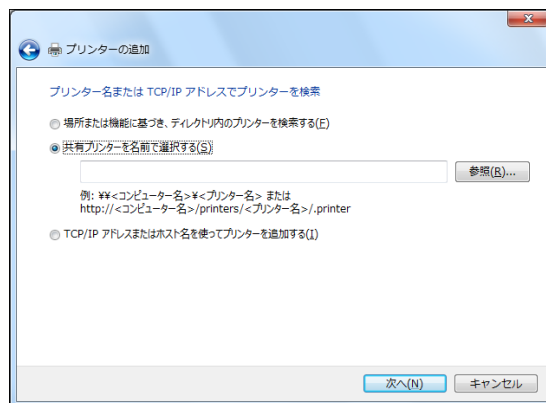
1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択します。
2. [プリンターの追加] を選択します。
3. [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] をクリックします。
ネットワーク上のプリンターが表示されます。



4. [探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。



5. [共有プリンターを名前を選択する] を選択し、次の URL を入力して [次へ] をクリックします。
「https://(お使いの機種種の IP アドレス)/ipp/」



6. [ディスク使用] をクリックします。
7. 表示された画面で (メディアのドライブ名) : プリンタードライバーが格納されているフォルダー名を入力し、[OK] をクリックします。
8. 本プリンターのドライバーを選択して、[OK] をクリックします。
9. 通常使うプリンターに設定する場合は [はい] を、設定しない場合は [いいえ] を選択して、[次へ] をクリックします。
10. [完了] をクリックします。

IPSec を使用して暗号化するための設定

IPSec を使用して暗号化するための設定について説明します。

補足

- この機能は、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 でのみ使用できます。

コンピューター側の設定

Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 で IPSec の設定をします。詳しくは、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 のヘルプを参照してください。

本機側の設定

CentreWare Internet Services で IPsec の設定をします。

本機では、IKE 認証方式を事前共有鍵、またはデジタル署名から選択できます。デジタル署名を選択する場合は、本体の証明書が必要ですので、まず、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 343) を参照して証明書を設定してから、IPsec の設定をしてください。事前共有鍵を選択する場合は、事前に事前共有鍵の発行が必要ですので、機械管理者にお問い合わせください。その後、IPsec の設定をしてください。

■ 証明書の設定

CentreWare Internet Services で HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、他の認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPsec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。

補足

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 343) を参照してください。
- CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。
[証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書のインポート] をクリックします。

5. 表示された画面で、[パスワード] とインポートする証明書のファイル名を指定して、[インポート] をクリックします。
6. Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
7. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [証明書管理] をクリックします。
[証明書管理] 画面が表示されます。
8. [カテゴリー] を [本体]、[証明書の目的] を [IP Sec] に設定し、[一覧の表示] をクリックします。
9. 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] をクリックします。
10. [証明書の選択] をクリックします。
11. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。
これで、IPSec 用の証明書が設定されました。続けて、IPSec の設定をします。次ページの手順 3 に進んでください。

■ IPSec の設定

CentreWare Internet Services で IPSec の設定をします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから、[セキュリティ] > [IP Sec] をクリックします。
[IP Sec] 画面が表示されます。



4. [プロトコル] の [有効] にチェックを付けます。
5. [IKE 認証方式] で [事前共有鍵]、または [デジタル署名] を選択します。
6. [IKE 認証方式] を [事前共有鍵] に設定した場合は、[共有鍵] と [共有鍵の照合] に、IPsec 通信の共通鍵を入力します。
7. [IKE SA のライフタイム] (分単位) を 5 ~ 28800 の数値で入力します。
8. [IPSec SA のライフタイム] (秒単位) を 300 ~ 172800 の数値で入力します。

補足

- ・ [IKE SA のライフタイム] より短い時間になるように入力します。

9. [DH グループ] で [G1] または [G2] を選択します。
10. [PFS] で、[有効] にチェックを付けると、PFS 機能を起動できます。
11. [相手アドレスの指定 [IPv4]] または [相手アドレスの指定 [IPv6]] に、通信する相手先の IP アドレスを入力します。

補足

- ・ すべての相手先と IPSec で通信する場合は、[0.0.0.0/0] (IPv4 のとき) または [::/0] (IPv6 のとき) を設定します。

12. [IPSec 未対応機器との通信] で、IPSec 未対応機器と通信するかどうかを選択します。
13. 各項目の設定ができたなら、[新しい設定を適用] をクリックします。

補足

- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

14. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

7.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について

本機には、あらかじめ登録しておいたユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかける認証機能と、その認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能があります。

ここでは、機械管理者を対象に、認証 / 集計管理機能の概要と、使用する場合に必要な設定について説明します。

注記

- ・ 文書が蓄積された状態で、集計モードを変更しないでください。
集計モードを変更するときは、蓄積されている文書をすべて印刷、または削除してください。

認証 / 集計管理機能の概要

制限される機能

認証 / 集計管理機能を利用することによって制限される機能は、次のとおりです。

■ CentreWare Internet Services へのアクセス

Web ブラウザーを使って本機にアクセスするときに、認証画面が表示され、ユーザー ID やパスワードなどの入力が必要になります。本機に登録されているユーザー、または機械管理者以外は、CentreWare Internet Services を使用できません。

■ コンピューターからの印刷

ジョブの種類によって、次のように印刷が制限されます。

ジョブの種類	制限される機能
本機用プリンタードライバーを使用した印刷	プリンタードライバーで、ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。本機に送信されたジョブのうち、認証情報が本機に登録された内容と一致する場合だけ、印刷できます。プリント上限ページ数が設定されている場合は、使用量が制限に達すると、以降の印刷はできません。
本機用プリンタードライバーを使用しない場合（BMLinkS 利用時や、メール受信プリントなど）	本機で、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けた場合だけ、印刷できます。初期値ではチェックは付いていません。

集計機能

認証 / 集計管理機能を利用すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] が出力されます。

ユーザー別に、今まで印刷した累積ページ数、印刷に使用した用紙の累積枚数が確認できます。

また、本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

参照

- ・ 印刷方法：「レポート / リストを印刷する」(P. 314)
- ・ データの初期化：「[プリンター集計レポート] のデータを初期化する」(P. 317)

認証 / 集計管理機能を使用するための設定

集計管理の運用の設定

認証 / 集計管理機能を有効にするには、操作パネルの [機械管理者メニュー] で、次の設定をします。

- ・ [システム設定] > [集計管理] > [集計管理の運用] を [本体集計管理] にする
- ・ [システム設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] を [本体認証] にする

本機へのユーザー情報の登録

操作パネルで [本体集計管理] および [本体認証] の設定をすると、CentreWare Internet Services で、利用ユーザーを登録できるようになります。

補足

- ・ 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [認証管理] をクリックします。
[認証管理 > 1/2] 画面が表示されます。

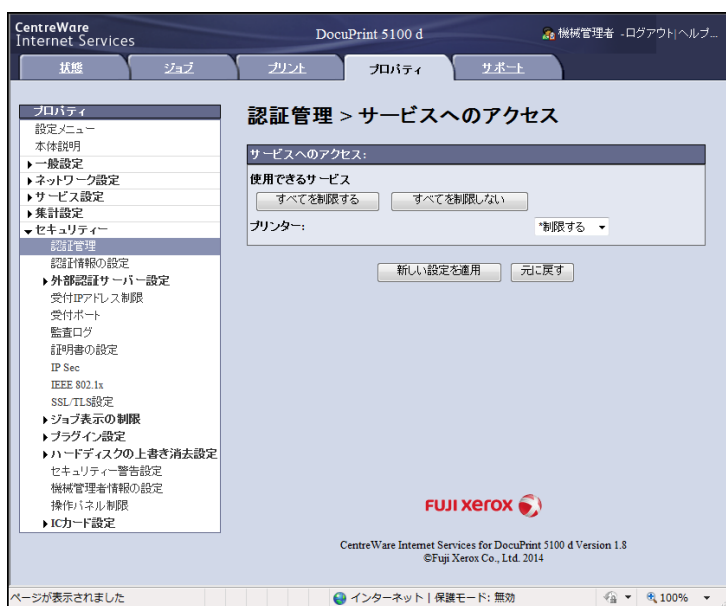


4. ユーザー名や暗証番号がないジョブに対して、印刷を許可する場合は、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けます。

- [次へ] をクリックします。
[認証管理 > 2/2] 画面が表示されます。



- [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。
- 表示された画面で各項目を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。



補足

- ・ ここで設定したユーザー ID やパスワードは、プリンタードライバーでも使用します。
- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

- 複数のユーザーを登録する場合は、手順 5 ~ 7 を繰り返します。

権限グループの登録とユーザーとの関連づけ

操作パネルで [本体集計管理] および [本体認証] の設定をすると、CentreWare Internet Services で、権限グループを登録し、ユーザーと関連づけることができます。

強制印字の一時解除を許可された権限グループを登録し、ユーザーとその権限グループを関連づけることで、そのユーザーが強制印字を一時解除する権限を持つことができます。

補足

- ・ 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41)を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [権限グループの登録] をクリックします。
[権限グループ登録] 画面が表示されます。



4. 未登録のグループの [編集] ボタンを押します。
[権限グループ詳細設定] 画面が表示されます。



5. [グループ名] にグループの名称を入力します。
6. [強制印字の一時解除] を [許可する] に設定します。
7. [新しい設定を適用] を押します。
強制印字の一時解除権限を持つ権限グループが作成されます。
8. 左側のメニューから [セキュリティー] > [認証管理] をクリックします。
[認証管理 >1/2] 画面が表示されます。
9. [次へ] をクリックします。
[認証管理 >2/2] 画面が表示されます。



10. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。
11. [権限の追加設定] で、手順 7 で登録した権限グループを選択し、[新しい設定を適用] をクリックします。



補足

- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

12. 複数のユーザーを登録する場合は、手順 10 ～ 11 を繰り返します。

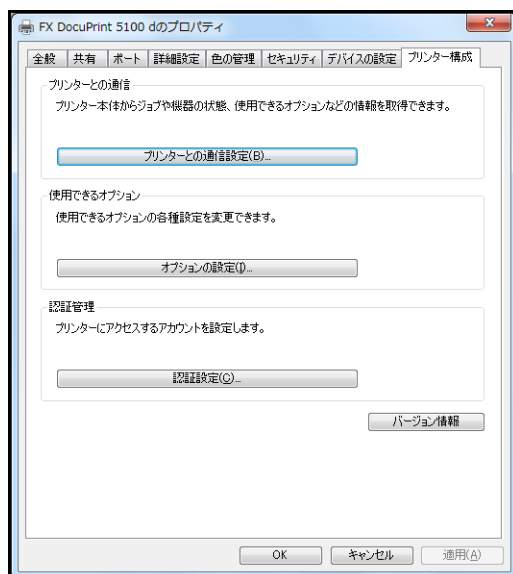
プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。このユーザー ID とパスワードが本機に登録されている認証情報と一致しないと印刷できません。ここでは、Windows 7 を例に説明します。

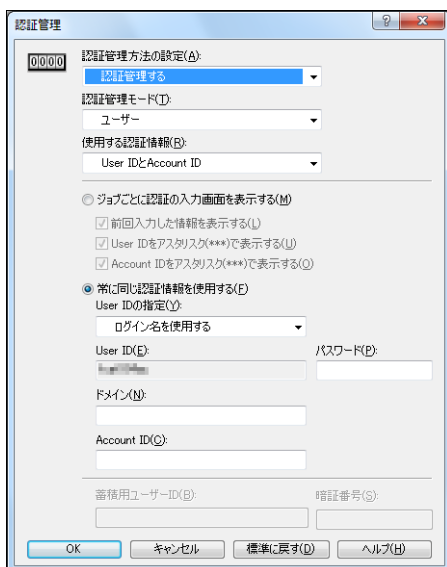
補足

- ・ プリンタードライバーの各項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）を選択します。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから [プロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブで [認証設定] をクリックします。



4. [認証管理] ダイアログボックスで各項目を設定し、[OK] をクリックします。



5. プロパティダイアログボックスの [OK] をクリックします。

本体内蔵 IC カードリーダーを利用するための設定

オプションの本体内蔵 IC カードリーダーを設置すると、IC カードに登録された情報によって認証したり、IC カードに登録された情報と本機に登録されているユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかけたり、利用状況を集計管理することができます。

注記

- ・ Dispenser 2 (CopyLyzer モード設定) を利用している場合、本体内蔵 IC カードリーダーは設置できません。

補足

- ・ 本体内蔵 IC カードリーダーを設置するには、ハードディスク (オプション) が必要です。

利用できる IC カード

本機に設置された本体内蔵 IC カードリーダーで利用できる IC カードは、次のとおりです。

- ・ MIFARE[®] 仕様
 - ・ Fuji Xerox IC Card (TypeA)
 - ・ その他の MIFARE 仕様の IC カード*
- ・ TypeB 仕様
 - ・ eLWISE 仕様の IC カード
 - ・ ELWISE 仕様の IC カード
- ・ FeliCa[®] 仕様
 - ・ Fuji Xerox IC カード
 - ・ SSFC バージョン 1.0 フォーマット準拠の IC カード*
 - ・ その他の FeliCa 仕様の IC カード*

* IC カードによっては、読み取りできないものもあります。

IC カード情報の登録

CentreWare Internet Services で、IC カードの設定をします。

補足

- ・ 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 41) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [IC カード設定] をクリックします。
4. [一般] をクリックします。
5. IC カードによる認証および認証解除時に確認音を鳴らす場合は、[鳴らす] にチェックを付けます。

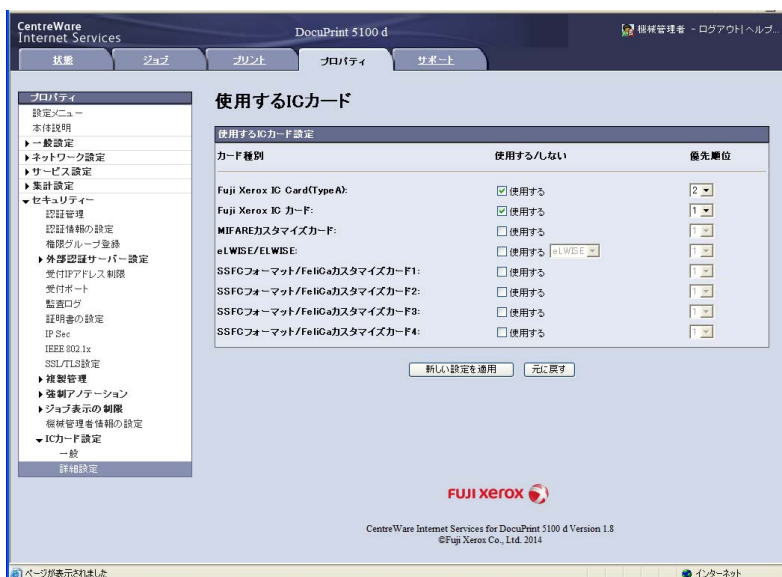


6. [新しい設定を適用] をクリックします。
7. 左側のメニューから [IC カード設定] > [詳細設定] をクリックします。

8. [使用する IC カード] の [編集] をクリックします。



9. 使用する IC カードの [使用する] にチェックを付け、読み取る優先順位を設定します。



10. [新しい設定を適用] をクリックします。

補足

- ・ 使用する IC カードは、複数選択できます。使用する IC カードを増やすと、IC カードの検知時間が長くなります。必要な IC カードのみ選択することをお勧めします。

11. [使用する] にチェックを付けた IC カードの [編集] をクリックします。

12. 各項目を設定して、[新しい設定を適用] をクリックします。

13. 設定した IC カードの情報を暗号化する場合、[暗号化設定] の [暗号化] をクリックします。



補足

- 暗号化すると IC カード設定の確認 / 編集ができなくなります。また、[暗号化解除] をクリックして、暗号化を解除すると、設定した情報が初期値に戻ります。暗号化する前に、必ず設定をバックアップしてください。

バックアップは、[設定のアップロード / ダウンロード]で行います。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

7.12 ペーパーレジを調整する

印刷位置がずれる場合、垂直（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）の印刷位置を操作パネルから補正します。

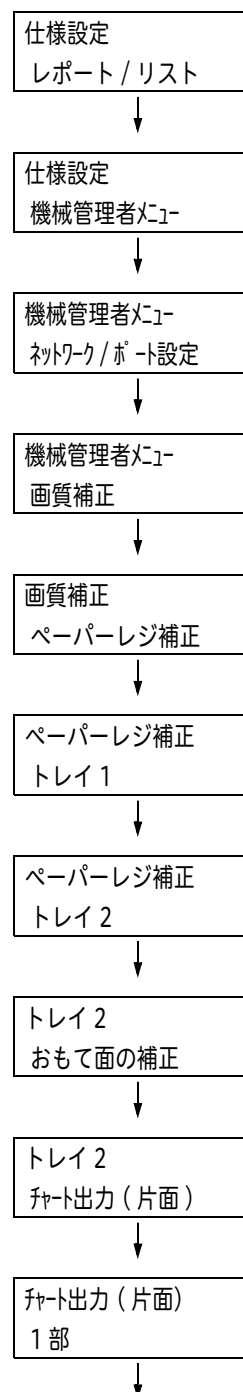
補正量は、-2.0 ~ +2.0mm の間で 0.5mm 刻みで設定できます。

補足

- ・ペーパーレジを補正するためのチャートは、指定したトレイにセットされた用紙に合わせて出力されます。
- ・自動トレイ選択の対象に設定されていない [トレイ 5 (手差し)] を選択してレジ調整のチャート出力する場合は、[トレイ 5 (手差し)] に A4 をセットしてください。
- ・垂直方向（リードレジ）の補正は、トレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

ここでは、トレイ 2 のおもて面（片面）のペーパーレジ補正をする例で説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [画質補正] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[ペーパーレジ補正] が表示されます。
6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[トレイ 1] が表示されます。
7. [トレイ 2] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。[おもて面の補正] が表示されます。
9. [チャート出力 (片面)] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
10. 〈OK〉ボタンを押します。部数を入力する画面が表示されます。

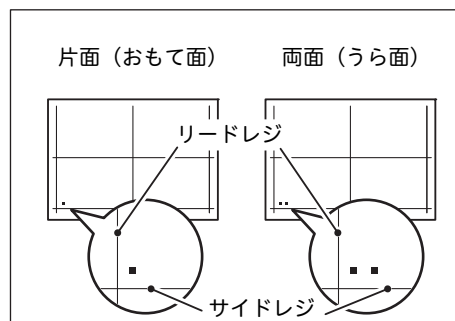


11. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

チャートを出力します
[OK] でプリント開始

12. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。

13. 出力されたチャートには■（黒い四角のマーク）が印刷されます（表面は■が1箇所、うら面は■が2箇所）。
■が左下の位置になるようにチャートに向けて、チャートに印刷される縦横の線と■との相対的な位置から補正量を計算します。最終的な確認は、印刷するデータで確認してください。



14. [おもて面の補正] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

トレイ 2
おもて面の補正

15. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[リードレジ補正] が表示されます。

おもて面の補正
リードレジ補正

16. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の垂直方向の補正值（リードレジ）が表示されます。

リードレジ補正
•0.0mm

17. 手順14で計算した垂直方向の補正量を設定し、〈OK〉ボタンを選択します。
印刷画像を下方向に移動する場合は+（プラス）の値を設定し、上方向に移動する場合は-（マイナス）の値を設定します。

リードレジ補正
•0.0mm

18. 〈◀〉または〈戻る〉ボタンで手順 8 に戻り、同様に指定します。

おもて面の補正
リードレジ補正

19. [サイドレジ補正] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

おもて面の補正
サイドレジ補正

20. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の水平方向の補正值（サイドレジ）が表示されます。

サイドレジ補正
•0.0mm

21. 手順14で計算した水平方向の補正量を設定し、〈OK〉ボタンを選択します。
印刷画像を左方向に移動する場合は+（プラス）の値を設定し、右方向に移動する場合は-（マイナス）の値を設定します。

サイドレジ補正
•0.0mm

22. 設定が終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

7.13 清掃について

ここでは、本機を良好な状態に保ち、きれいな印刷ができるようにするため、本機の手入れ方法について説明します。

⚠ 警告

- ・ 機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

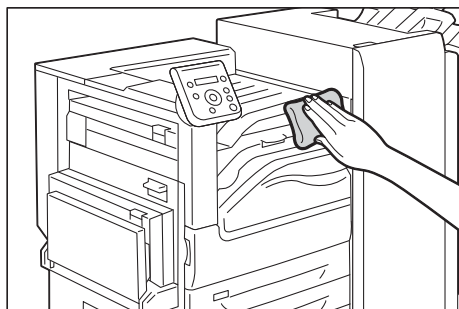
- ・ 機械の手入れを行う場合は、電源スイッチおよび主電源スイッチを切って、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチおよび主電源スイッチを切らずに機械の手入れや保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

本機外部の手入れ

約1か月に1度、本機の外側を手入れしてください。本機の外側を、水でぬらし固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

注記

- ・ 洗剤を直接本機に向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。



7.14 プリンターを移動するときは

プリンターを移動するときは、次の手順で行ってください。

補足

- ・ オプションの2トレイモジュールまたはタンデムトレイモジュールを取り付けている場合は、トレイモジュールのキャスターを使ってプリンターを移動させることができます。

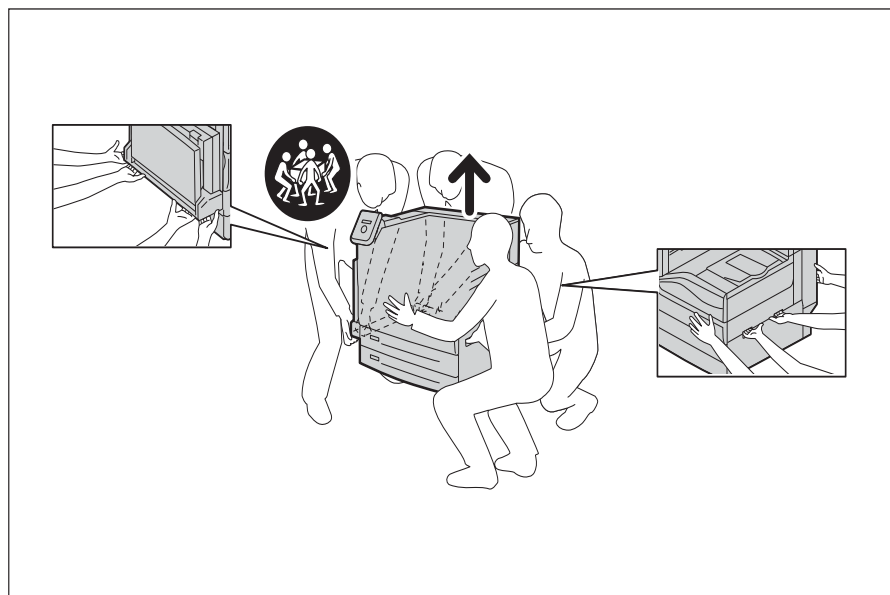
注記

- ・ トレイモジュールのキャスターを使ってプリンターを移動したときは、移動後に必ずキャスターをロックしてください。

1. プリンターの電源および主電源を切ります。
2. 電源コード、インターフェイスクーブルなど、すべての接続コードを外します。
3. 本機からトレイを引き出し、トレイにセットされている用紙を取り出します。取り出した用紙は梱包して、湿気やホコリに触れない場所に保管します。
4. トレイを、本機の奥までしっかり押し込みます。
5. 本機を持ち上げて、静かに移動します。長距離を移動する場合は、本機を梱包して運送してください。

注記

- ・ 機械の重さは、約 58kg（本体のみ、消耗品を含む）です。必ず4人以上で持ち運んでください。



補足

- ・ 本機を移動するときは、トナーカートリッジなどの消耗品を取り外す必要はありません。

A 付 録

A.1 主な仕様

本体

項 目	内 容
商品コード	N3300047
形式	デスクトップ
プリント方式	レーザーゼログラフィー 注記 ・ 半導体レーザービームによる電子写真方式。
定着方式	ヒートロールによる熱圧力定着方式
ウォームアップ・タイム	22 秒以下（主電源と電源を同時投入時、室温 20°C） 15 秒以下（電源投入時、室温 20°C）（スリープモード時と同じ）
連続プリント速度	55 枚 / 分 * ¹ 、両面印刷時 50 ページ / 分 * ² 注記 * ¹ A4 <input type="checkbox"/> 同一原稿連続プリント時（普通紙）。 * ² A4 <input type="checkbox"/> 連続プリント時。
ファーストプリント	2.7 秒（A4 <input type="checkbox"/> ） 注記 ・ 本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。
解像度	600x600dpi、1200x1200dpi
階調 / 表現色	256 階調
用紙サイズ	標準トレイ： A3、B4、A4、A4 <input type="checkbox"/> 、B5、B5 <input type="checkbox"/> 、A5 2トレイモジュール（オプション）： A3、B4、A4、A4 <input type="checkbox"/> 、B5、B5 <input type="checkbox"/> 大容量給紙トレイ（オプション） A4 <input type="checkbox"/> 、B5 <input type="checkbox"/> タンデムトレイ（オプション）： A4 <input type="checkbox"/> 、B5 <input type="checkbox"/> 手差しトレイ： A3、B4、A4、A4 <input type="checkbox"/> 、B5、B5 <input type="checkbox"/> 、A5、A5 <input type="checkbox"/> 、B6 両面印刷： A3 <input type="checkbox"/> 、B4、A4、A4 <input type="checkbox"/> 、B5、B5 <input type="checkbox"/> 、A5、A5 <input type="checkbox"/> 、B6 像欠け幅：先端 / 後端 / 左右端 4mm

項目	内容
用紙坪量	標準トレイ (トレイ 1) : 60 ~ 105g/m ²
	標準トレイ (トレイ 2) 60 ~ 216g/m ²
	2トレイモジュール (オプション) : 60 ~ 216g/m ²
	大容量給紙トレイ (オプション) 56 ~ 216g/m ²
	タンデムトレイ (オプション) : 60 ~ 216g/m ²
	手差しトレイ 60 ~ 216g/m ²
	注記 ・推奨用紙をご使用ください。用紙の種類 (紙質、サイズ等) によっては、正しく印刷できない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前印刷用紙への印刷や、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件により印刷品質に差異が生じる場合がありますので、事前に印刷品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、販売店もしくはプリンターサポートデスク (0120-66-2209) までお問い合わせください。
給紙容量	標準 : 標準トレイ 1 : 560 枚 標準トレイ 2 : 560 枚 手差しトレイ : 100 枚、 オプション : 2トレイモジュール : 1,120 枚 (560 枚 × 1 段) タンデムトレイ : 2,000 枚 (870 枚 + 1,130 枚) 大容量給紙トレイ (1 段) : 2,300 枚 最大 5,520 枚 [標準 + タンデムトレイモジュール + 大容量給紙トレイ (1 段)] 注記 ・当社 P 紙 (64g/m ²)。
出力トレイ容量	500 枚 (A4 \square) 注記 ・当社 P 紙 (64g/m ² , A4 \square)。 ・オプションのインナー排出トレイ装着時のトレイ容量はセンタートレイが 250 枚 (A4 \square)、インナー排出トレイが 250 枚 (A4 \square) になります。
両面機能	標準
CPU	PowerPC® 1066MHz Dual
メモリー容量	2GB (最大 2GB) 注記 ・メモリーの増設はできません。 ・出力データの種類や内容によっては、記載されるメモリー容量でも出力画像を保証できない場合があります。
内蔵ハードディスク	オプション : 160GB 以上 (使用領域 : 128GB)

項目	内容
搭載フォント	<p>標準： 日本語 2 書体（平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5）</p> <p>オプション： 平成 2 書体（平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5、平成ゴシック体™W4）、欧文 136 書体 モリサワ 2 書体版：日本語 2 書体（リュウミン L-KL™、中ゴシック BBB™） 欧文 136 書体</p>
ページ記述言語	<p>標準：ART-EX オプション：Adobe® PostScript® 3™</p>
エミュレーション	<p>標準： ART IV、ESC/P (VP-1000)、BMLinkS®、PDF、XPS、DocuWorks、TIFF、JPEG、PC-PR201H、HP-GL (HP7586B)、HP-GL2/RTL (HP Design Jet750C Plus)、PCL5/PCL6</p> <p>オプション： Adobe® PostScript® 3™</p> <p>補足 ・ XPS とは、XML Paper Specification の略称です。</p>
対応 OS *1	<p>標準： ART EX ドライバー： Windows Server® 2003 (32 ビット) Windows Server® 2008 (64 ビット) Windows Vista® (32 ビット) Windows Server® 2008 R2 (64 ビット) Windows Server® 2008 (32 ビット) Windows® 7 (64 ビット) Windows® 7 (32 ビット) Windows® 8 (64 ビット) Windows® 8 (32 ビット) Windows Server® 2012 (64 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット) Windows® 8.1 (64 ビット) Windows Server® 2003 (64 ビット) Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Windows Vista® (64 ビット) Mac OS X ドライバー： Mac OS X 10.5/10.6/10.7、OS X 10.8/10.9</p> <p>オプション： Adobe® PostScript® 3™ ドライバー： Windows Server® 2003 (32 ビット) Windows Server® 2008 (64 ビット) Windows Vista® (32 ビット) Windows Server® 2008 R2 (64 ビット) Windows Server® 2008 (32 ビット) Windows® 7 (64 ビット) Windows® 7 (32 ビット) Windows® 8 (64 ビット) Windows® 8 (32 ビット) Windows Server® 2012 (64 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット) Windows® 8.1 (64 ビット) Windows Server® 2003 (64 ビット) Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Windows Vista® (64 ビット) Mac OS X 10.5/10.6/10.7、OS X 10.8/10.9</p> <p>注記 ・ 最新の対応 OS については当社公式サイトをご覧ください。</p>

項目	内容
インターフェイス	標準：Ethernet 100BASE-TX/10BASE-T/1000BASE-TX、USB2.0 オプション：双方向パラレル (IEEE1284)
対応プロトコル	TCP/IP (lpd、IPP、Port9100、BMLinkS、ThinPrint)
電源	AC 100V±10%、15A、50/60Hz 共用 注記 ・推奨コンセント容量。機械側最大電流は、15A。
動作音	稼動時（本体のみ）：7.35B、56.9dB (A) 以下 レディー時（本体のみ）：3.61B、20.5dB (A) 以下 注記 ・ISO7779 に基づいた測定 単位 B：音響パワーレベル (L_{wAd}) 単位 dB (A)：放射音圧レベル (パイスタンダ位置)
消費電力	最大：1,500W、スリープモード時：2W 以下 平均：レディー時：120W、稼動時：1300W 注記 ・最大消費電力はフルオプション時。標準構成時 (オプション無し) は、1370W。
エネルギー消費効率	192kWh/年 区分：プリンター D 注記 ・省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた測定方法による数値。
大きさ	幅 640×奥行 669×高さ 693mm 注記 ・手差しトレイを折りたたんだ本体
質量	約 57.8kg (消耗品含む) 約 54.0kg (消耗品含まず)
使用環境	使用時：温度：10～32℃ 湿度：15～85% (結露による障害は除く) 非使用時：温度：-10～40℃ 湿度：5～85% (結露による障害は除く) 注記 ・使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招く場合があります。
商品寿命	300 万ページ (A4 \square) または 5 年の早い方

BMLinkS について：

本機では、BMLinkS プリントサービスが使用できます。使用する場合は、本機の [BMLinkS] ポートを [起動] にし、プリンタードライバーとマニュアルを次のアドレスからダウンロードしてください。
<http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/>
 ポートの起動については、「[BMLinkS]」(P. 158) を参照してください。
 BMLinkS は、JB Mia が推進しているオフィス機器インターフェイスです。
 本機は、仕様環境 BMLinkS 2013 に準拠し、JB Mia による BMLinkS 認証を受けています。
 実装サービス名：プリントサービス

フィニッシャー C3 (オプション)

項目	内容
トレイ形式	排出トレイ ソート スタック フィニッシャートレイ ソート (オフセット可) スタック (オフセット可)
用紙サイズ	排出トレイ 最大: 12x19" (305x483mm) 最小: 郵便はがき (日本郵便製) フィニッシャートレイ 最大: 12x19" (305x483mm) 最小: B5 \square
用紙坪量	排出トレイ 60 ~ 216g/m ² フィニッシャートレイ 60 ~ 216g/m ²
トレイ容量	排出トレイ A4: 500 枚 フィニッシャートレイ (ステープルなしの場合) A4: 3,000 枚 B4 以上: 1,500 枚 ミックススタック: 300 枚 フィニッシャートレイ (ステープルありの場合) A4: 200 部または 3,000 枚 B4 以上: 100 部または 1,500 枚 ミックススタック: 70 部または 200 枚 注記 ・ 当社 P 紙。 ・ ミックススタックは、小さいサイズの上に大きいサイズ of 用紙が積載された場合です。
ステープル	最大ステープル枚数 50 枚 (90g/m ² 以下) ステープル可能用紙サイズ 最大: A3、11x17" 最小: B5 \square ステープル位置 1 か所 (手前・奥 / 斜め打ち) 2 か所 (並行打ち) 注記 ・ 当社 P 紙。 補足 ・ オプションのフィニッシャー C3 65 枚ステープルユニット 2 を装着すると、最大 65 枚までステープル可能です。ただし、用紙の種類によっては、用紙がずれたり、正しくステープルされない場合があります。

項目	内容
パンチ	<p>パンチ数 2穴 / 4穴、または2穴 / 3穴 (US規格)</p> <p>パンチ用紙サイズ A3、11x17"、B4、A4*、A4□、レター*、レター□、B5□、 7.25x10.5"□、8x10"*、8x10"□、十六開□、表紙A4□、 9x11"□、215x315mm、8.5x13"*、リーガル (8.5x14")*、八開 * オプションの3穴は使用できません。</p> <p>用紙坪量 60 ~ 200g/m²</p> <p>注記 ・ 当社 P 紙。 ・ オプションのフィニッシャー C3 パンチユニット 2/4 穴 またはフィニッシャー C3 パンチユニット 2/3 穴 (US規格) が必要です。 ・ オプションのフィニッシャー C3 パンチユニット 2/4 穴で2穴または4穴に切り替えが、フィニッシャー C3 パンチユニット 2/3 穴 (US規格) で2穴または3穴に切り替え可能です。</p>
大きさ	幅 748x 奥行 669x 高さ 1,055mm (本体接続時の専用ユニットを含む。延長トレイ引き出し時)
質量	44kg
本体接続時の占有寸法	本体 + フィニッシャー、延長トレイ引き出し時、手差しトレイを最大に伸ばした時 幅 1,719x 奥行 669mm

中とじフィニッシャー C3 (オプション)

項目	内容
トレイ形式	<p>排出トレイ ソート スタック</p> <p>フィニッシャートレイ ソート (オフセット可) スタック (オフセット可)</p> <p>製本トレイ ソート スタック</p>
用紙サイズ	<p>排出トレイ 最大: 12x19" (305x483mm) 最小: 郵便はがき (日本郵便製)</p> <p>フィニッシャートレイ 最大: 12x19" (305x483mm) 最小: B5□</p> <p>製本トレイ 最大: 12x18" (305x457mm) 最小: B5</p>
用紙坪量	<p>排出トレイ 60 ~ 216g/m²</p> <p>フィニッシャートレイ 60 ~ 216g/m²</p> <p>製本トレイ 60 ~ 105g/m²</p>

項目	内容
トレイ容量	<p>排出トレイ A4：500枚 フィニッシャートレイ（ステープルなしの場合） A4：1,500枚 B4以上：1,500枚 ミックススタック：300枚 フィニッシャートレイ（ステープルありの場合） A4：200部または1,500枚 B4以上：100部または1,500枚 製本トレイ 製本トレイ 20部</p> <p>注記 ・当社 P 紙。 ・ミックススタックは、小さいサイズの上に大きいサイズの下紙が積載された場合です。 ・製本トレイの容量は、同サイズの下紙での出力時です。</p>
ステープル	<p>最大ステープル枚数 50枚 (90g/m² 以下) ステープル可能用紙サイズ 最大：A3、11x17" 最小：B5□ ステープル位置 1か所（手前・奥 / 斜め打ち） 2か所（並行打ち）</p> <p>注記 ・当社 P 紙。</p> <p>補足 ・オプションのフィニッシャー C3 65枚ステープルユニット 2 を装着すると最大 65枚まで可能です。ただし、用紙の種類によっては、用紙がずれたり、正しくステープルされない場合があります。</p>
パンチ	<p>パンチ数 2穴 / 4穴、または 2穴 / 3穴（US 規格） パンチ用紙サイズ A3、11x17"、B4、A4*、A4□、レター*、レター□、B5□、 7.25x10.5"□、8x10"、8x10"□、十六開□、表紙 A4□、9x11"、 215x315mm、8.5x13"*、リーガル*、11x15"、八開 * オプションの 3穴はできません。 用紙坪量 60 ~ 200g/m²</p> <p>注記 ・当社 P 紙。 ・オプションのフィニッシャー C3 パンチユニット 2/4穴またはフィニッシャー C3 パンチユニット 2/3穴（US 規格）が必要です。 ・オプションのフィニッシャー C3 パンチユニット 2/4穴で 2穴または 4穴に切り替えが、フィニッシャー C3 パンチユニット 2/3穴（US 規格）で 2穴または 3穴に切り替え可能です。</p>

項目	内容
中とじ / 中折り	<p>最大枚数 中とじ 16 枚、中折り 5 枚、二つ折り 1 枚</p> <p>用紙サイズ 最大：A3 最小：B5</p> <p>用紙坪量 中とじ：60～105g/m²、中折り：60～105g/m²、 二つ折り：60～105g/m²</p> <p>注記 ・当社 P 紙。 ・表紙に利用する用紙により本文の枚数は変わります。用紙サイズや用紙種類によっては冊子が開いてしまう場合があります。</p>
大きさ	幅 808x 奥行 669x 高さ 1,055mm（本体接続時の専用ユニットを含む。延長トレイ引出し時）
質量	61kg
本体接続時の占有寸法	本体 + フィニッシャー、延長トレイ引き出し時、手差しトレイ最大伸張時 幅 1,779x 奥行 669mm

10 ビン出力装置付き中とじフィニッシャー C3（オプション）

項目	内容
トレイ形式	<p>排出トレイ ソート スタック</p> <p>フィニッシャートレイ ソート（オフセット可） スタック（オフセット可）</p> <p>製本トレイ ソート スタック</p> <p>メールビン 10 ビンソート / スタック</p>
用紙サイズ	<p>排出トレイ 最大：12x19"（305x483mm） 最小：郵便はがき（日本郵便製）</p> <p>フィニッシャートレイ 最大：12x19"（305x483mm） 最小：B5[□]</p> <p>製本トレイ 最大：12x18"（305x457mm） 最小：B5</p> <p>メールビン 最大：A3 最小：B5[□]</p>

項目	内容
用紙坪量	排出トレイ 60～216g/m ² フィニッシャートレイ 60～216g/m ² 製本トレイ 60～105g/m ² メールビン 60～105g/m ²
トレイ容量	排出トレイ A4：500枚 フィニッシャートレイ（ステープルなしの場合） A4：1,500枚 B4以上：1,500枚 ミックススタック：300枚 フィニッシャートレイ（ステープルありの場合） A4：200部または1,500枚 B4以上：100部または1,500枚 製本トレイ 製本トレイ 20部 メールビン 各ビン 100枚 注記 ・当社 P 紙。 ・ミックススタックは、小さいサイズの上に大きいサイズの使用紙が積載された場合です。 ・製本トレイの容量は、同サイズの使用紙での出力時です。
ステープル	最大ステープル枚数 50枚（90g/m ² 以下） ステープル可能用紙サイズ 最大：A3、11x17" 最小：B5□ ステープル位置 1か所（手前・奥 / 斜め打ち） 2か所（並行打ち） 注記 ・当社 P 紙。 補足 ・オプションのフィニッシャー C3 65枚ステープルユニット 2 を装着すると最大 65枚まで可能です。ただし、用紙の種類によっては、用紙がずれたり、正しくステープルされない場合があります。
パンチ	パンチ数 2穴 / 4穴、または 2穴 / 3穴（US規格） パンチ用紙サイズ A3、11x17"、B4、A4*、A4□、レター*、レター□、B5□、 7.25x10.5"□、8x10"、8x10"□、十六開□、表紙 A4□、9x11"、 215x315mm、8.5x13"*、リーガル*、11x15"、八開 * オプションの 3穴はできません。 用紙坪量 60～200g/m ² 注記 ・当社 P 紙。 ・オプションのフィニッシャー C3 パンチユニット 2/4穴またはフィニッシャー C3 パンチユニット 2/3穴（US規格）が必要です。 ・オプションのフィニッシャー C3 パンチユニット 2/4穴で 2穴または 4穴に切り替えが、フィニッシャー C3 パンチユニット 2/3穴（US規格）で 2穴または 3穴に切り替え可能です。

項目	内容
中とじ / 中折り	<p>最大枚数 中とじ 16 枚、中折り 5 枚、二つ折り 1 枚</p> <p>用紙サイズ 最大：A3 最小：B5</p> <p>用紙坪量 中とじ：60～105g/m²、中折り：60～105g/m²、 二つ折り：60～105g/m²</p> <p>注記 ・当社 P 紙。 ・表紙に利用する用紙により本文の枚数は変わります。用紙サイズや用紙種類によっては冊子が開いてしまう場合があります。</p>
大きさ	幅 1,045x 奥行 724x 高さ 1,603mm（本体接続時の専用ユニットを含む。延長トレイ引出し時）
質量	81kg
本体接続時の占有寸法	本体 + フィニッシャー、延長トレイ引き出し時、手差しトレイを最大に伸ばした時 幅 2,016x 奥行 724mm

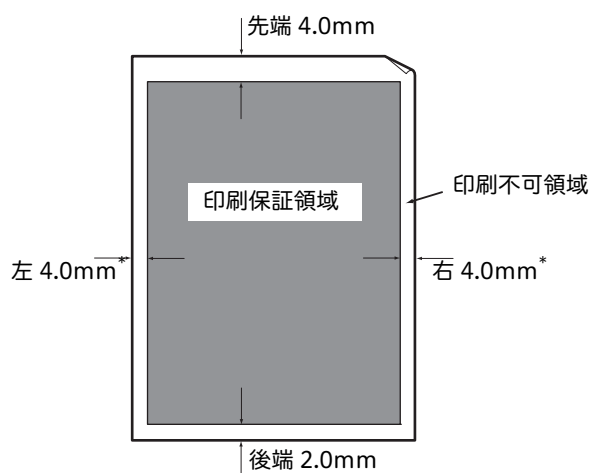
大容量給紙トレイ（1 段）（オプション）

項目	内容
用紙サイズ	A4 [□] 、レター [□] 、B5 [□]
用紙坪量	56～216g/m ²
給紙容量 / 給紙段数	2,300 枚 x1 段 注記 ・当社 P 紙。
大きさ	幅 389x 奥行 610x 高さ 380mm
質量	29kg
本体接続時の占有寸法	本体 + 大容量給紙トレイ、手差しトレイ最大伸張時 幅 971x 奥行 669mm

印刷保証領域

補足

- ・ 実際の印字領域は、各プリンター制御言語によって異なることがあります。



注記

- ・ 実際の印字が先端 4.0mm 未満にされた場合、画像、用紙種類、環境によって、紙づまりが発生することがあります。

内蔵フォント

標準で次のフォントを内蔵しています。

補足

- ・ オプションの PostScript で使用できるフォントについては、Adobe PostScript 3 キットに同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。
- ・ PCL で使用できるフォントについては、プリンター本体に同梱されているメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

ストロークフォント (HP-GL/2 専用)

- ・ 日本語ストロークフォント
- ・ 欧文+カタカナストロークフォント

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScript では使用できません。

●：装備

	名称	ART-EX	ART IV	ESC/P、PC-PR201H	HP-GL、HP-GL/2	PDF Bridge	DocuWorks Bridge
和文	平成明朝体 W3	●	●	●	●	●	●
	平成角ゴシック体 W5	●	●	●	●	●	●
欧文	平成明朝体 W3 (ローマン)			●	●		
	平成角ゴシック体 W5 (サンセリフ)			●	●		
	ITC Zapf Dingbats					●	
	Arial	●	●	●		●	●
	Arial Bold	●	●	●		●	●
	Arial Italic	●	●	●		●	●
	Arial Bold Italic	●	●	●		●	●
	Courier	●	●	●		●	●
	Courier Bold	●	●	●		●	●
	Courier Italic	●	●	●		●	●
	Courier Bold Italic	●	●	●		●	●
	Times New Roman	●	●	●		●	●
	Times New Roman Bold	●	●	●		●	●
	Times New Roman Italic	●	●	●		●	●
	Times New Roman Bold Italic	●	●	●		●	●
	Century	●					●
	Symbol	●	●	●		●	●
	Wingdings	●					●
OCRBLetM		●	●				
GoldSEMM					●		
GoldSAMM					●		

補足

- ・ ART IVでは、次の対応で指定します。
 - Arial : CS Triumvirate
 - Arial Bold : CS Triumvirate Bold
 - Arial Italic : CS Triumvirate Italic
 - Arial Bold Italic : CS Triumvirate Bold Italic
 - Courier : CSCourier Medium
 - Courier Bold : CSCourier Bold
 - Courier Italic : CSCourier Oblique
 - Courier Bold Italic : CSCourier Bold Oblique
 - Times New Roman : CSTimes
 - Times New Roman Bold : CSTimes Bold
 - Times New Roman Italic : CSTimes Italic
 - Times New Roman Bold Italic : CSTimes Bold Italic
 - Symbol : CSSymbol

ビットマップフォント (ESC/P、PC-PR201Hのみ)

和文

- ・ ESC/P ビットマップフォント (平成角ゴシック体、24x24 ドット)

欧文

- ・ ESC/P ビットマップフォント (平成角ゴシック体、24x24 ドット)

A.2 オプション品の紹介

主なオプション品は次のとおりです。お買い上げの際には、販売店までご連絡ください。

商品名	商品コード	備考
機能拡張キット (ハードディスク)	E3300197	ハードディスクを必要とする機能については、「ハードディスク (オプション) について」(P. 389) を参照してください。
パラレルポート	EC102449	パラレルポートを使用する場合に必要です。パラレルポートとセカンダリーイーサネットキットは、同時に取り付けることはできません。
セカンダリーイーサネットキット	EL201151	Ethernet インターフェイスを2回線利用できるようになるキットです。パラレルポートとセカンダリーイーサネットキットは、同時に取り付けることはできません。
2トレイモジュール	EL200969	標準の用紙トレイと同じ、標準紙 (P 紙) を560枚までセットできる用紙トレイを2段装備しています。
タンデムトレイモジュール	EL200970	用紙トレイを2段装備しています。標準紙 (P 紙) をトレイ3は870枚まで、トレイ4は1,130枚までセットできます。
大容量給紙トレイ (1段)	LC100351	標準の用紙トレイと同じ、標準紙 (P 紙) を2,300枚までセットできる用紙トレイです。大量の印刷に適しています。
フィニッシャー C3	LL300022	ホチキス留めやパンチ穴を開けて排出できます。フィニッシャーを取り付けるときは、ハードディスク (オプション) が必要です。フィニッシャー C3 本体、フィニッシャー C3 パンチユニット 2/4 穴、トランスポートユニット H2 がセットになっています。パンチユニット 2/4 穴の2穴間隔は80mmです。
中とじフィニッシャー C3	LL300023	ホチキス留めやパンチ穴を開けて排出できます。また、用紙の二つ折りや、二つ折りにしたものにホチキスを留めて、冊子で排出することもできます。フィニッシャーを取り付けるときは、ハードディスク (オプション) が必要です。中とじフィニッシャー C3 本体、フィニッシャー C3 パンチユニット 2/4 穴、トランスポートユニット H2 がセットになっています。パンチユニット 2/4 穴の2穴間隔は80mmです。
10ピン出力装置付き中とじフィニッシャー C3	LL300024	中とじフィニッシャー C3 に、指定したピンへ排出できる機能を加えた装置です。10ピントレイに最大1000枚 (P 紙) の排出ができるほか、最大2000枚の排出が可能です。ホチキス留め、パンチ穴開け、二つ折り、中とじ機能が付いています。2トレイモジュールまたはタンデムトレイモジュール (オプション)、および機能拡張キット (ハードディスク) が必要です。中とじフィニッシャー C3 本体、フィニッシャー C3 パンチユニット 2/4 穴、トランスポートユニット H2、10ピンメールボックスオプション、10ピンメールボックスオプションキットがセットになっています。
フィニッシャー C3 パンチユニット 2/3 穴 (US 規格)	EC102446	2/3 穴のパンチ穴を開けて排出できます。パンチユニット 2/3 穴 (US 規格) の2穴間隔は70mmです。フィニッシャー C3、または中とじフィニッシャー C3 を装着している場合に使用できます。
フィニッシャー C3 65 枚ステーブルユニット 2	EC102678	ホチキス留めをして排出できます。用紙の種類により、最大65枚までホチキス留めができます。フィニッシャー C3、または中とじフィニッシャー C3 を装着している場合に使用できます。

商品名	商品コード	備考
インナー排出トレイ	E3300198	センタートレイを2段に分けて排出できます。
Adobe PostScript 3 キット (モリサワ 2 書体)	E3300200	本機を PostScript 対応プリンターとして利用できます。
Adobe PostScript 3 キット (平成 3 書体)	E3300199	
多言語フォントキット	EC101145	SAP などの基幹システム向け、PCL 言語用の Unicode™ フォントキットです。 「Unicode™」とは、中国語、韓国語、日本語、英語などの多言語を同一の文字コードで扱うために、ゼロックスが提唱した文字コードです。
セキュリティ拡張キット	E3300203	次の機能を使用する場合に必要です。 ・ イメージログ機能 ・ 複製管理機能 ・ 強制アノテーション機能 セキュリティ拡張キットの機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）が必要です。
内蔵型 IC カードリーダー（FeliCa 対応）	E3300207	本体内蔵型の IC カードリーダーです。IC カードを使用して、認証や集計管理を利用できます。 設置するには、機能拡張キット（ハードディスク）が必要です。
内蔵型 IC カードリーダー（HID 対応）	E3300208	本体内蔵型の、HID 社製 Proximity Card（125kHz）の情報を読み込む装置です。IC カードを使用して、認証や集計管理を利用できます。 設置するには、機能拡張キット（ハードディスク）が必要です。
AC アクセサリー用電源キット	EL201134	関連商品の接続時、本体より AC100V 電源を供給する場合に必要です。
マニュアルポケット	EC102239	取扱説明書を収納するためのポケットです。
地震対策キット	ZB38	地震による本機の移動を防止します。
結露防止キット（本体用ヒーター）	EC101901	プリンター本体の結露を防止するためのヒーターです。 設置するには、結露防止取り付けキット（本体用）が必要です。
結露防止キット（トレイ 1/2 用ヒーター）	EC102441	トレイ 1～2 の結露を防止するためのヒーターです。
結露防止キット（トレイ用ヒーター）	EC101902	トレイ 3～4 の結露を防止するためのヒーターです。
結露防止取り付けキット（本体用）	EL201135	結露防止キット（本体用ヒーター）を設置するために使用します。
お知らせライト II	EC100639	本機の異常時やジョブ終了時に点滅します。

- ・ 商品の種類や商品コードは 2014 年 9 月現在のものです。
- ・ 商品の種類や商品コードは変更されることがあります。
- ・ 最新の情報については、当社公式サイト（www.fujixerox.co.jp）をご覧ください。

A.3 消耗品、定期交換部品の寿命について

消耗品の寿命について

消耗品	印刷可能ページ数
トナーカートリッジ	約 30,000 ページ
ドラムカートリッジ	約 57,000 ページ

注記

- トナーカートリッジについて
印刷可能ページ数は、A4□、像密度 5% の印字比率で普通紙連続印刷した場合の参考値です。また、JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) 企画に基づく公表値を満足しています。実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、参考値と大きく異なることがあります。JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) とはモノクロ電子写真式プリンター用トナーカートリッジの印刷可能ページ数を測定するための試験方法を定めた規格です。
- ドラムカートリッジについて
プリント可能ページ数は A4□、片面プリント、像密度 5%、1 度にプリントする枚数を平均 3 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙サイズ、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以下になる場合があります。

定期交換部品の寿命について

部品名	交換寿命
定着ユニット	約 300,000 ページ
用紙搬送ローラーキット	約 300,000 ページ
手差しトレイ搬送ローラーキット	約 50,000 ページ
二次転写ユニット	約 300,000 ページ
60 万定期交換キット	約 600,000 ページ

注記

- プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを定期交換部品といいます。
交換の周期は、A4 サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際に印刷可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境、などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因がある仮定に基づき印刷ページ数に置き換えて表示しているためです。
定期交換部品はエンジニアによる交換作業となります。部品代のほかに別途作業料金が必要です。スポット保守サービスには定期交換部品代は含まれません。別途料金が発生します。
無償保証期間中に、交換表示が出て定期交換部品を交換する場合は、部品代が必要となります。

補修用性能部品について

弊社は、本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

A.4 製品情報の入手方法

最新のプリンタードライバーについて

最新のプリンタードライバーは、当社公式サイトからダウンロードできます。

補足

・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

1. プリンターのプロパティダイアログボックスの [プリンター構成] タブにある [バージョン情報] をクリックします。
2. [Fuji Xerox ホームページ] をクリックします。
Web ブラウザーが起動して、ホームページが表示されます。
3. 指示に従って、該当するプリンタードライバーをダウンロードします。

補足

- ・ 本機に同梱されているメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）を使って当社公式サイトを参照することもできます。メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）をセットすると表示される画面から、[ホームページ] をクリックしてください。
- ・ 弊社のダウンロードサービスページのアドレス（URL）は、次のとおりです。
<http://www.fujixerox.co.jp/download/>
- ・ 最新のプリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

本機のファームウェアのバージョンアップについて

弊社では、プリンター本体に組み込まれたソフトウェア（以下、ファームウェアと呼びます）を、コンピューターからバージョンアップするツールを提供しています。

最新のファームウェアおよびバージョンアップ用ツールは、下記の当社公式サイトから取り出すことができます。

表示された公式サイトの手順に従って、該当するファームウェアをダウンロードしてください。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

補足

・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

A.5 機能拡張キット（ハードディスク）の取り付け

本機では次のような場合に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を取り付ける必要があります。

・装着しないと使用できない機能

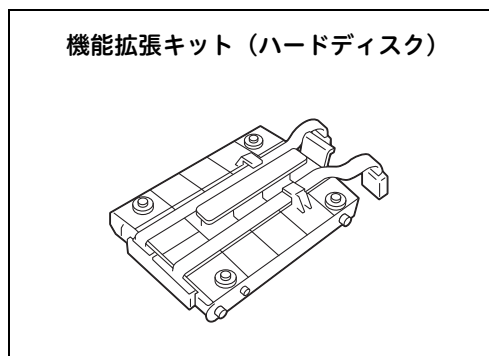
サンプルプリント / セキュリティプリント / メール受信プリント / プライベートプリント / 認証プリント / 時刻指定プリント / オンデマンドプリント / フォントダウンロード / セキュリティ拡張キットの機能 / IEEE 802.1x 認証機能 / IPsec の証明書機能 / ThinPrint 機能 / 本体内蔵 IC カードリーダー^{*} / フィニッシャーの利用

^{*} 本体内蔵 IC カードリーダー（オプション）が必要です。


・装着することで機能が向上する機能

フォームなどの登録数 / 電子ソート機能の性能 / スプール容量 / ログ採取数

ここでは、本機にオプションの機能拡張キット（ハードディスク）を取り付ける手順を説明します。

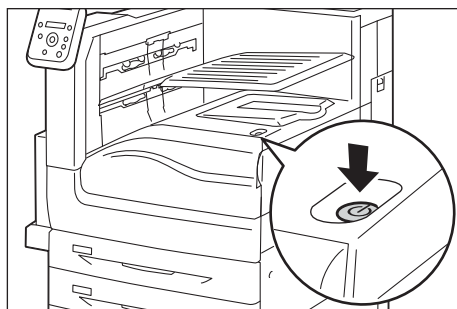


取り付け手順

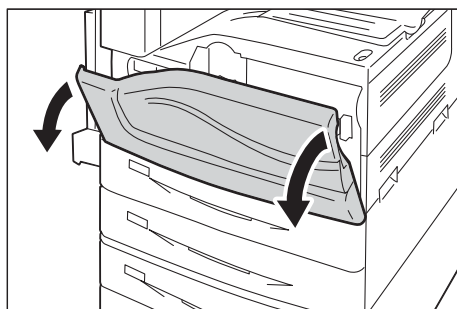
1. 電源スイッチ（）を押して、電源を切ります。

補足

- ・ディスプレイの表示が消えていること、〈節電〉ボタンが消灯していることを確認してください。



2. フロントカバーを開けます。

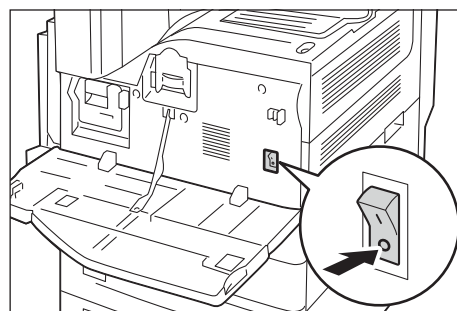


3. 主電源スイッチの〈○〉側を押して、主電源を切り、フロントカバーを閉じます。

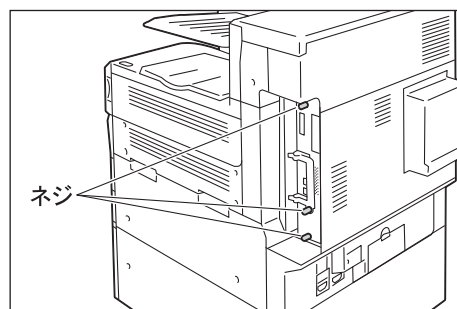
補足

・ 操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。

4. 電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。



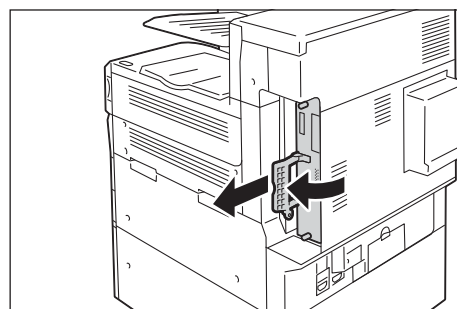
5. コントローラーボードの3か所のネジを緩めます。



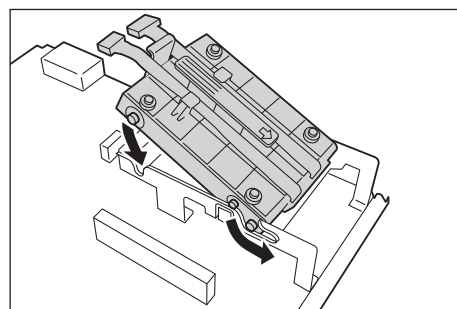
6. コントローラーボードの取っ手を引き出したら、取っ手を持ってコントローラーボードをゆっくり取り出し、机などの平らな場所に置きます。

注記

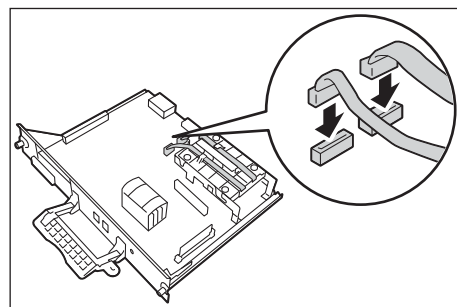
・ コントローラーボードは、落とさないように両手を添えて取り出してください。



7. ハードディスクから出ているコネクタケーブルを外側にして、コントローラーボード上の金属のフレームの上に差し込みます。
ハードディスクの突起部をフレームのくぼみに正しくはめてください。



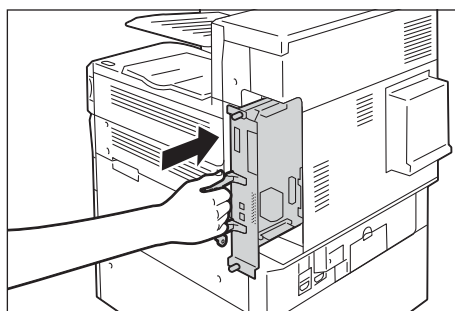
8. ハードディスクから出ているコネクタケーブルを、それぞれコントローラーボード上のコネクタに接続します。



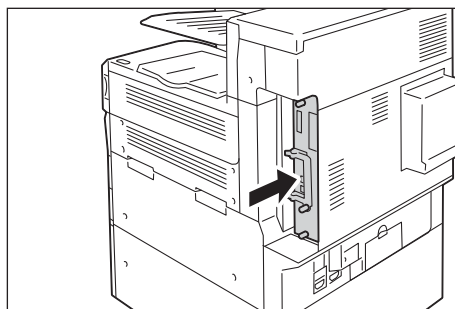
9. コントローラーボードを本体に戻します。
コントローラーボードの取っ手を持ち、プリンター本体に差し込みます。

注記

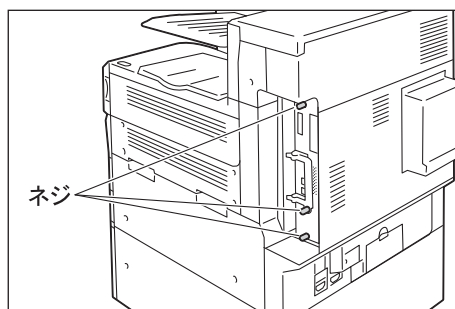
- ・ コントローラーボードは必ず取っ手を持って差し込んでください。取っ手を持たずにたんだまま差し込むと、コントローラーボードが破損するおそれがあります。



コントローラーボードは奥までしっかり押し込んでください。



10. 3 か所のネジを締めて、コントローラーボードを固定します。



11. 電源コードを接続します。
プリンターの主電源と電源を入れます。

12. [機能設定リスト] を印刷して、[システム設定] 内の [機械構成] に [内蔵ハードディスク] と印刷されることを確認します。

参照

- ・ リストの印刷方法：「7.2 レポート / リストを印刷する」(P. 311)

これで、機能拡張キット（ハードディスク）の取り付けは完了です。

補足

- ・ 機能拡張キット（ハードディスク）の取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの [プリンター構成] > [オプションの設定] で [内蔵ハードディスク] の設定を変更してください。変更方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

A.6 セキュリティ拡張キットの取り付け

ここでは、本機にオプションのセキュリティ拡張キットを取り付ける手順を説明します。

補足

- ・セキュリティ拡張キットを取り付けるときは、ハードディスク（オプション）が必要です。

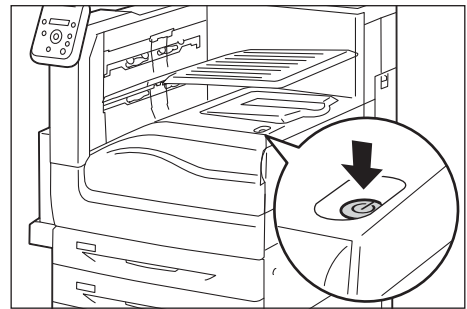


取り付け手順

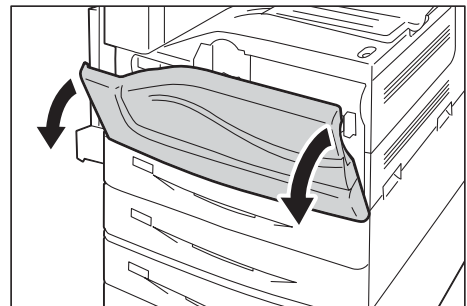
1. 電源スイッチ (⏻) を押して、電源を切ります。

補足

- ・ディスプレイの表示が消えていること、〈節電〉ボタンが消灯していることを確認してください。



2. フロントカバーを開けます。

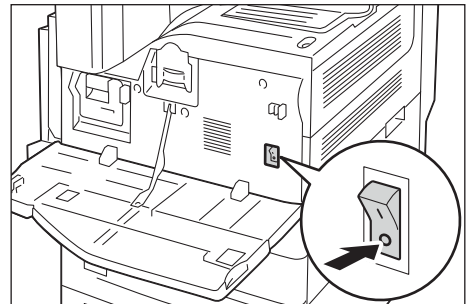


3. 主電源スイッチの (○) 側を押して、主電源を切り、フロントカバーを閉じます。

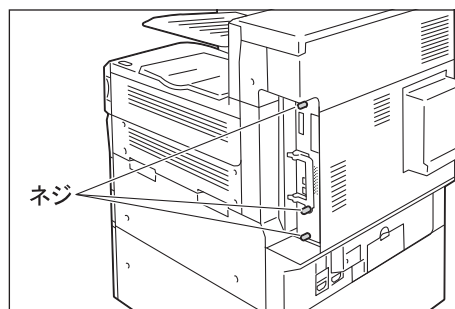
補足

- ・操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。

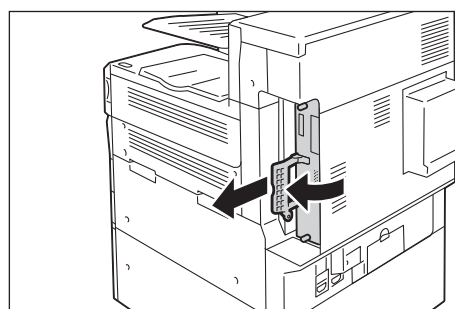
4. 電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。



5. コントローラーボードの3か所のネジを緩めます。



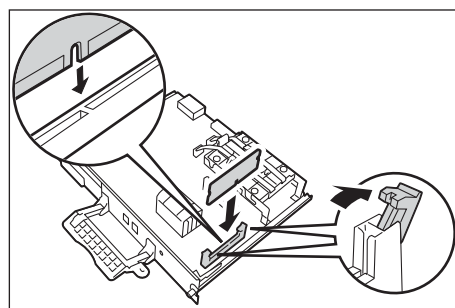
6. コントローラーボードの取っ手を引き出したら、取っ手を持ってコントローラーボードをゆっくり取り出し、机などの平らな場所に置きます。



注記

- ・ コントローラーボードは、落とさないように両手を添えて取り出してください。

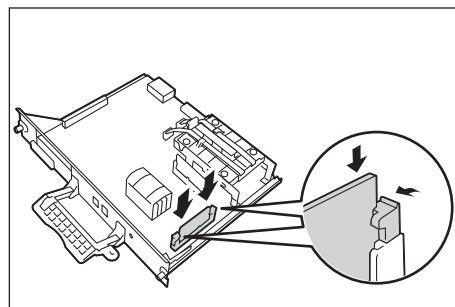
7. セキュリティ拡張キット ROM を、切り欠き部分をスロットの凸部に正しく合わせて、まっすぐに差し込みます。



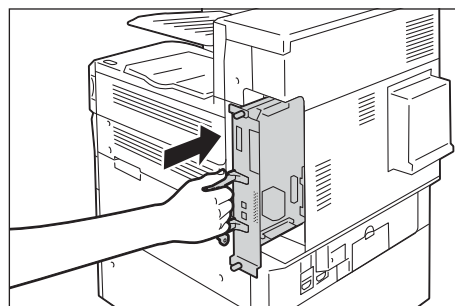
両側を上から強く押します。

補足

- ・ ROM は確実に押し込んでください。
- ・ ROM が確実に挿入されると、両側にあるツメが立ち上がります。



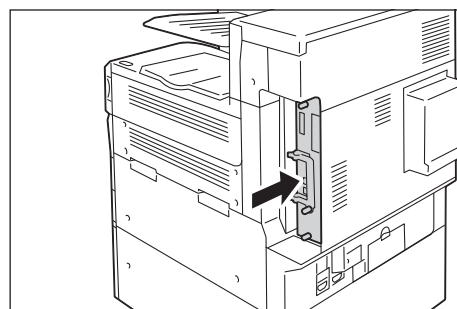
8. コントローラーボードを本体に戻します。コントローラーボードの取っ手を持ち、プリンター本体に差し込みます。



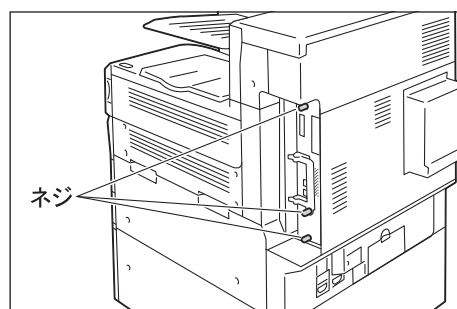
注記

- ・ コントローラーボードは必ず取っ手を持って差し込んでください。取っ手を持たずにたんだまま差し込むと、コントローラーボードが破損するおそれがあります。

コントローラーボードは奥までしっかり押し込んでください。



9. 3か所のネジを締めて、コントローラーボードを固定します。



10. 電源コードを接続します。
プリンターの主電源と電源を入れます。

これで、セキュリティ拡張キットの取り付けは完了です。
続けて、操作パネルで、セキュリティ拡張キットの機能を有効に設定します。手順 11 に進みます。

注記

- ・セキュリティ拡張キットは、一度プリンターに取り付け、操作パネルから有効に設定すると、そのプリンター以外では使用できなくなります。

11. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

12. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

13. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク/ポート設定

14. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

15. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[音の設定] が表示されます。

システム設定
音の設定

16. [ソフトウェアオプション]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

システム設定
ソフトウェアオプション

17. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[プリンターセキュリティーキット]が表示されます。

ソフトウェアオプション
プリンターセキュリティーキット

補足

・ [設定できるオプションはありません] と表示された場合は、正しくセキュリティ拡張キット ROM が取り付けられていません。ROM を取り付け直してください。

18. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[有効化]が表示されます。

プリンターセキュリティーキット
有効化

19. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[[OK]で有効化開始]が表示されます。

プリンターセキュリティーキット
[OK]で有効化開始

20. 〈OK〉ボタンで決定します。
有効化処理が開始されます。

プリンターセキュリティーキット
有効化処理中です

21. [有効化しました]と表示されたら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

プリンターセキュリティーキット
有効化しました

注記

・ すでに他のプリンターで使用されたセキュリティ拡張キットを取り付けた場合は、[シリアル番号エラー]というメッセージと、取り付けたプリンターのシリアル番号が表示されます。セキュリティ拡張キットは、一度プリンターに取り付け、操作パネルから有効に設定すると、そのプリンター以外では使用できません。また、本機用の正しいセキュリティ拡張キットを取り付けていない場合は、[有効化できません]のメッセージが表示されます。

A.7 注意 / 制限事項

本体の注意と制限

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

ハードディスク（オプション）について

- ・本機では次のような場合に、ハードディスク（オプション）を取り付ける必要があります。
 - ・装着しないと使用できない機能
サンプルプリント / セキュリティプリント / メール受信プリント / プライベートプリント / 認証プリント / 時刻指定プリント / オンデマンドプリント / フォントダウンロード / セキュリティ拡張キットの機能 / IEEE 802.1x 認証機能 / IPsec の証明書機能 / ThinPrint 機能 / 本体内蔵 IC カードリーダー^{*} / フィニッシャーの利用
 - ^{*} 本体内蔵 IC カードリーダー（オプション）が必要です。
 - ・装着することで機能が向上する機能
フォームなどの登録数 / 電子ソート機能の性能 / スプール容量 / ログ採取数
- ・ハードディスクを装着した場合、本機の使用中に停電などで電源が切られると、ハードディスク内のデータが壊れることがあります。
- ・電源を切ったあとも、しばらく本機内部で電源オフの処理をしています。操作パネルの〈節電〉ボタンが点滅中は電源を切らないでください。
- ・ハードディスクを装着した場合、lpd、IPP からの印刷データの格納先として、ハードディスクが指定できます。また、ART EX、ART IV、PC-PR201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL それぞれのフォームの格納先は、ハードディスク固定になります。ほかの領域には変更できません。
- ・ハードディスクの初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、PC-PR201H、ESC/P の各フォーム、ART IV ユーザー定義データです。
- ・一度プリンターで使用したハードディスクは、別のプリンターでは使用できません。
- ・CentreWare Internet Services を使用してジョブ履歴レポートを CSV 形式で取得する場合は、ハードディスクが必要です。

印刷結果が設定と異なるとき

- ・プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果になることがあります。この場合、メモリーの増設をお勧めします。
 - ・両面印刷の指定が片面印刷で印刷される
 - ・ジョブが中止される（プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）
- ・1,200dpi の 1dot の点や線などを直接印刷指示した場合は、ゼログラフィー原理によって、印字結果が指示どおりにならないことがあります。

オプションについて

- ・本機を PostScript 対応プリンターとして使用する場合は、オプションの Adobe PostScript 3 キットが必要です。
- ・Adobe PostScript 3 キットは、平成・モリサワの 2 タイプを用意しています。これらは同時設置できませんので、いずれか一つを選択してください。
- ・CentreWare Internet Services を使用してダイレクトプリントを行う場合には、ハードディスクが必要です。(ContentsBridge 使用の場合は、ハードディスクは不要です。)

両面印刷でのメーターのカウンタについて

両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

PostScript ドライバーについて

PostScript ドライバーでは、[ポスター (拡大連写)] には対応していません。また、[まとめて 1 枚] の機能では、2/4/6/9/16 アップと、枠線の有無の指定が可能です。

XML Paper Specification (XPS) 対応ドライバーについて

XPS 対応ドライバーは、Windows Vista 以降のバージョンの Microsoft® Windows 用に開発されたアプリケーション・ソフトウェアで印刷するためのプリンタードライバーです。

マイクロソフト社の Windows Vista の互換性に起因する問題により、Windows Vista より前の Windows 用に開発されたアプリケーション・ソフトウェアからは正しく印刷されないことがあります。

また、XPS 対応ドライバーを使用するときは、事前に、出力先の機械が XPS 印刷機能に対応していることを必ず確認してください。XPS 印刷機能に対応していない機械に対して XPS 対応ドライバーを使用すると、意図しない用紙出力が発生することがあります。

Macintosh から USB 接続でプリントする場合

USB を使用して PostScript ドライバーからプリントする場合、図形データ (バイナリーデータを含む EPS ファイル) を貼り付けたアプリケーションデータを印刷すると、バイナリーデータ部分をプロトコルデータと誤検知して文字データが数ページにわたってプリントされることがあります。

操作パネルで [仕様設定] > [機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] > [USB] > [Adobe 通信プロトコル] を [RAW] に設定すると、バイナリーデータを含む EPS ファイルを使ったデータを正常にプリントできます。

IPP プリントについて

IPP で送信されるデータサイズがプロキシサーバーの設定値より大きい場合、機械側にデータが届きません。プロキシサーバーの設定値を大きくするか、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

バーコードについて

バーコードの読み取り品質は、お客様の使用される環境、用紙、バーコード生成アプリケーションソフトウェア、バーコードリーダーの性能などにより、大きく左右されます。このため、本機が正常な状態で印字したバーコードであっても、バーコードの読み取りが保証されるものではありません。

対象 OS について

次の OS 用に、機種専用のドライバーやユーティリティソフトウェアは提供していません。ほかの OS 用に提供しているドライバーやユーティリティソフトウェアがインストールできる場合がありますが、動作は保障していません。

- ・Microsoft Windows 95
- ・Microsoft Windows 98
- ・Microsoft Windows Me
- ・Windows NT 4.0
- ・漢字 Talk 7.5.3
- ・Mac OS 8.1/8.5/8.6
- ・Mac OS X 10.3.8 以前
- ・MacOS X 10.4.7
- ・Windows NT Server 4.0
- ・Windows NT Server Terminal Edition

Macintosh について (Adobe PostScript 3 キット (オプション))

- ・Mac OS X 10.5/10.6/10.7、OS X 10.8/10.9 のプリンタードライバーでは、Plug-in を採用しているため、認証情報の設定、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントなどが使用できます。
- ・上記の Plug-in を採用していないプリンタードライバーでは、認証情報の設定、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントなどが使用できません。
- ・Mac OS X 10.3.9 または Mac OS 9.2.2 で、奇数ページの文書を両面出力すると、最後のページのあとに白紙ページが追加されて、白紙ページ分もメーターにカウントされません。

Mac OS X 用プリンタードライバーについて

- ・対象 OS は、Mac OS X 10.5/10.6/10.7、OS X 10.8/10.9 です。
- ・画質調整やトナー節約機能はありません。また、用紙サイズ設定や用紙種類の一部だけをサポートしているなど、機能制限があります。プリント機能を十分に利用される場合は、Adobe PostScript 3 キット (オプション) を追加してください。

強制アノテーションで印字される時刻について

機械の状況や設定、出力内容などによっては、お客様が出力を指示した時刻と、機械内部での出力ジョブの開始時刻、実際のプリントの開始時刻がずれる場合があります。強制アノテーションで印字されるのは、出力ジョブの開始時刻となります。

印字位置の調整について

- ・おもて面とうら面で印字ずれがある場合、印字位置の補正が可能なのは、とじる辺に対して垂直方向だけです。たとえば、縦長原稿のプリント時、[両面] で [長辺とじ] を指定した場合は、左右方向の印字ずれは補正できますが、上下方向の位置調整はおもて面とうら面が同一方向に移動するため、印字ずれは補正されません。
- ・[まとめて 1 枚] では、ページイメージごとの位置調整はできません。

サイズ混在原稿をプリントするときの向きについて

- ・プリンタードライバーからのサイズ混在原稿のプリント可能な組み合わせは、A4 と A3、B5 と B4、8.5×11 インチ (Letter) と 11×17 インチ (Tabloid) の 3 種類です。

- ・使用するアプリケーションによっては、原稿の向き（たて向き、よこ向き）を正しく判断できないため、サイズ混在原稿の組み合わせによっては、原稿の上下が逆にプリントされる場合があります。

ThinPrint について

- ・「ThinPrint.print」を Windows Server 2008 または Windows Server 2003 に設定するには、ライセンス「.print Application Server Engine」が必要です。
- ・ThinPrint は、通信プロトコルが IPv4 で動作しているときだけ利用できます。IPv6 には対応していません。
- ・同時に接続できる最大接続数は 3 です。これを超えて接続要求を受け付けた場合、接続要求は待ち状態になります。ただし、待ち状態になる接続数は最大 10 までで、これを超えると接続要求を受け付けられません。すでに開設済みの接続が終了して最大接続数よりも少なくなり次第、待ち状態になっていた接続要求が順次接続されます。
- ・ジョブのキャンセル、一時停止などのジョブ制御機能は提供していません。ただし、操作パネルでの [ジョブ確認] 画面、CentreWare Internet Services からのジョブのキャンセルは可能です。
- ・プリンターにデータのプールが終了したジョブから順に印刷されます。印刷指示を受信した順に印刷されない場合があります。
- ・プリンターの電源が切断された場合、本機能は受信済みジョブのプール順序とデータを保存します。受信中のジョブは破棄されます。

メール受信プリントについて

ハードディスクの空き領域が少ない状態でメールを受信すると、受信動作を中止してもエラーコードは表示されません。

CentreWare Internet Services 利用時の CSRF 対策について

CentreWare Internet Services の [CSRF 対策] を有効にすると、お使いの Web ブラウザーや、Web ブラウザーの利用状況、ネットワーク環境によっては、CentreWare Internet Services にアクセスできなくなることがあります。その場合は、アクセス可能なコンピューターからアクセスしてください。[CSRF 対策] を無効にする場合は、機械管理者にお問い合わせください。アクセス可能なコンピューターがない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

CSRF とは、悪意のある Web サイトが、そこにアクセスしてきたコンピューターを介して、ほかの Web サイト上で操作を実行させる攻撃手法のことです。本機能は、お客様が悪意のある Web サイトにアクセスしてしまった際に、CentreWare Internet Services へ悪意図しない操作が実行され、本機の設定等が変更されることを防ぐための機能です。

TCP/IP (lpd) の注意と制限

TCP/IP (lpd) での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本機側の設定について

- ・IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ・ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ・ポート状態を [起動] に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に [停止] に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを [停止] にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。
- ・使用環境に応じて、受信バッファ容量 [LPD スプール] のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量 [LPD スプール] のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定について

- ・IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ・NIS (Network Information Service) の管理下で使用されているコンピューターで、ネットワーク (IP アドレスなど) の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

- ・[LPD スプール] の設定が [メモリースプール] のとき
印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。
- ・[LPD スプール] の設定が [ハードディスクスプール] のとき
印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。
- ・[LPD スプール] の設定が [スプールしない] のとき
印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

印刷するとき

- ・[LPD スプール] の設定が [ハードディスクスプール]、または [メモリースプール] のとき
印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

補足

- ・印刷データが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターがハングアップしたように見えます。対処として、コンピューター側でその印刷データの送信を中止してください。
- ・[LPD スプール] の設定が [スプールしない] のとき
あるコンピューターから印刷要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからの印刷要求を受け付けることができません。
- ・コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合
コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合、本機側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファに印刷データがない状態で、本機の電源を切 / 入してください。

補足

- ・本機の受信バッファにある印刷データの印刷中止 / 強制排出は、操作パネルから操作できます。操作方法は、「2.5 印刷を中止する / 確認する」(P. 59) を参照してください。

セカンダリーイーサネット（オプション）使用時の注意 / 制限

セカンダリーイーサネット（オプション）を使用したときの注意 / 制限事項は、次のとおりです。

- [HTTP - SSL/TLS 通信] が有効かつ、Ethernet2 から FQDN で CentreWare Internet Services にアクセスすると、Web ブラウザーの例外登録ダイアログが表示される場合があります。
- ジョブログでは Ethernet1 と Ethernet2 を分けて記録しないため、どちらのネットワークから通信があったか識別できません。
- 消耗品の残量やメーター情報は Ethernet1 と Ethernet2 共に同じ情報を発信します。機器の利用状況の把握を弊社以外のソフトで行なう際は、機器情報の重複を避けるため、IP アドレスではなく、UUID 等のお使いの機器固有の情報を利用するようにしてください。
- [LPD] の [プリント順序] を [プリント受け付け順] に設定した場合、Ethernet1 または Ethernet2 のどちらかを優先してプリントを受け付けることはできません。
- 同一 IP アドレスを持つ異なるホストからの印刷指示や印刷ジョブの状態確認 (lpq)、キャンセル (lprm) は、同一ホストからの要求として処理されます。
- Ethernet インターフェース回線が 2 回線するとき、Port9100 は 2 回線同時に通信できません。
- CentreWare Internet Services の [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DHCPv6-lite からアドレスを取得] 設定は Ethernet1 のみ有効です。Ethernet2 の場合は、手動で DNS サーバーのアドレスを設定してください。
- CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で、Ethernet1 と Ethernet2 の両方について [DNS の動的更新] を [する] に設定した場合、DNS の動的更新が失敗することがあります。DNS の動的更新機能を利用する場合は、Ethernet1 と Ethernet2 のどちらか一方のみ、[する] に設定してください。
- Ethernet インターフェース回線が 2 回線するとき、セカンダリーネットワーク（オプション）は LPD、Port9100、SNMP、インターネットサービス（HTTP）のみ通信できます。それ以外のポートは通信できません。
- セカンダリーイーサネット（オプション）は IPP と Google クラウドプリントポートに対応していません。このため Ethernet2 で AirPrint と Google クラウドプリントのジョブをプリントできません。

IPv6 接続の注意と制限

IPv6 接続時の注意制限事項は次のとおりです。

- マルチプレフィックス環境 (IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境) では、本機から外部ネットワークへの送信に失敗する可能性があります。
- マルチプレフィックス環境 (IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境) では、登録されていないアドレスで通信されることがあります。
- 自動設定する IPv6 アドレス (IPv6 自動設定アドレス、IPv6 DNS サーバーアドレス) には、取得した IPv6 アドレスが運用上使用できないアドレスが設定されることがあります。運用上使用できない IPv6 アドレスとは、サイトローカルアドレス (fec0::) や文書作成用アドレス空間 (2001:db8::/32) のアドレスのことです。
- IP 動作モードがデュアルスタックで、IPv4/IPv6 ともに DNS 情報が設定されていて、FQDN で指定されている装置と通信するとき、本機の起動直後には、IPv4 の DNS 情報が使用されることがあります。
- 本機の IP アドレスとして表示されるアドレスが変わることがあります。たとえば、デュアルスタックモードで IPv4 アドレスと IPv6 アドレスのどちらか一方が表示されない、IPv6 アドレスの内容が変わるなどです。
- IPv6 ネットワークを使用して印刷した場合、ペーパーセキュリティが正しく動作しません。IPv4 で運用してください。
- IPv6 環境では、時刻サーバーとの同期はできません。IPv4 環境で時刻サーバーにアドレスを直接指定してください。
- IPv6 での印刷は、次のバージョンの OS でだけ動作します。
 - Windows Vista
 - Windows 7
 - Windows 8
 - Windows 8.1
 - Windows Server 2008
 - Windows Server 2008 R2
 - Windows Server 2012
 - Windows Server 2012 R2
 - Common Unix Printing System が IPv6 対応で印刷可能な Linux distribution
- WINS は IPv6 ネットワークでは通信できません。
- SSL 通信に自己生成証明書を使用する場合、プリンター URL の指定方法に、次の制限事項があります。
 - FQDN で指定する場合 (IPv4、IPv6 共通)
自己証明書作成前に、デバイスのホスト名とドメイン名を正しく指定しておく必要があります。
例：FQDN が csw.ipv6.domain.local の場合、ホスト名に csw、ドメイン名に ipv6.domain.local を指定します
 - IPv4 アドレスで指定する場合
IPv4 モードまたはデュアルモードで作成した自己証明書をインポートしておく必要があります。
 - IPv6 アドレスで指定する場合
Secure IPP (IPP-S) で通信ができません。
- 次の機能は、IPv6 に対応していません。IPv4 で運用してください。
 - UPnP Discovery
 - BMLinkS

- ・次のような場合、同一機器のアドレスとして判断できないことがあるため、ユーザーが LPD でプリント指示をした印刷ジョブの状態確認 (lpq) やキャンセル (lprm) を実施できないことがあります。
 - ・ 同一ホストで IPv4 と IPv6 を同時に動作させている場合
 - ・ 同一ホストで複数の IPv6 アドレスを同時に動作させている場合
- ・ ジョブログに IPv6 アドレスが正しく記載されないことがあります。IPv4 で運用してください。
- ・ DocuShare などの外部アクセスサービスで、接続先 URL に IPv6 アドレスを指定すると正しく動作しません。IPv6 環境では DNS サーバーを運用し、接続先 URL を FQDN で指定してください。
- ・ 機械自体による IPv6 in IPv4 トンネル機能には対応していません。

注記

- ・ 機械の [TCP/IP 設定] > [IP 動作モード] を [IPv6] に設定した場合、IPv6 に未対応の上記サービスは起動されません。
- ・ 同一サブネットに複数のルーターが存在する場合、通信に問題が発生する可能性があります。
- ・ デュアルスタック環境では、DNS サーバーや複合機から利用するサーバーの運用状況により各種サービスを利用する上で、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

設定情報の複製機能についての注意と制限

設定情報の複製機能は、プリンターに設定された設定値を複製し、別のプリンターに取り込む機能です。

設定値の複製ファイルの作成、および取り込みは、CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブ > [一般設定] > [設定情報の複製] で行います。

ここでは、設定情報の複製機能を使用するときの注意 / 制限事項を説明します。

- ・ 本機能では、プリンターのすべての設定について、複製・取り込みをすることはできません。主に CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブで設定できる項目が対象です。複製・取り込みの対象となる範囲を次の表に示します。

機能	カテゴリー
メモリー	RAM Disk* * ハードディスク (オプション) を使用している場合には表示されません。

機能	カテゴリ
ネットワーク / ポート	Ethernet
	パラレル* * オプションのパラレルポートが必要です。
	USB
	EtherTalk* * オプションの Adobe PostScript 3 キットが必要です。
	TCP/IP (IP 動作モード)
	TCP/IP(IPv4)
	TCP/IP(IPv6)
	TCP/IP (デュアルスタック)
	SSDP
	LPD
	Port 9100
	HTTP
	IPP
	BMLinkS
	Bonjour
WSD* * WSD は、Web Services on Devices の略称です。	
ThinPrint	
メール	メール設定* * タイトルは除きます。
	SMTP サーバー
	LDAP (LDAP ディレクトリサービス)
	LDAP (LDAP ユーザーの関連付け)
	LDAP (LDAP 認証)
	LDAP (LDAP グループアカウント)
認証システム	認証システム設定
プリント	バナーシート
管理	メール通知設定
	SNMP 設定
	SNMP (v1/v2)
	SNMP (v3)
	SNMP(SNMP 設定 IPv4)
	SNMP(SNMP 設定 IPv6)
	ジョブ表示の制限
オンデマンドプリントサービス	オンデマンドプリントサービス設定

機能	カテゴリー
受付 IP アドレス制限	受付 IP アドレス制限 (IPv4)
	受付 IP アドレス制限 (IPv6)
複製管理	複製管理
集計設定	集計管理
	集計管理情報の設定
監査ログ	監査ログ
IC カード設定	一般設定

- ・CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブでの設定項目であっても、次の場合は、取り込み対象とならないことがあります。
 - ・複製元と取り込み先のプリンターの構成（オプションの有無等）が異なる場合
 - ・取り込み先のポートが [停止] になっている項目
- ・複製元プリンターに、固定の IP アドレスを割り当てている場合は、次の点に注意してください。
 - ・ IP アドレス値は複製できません。
 - ・複製元の IP アドレス割り当てが固定の場合には、複製先へ複製後、正しい IP アドレスを本機の操作パネルから設定するとともに、各種ポートの起動 / 停止の状態が、正しく設定されていることを確認してください。
IP アドレスが設定されていない状態で使用した場合、TCP/IP を使用する設定は自動的に無効になります。

セキュリティ機能上の注意と制限

暗号化通信について

HTTP の通信を暗号化することによって、IPP でプリントするときに通信データを暗号化 (SSL 暗号化通信) できます。ここで暗号化されるのは、ネットワーク上だけです。送信されるデータ自体を暗号化するわけではありません。

イメージログ管理機能について

- ・ジョブの文書イメージ、データの容量、イメージログ管理機能以外の複数ジョブの処理の有無、[ログの作成保証レベル] の設定、または [転送保証レベル] の設定によっては、イメージログ管理機能が優先して処理されます。
- ・イメージログ管理機能は、文書に対するセキュリティ機能を補う目的があるため、イメージログの作成に時間がかかったり、この機能以外のジョブの処理に時間がかかったりすることがあります。
- ・セキュリティ機能の観点から、機械はデータを蓄積保存することを優先するため、イメージログの作成を中止 (強制終了) できません。
- ・イメージや印刷ジョブのログ (ジョブログ) を検索することによって、システム管理者などが出力者の「識別情報」を把握することになります。イメージログ管理機能を使用したことによる出力者個人のプライバシー保護に関しては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・停電のように電源が強制的に落ちた場合や、ハードディスクに異常が発生した場合などは、イメージログの作成・転送が必ず実施されるとは限りません。
- ・機械は、イメージログ管理機能の起動後に実行されたジョブだけをイメージログ管理機能の対象とします。
- ・管理するイメージは、入力イメージを元に作成するため、出力イメージと同じになるとは限りません。次に記載する情報は、出力時に加えられたり、編集されたりする情報のため、イメージには反映されません。
 - ・出力時のレイアウト変更
 - ・合紙
 - ・アノテーション
 - ・強制アノテーション
 - ・複製管理
 - ・ペーパーセキュリティ
 - ・フォームオーバーレイ
- ・イメージとして作成される PDL の最大サイズは、1 ジョブにつき 500MB です。
- ・ハードディスク内のイメージ格納領域が不足した場合、[ログの作成保証レベル] の設定によって、機械は次のように動作します。
 - ・ [高] の場合：ジョブは中止されます。
 - ・ [低] の場合：ジョブは実行されます。ただし、ジョブ終了時には警告が表示され、イメージ作成が失敗したことを知らせます。
- ・機械に格納できるイメージログの最大数は 200 です。

強制印字の一時解除について

通常のプリントは一時解除の対象外です。プライベートプリントとオンデマンドプリントのジョブが一時解除の対象となります。

外部認証について

- ・外部認証では、本機の操作パネルで操作できること (プライベートプリント、認証プリント) だけが、利用制限の対象となります。枚数制限はできません。

- ・ 外部認証の場合、プリントの利用制限はできません。プリントは、認証プリントまたはプライベートプリントで運用してください。
- ・ 外部認証に変更する場合、または外部認証からほかの認証モードに変更する場合、本機に登録されたユーザー情報が削除されます。

外部認証の運用について

- ・ 外部認証サーバーに登録するユーザー ID は、半角英数字 32 文字以内で作成してください。
- ・ 複数ドメインにユーザー登録して運用するときは、ユーザー ID が重複しないように運用、管理してください。
- ・ コンピューターから外部認証サーバーにログインしてから、ジョブを指示してください。
- ・ 外部認証のための認証装置としては、IC Card Gate 2 for FeliCa、IC Card Gate 2 などがあります。これ以外の関連商品を接続した場合、外部認証は利用できません。

外部認証と ApeosWare Authentication Management について

ApeosWare Authentication Management が使用できる外部認証サーバーは、Active Directory だけです。カラーモード制限はできますが、枚数制限はできません。

IC カードを利用した外部認証について

- ・ 外部認証は、「ApeosWare Authentication Management」または「Active Directory」の環境で使用できます。
- ・ レルム名には初期値が設定されています。初期値と異なるレルム名を使用する場合だけ、設定を変更してください。

A.8 用語集

【10BASE-T】

IEEE802.3 の規格の中で、10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルのことです。

【100BASE-TX】

10BASE-T の拡張版で、FastEthernet（ファーストイーサネット）とも呼ばれるものの一つです。通信速度が 100Mbps で、10BASE-T の 10Mbps から大幅に高速になっています。

【1000BASE-T】

最高通信速度 1Gbps の Gigabit Ethernet 規格の一つです。

【ART IV】

Advanced Rendering Tool の略で、富士ゼロックス株式会社がページプリンター用に開発したプリンター制御言語です。IVはバージョンを表します。

【ART EX】

富士ゼロックス株式会社製のページ記述言語です。

【BMLinkS】

Business Machine Linkage Service の略で、ネットワーク上に接続されたマルチベンダ OA 機器間での統合的なインターフェイス仕様のことです。

【BOOTP】

BOOTstrap Protocol の略で、TCP/IP のネットワークに接続されたクライアントが、サーバーから自動的にネットワーク設定を読み込むためのプロトコルです。

【CD-ROM】

コンパクトディスク（CD）にコンピューター用ソフトウェアや画像などのデータを記録したものです。

【DHCP】

Dynamic Host Configuration Protocol の略で、DHCP サーバーから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】

Domain Name System の略で、インターネットでホスト名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【DocuWorks】

富士ゼロックス株式会社製の電子文書と紙文書を一元管理するドキュメント有効活用ソフトウェアです。

【dpi】

Dot Per Inch の略で、1 インチ（約 25.4mm）幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使用します。

【HTTP】

インターネット上で WWW サーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【Image Enhancement(イメージエンハンスメント)】

白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

【IPP】

HTTP を使用して印刷するためのプロトコルです。

【IP アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた 4 つの数値 (10 進数) で表します。

【IPsec】

データをパケット単位で暗号化して、改ざんなどから保護するセキュリティ技術です。

【IPv4 アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークアドレスのうち、ピリオド (.) で区切られた 4 つの数値 (10 進数) で表すアドレスです。

【IPv6 アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークアドレスのうち、コロン (:) で区切られた 4 つの数値 (16 進数) で表すアドレスです。現在、一般的に使用されている IPv4 の次の世代の IP アドレスとして使用が始まっています。

【N アップ】

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する機能です。

【OS】

コンピューターのハードウェアとソフトウェアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウェアで、Operating System の略です。アプリケーションソフトウェアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】

このマニュアルでは、米国 Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウェアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示するには、Adobe Reader というソフトウェアをコンピューターにインストールする必要があります。

【Port9100】

TCP/IP 環境でデータを送信できる、ネットワークプリンターとの通信方法です。標準 TCP/IP ポートモニター上で使用できます。

【ppm】

1 分間に印刷されるページ数を表す単位です。

【PrintTicket】

XML Paper Specification (XPS) ファイルに含まれる、印刷設定に関する情報です。

【RAM ディスク】

ハードディスクを使用せずに、増設システムメモリーを使用して、本機にデータを蓄積できる機能です。メモリーに格納しているため、本機の電源を切ると、内容は消えます。

【SNMP】

ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。

管理する側には SNMP マネージャーというソフトウェアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウェアを組み込んで実行します。

【TCP/IP】

DARPA NET (Defense Advanced Research Project Agency NetWork) で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピュータから大型コンピュータまで、さまざまな機種で使用されています。

【USB】

Universal Serial Bus の略で、コンピュータと周辺機器との間のデータ転送方式の一つです。電源を入れたままで接続できる「ホットプラグ」機能に対応しており、コンピュータと周辺機器を簡単に接続できます。

【WINS】

Windows Internet Name Services の略で、TCP/IP 環境でコンピュータ名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【WWW】

World Wide Web の略です。インターネットでホームページを提供するしくみのことです。

【XML Paper Specification (XPS) ファイル】

米国 Microsoft 社が開発したファイル形式です。XPS ファイルを表示するには、XPS Viewer というソフトウェアをコンピュータにインストールする必要があります。

【アドレス】

ネットワーク上のノード (各コンピュータや端末など) を識別するために割り当てられる情報 (一意の識別子) のことです。また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウェア】

コンピュータ上で作業を行う道具となるソフトウェアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウェアが販売されています。

【アンインストール】

コンピュータに組み込んだソフトウェアを削除することをいいます。

【印字領域】

用紙に対して実際に印字可能な領域です。

【インストール】

ソフトウェアやハードウェアをコンピュータや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。プリンタードライバーなどのソフトウェアをコンピュータのシステムに組み込むことや、ハードディスクをプリンターに組み込むことをいいます。

このマニュアルでは、主にコンピュータにソフトウェアを組み込むことを「インストール」と呼びます。

【インストーラー】

ソフトウェアをコンピュータにインストールするための専用ソフトウェアのことです。

【インターフェイス】

互いに異なるシステム (系) が接触する部分を指します。コンピュータとプリンターの間、人間と機械の間などを指す場合によく使用されます。

インターフェイスの仕様、特に電氣的仕様のことを単にインターフェイスということもあります。

【インターフェイスケーブル】

複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。

プリンターとパーソナルコンピューターを直接接続するパラレルケーブルや USB ケーブル、プリンターをネットワークに接続するイーサネットケーブルなどがあります。

【エミュレーション】

他社のプリンターで印刷した場合と同等の印字結果を得ることができるように、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。

【オンラインヘルプ】

コンピューターの画面に表示されるマニュアルです。

【解像度】

画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といえます。

【クリック】

マウスボタンを 1 回、押して離すことです。このマニュアルでは、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。

また、マウスのボタンをすばやく 2 回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】

ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。

逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【受信バッファ】

バッファとはコンピューターから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリー容量を増やすことによって、コンピューターの解放を早くすることができます。

【初期値】

工場出荷時、および NV メモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】

コンピューターが行う一連の処理を指します。たとえば、1 つのファイルを印刷する処理が 1 件の印刷ジョブになります。印刷の中止や排出は、このジョブ単位で行われます。

【双方向通信】

2 つの装置間で互いに情報を送信したり、受信したりする通信のことです。双方向通信によって、コンピューターから印刷データを送るだけでなく、プリンターからコンピューターに印刷状況などの情報を送ることができます。

【ソート】

複数部数を印刷したとき、1 部ごとに 1、2、3...1、2、3... の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウェア】

コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウェアもソフトウェアの一種です。

【ネットワークプリンター】

このマニュアルでは、イーサネットケーブルでネットワークに接続したプリンターを「ネットワークプリンター」と呼びます。

【パラレルインターフェイス】

コンピューターと周辺機器との間のデータ伝送方式の一つです。複数ビットのデータを同時に転送します。代表的なものにセントロニクスがあり、プリンターなどの周辺機器との接続に使用します。

【フォント】

書体や字体のことです。統一性を持ったデザインでまとめられた文字の1セットを指します。

【ブラウザ】

インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウェアです。代表的なものには、Internet Explorer、Safari があります。

【プリンタードライバー】

アプリケーションで作成したデータをプリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウェアです。

【プリントページバッファ】

印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

【プロトコル】

複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウェア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ポート】

コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】

1m² の用紙 1 枚の質量です。

【ローカルプリンター】

このマニュアルでは、パラレルケーブルまたは USB ケーブルでコンピューターと直接接続したプリンターを「ローカルプリンター」と呼びます。

【ログイン】

コンピューターシステムの資源（ネットワーク上のハードディスクやプリンターなど）にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

索引

→【○○○○】の【 】内は、本書で使用している用語です。

記号・英数

10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T コネクタ	49
10 ビン出力装置	50
201H	212
ART EX フォーム登録リスト	311
BMLinkS	158
Bonjour	155
CentreWare Internet Services	321
概要	41
使用時のトラブル	294
設定できる項目	42
ヘルプ	44
DNS サーバー設定	161
DocuWorks 設定リスト	313
DocuWorks ファイルを直接印刷する	100
EP プロキシサーバー設定	163
ESC/P 設定リスト	312
ESC/P 登録リスト	312
ESCP	212
Ethernet 設定	164
HDD 暗号化	328
HDD の上書き消去	177, 328
HDD の初期化	328
HPGL	212
HP-GL/2 設定リスト	312
HP-GL/2 登録リスト	312
HTTP-SSL/TLS 通信	166
HTTP 通信の暗号化	343
IC カード設定	329
IC カードによるプライベートプリント、 オンデマンドプリント、認証プリント	328
ID 印字機能	200
IEEE 802.1x 設定	167
IPP	153
IPsec	402
IPsec 通信	166
IPSec を使用した暗号	347
IPv4 アドレス	402
IPv6 アドレス	402
IPv6 環境での印刷時のトラブル	297
IPv6 接続時のトラブル	296
IPv6 接続の注意と制限	395
IP アドレス (IPv4) を設定する	36
IP アドレス (IPv6) を設定する	39
IP アドレスによる受信制限	330
IP アドレスの設定	37
LPD	151, 392
N アップ	67
N アップ→【まとめて1枚】	67
OCR フォントのグリフ	204
OK ボタン	52
PCL	214
PCL 設定リスト	312
PCL フォントリスト	311

PCL マクロリスト	313
PC-PR201H 設定リスト	312
PC-PR201H 登録リスト	312
PDF	212
PDF 設定リスト	312
PDF ファイルを直接印刷する	97
Port9100	157
PostScript	214
PostScript フォントリスト	311
PrintTicket 処理	215
PS 登録リスト	312
RAM ディスク	179, 326
SNMP 設定	161
SNTP 設定	165
SOAP	160
TCP/IP	392
TCP/IP 設定	148
ThinPrint	160
TIFF/JPEG 設定リスト	312
TIFF/JPEG 論理プリンター登録リスト	312
UPnP	158
USB	155
USB2.0 インターフェイスコネクタ	48
USB 接続	31
UUID 印字	335
Web Services on Devices (WSD)	29, 159
Web ブラウザーでプリンターの状態を 確認 / 管理する	321
WEP 設定	188
XDW (DocuWorks)	216
XML Paper Specification (XPS)	215, 403

ア

アジャスターフット	48
暗号化機能	342
異常警告音	168
異常終了プリント処理	178
異常な音がする	245
移動する	364
イメージログ管理設定	186
イメージログ機能	329
印刷指示したデータの状態を確認する	60
印刷する	66
印刷するための基本的な流れ	66
印刷できない	247
印刷ページ数を確認する	315
印刷保証領域	375
印刷を中止する	59
印字品質が悪い →【印字品質や画質のトラブル】	249
インターネットサービス	162
インナー排出トレイ	47, 185
インフォメーションボタン	52
受付制限 (IPv4)	165
エラーコード	264
エラーメッセージ→【メッセージ】	254

エラーランプ	51, 246
エラー履歴レポート	311
お気に入り	67
音の設定	168
オプション構成	61
オプション品の紹介	378
折りを補助する筋	209
オンデマンドプリント	93
オンラインボタン	52

カ

外観図	52
隠し印刷サンプルリスト	313
認証ランプ	51
各部の名称と働き	47
画質が悪い →【印字品質や画質のトラブル】	249
画質補正	208
カスタムモード	298
紙づまり時の処理	176
紙づまりの処置	219
監査ログ	340
監査ログ機能	329
機械管理者メニュー	144, 147
機械番号→【シリアル番号】	325
奇数ページの両面	200
機能拡張キット	382
機能設定リスト	311
機能別カウンターレポート	313, 317
基本の用紙サイズ	201
機密文書を印刷する	79
キャスター	47
強制アノテーション機能	329, 337
共通メニュー	143
基本的な操作方法	145
共通メニュー項目の説明	147
ゲートウェイアドレス	38, 319
ケーブルを接続する	31
結露が発生した	245
原稿 180° 回転	71
言語切り替え	144, 218
困ったときには	219

サ

サイズ検知切り替え	201
サブネットマスク	38, 319
さまざまな種類の用紙に印刷する	76
サンプルプリント	67, 83
時刻指定プリント	67, 87
システム設定	168
システム時計	175
自動検知できるサイズ	201
自動ジョブ履歴	171
自動トレイ選択	140
自動リセット	169
集計管理機能	351
集計管理の運用	179
集計管理レポート	311
受信制限	329, 330
出力結果を確認してから印刷する	83

主電源スイッチ	49
主電源ランプ	51
準備完了音	168
仕様	365
使用済み消耗品の回収	300
仕様設定ボタン	52
使用できない用紙	125
使用できる環境	28
消耗品の残量を確認する	

→【Web ブラウザーでプリンターの
状態を確認 / 管理する】

状態を確認 / 管理する	321
消耗品の寿命	380
消耗品の種類と購入	299
消耗品を交換する	299
初期化 / データ削除	210
ジョブの表示設定	172
ジョブ履歴レポート	311
シリアル番号	325
スタンプ	67
スリープモード	170
スリープモード移行時間	170
清掃	363
製品回収シート	313
製品情報の入手方法	381
製本	67
製本トレイ	50
セカンダリーイーサネットコネクタ	48
セキュリティー機能	328
セキュリティープリント	67, 79, 174, 328
セキュリティー拡張キットの取り付け	385
設定情報の複製機能についての注意と制限	396
節電ボタン	51
節電モード	58
センタートレイ	47
センタートレイ (フィニッシャー接続部上面カバー)	50
センタートレイ下段オフセット	198
センタートレイ上段オフセット	199
センタートレイのオフセット	198
選択文書のプリント順	174
操作パネル	47, 51
操作パネル設定	168
操作パネルでの設定	143
操作パネルのロック	329
増設システムメモリー	382
その他 IPv6 使用時のトラブル	297
ソフトウェアオプション	185
ソフトウェア手動更新	187
ソフトウェアダウンロード	178
ソフトウェア日時更新	188

タ

蓄積文書リスト	313
注意 / 制限事項	389
通信の暗号化	328
データ暗号化	177
定期交換部品	380
定形外サイズの用紙に印刷する	74
定形外サイズの用紙をセットする	72
定形外サイズを登録する	72

ディスプレイ	51
定着ユニット	49
低電力移行時間	170
低電力 / スリープモードの設定を 変更する	146
低電力モード	169
手差しトレイに用紙をセットする	127
手差し用紙種類	70
電源が入らない	245
電源自動オフ設定	171
電源スイッチ	47
電源を入れる / 切る	54
電子メールでプリンターの状態を確認する	322
電子メールを使って印刷する	102
転写電圧を調整する	361
動作環境 → 【使用できる環境】	28
特長	4
トナーカートリッジ	49
トナーカートリッジを交換する	301
トナー回収ボトルを交換する	306
ドメイン制限リスト	313
トラブル	
印刷が正しくできないトラブル	246
印字品質や画質のトラブル	249
エラーコード	264
電源、異常音など、機械本体のトラブル	245
トレイや用紙送りのトラブル	253
ネットワーク関連のトラブル	294
メッセージ (50 音順)	254
ドラムカートリッジ	49
ドラムカートリッジを交換する	303
ドラム寿命動作	176
トレイ 1 ~ 4 に用紙をセットする	130
トレイ 6 に用紙をセットする	133
トレイと用紙種類を設定して印刷する	77
トレイの優先順位	194
トレイの用紙色	192
トレイの用紙サイズ	136, 141, 195
トレイの用紙種類	191

ナ

内蔵フォント	375
中とじフィニッシャー C3	50
中とじユニット	50
中とじ用ホチキスカートリッジ	50
認証 / 集計管理	351
認証の設定	181
認証プリント	94
ネットワーク / ポート設定	148
ネットワーク環境を設定する	36
ネットワークケーブル	32
ネットワーク接続	32
ネットワークプリンター	28

ハ

バーコードサンプル	313
排出トレイ	50
はがきに印刷する	69
はがきをセットする	68
バナーシート設定	173

パラレル	150
パラレルインターフェイスコネクタ	48
パラレル接続	34
パンチ	67
パンチ穴のクズを捨てる	309
パンチダストボックス	50
パンチユニットの設定	209
左側面下部カバー (B)	48
左側面下部カバー (C)	48
左側面最上部カバー (E)	48
左側面上部カバー (A)	48
左側面上部カバー (D)	48
表紙付け	67
平とじ用ホチキスカートリッジ	50
ファームウェアのバージョンアップ	381
フィニッシャー C3	50
フィニッシャートレイ	50
フィニッシャートレイのオフセット	199
フィニッシャーの調整	209
封筒に印刷する	69
封筒をセットする	68
フォーム	67
フォーム機能	67
フォントリスト	311
複製管理	332
複製管理機能	329, 331
プライベートプリント	90
[プリンター構成] タブ	61
プリンター集計レポート	311, 316
プリンター集計レポートのデータを 初期化する	317
プリンタードライバー	30
アンインストール	45
インストール	45
最新のプリンタードライバー	381
ダウンロード	381
プリント可能領域	173
プリント画面	53
プリント可ランプ	51, 246
プリント言語の設定	144, 212
プリントジョブの追越	178
プリント中止ボタン	52
プリントメニューボタン	52
プロパティダイアログボックス	67
フロントカバー	47, 50
ペーパーセキュリティ	333
ペーパーセキュリティサンプルリスト	313
ペーパーレジ補正	208
ポートを起動する	40
ポスター	67
保存文書設定	184
ホチキス	67
ホチキスカートリッジを交換する	306
ホチキスの針づまりの処置	240

マ

まとめて 1 枚	67
マニュアル (HTML 文書)	45
マニュアル体系	10
右奥カバー	48

未登録フォームへ印字.....	200
ミリ/インチ切り替え.....	177
メーター.....	315
メーター確認.....	144, 147
メーターの確認方法.....	315
メール受信プリント.....	102
メール受信プリント機能使用時のトラブル.....	295
メール通知サービス.....	322
メール通知サービス機能使用時のトラブル.....	295
メールを受信する.....	107
メールを転送する.....	107
名称.....	47
メッセージ (50 音順).....	254
メニュー画面.....	53
メニュー自動リセット解除.....	169
メモリー設定.....	205
戻るボタン.....	52

ヤ

ユーザー定義用紙.....	72
ユーザー定義リスト.....	311
ユーザー登録による利用制限.....	329
用語集.....	401
用紙.....	122
使用できない用紙.....	125
使用できる用紙.....	122
用紙の保管と取り扱い.....	126
用紙色名称設定.....	197
用紙種類エラーの処理.....	190
用紙種類名称設定.....	197
用紙トレイ.....	47
用紙トレイ 5 (手差し).....	48
用紙トレイ 6.....	47
用紙トレイ 6 上面カバー.....	48
用紙の置き換え.....	190
用紙の画質処理.....	196
用紙の残量を確認する	
→【Web ブラウザーでプリンターの	
状態を確認 / 管理する】.....	321
用紙種類を指定して自動で印刷する.....	76
用紙の優先順位.....	193
用紙別の画質処理を設定する.....	139
用紙をセットする.....	127

ラ

リセットボタン.....	48
両面印刷.....	67
両面ユニット.....	48
レポート両面プリント.....	172
レポート / リスト.....	144, 147
レポート / リストを印刷する.....	314
ローカルプリンター.....	28
漏電ブレーカー.....	57

操作パネルメニュー一覧

操作パネルの基本的な使い方

- メニューの上下を切り替えるには : <▲> または <▼> ボタン
- メニューを選択、右に進むには : <▶> または <OK> ボタン
- 選択を取り消し、左に戻るには : <◀> または <戻る> ボタン
- 値を確定するには : <OK> ボタン
- メニューを終了するには : <仕様設定> ボタン
- プリントメニューを始めるには : <プリントメニュー> ボタン
- i** の詳しい表示を見るには : <インフォメーション> ボタン

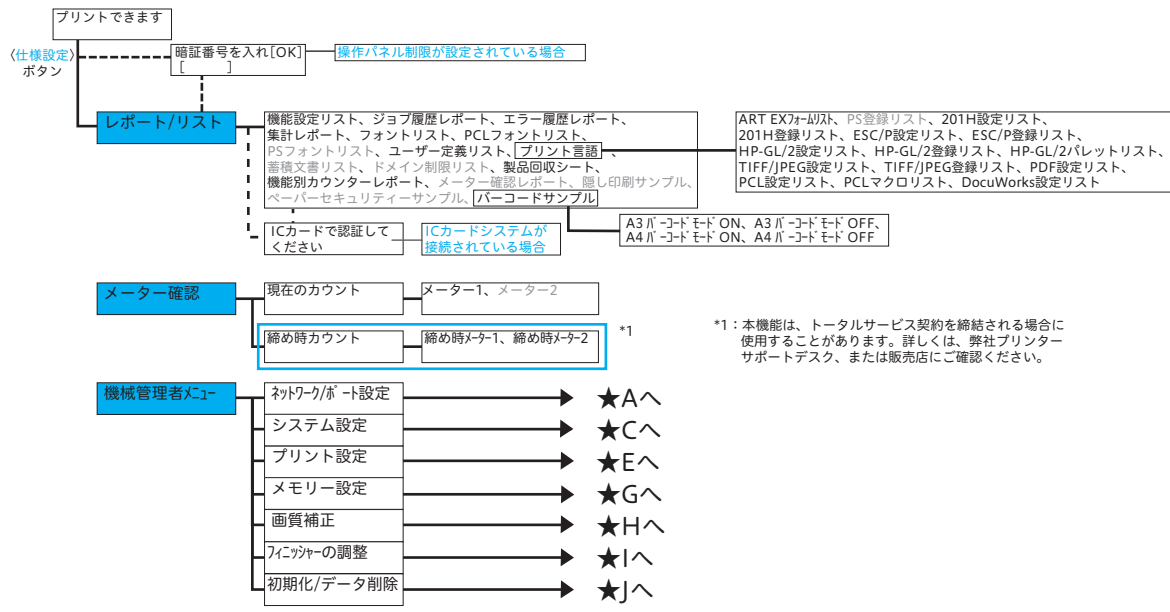
数値や文字の入力のしかた

- 値を切り替え(増減)は : <▲> または <▼> ボタン
- 桁やフィールドの移動は : <▶> または <◀> ボタン
- 初期値に戻すには : <▲> と <▼> ボタンを同時に押す

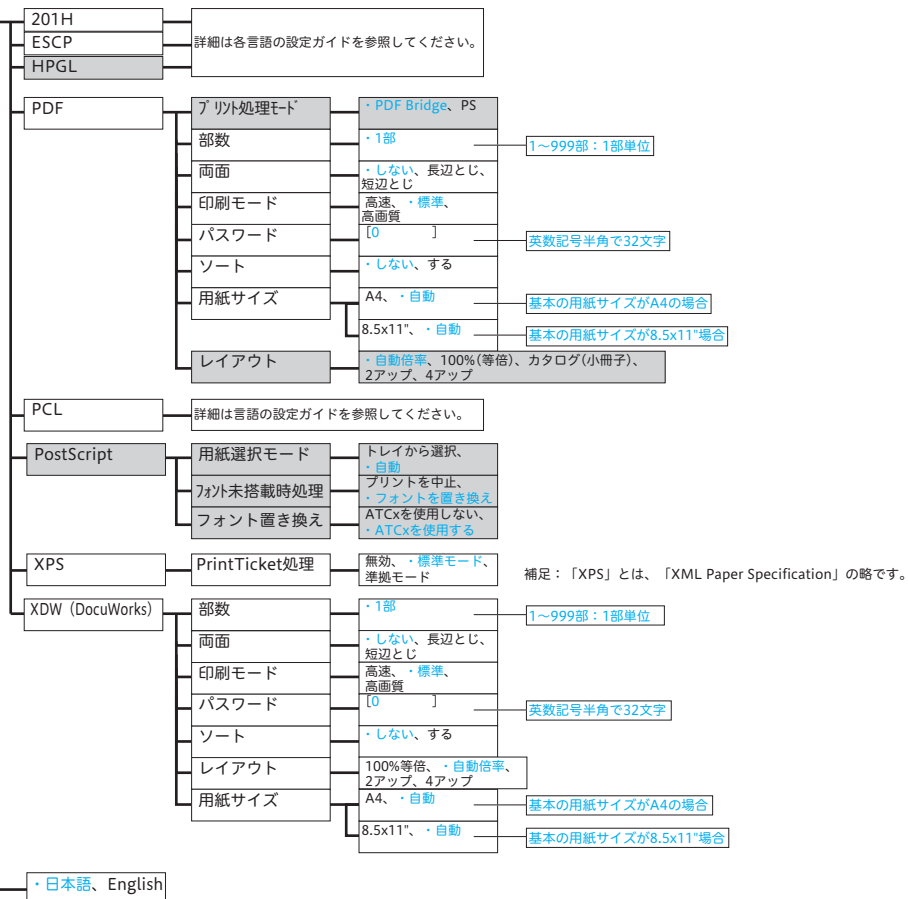
管理者メニューでの表記について

- : メインメニュー
- : 本機のオプション構成によって、表示/非表示する項目
- : 初期値

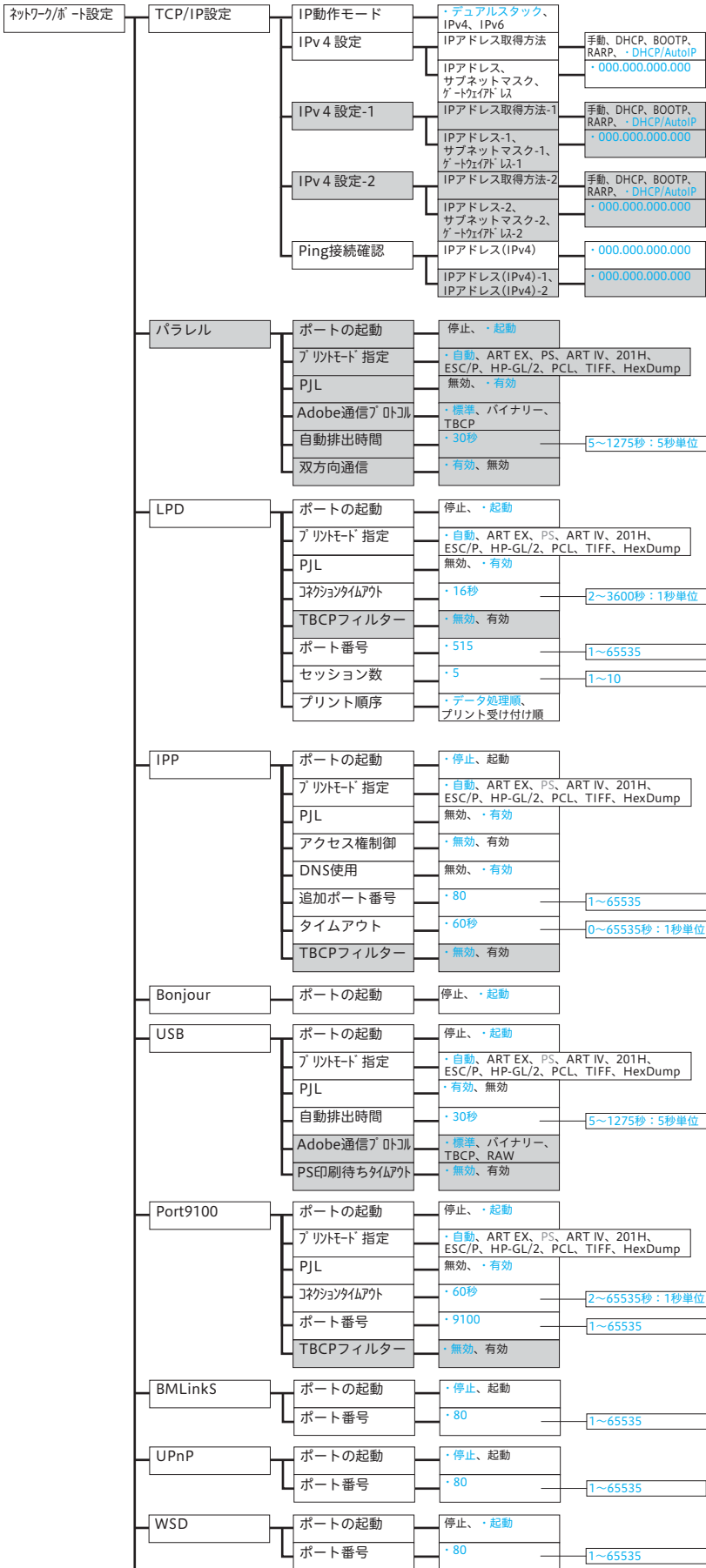
管理者メニュー



プリント言語の設定

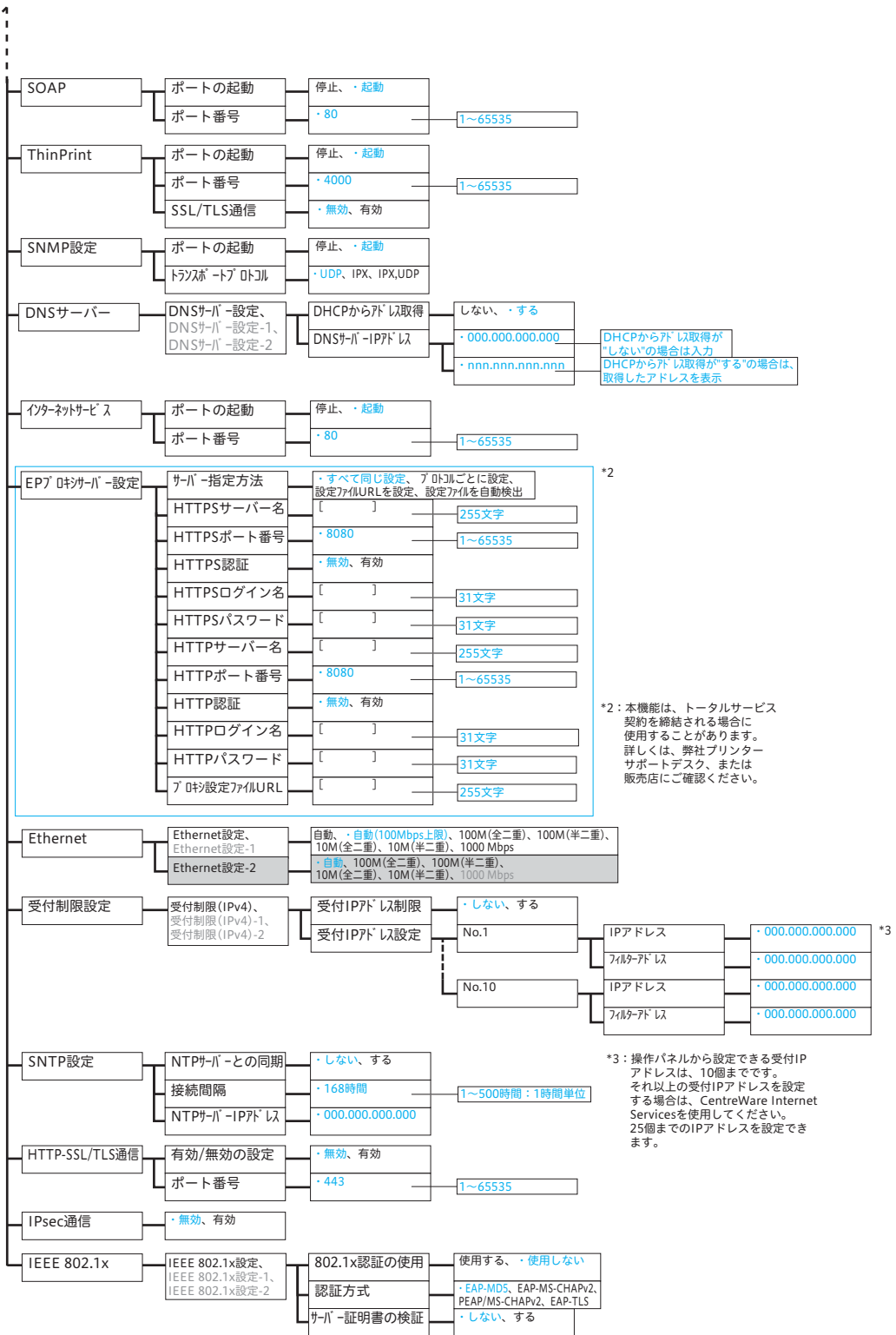


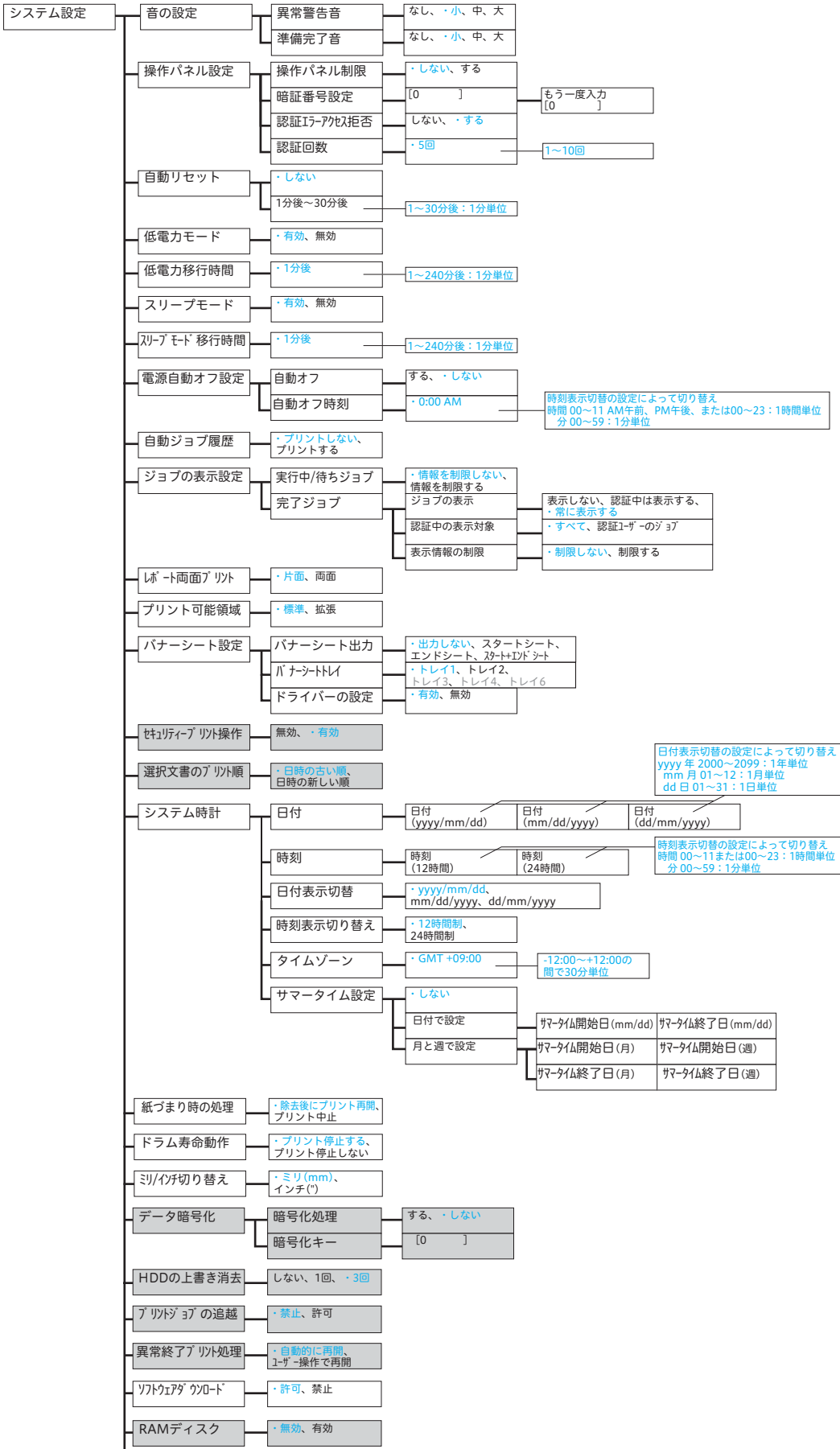
★A

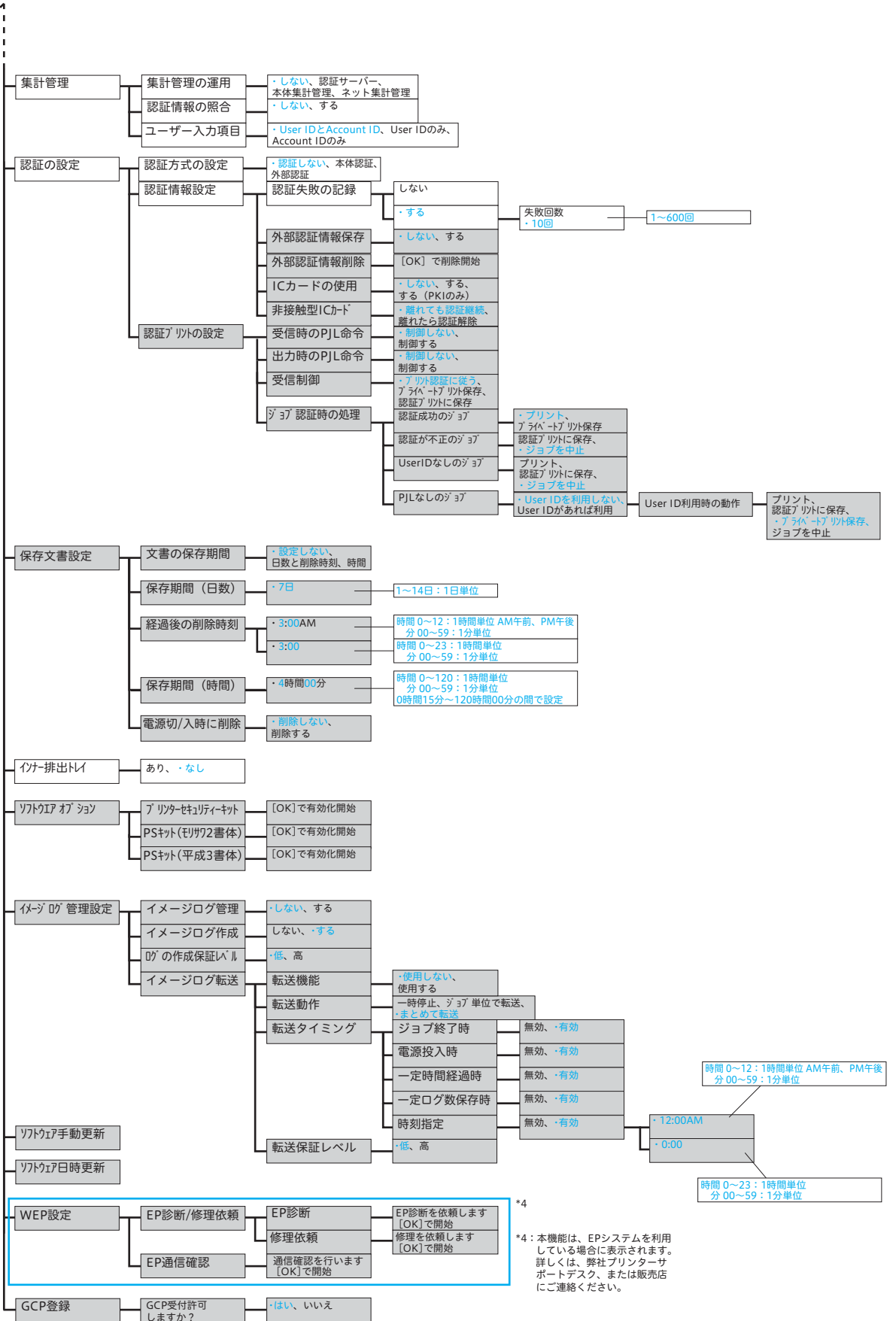


補足：「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

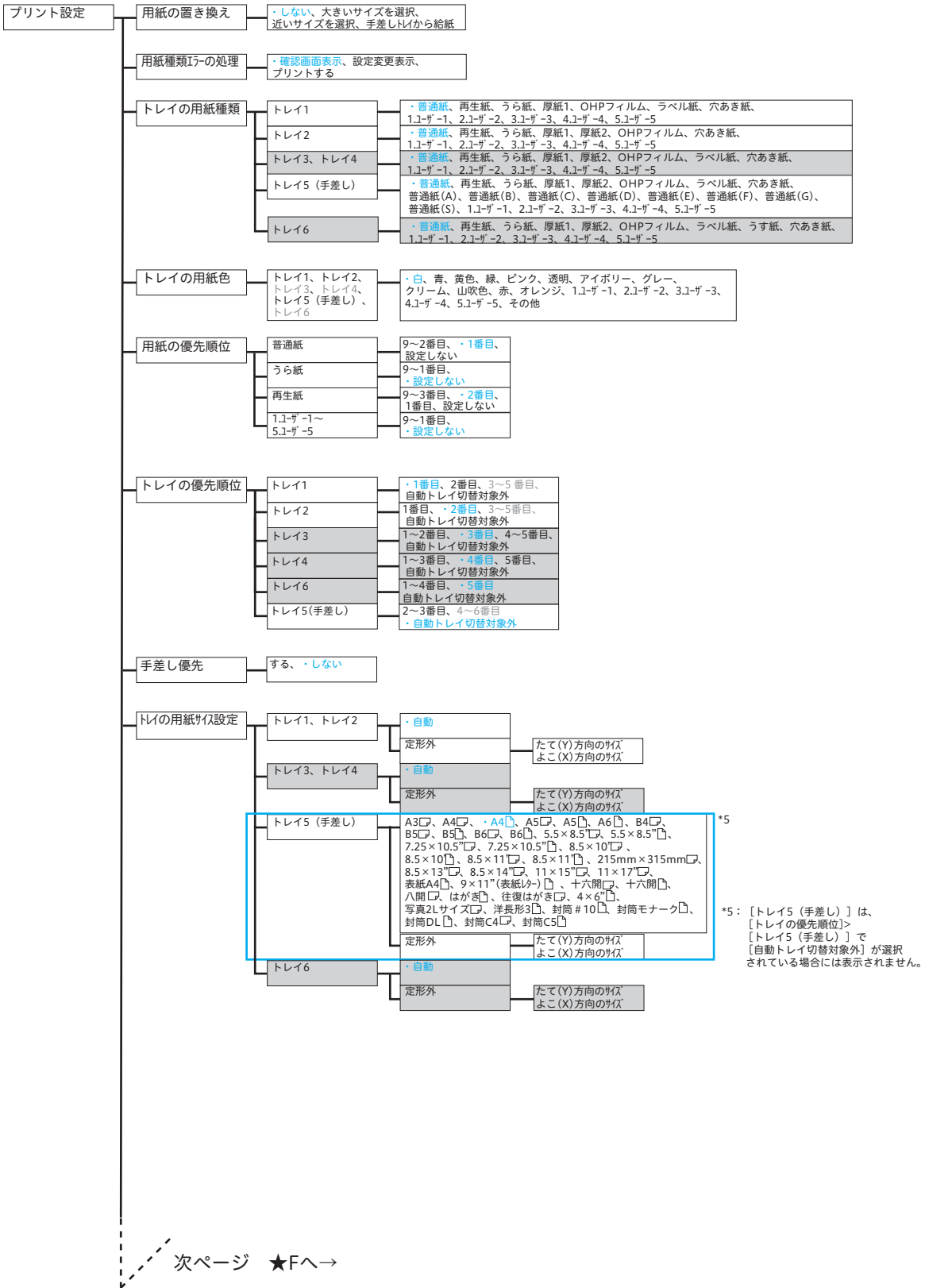
次ページ ★Bへ→







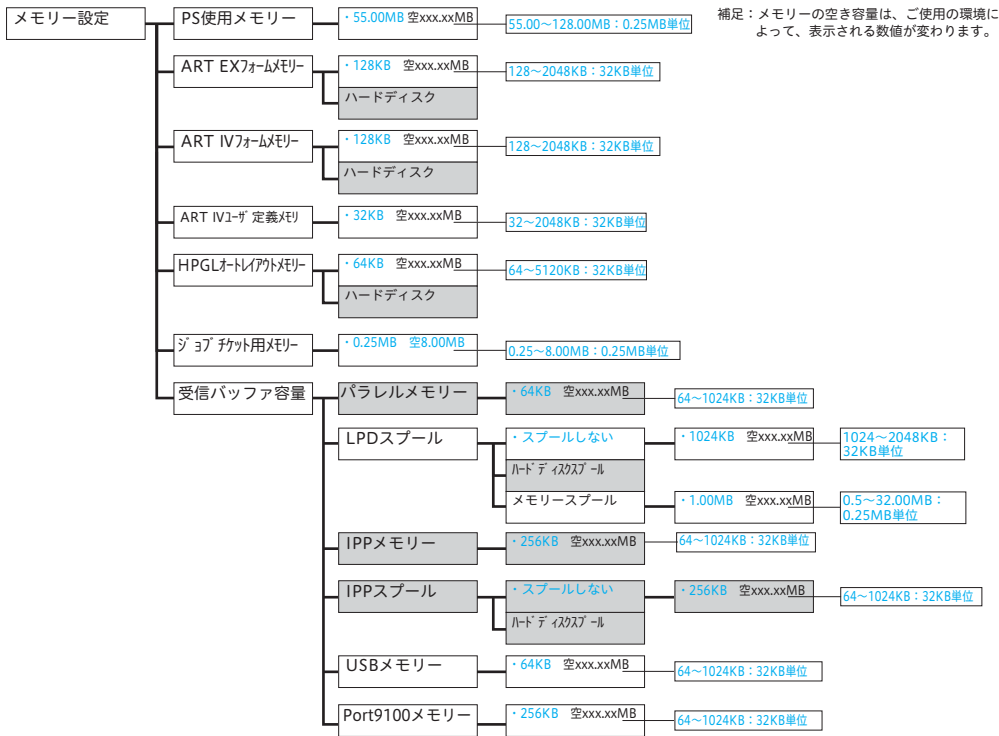
★E



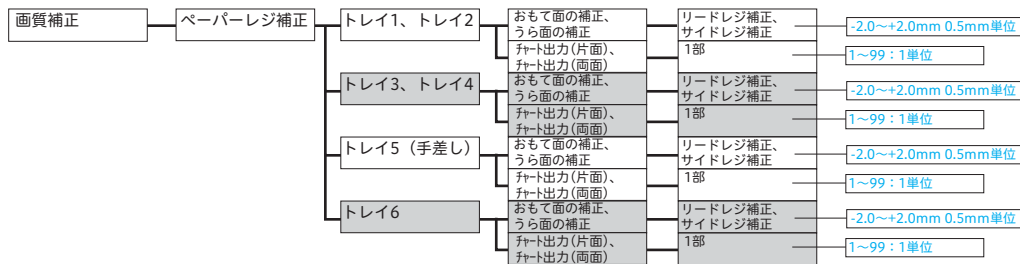
次ページ ★Fへ→



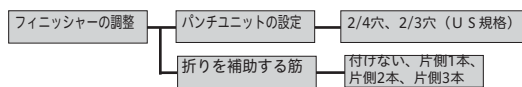
★G



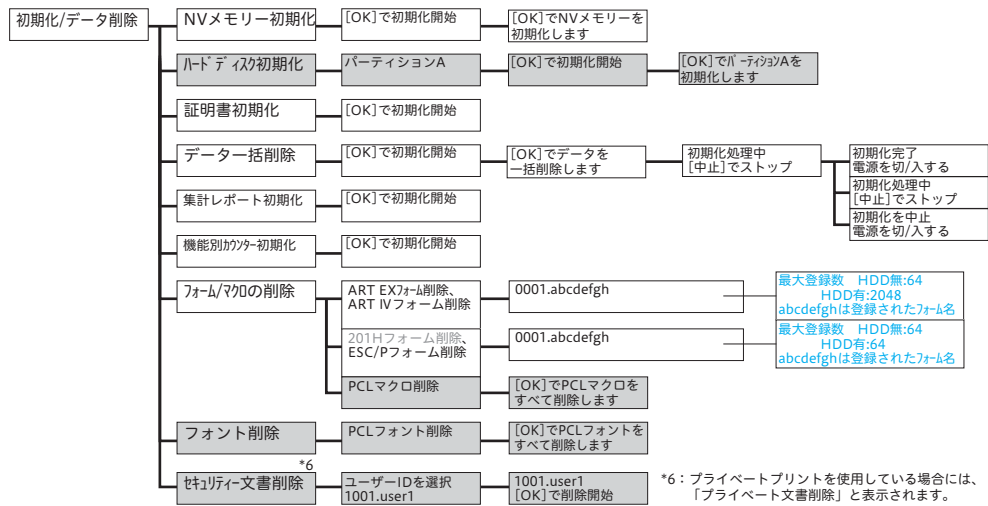
★H



★I



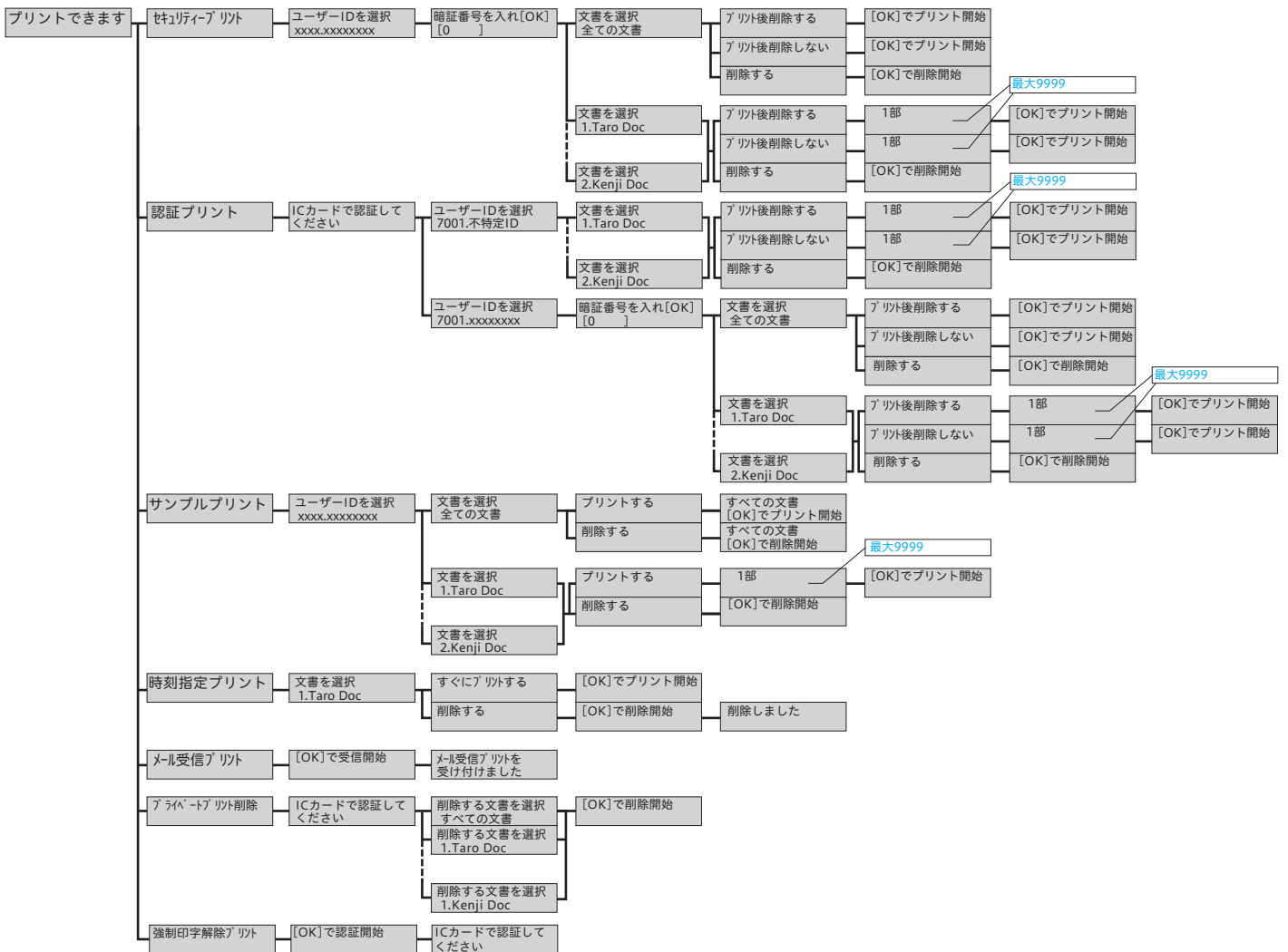
★J



プリントメニュー

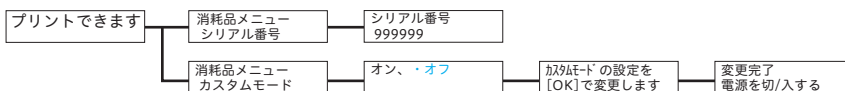
プリントメニューで認証を行った場合、[プリントできます]に戻るまで認証状態が継続されます。

(プリントメニュー) ボタン



消耗品メニュー

(▼) + (OK) ボタン

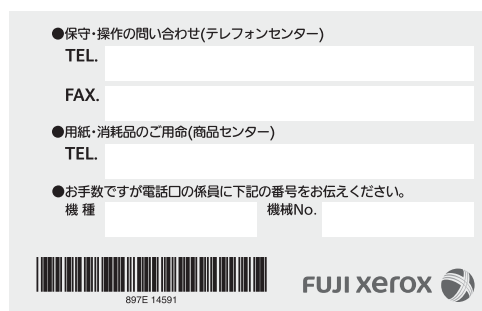


商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守、操作、修理**(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。



表面



裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フリーダイヤル ^{フジゼロックス} **0120-66-2209** FAX:0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。

TEL:0120-88-8641 FAX:0120-22-6993

受付時間:9時~12時、13時~17時

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint 5100 d ユーザーズガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月 — 2014年12月 第1版

(管理番号: ME7333J1-2)